Mimaki

プロファイル作成アプリケーションソフトウェア

MimakiProfileMaster II

Mimaki

リファレンスガイド

株式会社ミマキエンジニアリング

D201774-12
OPT-SS068

目次

- ご注意 VIII
- この取扱説明書について VIII
    - 本文中の表記について VIII
    - マークについて VIII
- Mimaki Profile Master II について IX
    - 製品の特徴 IX
- プロファイルについて X
- MPM II トライアル版の制限事項 XI

1章　デバイスプロファイルを作成する前に

- ＭＰＭ II を起動する 1-2
- 各種設定をする 1-3
    - メディア名を登録する 1-3
        - メディア名の登録 1-3
        - メディア名の削除 1-5
    - 測色器を選択する 1-6
    - 出力ポートの設定 1-7
        - ファイル出力する場合 1-7
        - プリンタに直接出力する場合 1-8
    - オプション設定 1-9
- メインメニューについて 1-10
        - デバイスプロファイル画面 1-10
        - ICC プロファイル画面 1-10
        - 設定画面 1-11
        - インストール画面 1-11

2章　デバイスプロファイルを作成する

- デバイスプロファイル作成の流れ 2-2
- デバイスプロファイルを作成する 2-4
    - フォーマットの選択 2-4
    - プロファイル条件の設定 2-5
    - メディア固有情報の設定 2-7
        - JV3-SP/SL で SS2 インクを使用している場合 2-8
        - JV3-SP/SL で ES3 インクを使用している場合 2-9
        - JF-1631/1610、JFX、UJV-160、UJF-706,UJF-3042,Tx400 を使用している場合 2-10
    - バリアブルドットの設定 (バリアブルドット選択時のみ) 2-12
    - 全体のインクリミットの設定 (プロファイル (V3) を選んだ場合) 2-15
    - インクリミットの設定 (プロファイル (V2) を選んだ場合) 2-19
    - ライトインク使用比率の設定 (ライトインク選択時のみ) 2-23
    - リニアライゼーションの自動調整 2-24

  - 3 次色のインクリミットの設定 (プロファイル (V3) を選んだ場合) 2-42
  - グレーバランスの自動調整 2-46
  - ICC プロファイルの作成 2-49
  - キャリブレーションの基準設定 (プロファイル (V3) を選んだ場合) 2-53
  - デバイスプロファイルの保存 2-56
- 機能ボタンについて 2-57
  - テストプリントボタン、チャート出力ボタン 2-57
  - インポートボタン 2-61
    - インポート互換表 2-61
  - カーブ編集ボタン 2-62
    - カーブ編集方法 2-63
  - 調整ボタン 2-64
    - イエローの濁り軽減 2-64
    - 墨版設定 2-65
    - 2-66
  - 作成中断ボタン 2-67
  - 再作成 2-68
  - 測色値ファイルの読み込み 2-70

3章　デバイスプロファイルを編集する

- デバイスプロファイル編集の流れ 3-2
  - “編集”を選ぶ 3-3
  - 編集するプロファイルをリストに追加する 3-4
    - 編集リスト 3-5
  - デバイスプロファイルを編集する 3-6
  - インクリミットの編集 3-10
  - ICC プロファイルの編集 3-10
  - メディア固有情報の編集 3-11
    - メディア補正値の編集 3-11
    - ヒーター温度の編集 3-11
    - ドットサイズの編集 3-11
    - メディア送り速度の編集 3-11
  - グレーバランスの編集 3-12
  - リニアライゼーションの編集 3-12
  - インクリミットの調整 (キャリブレーション／イコライゼーション編集画面) 3-12
  - リニアライゼーションの自動調整 (キャリブレーション／イコライゼーション編集画面) 3-13
  - グレーバランスの自動調整 (キャリブレーション／イコライゼーション編集画面) 3-13
  - 色差の確認 (キャリブレーション／イコライゼーション編集画面) 3-13
- 色置換情報 3-14
  - 色置換情報を追加する 3-14
- インク消費量予測計算 3-16

4章　キャリブレーション、イコライゼーションを行う

キャリブレーション機能 4-2
基準になる色を記録する（基準設定）....... 4-3
キャリブレーションを行う 4-5
現在の状態を測色する 4-5
作業内容（標準）を選んだ場合 4-7
作業内容（詳細）を選んだ場合 4-9
イコライゼーション機能 4-13
イコライゼーションを行う 4-14
ターゲットプリンタへ出力する 4-14
イコライゼーションを行うプリンタへ出力する 4-16
キャリブレーション・イコライゼーションの運用について 4-21
日常の色差を確認する 4-21
キャリブレーションデータを再調整する 4-24
新しいキャリブレーションデータを追加する 4-28
キャリブレーションデータを使用してプリントする 4-30

5章　デバイスプロファイルをコピーする

デバイスプロファイルのコピー 5-2
プロファイルコピーウィザード 5-2

6章　ＩＣＣ プロファイルを作成する

ICC プロファイル作成の流れ 6-2
ICC プロファイルを作成する 6-3
CMYK カラーの ICC プロファイルを作成する 6-3
RGB カラーの ICC プロファイルを作成する 6-7
モニターの ICC プロファイルを作成する 6-11
ICC プロファイルの保存 6-15

7章　プロファイルのインストールとアンインストール

Raster Link Pro にデバイスプロファイルをインストールする 7-2
Raster Link Pro 以外の Raster Link シリーズへのプロファイルのインストール・アンインストール 7-4
ProfileManager を起動する 7-4
ProfileManager 7-5
アイコンの説明 7-5
Raster Link Pro 以外の Raster Link シリーズにインストールする 7-6
Raster Link Pro 以外の Raster Link シリーズからプロファイルをアンインストールする 7-9

8章　ColorPicker を使用してスポットカラーのカラーマッチングを行う

- ColorPicker を使用したスポットカラーマッチング 8-2
  - ColorPicker とは 8-2
  - ColorPicker を使用したスポットカラーのカラーマッチングの流れ 8-2
  - ColorPicker で使用する ICC プロファイルの作成 8-4
  - ColorPicker でのスポットカラーのカラーマッチング 8-7
  - Illustrator で画像を修正する 8-9
  - Raster Link シリーズで色置換して出力する 8-11

9章　カラーシミュレーションを行う

- Adobe Photoshop ／ Illustrator を使用してカラーシミュレーションを行う 9-2
  - カラーシミュレーション機能に関する注意事項 9-2
  - カラーシミュレーション機能に必要なシステム環境 9-3
  - カラーシミュレーション機能を使用するための準備 9-3
  - カラーシミュレーションの流れ 9-4
  - 高演色形蛍光灯を使用して、環境光を整える (任意) 9-6
  - モニターのキャリブレーションを行う 9-6
  - モニターの ICC プロファイルを作成する 9-7
    - 使用しているモニターのプロファイルに設定する（WindowsVista の場合） 9-7
    - 使用しているモニターのプロファイルに設定する（WindowsXP の場合） 9-9
    - Macintosh のモニターの ICC プロファイルを作成する（Mac OS X　バージョン 10.6 の場合） 9-11
  - 校正用プリンタの ICC プロファイルを作成する 9-13
  - CMYK カラーのシミュレーション用プロファイルを作成する 9-16
  - RGB カラーのシミュレーション用プロファイルを作成する 9-19
  - 作成したプロファイルを Photoshop ／ Illustrator に設定する 9-22
    - Photoshop に設定する場合 9-22
    - Illustrator に設定する場合 9-23
  - モニターの色をターゲットの色に近づけるように、色を調整する 9-24
    - Photoshop で画像を開くときの調整手順 9-24
    - Illustrator で画像を開くときの調整手順 9-25
  - 校正用プリンタで出力し、ターゲットとの色の差を確認する 9-26
    - Photoshop で出力するとき 9-26
    - Illustrator で出力するとき 9-28
  - 校正用プリンタで印刷する 9-29
  - ミマキ製プリンタで印刷する 9-29

10章　その他の機能

MPM Ⅱの情報をバックアップする 10-2
　バックアップ機能 10-2
バックアップファイルを MPM Ⅱに復元する 10-4
　復元機能 10-4

付録

用語解説 .... 付録 -2
測色時のご注意 .... 付録 -5
　測色結果が異常な場合に起こりうる現象 .... 付録 -5
　測色の途中で測色の異常を発見した場合 .... 付録 -6
　測色結果ファイルの測色結果を確認する .... 付録 -7
Windows7 で測色器をご利用の場合 .... 付録 -9
　測色器のドライバを確認する .... 付録 -9
　ドライバを更新する .... 付録 -10
Eye-One iO のご使用について .... 付録 -12
　Eye-One iO のドライバを確認する .... 付録 -12
　ドライバを更新する .... 付録 -14
　　既存の Eye-One iO のドライバをアンインストールする .... 付録 -14
　　新しいドライバをインストールする .... 付録 -16
出力時のキャリブレーションデータの扱いについて .... 付録 -18
エラーメッセージについて .... 付録 -19
　エラーメッセージと対処方法 .... 付録 -19
　測色時のエラーと対処方法 .... 付録 -21

索　引

ご注意

- 本書の一部、または全部を無断で記載したり、複写することは固くお断りいたします。
- 本書の内容に関しまして、将来予告無しに変更することがあります。
- 本ソフトウェアの改良変更等により、仕様面において本書の記載事項とが一部異なる場合があります。ご了承ください。
- 本ソフトウェアを他のディスクにコピーしたり（バックアップを目的とする場合を除く）、実行する以外の目的でメモリにロードすることを固く禁じます。
- 株式会社ミマキエンジニアリングの保証規定に定めるものを除き、本製品の使用または使用不能から生ずるいかなる損害（逸失利益、間接損害、特別損害またはその他の金銭的損害を含み、これらに限定しない）に関して一切の責任を負わないものとします。また、株式会社ミマキエンジニアリングに損害の可能性について知らされていた場合も同様とします。一例として、本製品を使用してのメディア（ワーク）等の損失、メディアを使用して作成された物によって生じた間接的な損失等の責任負担もしないものとします。
- 本書に記載している、すべてのブランド名および製品名は、各社の商標または登録商標です。
- Adobe、Adobe ロゴ、Photoshop、Illustrator および Postscript は、アドビシステムズ社の商標です。
- Microsoft、Windows、Windows XP、Windows Vista、Windows 7 は、Microsoft Corporation の米国ならびにその他の国での登録商標または商標です。
- Apple、Macintosh、Power Macintosh、Mac OS、Mac OSX は、Apple.Inc. の登録商標または商標です。
- その他、本書に記載されている会社名、および商品名は、各社の商標または登録商標です。

この取扱説明書について

本書は、Mimaki Profile Master II の取り扱いについて説明しています。

本文中の表記について

メニューに表示される項目は、“新規作成”のように“　　”で表記します。
ダイアログに表示されるボタンは、**OK** のように □ で表記します。
ダイアログに表示されるタブは、[グレーバランス] のように [　] で表記します。

インク色表記について

インク色を次のように省略して表記します。

C　= Cyan, M= Magenta, Y= Yellow, K= Black,
Lc = Light cyan, Lm= Light magenta

マークについて

重要! 操作を行う上での注意点、重要点を説明しています。

💡 知っていると便利なことについて説明しています。

☞ 関連した内容の参照ページを示しています。

Mimaki Profile Master II について

Mimaki Profile Master II（以下 MPM II）は、以下のプロファイルを作成することができるアプリケーションソフトウェアです。

- ミマキエンジニアリング製 RIP アプリケーション Raster Link シリーズのデバイスプロファイルと入力プロファイル
- ICC プロファイルに対応した、他社 RIP アプリケーション用の出力プロファイル

製品の特徴

16bit対応した新フォーマットのデバイスプロファイルにより、印刷画質が向上

Raster Link Pro III シリーズv1.00 以降のRIPアプリケーションと組み合わせることにより、グラデーション画像の精度が向上します。

キャリブレーション機能により、プリンタの色の変化を低減

経時変化や季節・天候の変化によりプリンタの色が変わってしまっても、簡単に元の色に戻すことができます。
この機能は、Raster Link Pro III シリーズ v1.00 以降の RIP アプリケーションで活用できます。

イコライゼーション機能により、プリンタ間の色の違いを減少

同機種で同じプロファイルを使用していても、装置固有の特性によりプリントした色が変わってしまう場合、プリンタごとの色の違いを減少させ、どのプリンタから出力しても、同じ出力結果を得られるようにします。
この機能は、Raster Link Pro III シリーズ v1.00 以降の RIP アプリケーションで活用できます。

短時間で簡単にプロファイルが作成可能

画面指示に従うだけのウィザード形式なので、簡単にプロファイルが作成できます。

色見本へのカラーマッチングを実現

X-Rite 社の ColorPicker と Raster Link シリーズの色置換機能を組み合わせ、色見本に合わせた出力をします。

カラーシミュレーション機能により、画像の色調整作業が軽減

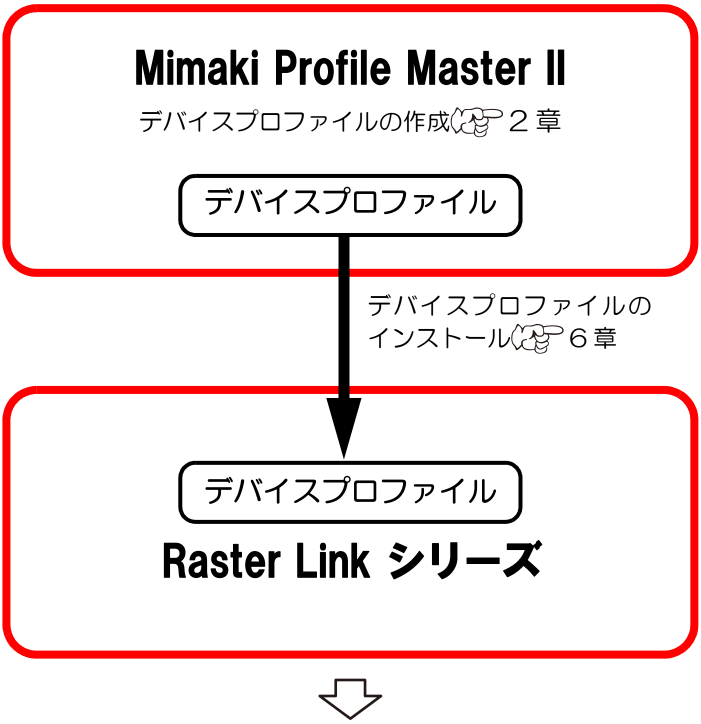
ミマキ製プリンタで出力したときの色を、モニターや校正用プリンタ（コンシューマープリンタ）で再現することができます。

プロファイルについて

Raster Link シリーズで使用する出力プロファイルを“**デバイスプロファイル**”と呼びます。
MPM II で作成できるプロファイルは、以下の２種類です。

- Raster Link シリーズで使用される、拡張子が [cot] のファイル
- Raster Link シリーズ（Raster Link Pro II v3 以降の Raster Link シリーズ）で使用される拡張子が [icc] のファイル

拡張子が cot のデバイスプロファイルは、Raster Link シリーズ用の独自フォーマットのファイルで、RIP 処理に必要な様々な情報が書き込まれています。
また、拡張子が icc のデバイスプロファイルは、ICC 準拠のフォーマットで Mimaki 独自の情報が追加されています。ICC プロファイルに対応した他社 RIP アプリケーションで出力プロファイルとして使用できます。
MPM IIで作成したデバイスプロファイルをRaster Linkシリーズにインストールすることによって、作成したデバイスプロファイルを適用した出力ができます。


Mimaki Profile Master II
デバイスプロファイルの作成☞２章
デバイスプロファイル
デバイスプロファイルの
インストール☞６章
デバイスプロファイル
Raster Link シリーズ

デバイスプロファイルを適用した出力ができます。

MPM II トライアル版の制限事項

MPM II トライアル版を使用する場合、以下の制限があります。

- ● 使用期間は 60 日間です。
- ● メディア名登録ができません。
- ● CMYK カラー、RGB カラー、モニターの ICC プロファイルを作成する機能が使用できません。

重 要!

♦ MPM II は２つのドングルを使用します。
黒色のドングル（MPM II ドングル）を使用しないと
　トライアル版として起動します。
紫色のドングル（ProfileMaker ドングル）を使用しないと
　MeasureTool5.0 と ColorPicker5.0 がデモモードで起動します。

１章
デバイスプロファイルを作成する前に

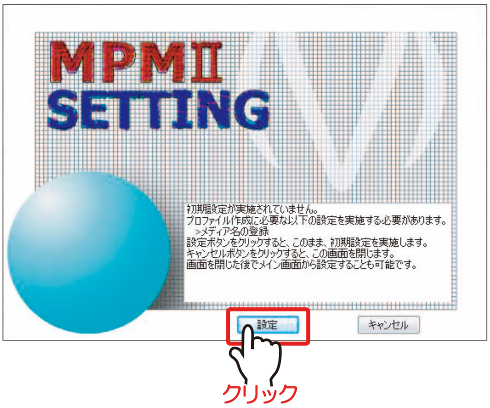
ＭＰＭⅡを起動する 1-2
各種設定をする 1-3
  メディア名を登録する 1-3
  測色器を選択する 1-6
  出力ポートの設定 1-7
  オプション設定 1-9
メインメニューについて 1-10

MPM Ⅱを起動する

1 MimakiProfileMasterII をダブルクリックし、MPM Ⅱ を起動します。

はじめてMPM Ⅱを起動すると右の画面を表示します。

- ♦ 2 回目以降の起動時でも、メディア名登録、測色器選択をしていない場合は、右の画面を表示します。



初期設定が実施されていません。
プロファイル作成に必要な以下の設定を実施する必要があります。
　>メディア名の登録
設定ボタンをクリックすると、このまま、初期設定を実施します。
キャンセルボタンをクリックすると、この画面を閉じます。
画面を閉じた後でメイン画面から設定することも可能です。

2 設定 をクリックし各種設定をします。

- ♦「メディア名の登録」が表示されている場合
  ☞ P. 1-3 手順 2 以降に進みます。
- ♦「測色器の選択」が表示されている場合
  ☞ P. 1-6 手順 2 以降に進みます。

各種設定をする

プロファイルを作成する前に、「メディア名の登録」（☞ このページ）と測色器の設定（☞ P. 1-6）をしてください。

メディア名を登録する

新規に使用したいメディア名を、データベースに登録します。

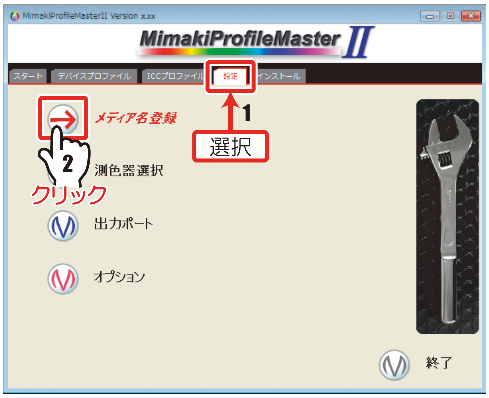
重 要 !
- ♦ MPM II のトライアル版を使用している場合、メディア名登録はできません。

メディア名の登録

使用したいメディア名を、データベースに登録します。

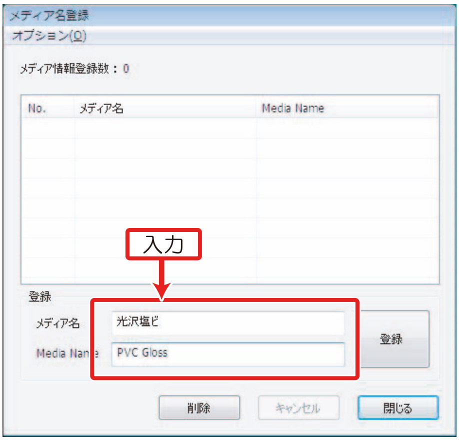
1 [設定]タブを選択し“メディア名登録”をクリックします。

メディア名登録のダイアログが表示されます。


MimakiProfileMasterII Version x.xx
MimakiProfileMaster II
スタート
デバイスプロファイル
ICCプロファイル
設定
インストール
メディア名登録
測色器選択
出力ポート
オプション
終了
1
選択
2
クリック

2 “メディア名”と“Media Name”を入力します。

メディア名　：日本語環境で使用するメディア名
Media Name：日本語環境以外で使用するメディア名


メディア名登録
オプション(O)
No.
メディア名
Media Name
入力
登録
登録
削除
キャンセル
閉じる

メディア情報登録数：0

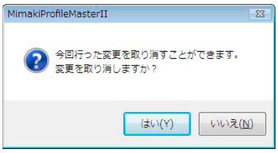
メディア名：光沢塩ビ
Media Name：PVC Gloss

重 要 !
- ♦ 入力できる文字数は、全角で最大 14 文字、半角で最大 29 文字です。
- ♦ 入力できない文字
  ' " \ * / ? : < > |（半角文字）
- ♦ すでに登録済みのメディア名や Media Name は登録できません。

③ 登録 をクリックします。

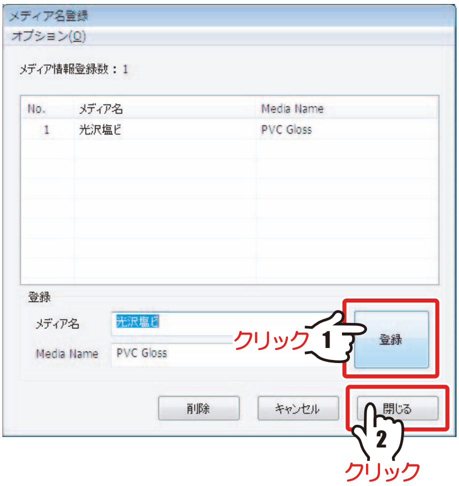
リストに、登録したメディア名が追加されます。

- ◆ メディア名の登録を中止したいときは
  (1) **キャンセル** をクリックする


MimakiProfileMasterII

今回行った変更を取り消すことができます。
変更を取り消しますか？

  (2) **はい** をクリックする


メディア名登録

オプション(O)

メディア情報登録数：1

No.	メディア名	Media Name
1	光沢塩ビ	PVC Gloss

登録

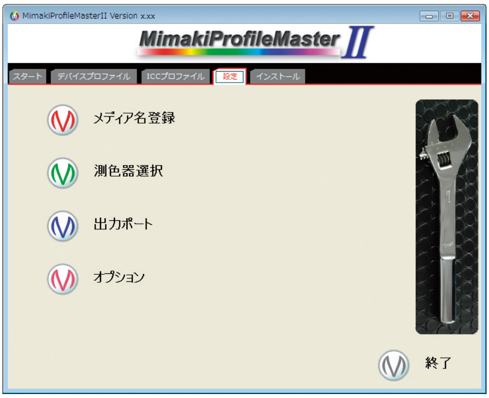
メディア名　光沢塩ビ

Media Name　PVC Gloss

登録
削除
キャンセル
閉じる
クリック
1
2
クリック

④ 閉じる をクリックします。

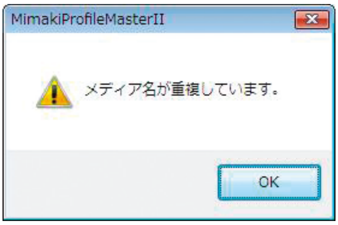
メインメニューに戻ります。


MimakiProfileMasterII Version x.xx

MimakiProfileMaster II
スタート
デバイスプロファイル
ICCプロファイル
設定
インストール
メディア名登録
測色器選択
出力ポート
オプション
終了

重 要！

- ◆ 登録済みのリストと同じメディア名、Media Name は登録できません。
  以下のエラーメッセージが表示されるので、再度別名で入力します。


MimakiProfileMasterII

メディア名が重複しています。

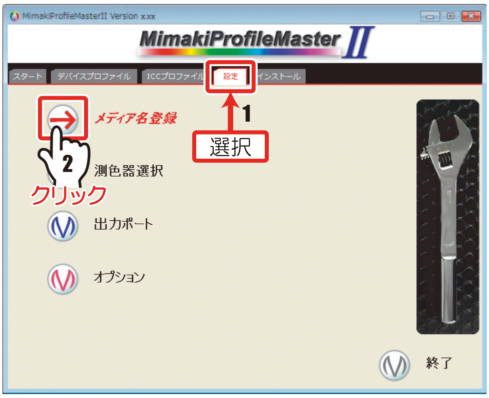
メディア名の削除

登録済みのメディア名を削除します。

重 要 !	♦ データベースに登録したメディア名ですでにデバイスプロファイルを作成済みの場合は、メディア名を削除しないでください。削除する必要がある場合は、新しいメディア名を登録後、プロファイルコピー機能（☞５章）を使い、新しいメディア名に書き換えてください。

1 **［設定］タブを選択し、“メディア名登録”をクリックします。**

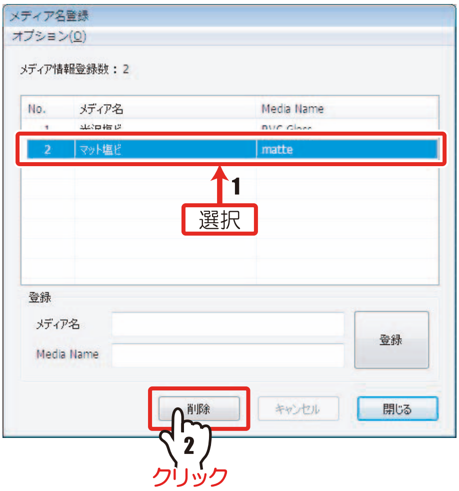
メディア名登録のダイアログに、登録済みのメディア名が表示されます。


MimakiProfileMasterII Version x.xx
MimakiProfileMaster II
スタート
デバイスプロファイル
ICCプロファイル
設定
インストール
メディア名登録
測色器選択
出力ポート
オプション
終了
1
選択
2
クリック

2 **削除したいメディア名を選択します。**

3 **削除** **をクリックします。**

確認のダイアログを表示します。

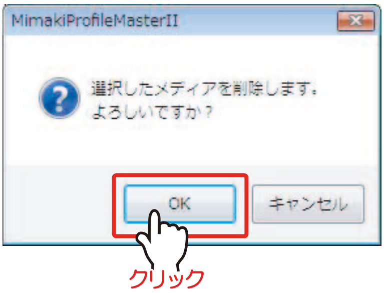

メディア名登録
オプション(O)
1
選択
登録
メディア名
Media Name
登録
削除
キャンセル
閉じる
2
クリック

メディア情報登録数：2

No.	メディア名	Media Name
1	[illegible]	[illegible]
2	マット塩ビ	matte

4 **OK** **をクリックします。**

選択したメディア名がリストから削除されます。


MimakiProfileMasterII
OK
キャンセル
クリック

選択したメディアを削除します。
よろしいですか？

5 **閉じる** **をクリックします。**

メインメニューに戻ります。

♦ **キャンセル** をクリックすると、削除は無効になります。

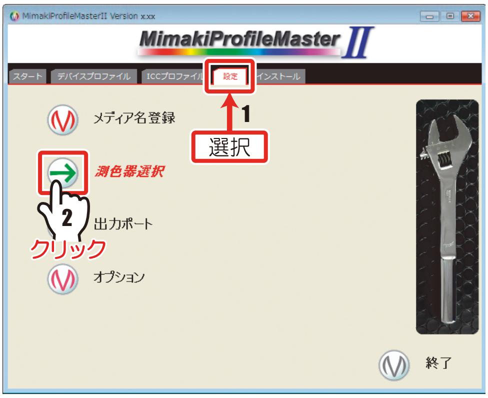
測色器を選択する

チャートを測色する測色器を選びます。

重 要!

- ♦ 測色器が PC と接続され、電源が入っていることを確認してください。
- ♦ USB を使用して測色器を接続する場合、ドライバのインストールが必要になります。測色器に付属の取扱説明書を参照し、ドライバをインストールしたあとに測色器と PC を接続してください。
- ♦ Windows7 で測色器を使用する場合、PC と接続したときにドライバのインストールに失敗することがあります。付録 “Windows7 で測色器をご利用の場合” を参照して、ドライバを更新してください。

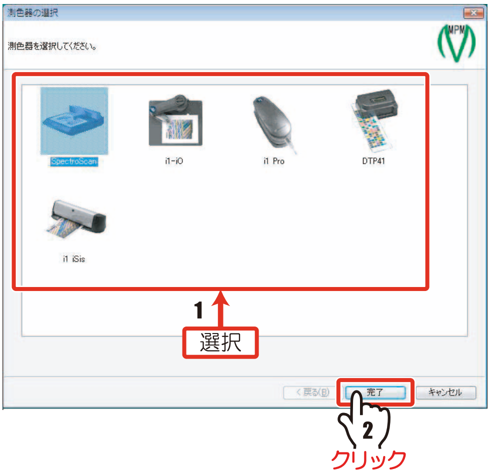
1 [設定] タブを選択し、“測色器選択” をクリックします。


MimakiProfileMasterII Version x.xx
MimakiProfileMaster II
スタート
デバイスプロファイル
ICCプロファイル
設定
インストール
1
選択
メディア名登録
測色器選択
2
クリック
出力ポート
オプション
終了

2 測色器を選択します。

3 完了 をクリックします。

メインメニューに戻ります。


測色器の選択

測色器を選択してください。

MPM
SpectroScan
i1-iO
i1 Pro
DTP41
i1 iSis
1
選択
< 戻る(B)
完了
キャンセル
2
クリック

出力ポートの設定

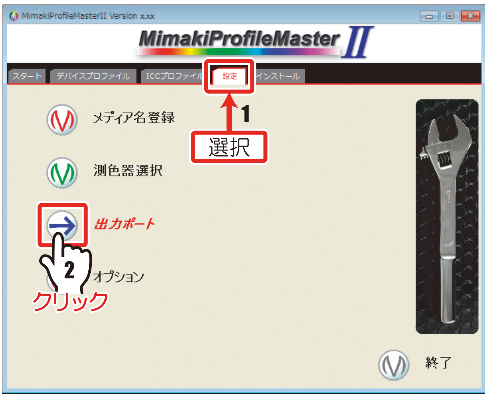
出力ポートについての詳細を設定できます。（必要なければ、設定変更は不要です。）

- ♦ 出力ポートの選択は、テストプリントやチャート出力をすると表示される“画像編集ダイアログ”で設定できます。（☞P. 2-60）

ファイル出力する場合

出力したファイルをプリンタへ送信するには、別途アプリケーションが必要になります（弊社 RIP でも出力できます）。出力したファイルをプリンタへ送信すると、画像を出力します。ただし、プロファイル作成時に設定したプリンタと異なるプリンタへ送信すると、「コマンドエラー」や「パラメーターエラー」が発生し、正しく出力しない場合があります。

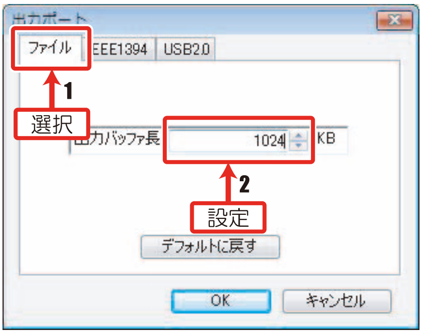
1 ［設定］タブを選択し、“出力ポート”をクリックします。


MimakiProfileMasterII Version x.xx
MimakiProfileMaster II
スタート
デバイスプロファイル
ICCプロファイル
設定
インストール
1
選択
メディア名登録
測色器選択
出力ポート
2
クリック
オプション
終了

2 ［ファイル］タブを選択し、“出力バッファ長”を設定します。

必要な場合は設定します。

- ♦ “出力バッファ長”を初期値に戻す場合は、 デフォルトに戻す をクリックします。


出力ポート
ファイル
IEEE1394
USB2.0
1
選択
出力バッファ長
1024
KB
2
設定
デフォルトに戻す
OK
キャンセル

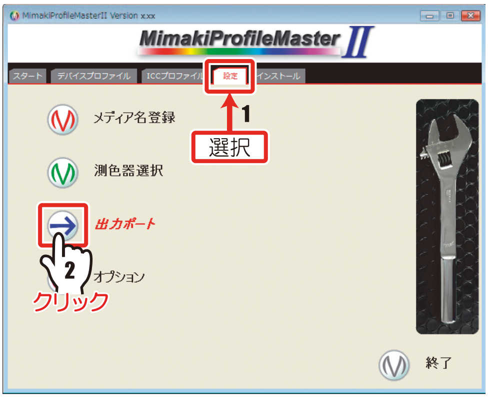
3 OK をクリックします。

メインメニューに戻ります。

プリンタに直接出力する場合

IEEE1394 または、USB2.0 ケーブルで接続してあるプリンタに、チャート等の出力処理をします。

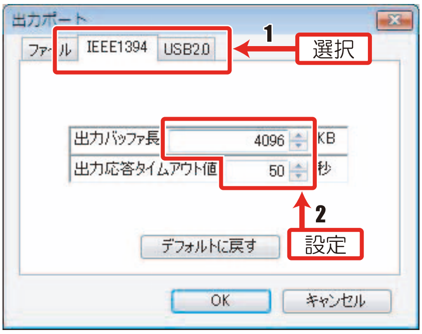
1 [設定] タブを選択し、“出力ポート” をクリックします。


MimakiProfileMasterII Version x.xx
MimakiProfileMaster II
スタート
デバイスプロファイル
ICCプロファイル
設定
インストール
1
選択
メディア名登録
測色器選択
出力ポート
2
クリック
オプション
終了

2 [IEEE1394] または [USB2.0] タブを選択し、“出力バッファ長”、“出力応答タイムアウト値”を設定します。

必要な場合は設定します。

♦ “出力バッファ長”、“出力応答タイムアウト値”を初期値に戻す場合は、**デフォルトに戻す** をクリックします。


出力バッファ長 4096 KB
出力応答タイムアウト値 50 秒
出力ポート
ファイル
IEEE1394
USB2.0
1
選択
2
設定
デフォルトに戻す
OK
キャンセル

3 **OK** をクリックします。

メインメニューに戻ります。

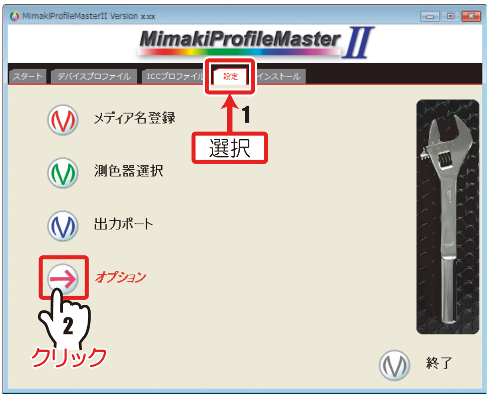
オプション設定

オプション設定では、次の設定ができます。

表　示 ： 長さの単位を mm/inch のどちらで表示するか選択
動　作 ： 設定をしておけば、デバイスプロファイルの ICC プロファイル作成ページで［テストプリント］を実行したとき、出力後に自動的にインク消費予測量を表示します。
ラベル ： デバイスプロファイルの作成 / 編集で、画像をプリントするときに印刷する項目を選択します。

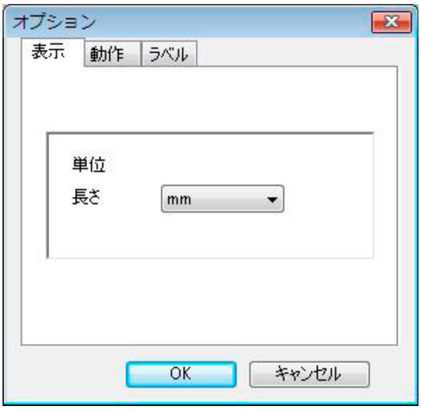
- **デバイスプロファイル名**
  - デバイスプロファイル名を印字。（作成中は「未設定」を印字）
- **画像ファイル名**
  - 印刷した画像ファイルの名前を印字。
- **初期設定の印刷条件**
  - パス数 / 重ね塗り回数 / 印刷方向 / 高速印刷の設定 / ハーフトーンの設定を印字。
- **テストプリント時の印刷条件**
  - テストプリント時に個別に設定した項目を印字。
- **プロファイルデータ情報**
  - メディア補正値 / インクリミット値 / バリアブルドットとライトインクの設定値 / インポートしたファイル名のうち、設定されている項目を印字。

1. **[設定] タブを選択し、“オプション” を選択します。**


MimakiProfileMasterII Version x.xx
MimakiProfileMaster II
スタート
デバイスプロファイル
ICCプロファイル
設定
インストール
1
選択
メディア名登録
測色器選択
出力ポート
オプション
2
クリック
終了

2. **設定するタブを選択します。**

   [表示][動作][ラベル] から、設定するタブを選択します。


オプション
表示
動作
ラベル
単位
長さ
mm
OK
キャンセル

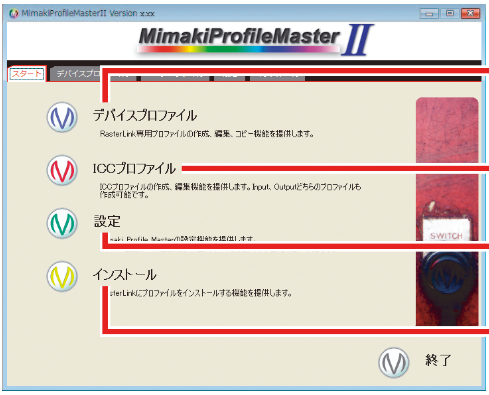
3. **設定します。**

   表　示 ： 表示する単位を選ぶ
   動　作 ： チェックを ON にすると、印刷後に予測されるインク消費量を表示する
   ラベル ： 印刷する項目をチェック

4. **［OK］をクリックします。**

メインメニューについて

MPM II を起動すると “メインメニュー画面” が表示されます。メインメニュー画面には、“デバイスプロファイル画面”/“ICC プロファイル画面”/“設定画面”/“インストール画面”があります。


MimakiProfileMasterII Version x.xx
MimakiProfileMaster II
スタート
デバイスプロ
デバイスプロファイル
ICCプロファイル
設定
インストール
終了

RasterLink専用プロファイルの作成、編集、コピー機能を提供します。

ICCプロファイルの作成、編集機能を提供します。Input、Outputどちらのプロファイルも作成可能です。

naki Profile Masterの設定機能を提供します。

sterLinkにプロファイルをインストールする機能を提供します。

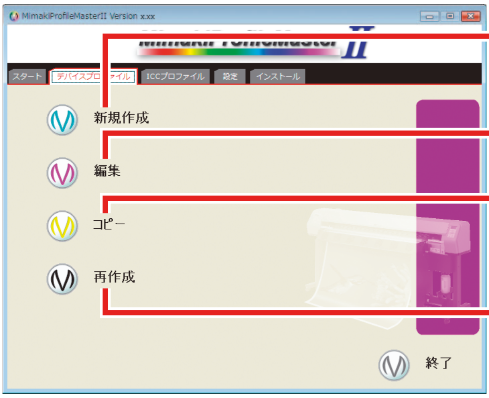
Raster Link 専用プロファイルの作成･編集･コピー画面を表示します。

ICC プロファイルの作成画面を表示します。

MPM II の設定画面を表示します。

インストール機能の画面を表示します。

デバイスプロファイル画面


MimakiProfileMasterII Version x.xx
スタート
デバイスプロ
ァイル
ICCプロファイル
設定
インストール
新規作成
編集
コピー
再作成
終了

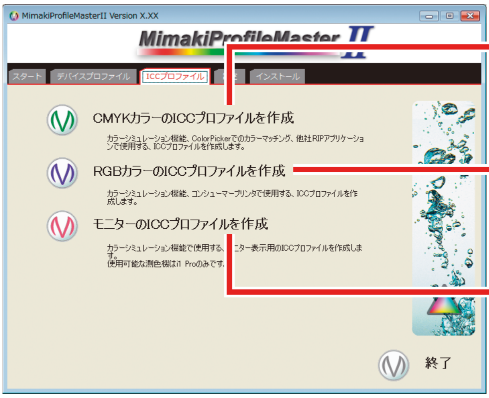
デバイスプロファイルを作成します。☞２章

作成したデバイスプロファイルを編集します。☞３章

作成したデバイスプロファイルを違う機種やインクセットのデバイスプロファイルに作り変えます。☞５章

作成中断（☞P. 2-67）した中断ファイルを使用し、再作成します。☞P. 2-68

ICC プロファイル画面


MimakiProfileMasterII Version X.XX
MimakiProfileMaster II
スタート
デバイスプロファイル
ICCプロファイル
インストール
CMYKカラーのICCプロファイルを作成
RGBカラーのICCプロファイルを作成
モニターのICCプロファイルを作成
終了

カラーシミュレーション機能、ColorPickerでのカラーマッチング、他社RIPアプリケーションで使用する、ICCプロファイルを作成します。

カラーシミュレーション機能、コンシューマープリンタで使用する、ICCプロファイルを作成します。

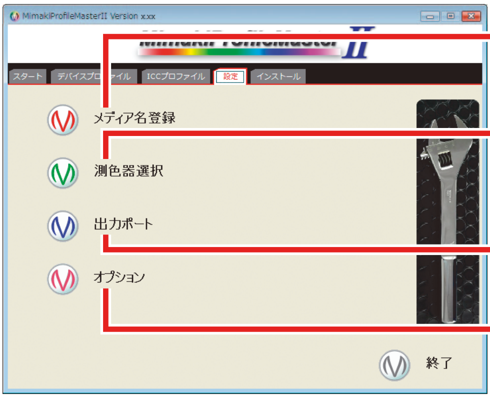
カラーシミュレーション機能で使用する、 ニター表示用のICCプロファイルを作成します。
使用可能な測色機はi1 Proのみです。

CMYKカラーのICCプロファイルを作成します。☞P. 6-3

RGB カラーの ICC プロファイルを作成します。☞P. 6-7

モニターの ICC プロファイルを作成します。☞P. 6-11

設定画面


MimakiProfileMasterII Version xxx
MimakiProfileMaster II
スタート
デバイスプロファイル
ICCプロファイル
設定
インストール
メディア名登録
測色器選択
出力ポート
オプション
終了

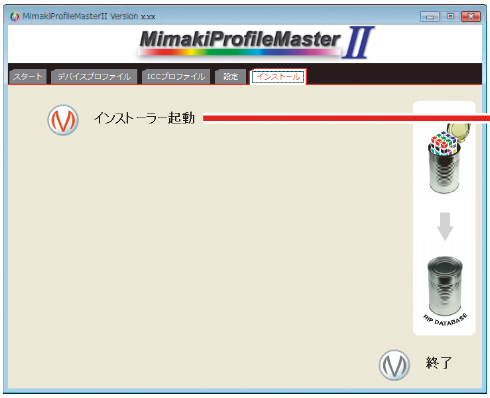
作成するデバイスプロファイルのメディアを登録します。 ☞P. 1-3

デバイス/ICCプロファイルを作成するときに使う測色器を選択します。☞P. 1-6

出力ポートの詳細を設定します。 ☞P. 1-7

表示単位の設定など、各種補助機能の設定をします。☞P. 1-9

インストール画面


MimakiProfileMasterII Version xxx
MimakiProfileMaster II
スタート
デバイスプロファイル
ICCプロファイル
設定
インストール
インストーラー起動
RIP DATABASE
終了

作成したデバイス / 入力プロファイルを Raster Link Pro 以外の Raster Link シリーズにインストール・アンインストールします。 ☞P. 7-4

2章
デバイスプロファイルを作成する

デバイスプロファイルを作成する手順を説明します。

デバイスプロファイル作成の流れ 2-2
デバイスプロファイルを作成する 2-4
フォーマットの選択 2-4
プロファイル条件の設定 2-5
メディア固有情報の設定 2-7
バリアブルドットの設定（バリアブルドット選択時のみ） 2-12
全体のインクリミットの設定（プロファイル (V3) を選んだ場合） 2-15
インクリミットの設定（プロファイル (V2) を選んだ場合） 2-19
ライトインク使用比率の設定（ライトインク選択時のみ） 2-23
リニアライゼーションの自動調整 2-24
3 次色のインクリミットの設定（プロファイル (V3) を選んだ場合） 2-42
グレーバランスの自動調整 2-46
ICC プロファイルの作成 2-49
キャリブレーションの基準設定（プロファイル (V3) を選んだ場合） 2-53
デバイスプロファイルの保存 2-56
機能ボタンについて 2-57
テストプリントボタン、チャート出力ボタン 2-57
インポートボタン 2-61
カーブ編集ボタン 2-62
調整ボタン 2-64
作成中断ボタン 2-67
再作成 2-68
測色値ファイルの読み込み 2-70

デバイスプロファイル作成の流れ

◆ フォーマットの選択　☞ P 2-4

お使いの Raster Link によって、デバイスプロファイルのフォーマットを選択します。

Raster Link Pro II Ver.3 以降の Raster Link シリーズの場合：プロファイル (V3) を選択
すべての Raster Link シリーズで使いたい場合：プロファイル (V2) を選択

◆ プロファイル条件の設定　☞ P 2-5

デバイスプロファイルを作成するときの条件（プリンタ、インクセット、解像度など）を設定します。

◆ メディア固有情報の設定　☞ P 2-7

必要な場合は、メディア固有情報（メディア補正値、ヒーター温度など）を設定します。

◆ バリアブルドットの設定 (バリアブルドット選択時のみ)　☞ P 2-12

出力するインクセットに合ったバリアブルドットを選択し、出力確認します。

「フォーマットの選択」で選んだフォーマットによって作成手順が変わります。

プロファイル **(V3)** を選んだ場合

プロファイル **(V2)** を選んだ場合

◆ 全体のインクリミットの設定 (プロファイル (V3) を選んだ場合)　☞ P 2-15

チャートを出力して、メディアに乗せることのできるインクリミットを調整します。

◆ インクリミットの設定 (プロファイル (V2) を選んだ場合)　☞ P 2-19

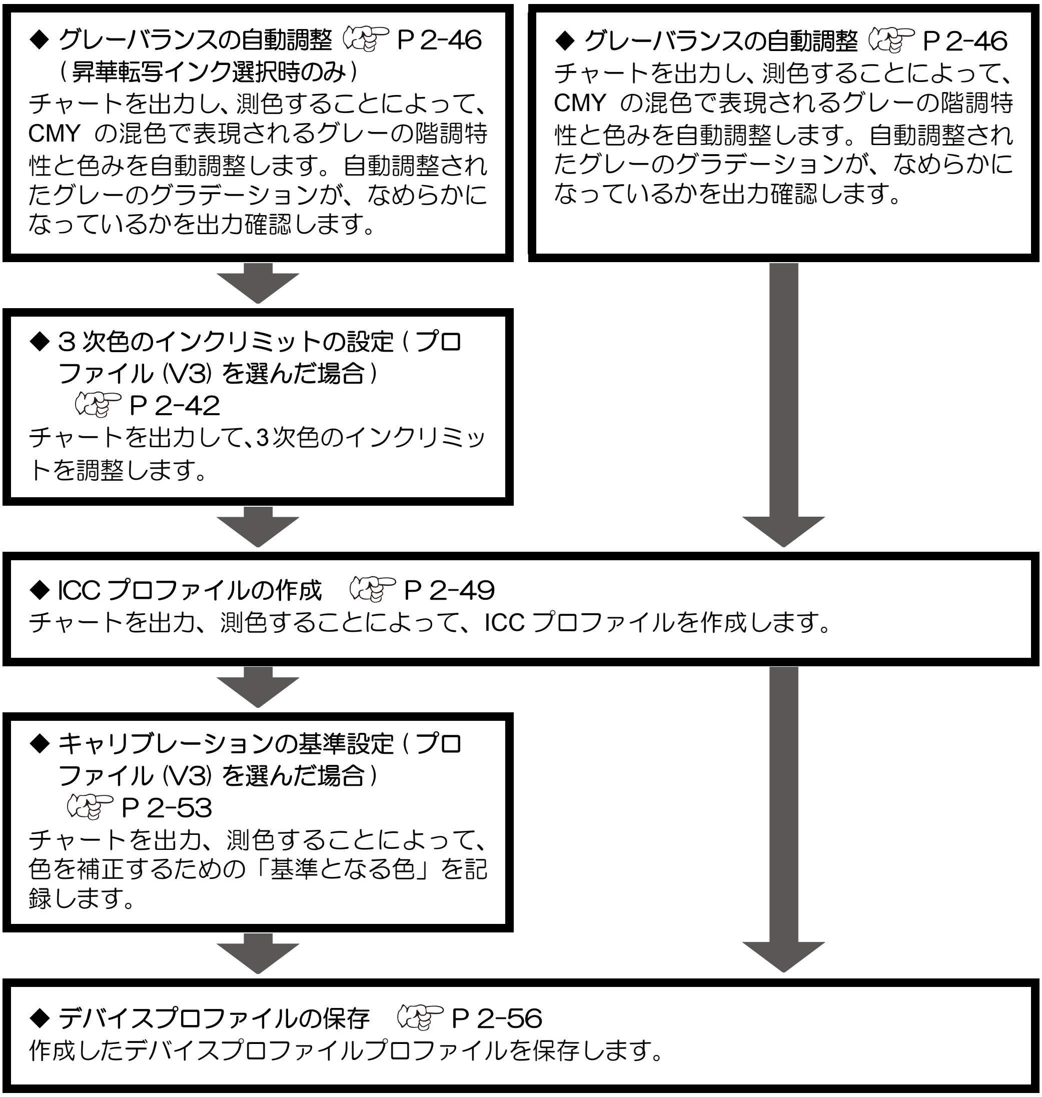
チャートを出力して、メディアに乗せることのできるインクリミットを調整します。

◆ ライトインク使用比率の設定 (ライトインク選択時のみ)　☞ P 2-23

メディアに合ったライトインクの使用方法を選択し、出力確認します。

◆ リニアライゼーションの自動調整　☞ P 2-24

チャートを出力し、測色することによって、CMYK インク各色の階調特性を自動調整します。
自動調整された CMYK 各色のグラデーションがなめらかになっているかを出力確認します。



◆ グレーバランスの自動調整 ☞ P 2-46
（昇華転写インク選択時のみ）
チャートを出力し、測色することによって、CMY の混色で表現されるグレーの階調特性と色みを自動調整します。自動調整されたグレーのグラデーションが、なめらかになっているかを出力確認します。

◆ グレーバランスの自動調整 ☞ P 2-46
チャートを出力し、測色することによって、CMY の混色で表現されるグレーの階調特性と色みを自動調整します。自動調整されたグレーのグラデーションが、なめらかになっているかを出力確認します。

◆ 3 次色のインクリミットの設定 (プロファイル (V3) を選んだ場合)
☞ P 2-42
チャートを出力して、3次色のインクリミットを調整します。

◆ ICC プロファイルの作成　☞ P 2-49
チャートを出力、測色することによって、ICC プロファイルを作成します。

◆ キャリブレーションの基準設定 (プロファイル (V3) を選んだ場合)
☞ P 2-53
チャートを出力、測色することによって、色を補正するための「基準となる色」を記録します。

◆ デバイスプロファイルの保存　☞ P 2-56
作成したデバイスプロファイルプロファイルを保存します。

デバイスプロファイルを作成する

フォーマットの選択

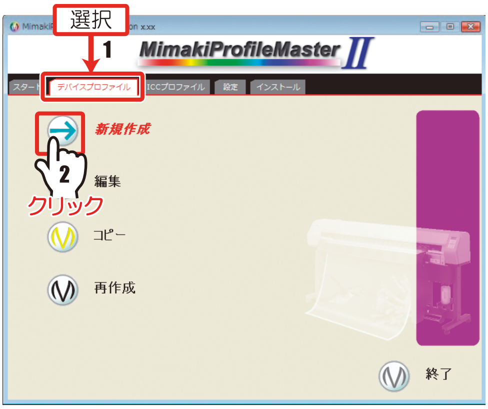
お使いの Raster Link に合わせて、デバイスプロファイルのフォーマットを選択してください。

すべての Raster Link シリーズで使用できるプロファイルを作成したい場合
→ プロファイル (V2) を選択してください。
Raster Link Pro II Ver.3 以降の Raster Link シリーズの場合
→ プロファイル (V3) を選択してください。
プロファイル (V3) では、より高画質な出力結果が得られます。

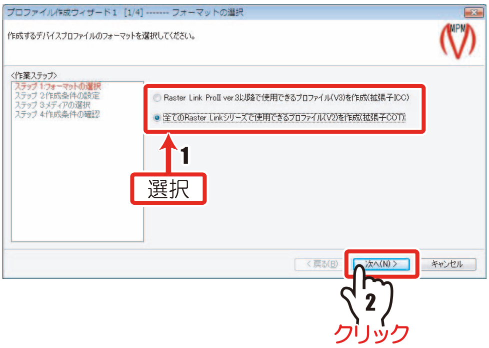
♦ あらかじめ、メディア名の登録をしてください。（☞ P 1-3 ）
メディア名が登録されていない場合、デバイスプロファイルの新規作成を選択できません。

1 ［デバイスプロファイル］タブを選択し、“新規作成” をクリックします。

プロファイル作成ウィザード 1 が表示されます。


選択
1
Mimaki... on x.xx
MimakiProfileMaster II
スタート
デバイスプロファイル
ICCプロファイル
設定
インストール
新規作成
2
クリック
編集
コピー
再作成
終了

2 お使いの Raster Link シリーズに合わせてフォーマットの選択をします。



プロファイル作成ウィザード 1 [1/4] ------- フォーマットの選択

作成するデバイスプロファイルのフォーマットを選択してください。

<作業ステップ>
ステップ 1:フォーマットの選択
ステップ 2:作成条件の設定
ステップ 3:メディアの選択
ステップ 4:作成条件の確認

○ Raster Link ProII ver.3以降で使用できるプロファイル(V3)を作成(拡張子ICC)
● 全てのRaster Linkシリーズで使用できるプロファイル(V2)を作成(拡張子COT)

1
選択
< 戻る(B)
次へ(N) >
キャンセル
2
クリック

3 次へ をクリックします。

2-5 ページ「プロファイル条件の設定」へ続く

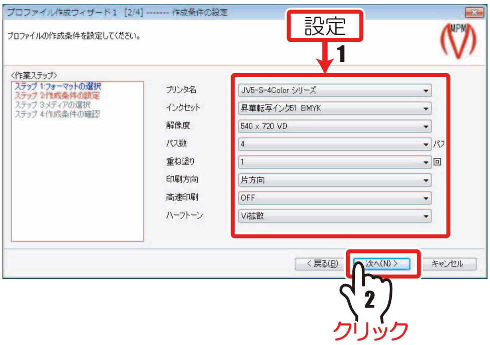
プロファイル条件の設定

プロファイル作成に必要な条件と、使用するメディアの選択をします。
作成条件は以下の９種類です。

- プリンタ名
- 印刷方向
- インクセット
- 高速印刷の ON/OFF
- 解像度
- ハーフトーン
- パス数
- メディア名
- 重ね塗り回数

2-4 ページ「フォーマットの選択」から

1 プロファイルの作成条件を設定し、次へ をクリックします。



プロファイル作成ウィザード１　[2/4] ------- 作成条件の設定

プロファイルの作成条件を設定してください。

<作業ステップ>
ステップ 1:フォーマットの選択
ステップ 2:作成条件の設定
ステップ 3:メディアの選択
ステップ 4:作成条件の確認

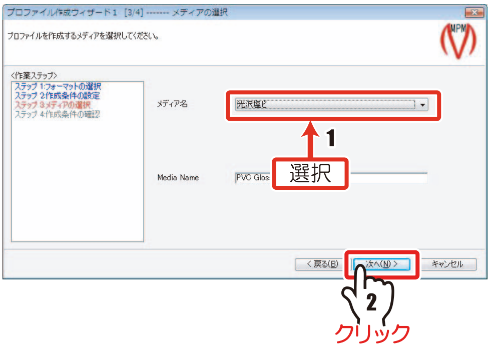
プリンタ名: JV5-S-4Color シリーズ
インクセット: 昇華転写インク51 BMYK
解像度: 540 x 720 VD
パス数: 4 パス
重ね塗り: 1 回
印刷方向: 片方向
高速印刷: OFF
ハーフトーン: Vi拡散

◆ プリンタ、インクセット、解像度、パス数、印刷方向および高速印刷は、選択できる組み合わせが決まっています。
◆ 電飾メディアでは透過する光によって色が再現されるため、重ね塗り回数を増やして濃度の高い印刷を行ってください。

2 メディア名を選択し、次へ をクリックします。

メディア名登録（☞ P 1-3 ）で登録したメディア名の中から選択します。

日本語名を選択すると、対応する英語名を表示します。日本語環境以外の Raster Link シリーズでは、英語名のメディア名を表示します。



プロファイル作成ウィザード１　[3/4] ------- メディアの選択

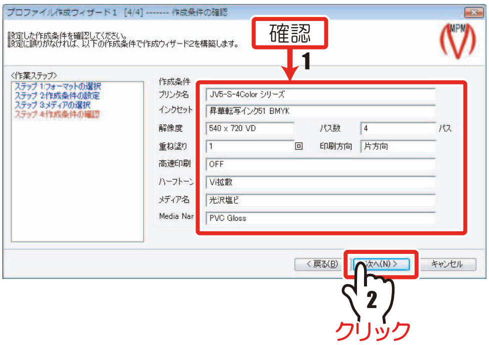
プロファイルを作成するメディアを選択してください。

<作業ステップ>
ステップ 1:フォーマットの選択
ステップ 2:作成条件の設定
ステップ 3:メディアの選択
ステップ 4:作成条件の確認

メディア名: 光沢塩ビ
Media Name: PVC Glos

3 設定した作成条件を確認します。

変更する場合、**戻る** をクリックし、作成条件を変更します。



プロファイル作成ウィザード 1 [4/4] ------- 作成条件の確認

設定した作成条件を確認してください。
設定に誤りがなければ、以下の作成条件で作成ウィザード2を構築します。

<作業ステップ>
ステップ 1:フォーマットの選択
ステップ 2:作成条件の設定
ステップ 3:メディアの選択
ステップ 4:作成条件の確認

作成条件
プリンタ名: JV5-S-4Color シリーズ
インクセット: 昇華転写インク51 BMYK
解像度: 540 x 720 VD
パス数: 4 パス
重ね塗り: 1 回
印刷方向: 片方向
高速印刷: OFF
ハーフトーン: Vi拡散
メディア名: 光沢塩ビ
Media Nar: PVC Gloss

4 **次へ** をクリックします。

プロファイル作成ウィザード 2 が表示されます。

重 要！	♦ プロファイル作成ウィザード2から、プロファイル作成ウィザード1へ戻ることはできません。プロファイルウィザード 2 に移ってからプロファイル条件を変更する場合は、**キャンセル** をクリックして、手順 1 からやり直してください。

2-7 ページ「メディア固有情報の設定」へ続く ➡

メディア固有情報の設定

必要な場合は、メディア固有情報（メディア補正値、ヒーター温度、ドットサイズ、メディア送り速度）を設定します。

重 要！	♦ Raster Link シリーズでは、初期設定で、プリンタのパネルの設定を優先しています。プロファイルで設定する必要がある場合は、ここで設定してください。

2-6 ページ「プロファイル条件の設定」から

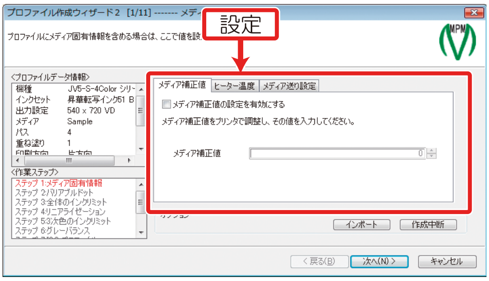
1 必要な場合に、以下の各項目を設定します。

表示する項目は、プロファイル作成条件を設定したときのプリンタの種類などで異なります。

- メディア補正値

♦ 以下のプリンタを設定した場合に表示します。
JV5-S シリーズ、JV5-320S、JV3-S シリーズ、JV3-SP シリーズ、JV4 シリーズ、JV22 シリーズ、JV33-S シリーズ、JV33-BS シリーズ、CJV30 シリーズ、UJV-160、GP-604/604S/604D、GP-1810 シリーズ、DM2-1810、DM3、DS シリーズ、TPC、TS3-1600、TS5-1600AMF、Tx400

プリンタでメディア補正を行い、その値を設定します。
値をデバイスプロファイルに書き込む場合は、“メディア補正値の設定を有効にする” のチェックボックスを ON にして、値を入力します。


プロファイル作成ウィザード2　[1/11] ------- メディ
設定
MPM
<プロファイルデータ情報>
<作業ステップ>
ステップ 1:メディア固有情報
ステップ 2:バリアブルドット
ステップ 3:全体のインクリミット
ステップ 4:リニアライゼーション
ステップ 5:3次色のインクリミット
ステップ 6:グレーバランス
メディア補正値
ヒーター温度
メディア送り設定
インポート
作成中断
< 戻る(B)
次へ(N) >
キャンセル

プロファイルにメディア固有情報を含める場合は、ここで値を設

機種　JV5-S-4Color シリ
インクセット　昇華転写インク51 B
出力設定　540 x 720 VD
メディア　Sample
パス　4
重ね塗り　1

□ メディア補正値の設定を有効にする

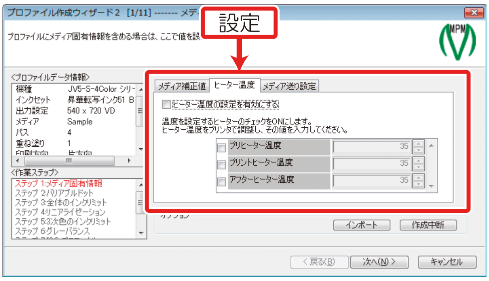
メディア補正値をプリンタで調整し、その値を入力してください。

メディア補正値　0

- ヒーター温度

♦ 以下のプリンタを設定した場合に表示します。
JV5-S シリーズ、JV5-320S、JV3-S シリーズ、JV3-SP シリーズ、JV33-S シリーズ、JV33-BS シリーズ、CJV30 シリーズ、GP-604/604S/604D、TPC、TS3-1600、TS5-1600AMF

プリンタで最適なヒーター温度を確認し、確認した値を設定してください。
デバイスプロファイルに書き込む場合は、“ヒーター温度の設定を有効にする” のチェックボックスを ON にして、値を入力します。


プロファイル作成ウィザード2　[1/11] ------- メディ
設定
MPM
<プロファイルデータ情報>
<作業ステップ>
ステップ 1:メディア固有情報
ステップ 2:バリアブルドット
ステップ 3:全体のインクリミット
ステップ 4:リニアライゼーション
ステップ 5:3次色のインクリミット
ステップ 6:グレーバランス
メディア補正値
ヒーター温度
メディア送り設定
インポート
作成中断
< 戻る(B)
次へ(N) >
キャンセル

プロファイルにメディア固有情報を含める場合は、ここで値を設

機種　JV5-S-4Color シリ
インクセット　昇華転写インク51 B
出力設定　540 x 720 VD
メディア　Sample
パス　4
重ね塗り　1

□ ヒーター温度の設定を有効にする

温度を設定するヒーターのチェックをONにします。
ヒーター温度をプリンタで調整し、その値を入力してください。

□ プリヒーター温度　35
□ プリントヒーター温度　35
□ アフターヒーター温度　35

重 要！	♦ ヒーターの適温設定については、各機種の取扱説明書をご覧ください。

● ドットサイズ

ドットサイズの設定ができるのは、次の場合のみです。

1. JV3-SP/SL で SS2 インクを使用している場合（☞ このページ）
2. JV3-SP/SL で ES3 インクを使用している場合（☞ P 2-9）
3. JF-1631/1610、JFX、UJV-160、UJF-706,UJF-3042,Tx400 を使用している場合（☞ P 2-10）

JV3-SP/SL で SS2 インクを使用している場合

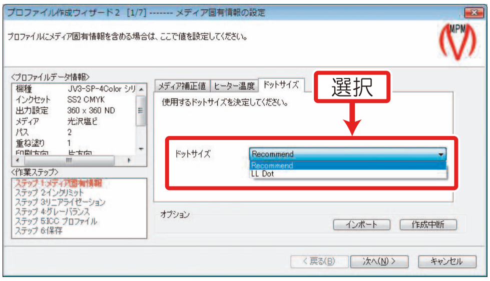
♦ プロファイル作成条件の詳細は以下のようになります。

- プリンタ：JV3-SP-4Color シリーズ、JV3-SP-8Color シリーズ
- インクセット：SS2 CMYK、SS2 CMYKLcLm
- 出力設定：360 x 360 ND、360 x 360 VD、360 x 540 ND、360 x 540 VD、360 x 540 HQ ND、360 x 540 HQ VD、360 x 720 ND、360 x 720 VD

次の２つから、出力時に使用するドットの大きさを指定します。

・Recommend
：推奨値です。普段はこの設定を選択してください。

・LL ドット
：Recommend にしたときよりも、ドットが大きくなります。Recommend に設定したとき、全体的に薄い、またはスジが発生する場合に選択してください。



プロファイル作成ウィザード２ [1/7] ------- メディア固有情報の設定

プロファイルにメディア固有情報を含める場合は、ここで値を設定してください。

<プロファイルデータ情報>

機種　JV3-SP-4Color シリ
インクセット　SS2 CMYK
出力設定　360 x 360 ND
メディア　光沢塩ビ
パス　2
重ね塗り　1
印刷方向　片方向

<作業ステップ>

ステップ 1:メディア固有情報
ステップ 2:インクリミット
ステップ 3:リニアライゼーション
ステップ 4:グレーバランス
ステップ 5:ICC プロファイル
ステップ 6:保存

使用するドットサイズを決定してください。

ドットサイズ　Recommend

重 要！

♦ LL ドットに設定すると、Recommend の場合よりも作図時間が長くなります。

♦ LL ドットの設定は、JV3-SP のファームウェアが Ver6.2 以上で使用可能です。ファームウェアのバージョン確認方法は、プリンタの取扱説明書をご覧ください。

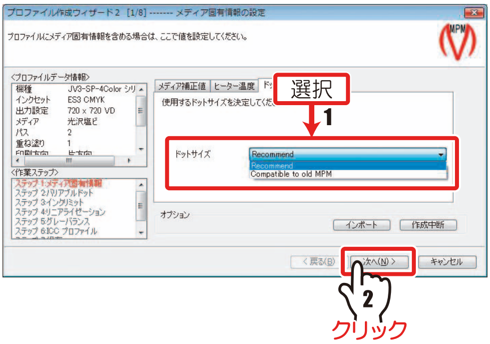
♦ 本体にSS2インクがセットされていない場合、LL ドットの設定は無視されます。

♦ Raster Link シリーズにプロファイルをインストールしたとき、使用しているドットサイズを見分けるために、メディア名に LL ドットを使用している旨の記述をすることをお勧めします。

JV3-SP/SL で ES3 インクを使用している場合

◆プロファイル作成条件の詳細は以下のようになります。
- ・プリンタ　　　：JV3-SP-4Color シリーズ、JV3-SP-8Color シリーズ
- ・インクセット：ES3 CMYK、ES3 CMYKLcLm
- ・出力設定　　　：720 x 720 VD、720 x 1440VD、1440 x 1440 VD

次の２つから､出力時に使用するドットの大きさを指定します。
- ・Recommend
  ：推奨値です。
  JV3SP および JV3SL のファームウェア　Ver.7.40 以降をお使いの場合は、この設定を選択してください。
- ・Compatible to old MPM
  ：JV3SP および JV3SL のファームウェア　Ver.7.30 以前をお使いの場合は、この設定を選択してください。



プロファイル作成ウィザード２　[1/8] ------- メディア固有情報の設定

プロファイルにメディア固有情報を含める場合は、ここで値を設定してください。

<プロファイルデータ情報>

機種　JV3-SP-4Color シリ
インクセット　ES3 CMYK
出力設定　720 x 720 VD
メディア　光沢塩ビ
パス　2
重ね塗り　1

<作業ステップ>

ステップ 1:メディア固有情報
ステップ 2:バリアブルドット
ステップ 3:インクリミット
ステップ 4:リニアライゼーション
ステップ 5:グレーバランス
ステップ 6:ICC プロファイル

使用するドットサイズを決定してくだ

ドットサイズ　Recommend

MPM
メディア補正値
ヒーター温度
選択
1
Recommend
Compatible to old MPM
オプション
インポート
作成中断
< 戻る(B)
次へ(N) >
キャンセル
2
クリック

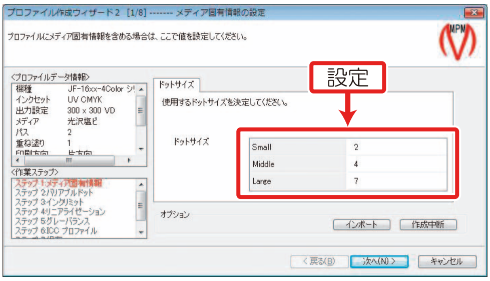
重 要！	◆ JV3-SP/SL のファームウェアが Ver7.30 以前のときに“Recommend”を選択すると、プリンタがパラメータエラーを表示します。作図は可能ですが、濃度が薄くなります。 ◆ファームウェアのバージョン確認方法は、プリンタの取扱説明書をご覧ください。

JF-1631/1610、JFX、UJV-160、UJF-706,UJF-3042,Tx400 を使用している場合

♦ プロファイル作成条件の詳細は以下のようになります。
- プリンタ： JF-16XX-4Color シリーズ、JF-16XX-8Color シリーズ、UJV-160-4Color、JFX-4Color、JFX-8Color、UJF-706-6Color、UJF-706-8Color、UJF-3042-6Color、Tx400-4Color、Tx400-8Color

出力設定を“VD”にしているとき
次の 3 種類のドットサイズを設定できます。

Small ：一番小さいドットサイズ
Middle：中間のドットサイズ
Large ：一番大きいドットサイズ



プロファイル作成ウィザード 2 [1/8] ------- メディア固有情報の設定

プロファイルにメディア固有情報を含める場合は、ここで値を設定してください。

<プロファイルデータ情報>

機種	JF-16xx-4Color シ
インクセット	UV CMYK
出力設定	300 x 300 VD
メディア	光沢塩ビ
パス	2
重ね塗り	1

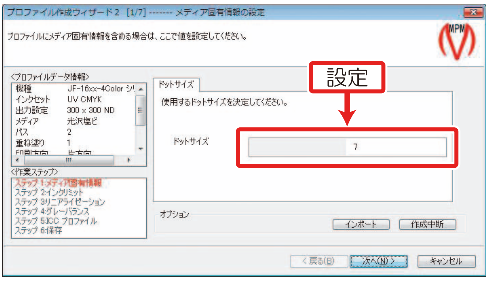
<作業ステップ>
ステップ 1:メディア固有情報
ステップ 2:バリアブルドット
ステップ 3:インクリミット
ステップ 4:リニアライゼーション
ステップ 5:グレーバランス
ステップ 6:ICC プロファイル

使用するドットサイズを決定してください。

ドットサイズ

Small	2
Middle	4
Large	7

出力設定を“ND”にしているとき
ノーマルドットのドットサイズを設定できます。



プロファイル作成ウィザード 2 [1/7] ------- メディア固有情報の設定

プロファイルにメディア固有情報を含める場合は、ここで値を設定してください。

<プロファイルデータ情報>

機種	JF-16xx-4Color シ
インクセット	UV CMYK
出力設定	300 x 300 ND
メディア	光沢塩ビ
パス	2
重ね塗り	1

<作業ステップ>
ステップ 1:メディア固有情報
ステップ 2:インクリミット
ステップ 3:リニアライゼーション
ステップ 4:グレーバランス
ステップ 5:ICC プロファイル
ステップ 6:保存

使用するドットサイズを決定してください。

ドットサイズ 7

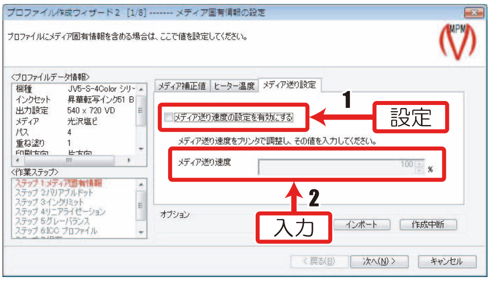
重 要！

- ♦ ドットサイズは、Small ≦ Middle ≦ Large となるように設定してください。
- ♦ ドットサイズは、Large → Middle → Small の順番で設定することをお勧めします。
- ♦ JF-16XX シリーズのドットサイズの設定は、ファームウェアが Ver2.80 以上で使用可能です。ファームウェアのバージョンは、プリンタの電源を入れたときに表示されます。
- ♦ UJF-3042、Tx400 のドットサイズの設定では、設定できるサイズの組み合わせが決められています。

●メディア送り設定

♦以下のプリンタを設定した場合に表示します。

- ・JV5-S シリーズ
- ・JV5-320S
- ・JV33-S シリーズ
- ・JV33-BS シリーズ
- ・CJV30 シリーズ
- ・TPC
- ・TS3-1600
- ・TS5-1600AMF
- ・Tx400


プロファイル作成ウィザード 2 [1/8] ------- メディア固有情報の設定

プロファイルにメディア固有情報を含める場合は、ここで値を設定してください。

<プロファイルデータ情報>

機種	JV5-S-4Color シリ-
インクセット	昇華転写インク51 B
出力設定	540 x 720 VD
メディア	光沢塩ビ
パス	4
重ね塗り	1
印刷方向	片方向

<作業ステップ>

ステップ 1:メディア固有情報
ステップ 2:バリアブルドット
ステップ 3:インクリミット
ステップ 4:リニアライゼーション
ステップ 5:グレーバランス
ステップ 6:ICC プロファイル

☐ メディア送り速度の設定を有効にする

メディア送り速度をプリンタで調整し、その値を入力してください。

メディア送り速度 100 %

(1)“メディア送り速度の設定を有効にする” のチェックボックスを ON にしてから
(2)プリンタで設定したメディア送り速度の値を入力します。

重いメディアや貼り付きやすいメディア、ロールがたわんでいるメディアなどをご使用になると、送り精度に影響が出る場合があります。送り速度を遅めに設定することで、その影響を減少させることができます。

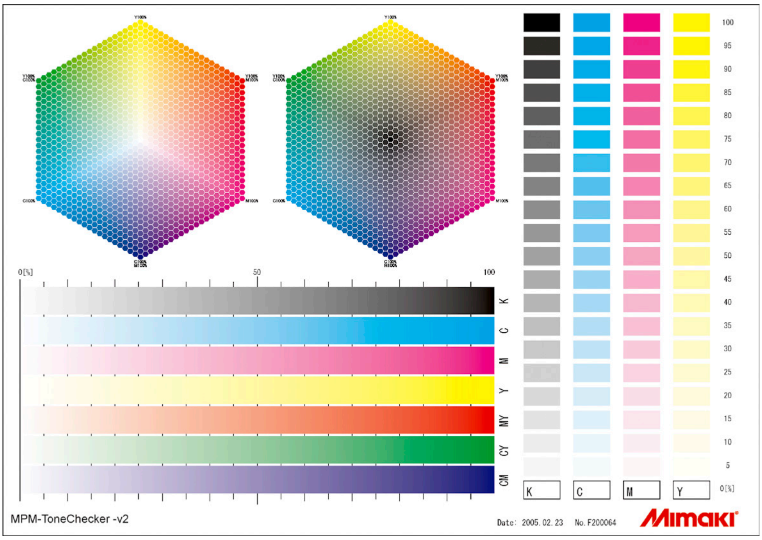
2 次へ をクリックします。

2-12 ページ「バリアブルドットの設定 (バリアブルドット選択時のみ)」へ続く ➡

バリアブルドットの設定（バリアブルドット選択時のみ）

重 要！	♦ バリアブルドットを含む解像度を選択していない場合は表示しません。 2-15 ページ「全体のインクリミットの設定（プロファイル（V3）を選んだ場合）」または 2-19 ページ「インクリミットの設定（プロファイル（V2）を選んだ場合）」に進みます。

以下のチャートを出力して、インクセットに合ったバリアブルドットを確認します。



バリアブルドットを使用すると、3 種類（Small, Middle, Large）の大きさのドットを打ち分け、グラデーションがなめらかになります。お使いになるインクセットに合わせて、グラデーションがなめらかに表現される最適なパラメータを用意しています。

2-11 ページ「メディア固有情報の設定」から

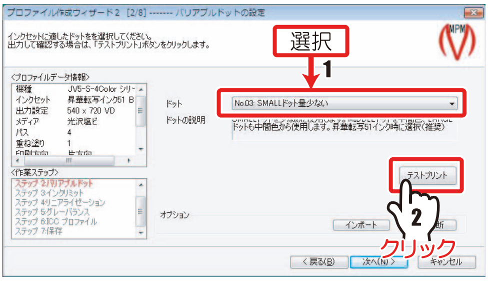
1 バリアブルドットを選択します。

選択したインクセットに最適なドットが表示されます。

選択されているドットの内容を“ドットの説明”に表示します。

2 テストプリント をクリックします。

選択したドットを使用して、出力確認します。


プロファイル作成ウィザード2 [2/8] ------- バリアブルドットの設定

インクセットに適したドットをを選択してください。
出力して確認する場合は、「テストプリント」ボタンをクリックします。

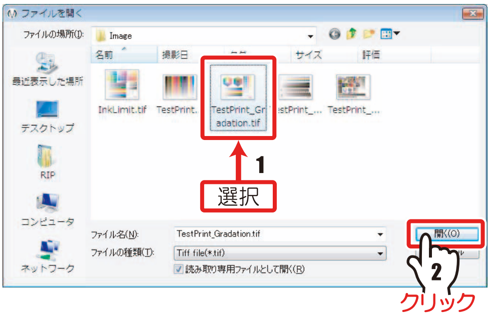
<プロファイルデータ情報>
機種 JV5-S-4Color シリ-
インクセット 昇華転写インク51 B
出力設定 540 x 720 VD
メディア 光沢塩ビ
パス 4
重ね塗り 1

<作業ステップ>
ステップ 2:バリアブルドット
ステップ 3:インクリミット
ステップ 4:リニアライゼーション
ステップ 5:グレーバランス
ステップ 6:ICC プロファイル
ステップ 7:保存

ドット No.03: SMALLドット量少ない
ドットの説明 ドットも中間色から使用します。昇華転写51インク時に選択（推奨）

3 出力確認をする画像ファイルを選択します。

- ♦ ICC プロファイルの作成が完了するまでは、CMYK の TIFF 画像のみが出力できます。
- ♦ 弊社が提供する画像ファイルが MPM II の Image フォルダ内に保存されています。（TestPrint_Gradation.tif）確認専用のチャートをお持ちの場合は、お持ちの画像ファイルを選択してください。


ファイルを開く
ファイルの場所(I):
名前
撮影日
サイズ
評価
最近表示した場所
デスクトップ
RIP
コンピュータ
ネットワーク
InkLimit.tif
TestPrint...
TestPrint_Gradation.tif
TestPrint_...
TestPrint_...
1
選択
開く(O)
2
クリック

ファイルの場所(I): Image

ファイル名(N): TestPrint_Gradation.tif

ファイルの種類(T): Tiff file(*.tif)

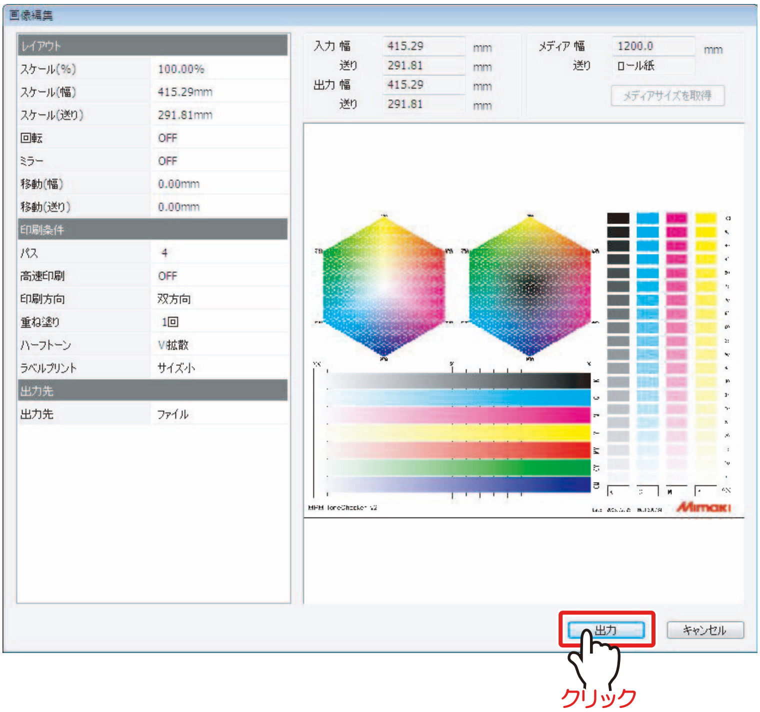
☑ 読み取り専用ファイルとして開く(R)

4 **開く** をクリックします。

「プリント編集」ダイアログを表示します。

5 出力の設定をして（☞P 2-57）、**出力** をクリックします。

PC と接続しているプリンタに出力を開始します。


画像編集
メディアサイズを取得
出力
キャンセル
クリック

レイアウト	
スケール(%)	100.00%
スケール(幅)	415.29mm
スケール(送り)	291.81mm
回転	OFF
ミラー	OFF
移動(幅)	0.00mm
移動(送り)	0.00mm
印刷条件	
パス	4
高速印刷	OFF
印刷方向	双方向
重ね塗り	1回
ハーフトーン	V拡散
ラベルプリント	サイズ小
出力先	
出力先	ファイル

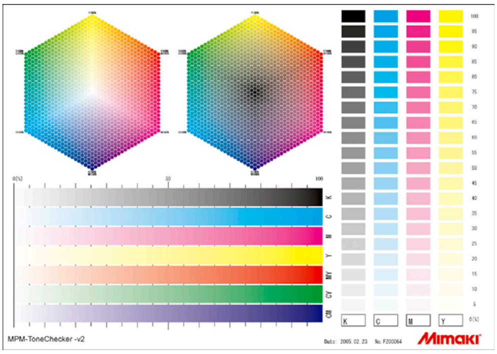
入力 幅 415.29 mm
送り 291.81 mm
出力 幅 415.29 mm
送り 291.81 mm

メディア 幅 1200.0 mm
送り ロール紙

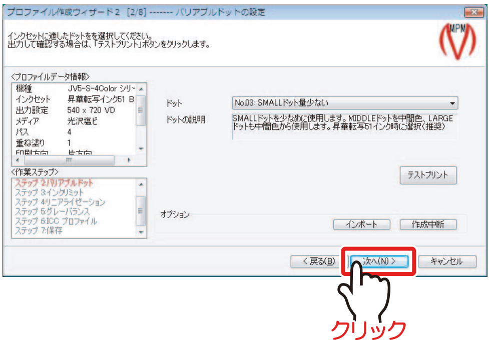
- ♦ 出力画像のサイズにより異なりますが、弊社が提供する画像を出力する場合、600mm 以上の幅のあるメディアをプリンタにセットしてください。

6 出力した画像を確認します。

選択したパラメータの設定を使用して出力した画像のグラデーションが、なめらかになっているかを確認します。


MPM-ToneChecker -v2
K
C
M
Y
Mimaki

7 次へ をクリックします。


プロファイル作成ウィザード 2 [2/8] ------- バリアブルドットの設定

インクセットに適したドットをを選択してください。
出力して確認する場合は、「テストプリント」ボタンをクリックします。

<プロファイルデータ情報>

機種	JV5-S-4Color シリ-
インクセット	昇華転写インク51 B
出力設定	540 x 720 VD
メディア	光沢塩ビ
パス	4
重ね塗り	1
印刷方向	片方向

<作業ステップ>
ステップ 2:バリアブルドット
ステップ 3:インクリミット
ステップ 4:リニアライゼーション
ステップ 5:グレーバランス
ステップ 6:ICC プロファイル
ステップ 7:保存

ドット: No.03: SMALLドット量少ない

ドットの説明: SMALLドットを少なめに使用します。MIDDLEドットを中間色、LARGEドットも中間色から使用します。昇華転写51インク時に選択(推奨)

MPM
テストプリント
オプション
インポート
作成中断
< 戻る(B)
次へ(N) >
キャンセル

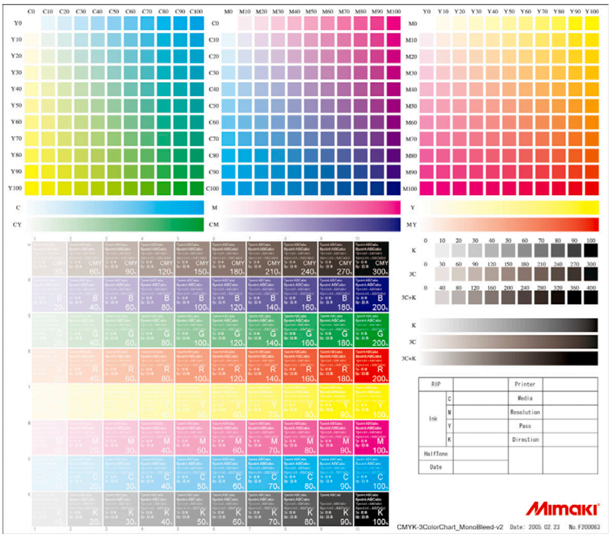
クリック

プロファイル（V2）を選んだ場合
2-19 ページ「インクリミットの設定 (プロファイル (V2) を選んだ場合)」へ続く

プロファイル（V3）を選んだ場合
2-15 ページ「全体のインクリミットの設定 (プロファイル (V3) を選んだ場合)」へ続く

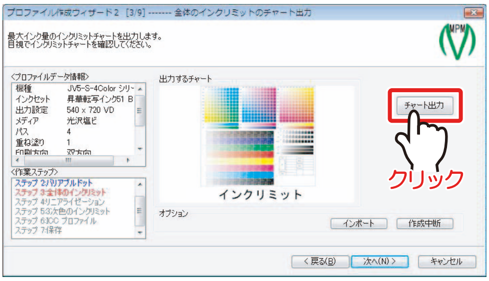
全体のインクリミットの設定 (プロファイル (V3) を選んだ場合)

チャートを出力して、メディアに乗せることのできるインクリミットを設定します。


Mimaki
CMYK-3ColorChart_MonoBleed-v2

2-14 ページ「バリアブルドットの設定 (バリアブルドット選択時のみ)」から

1 **チャート出力** をクリックします。


プロファイル作成ウィザード2 [3/9] ------- 全体のインクリミットのチャート出力

最大インク量のインクリミットチャートを出力します。
目視でインクリミットチャートを確認してください。

<プロファイルデータ情報>

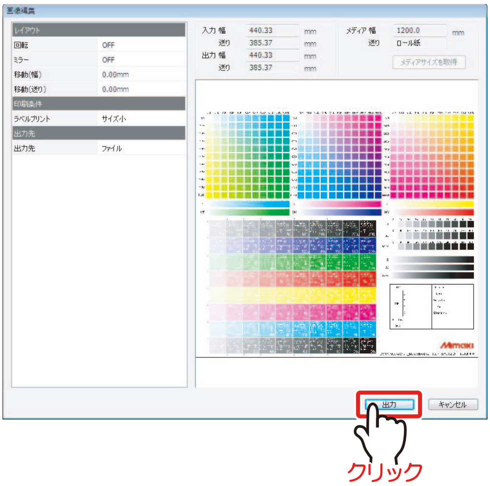
機種	JV5-S-4Color シリ-
インクセット	昇華転写インク51 B
出力設定	540 x 720 VD
メディア	光沢塩ビ
パス	4
重ね塗り	1
印刷方向	双方向

<作業ステップ>
ステップ 2:バリアブルドット
ステップ 3:全体のインクリミット
ステップ 4:リニアライゼーション
ステップ 5:3次色のインクリミット
ステップ 6:ICC プロファイル
ステップ 7:保存

MPM
出力するチャート
インクリミット
チャート出力
クリック
オプション
インポート
作成中断
< 戻る(B)
次へ(N) >
キャンセル

2 出力の設定をして (☞P 2-57)、**出力** をクリックします。

PC と接続しているプリンタに出力を開始します。


画像編集

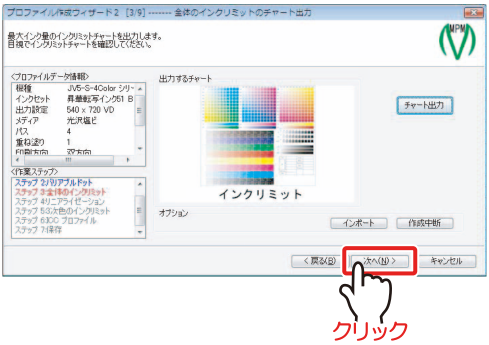
レイアウト	
回転	OFF
ミラー	OFF
移動(幅)	0.00mm
移動(送り)	0.00mm
印刷条件	
ラベルプリント	サイズ小
出力先	
出力先	ファイル

入力 幅 440.33 mm
送り 385.37 mm
出力 幅 440.33 mm
送り 385.37 mm

メディア 幅 1200.0 mm
送り ロール紙

メディアサイズを取得
出力
キャンセル
クリック

③ 次へ をクリックします。


プロファイル作成ウィザード2 [3/9] ------- 全体のインクリミットのチャート出力

最大インク量のインクリミットチャートを出力します。
目視でインクリミットチャートを確認してください。

<プロファイルデータ情報>
機種 JV5-S-4Color シリ-
インクセット 昇華転写インク51 B
出力設定 540 x 720 VD
メディア 光沢塩ビ
パス 4
重ね塗り 1
印刷方向 双方向

<作業ステップ>
ステップ 2:バリアブルドット
ステップ 3:全体のインクリミット
ステップ 4:リニアライゼーション
ステップ 5:3次色のインクリミット
ステップ 6:ICC プロファイル
ステップ 7:保存

④ 出力した画像から、各色のインクリミットを決定します。

♦ 優先順位として、以下の順番で各色のインクリミットを設定することを推奨します。
1　レッド (R) の色み
2　墨色 (K) の濃さ
3　ブルー (B) の色み
4　グリーン (G) の色み
これは、弊社推奨の順番です。優先順位を変更しても構いません。

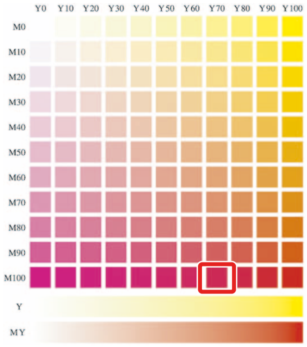
● インクリミットの決定方法
インクリミットの決定方法は、目視による判断となります。

- 以下にあげるインクの状態は、以降の設定でチャートを正しく測色できない原因になる場合があります。
  a. 数分待っても乾かない。(作成環境によります)
  b. インクが均一に乾かない。(高濃度の小さい矩形を出力すると、インクが外側に寄ってしまい、濃度が均一にならない)
  c. 白い細線が表現できない。
  d. 横方向に数珠状につながって、縞模様になる。
  e. メディアが波打ってしまう。膨張してしまう。
  f. UV インクで出力したとき、見る角度によって光の反射の具合が大きく異なる
  g. 高濃度部で階調がなくなってしまっている。
- 高濃度の出力をする際、インク量を多めにする必要があるため、細線が表現できない場合や、多少のにじみが出る場合があります。
- 温度や湿度の影響を受けるので、作成した環境 (場所、季節、天候、温度、湿度等) によって、インクリミットの値が異なることがあります。
- インクリミットの値が適正でも、バリアブルドットを使用する場合、「見た目」が問題になることがあります。
  バリアブルドットでは、3 種類の大きさ (Small, Middle, Large) のドットを打ち分け、グラデーションをなめらかにしています。しかし、メディアによっては、Small ドットが使用されるハイライト〜中間調部分で、ドット間の距離よりドットサイズが下回ることがあり、紙面をドットで埋め尽くすことができません。このとき、見た目に「スジっぽさ」や「粗さ」を感じてしまい、好ましい画像にはならないことがあります。
  対処方法として、次の方法があります。
  a. デバイスプロファイル作成後に、インク量を調整する。
  b. リニアライゼーションカーブを若干濃くする。
- すべてのインク量を同じにしてもデバイスプロファイルの作成はできますが、2 次色、3 次色 (グレーバランス等) の色合いも考慮して各インク量を設定するとより良いデバイスプロファイルが作成できます。

インクリミットの決定の仕方

次に、インクリミットの決定方法の一例を紹介します。

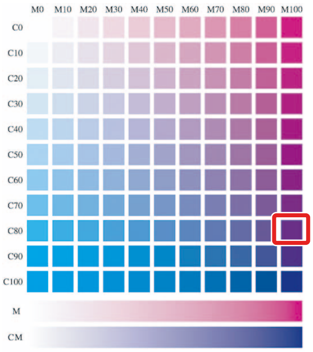
レッド (R) の色みを選ぶ



M と Y の混色部分で、好みの Rが出ている場所を選びます。

ここでは、M100%、Y70% とします。

ブルー (B) の色みを選ぶ

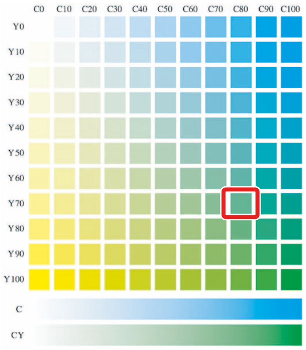


M と C の混色部分で、好みの Bが出ている場所を選びます。

R を選んだ部分の M のインク量周辺にある色から選びます。

ここでは M100%、C80% とします。

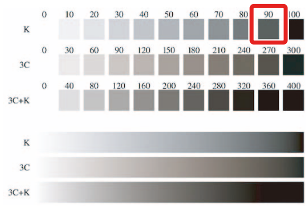
グリーン (G) の色みを選ぶ



C と Y の混色部分で、好みの Gが出ている場所を選びます。

R と B を選んだ部分の C と Y のインク量の交点周辺にある色から選びます。

ここでは C80%、Y70% とします。

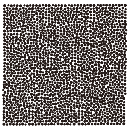


墨色 (K) の濃さを選ぶ

K のインクリミットは、K 単色のパッチでインクがあふれず、かつ、ドットが埋まっている場所を選びます。

ここでは K90%を選びます。

よい例

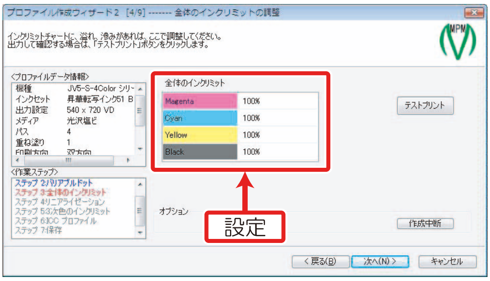

悪い例

よって 1 次色の入力値は、C80%、M100%、Y70%、K90% となります。

- ♦ にじみやすい、インクの乗る量の少ないメディアは、見た目と発色を考慮しながら設定してください。

5 全体のインクリミットを入力します。

手順３で決定した、各色のインクリミットを入力します。
各色の数値部分をクリックすると数値入力ができます。


プロファイル作成ウィザード２ [4/9] ------- 全体のインクリミットの調整
MPM
テストプリント
作成中断
< 戻る(B)
次へ(N) >
キャンセル
設定

インクリミットチャートに、溢れ、滲みがあれば、ここで調整してください。
出力して確認する場合は、「テストプリント」ボタンをクリックします。

<プロファイルデータ情報>

機種	JV5-S-4Color シリ-
インクセット	昇華転写インク51 B
出力設定	540 x 720 VD
メディア	光沢塩ビ
パス	4
重ね塗り	1
印刷方向	双方向

<作業ステップ>
ステップ 2:バリアブルドット
ステップ 3:全体のインクリミット
ステップ 4:リニアライゼーション
ステップ 5:3次色のインクリミット
ステップ 6:ICC プロファイル
ステップ 7:保存

全体のインクリミット

Magenta	100%
Cyan	100%
Yellow	100%
Black	100%

オプション

♦ 数値入力は以下の３つの方法があります。
- ・キーボードで数値を直接入力する。
- ・上下キーで数値を変更する。
- ・マウスで上下ボタンをクリックする。

6 テストプリント をクリックし、出力確認します。

（☞ P 2-12 手順２～5）

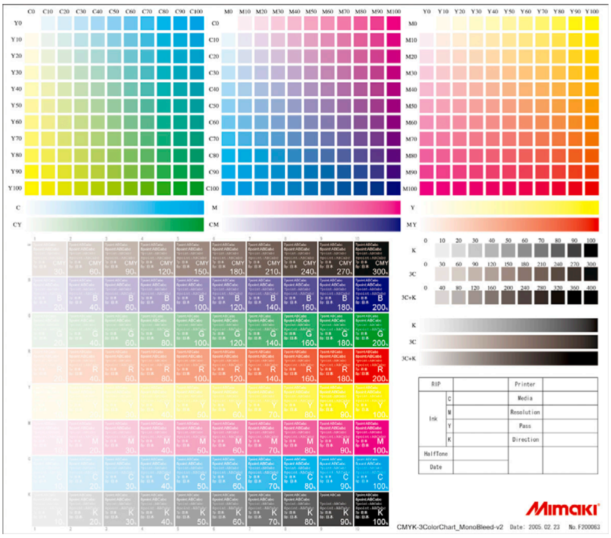
♦ 弊社が提供する画像ファイルが保存されています。（Inklimit.tif）
確認専用のチャートをお持ちの場合は、お持ちの画像ファイルを使用します。

7 次へ をクリックします。

2-23 ページ「ライトインク使用比率の設定（ライトインク選択時のみ）」へ続く ➡

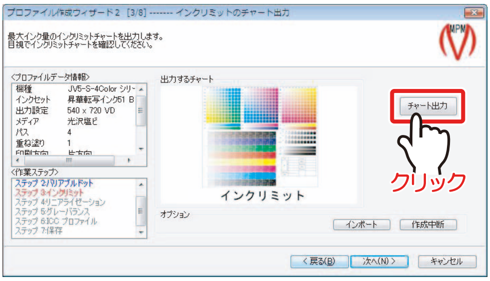
インクリミットの設定 (プロファイル (V2) を選んだ場合)

チャートを出力して、メディアに乗せることのできるインクリミットを設定します。


Mimaki
CMYK-3ColorChart_MonoBleed-v2　Date: 2005. 02. 23　No. F200063

2-14 ページ「バリアブルドットの設定 (バリアブルドット選択時のみ)」から

1 **チャート出力** をクリックします。


プロファイル作成ウィザード 2　[3/8] ------- インクリミットのチャート出力

最大インク量のインクリミットチャートを出力します。
目視でインクリミットチャートを確認してください。

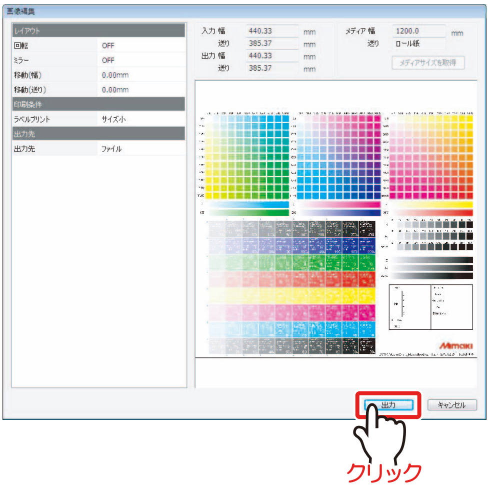
<プロファイルデータ情報>
機種　JV5-S-4Color シリ-
インクセット　昇華転写インク51 B
出力設定　540 x 720 VD
メディア　光沢塩ビ
パス　4
重ね塗り　1
印刷方向　片方向

<作業ステップ>
ステップ 2:バリアブルドット
ステップ 3:インクリミット
ステップ 4:リニアライゼーション
ステップ 5:グレーバランス
ステップ 6:ICC プロファイル
ステップ 7:保存

出力するチャート
インクリミット
チャート出力
クリック
オプション
インポート
作成中断
< 戻る(B)
次へ(N) >
キャンセル

2 出力の設定をして (☞P 2-57)、**出力** をクリックします。

PC と接続しているプリンタに出力を開始します。

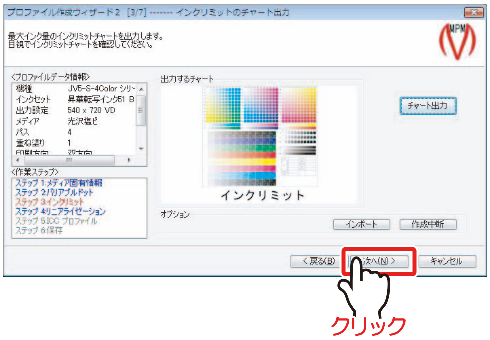

画像編集

レイアウト	
回転	OFF
ミラー	OFF
移動(幅)	0.00mm
移動(送り)	0.00mm
印刷条件	
ラベルプリント	サイズ小
出力先	
出力先	ファイル

入力 幅 440.33 mm
送り 385.37 mm
出力 幅 440.33 mm
送り 385.37 mm
メディア 幅 1200.0 mm
送り ロール紙

メディアサイズを取得
出力
キャンセル
クリック

③ 次へ をクリックします。



プロファイル作成ウィザード2 [3/7] ------- インクリミットのチャート出力

最大インク量のインクリミットチャートを出力します。
目視でインクリミットチャートを確認してください。

<プロファイルデータ情報>

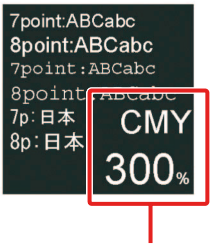
機種	JV5-S-4Color シリ-
インクセット	昇華転写インク51 B
出力設定	540 x 720 VD
メディア	光沢塩ビ
パス	4
重ね塗り	1
印刷方向	双方向

<作業ステップ>
ステップ 1:メディア固有情報
ステップ 2:バリアブルドット
ステップ 3:インクリミット
ステップ 4:リニアライゼーション
ステップ 5:ICC プロファイル
ステップ 6:保存

クリック

④ 出力したチャートから３色 (CMY) のトータルインク量を決定します。

チャートのにじみや白抜き文字の状態を見て、トータルインク量を決定します。
白抜き文字がはっきりと見えるトータルインク量をチャートから探します。



CMY各色100%ずつ出力

● インクリミットの決定方法
インクリミットの決定方法は、目視による判断となります。

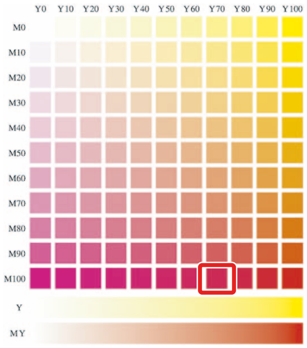
- 以下にあげるインクの状態は、以降の設定でチャートを正しく測色できない原因になる場合があります。
  a. 数分待っても乾かない。（作成環境によります）
  b. インクが均一に乾かない。（高濃度の小さい矩形を出力すると、インクが外側に寄ってしまい、濃度が均一にならない）
  c. 白い細線が表現できない。
  d. 横方向に数珠状につながって、縞模様になる。
  e. メディアが波打ってしまう。膨張してしまう。
  f. UV インクで出力したとき、見る角度によって光の反射の具合が大きく異なる
  g. 高濃度部で階調がなくなってしまっている。
- 高濃度の出力をする際、インク量を多めにする必要があるため、細線が表現できない場合や、多少のにじみが出る場合があります。
- 温度や湿度の影響を受けるので、作成した環境（場所、季節、天候、温度、湿度等）によって、インクリミットの値が異なることがあります。
- インクリミットの値が適正でも、バリアブルドットを使用する場合、「見た目」が問題になることがあります。
  バリアブルドットでは、３ 種類の大きさ（Small, Middle, Large）のドットを打ち分け、グラデーションをなめらかにしています。しかし、メディアによっては、Small ドットが使用されるハイライト～中間調部分で、ドット間の距離よりドットサイズが下回ることがあり、紙面をドットで埋め尽くすことができません。このとき、見た目に「スジっぽさ」や「粗さ」を感じてしまい、好ましい画像にはならないことがあります。
  対処方法として、次の方法があります。
  a. デバイスプロファイル作成後に、インク量を調整する。
  b. リニアライゼーションカーブを若干濃くする。
- すべてのインク量を同じにしてもデバイスプロファイルの作成はできますが、２ 次色、３ 次色（グレーバランス等）の色合いも考慮して各インク量を設定するとより良いデバイスプロファイルが作成できます。

5 出力した画像から、各色のインクリミットを決定します。

◆優先順位として、以下の順番で各色のインクリミットを設定することを推奨します。
１　レッド (R) の色み
２　墨色 (K) の濃さ
３　ブルー (B) の色み
４　グリーン (G) の色み
これは、弊社推奨の順番です。優先順位を変更しても構いません。

例：手順４でトータルインク量 240%を選んでいた場合。

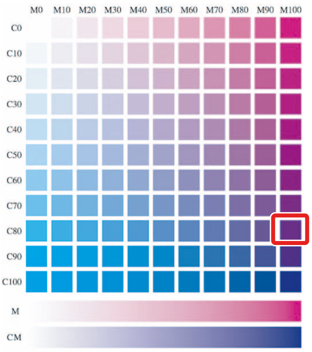
レッド (R) の色みを選ぶ



MとYの混色部分で、好みのRが出ている場所を選びます。

ここでは、M100%、Y70%とします。

ブルー (B) の色みを選ぶ

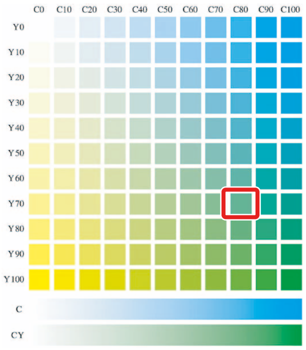


MとCの混色部分で、好みのBが出ている場所を選びます。

Rを選んだ部分のMのインク量周辺にある色から選びます。

ここではM100%、C80%とします。

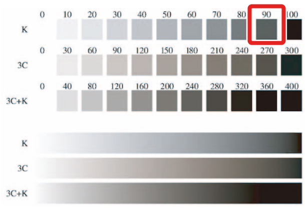
グリーン (G) の色みを選ぶ



CとYの混色部分で、好みのGが出ている場所を選びます。

RとBを選んだ部分のCとYのインク量の交点周辺にある色から選びます。

ここでは C80%、Y70% とします。

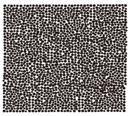


墨色 (K) の濃さを選ぶ

Kのインクリミットは、K単色のパッチでインクがあふれず、かつ、ドットが埋まっている場所を選びます。

ここではK90%を選びます。

よい例



悪い例

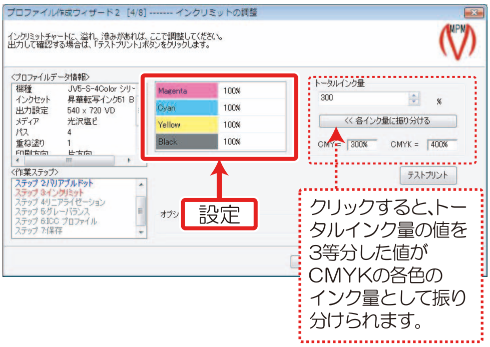
よって、C80%、M100%、Y70%、K90% となり、CMY のトータルインク量が 250 %となり、選択したトータルインク量 240% を 10% だけあふれてしまいます。
その場合は、再度好みの色に合わせ、インク量を下げて加減します。

◆にじみやすい、インクの乗る量の少ないメディアは、見た目と発色を考慮しながら設定してください。

⑥ インクリミットを入力します。

各色の数値部分をクリックすると数値入力ができます。

- ♦ 数値入力は以下の3つの方法があります。
  - ・キーボードで数値を直接入力する。
  - ・上下キーで数値を変更する。
  - ・マウスで上下ボタンをクリックする。



プロファイル作成ウィザード2 [4/8] -------- インクリミットの調整

インクリミットチャートに、溢れ、滲みがあれば、ここで調整してください。
出力して確認する場合は、「テストプリント」ボタンをクリックします。

<プロファイルデータ情報>

機種	JV5-S-4Color シリ-
インクセット	昇華転写インク51 B
出力設定	540 x 720 VD
メディア	光沢塩ビ
パス	4
重ね塗り	1
印刷方向	片方向

Magenta	100%
Cyan	100%
Yellow	100%
Black	100%

トータルインク量
300 %
<< 各インク量に振り分ける
CMY = 300%　CMYK = 400%

テストプリント

<作業ステップ>
ステップ 2:バリアブルドット
ステップ 3:インクリミット
ステップ 4:リニアライゼーション
ステップ 5:グレーバランス
ステップ 6:ICC プロファイル
ステップ 7:保存

クリックすると、トータルインク量の値を3等分した値がCMYKの各色のインク量として振り分けられます。

- ♦ 手順 4 で決めたトータルインク量を CMYK 各色に均等に配分したいときは、**各インク量に振り分ける** をクリックしてください。トータルインク量を 3 等分した値が、CMYK 各色のインク量として適用されます。

⑦ **テストプリント** をクリックし、出力確認します。

（☞ P 2-12 手順２～5）

- ♦ 弊社が提供する画像ファイルがMPM IIのImageフォルダ内に保存されています。（Inklimit.tif）
  確認専用のチャートをお持ちの場合は、お持ちの画像ファイルを選択してください。

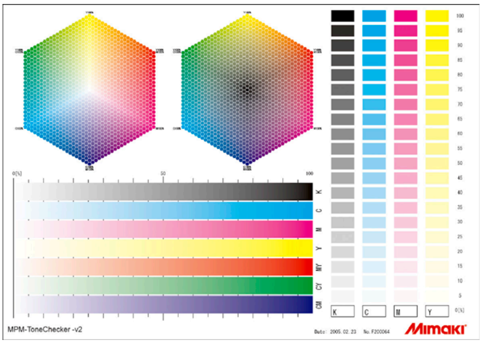
⑧ **次へ** をクリックします。

2-23 ページ「ライトインク使用比率の設定（ライトインク選択時のみ）」へ続く ➡

ライトインク使用比率の設定 (ライトインク選択時のみ)

重 要 !	♦ ライトインクを含むインクセットを選択していない場合は表示しません。 2-24 ページ「リニアライゼーションの自動調整」に進みます。

右のチャートを出力して、メディアに合ったライトインクの使用方法を選択します。
ライトインクを使用すると、グラデーションのハイライトから中間調部分において、濃いインクと置き換わり、粒状感のない、なめらかなグラデーションになります。
グラデーションがなめらかに表現されるような数種類のパラメータを用意しています。

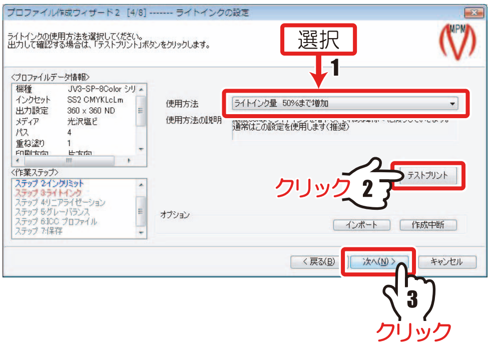


プロファイル（V2）を選んだ場合
2-22 ページ「インクリミットの設定 (プロファイル (V2) を選んだ場合)」から

プロファイル（V3）を選んだ場合 2-18 ページ「全体のインクリミットの設定 (プロファイル (V3) を選んだ場合)」から

1 ライトインクの使用方法を選択します。

使用方法の説明は下段に表示します。



プロファイル作成ウィザード２ [4/8] ------- ライトインクの設定

ライトインクの使用方法を選択してください。
出力して確認する場合は、「テストプリント」ボタンをクリックします。

<プロファイルデータ情報>

機種	JV3-SP-8Color シリ
インクセット	SS2 CMYKLcLm
出力設定	360 x 360 ND
メディア	光沢塩ビ
パス	4
重ね塗り	1
印刷方向	片方向

<作業ステップ>
ステップ 2:インクリミット
ステップ 3:ライトインク
ステップ 4:リニアライゼーション
ステップ 5:グレーバランス
ステップ 6:ICC プロファイル
ステップ 7:保存

使用方法　ライトインク量 50%まで増加
使用方法の説明　通常はこの設定を使用します(推奨)

オプション

2 テストプリント をクリックし、出力確認をします。

(☞ P 2-12 手順２～5)

♦ 弊社が提供する画像ファイルがMPM IIのImageフォルダ内に保存されています。(TestPrint_Gradation.tif)
確認専用のチャートをお持ちの場合は、お持ちの画像ファイルを選択してください。

3 次へ をクリックします。

2-24 ページ「リニアライゼーションの自動調整」へ続く

リニアライゼーションの自動調整

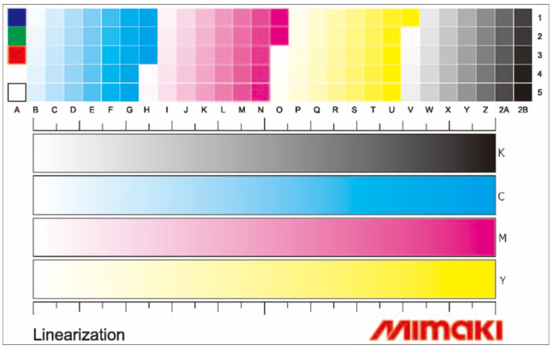
チャートを出力し、測色することによって、CMYK インク各色の階調特性を自動調整します。（ライトインクは、調整しません。）
自動調整された CMYK 各色の単色のグラデーションが、なめらかになっているかを確認します。

重 要 !	♦ インクが乾燥してから測色してください。正しい測色値を測れないことがあります。 ♦ プロファイル (V2) を選択した場合、長時間放置してもインクが乾かないときは、インクリミットを下げて再度測色チャートを出力してください。

測色用のチャートは、2 つのエリアで構成されています。
出力するチャートは測色器によって異なります。

a. 測色部
測色器にて測色します。

b. 目視確認部
目視にて確認します。


1
2
3
4
5
A B C D E F G H I J K L M N O P Q R S T U V W X Y Z 2A 2B
K
C
M
Y
Linearization
MIMAKI

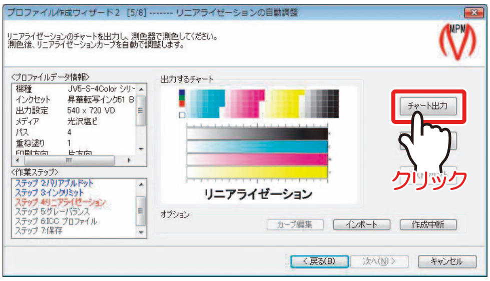
測色器選択で Spectro Scan を選択した場合のチャート

2-23 ページ「ライトインク使用比率の設定 (ライトインク選択時のみ)」から

1 チャート出力 をクリックします。

“出力するチャート” の画面は、選択した測色器によって、異なる画面を表示します。

測色器が選択されていない場合は表示しません。



プロファイル作成ウィザード2 [5/8] ------- リニアライゼーションの自動調整

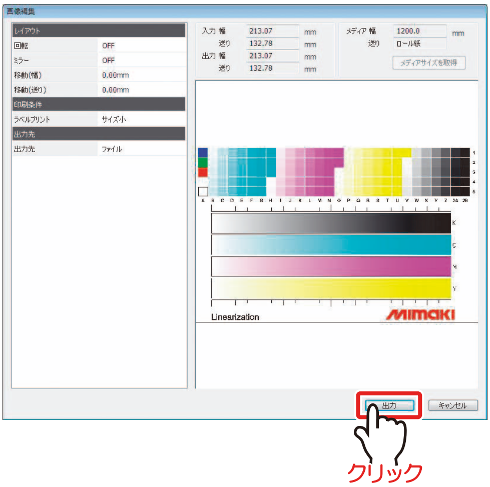
リニアライゼーションのチャートを出力し、測色器で測色してください。
測色後、リニアライゼーションカーブを自動で調整します。

<プロファイルデータ情報>
機種 JV5-S-4Color シリ-
インクセット 昇華転写インク51 B
出力設定 540 x 720 VD
メディア 光沢塩ビ
パス 4
重ね塗り 1
印刷方向 片方向

<作業ステップ>
ステップ 2:バリアブルドット
ステップ 3:インクリミット
ステップ 4:リニアライゼーション
ステップ 5:グレーバランス
ステップ 6:ICC プロファイル
ステップ 7:保存

出力するチャート
リニアライゼーション
チャート出力
クリック
オプション
カーブ編集
インポート
作成中断
< 戻る(B)
次へ(N) >
キャンセル

2 出力の設定をして（☞P 2-57）、出力 をクリックします。



画像編集

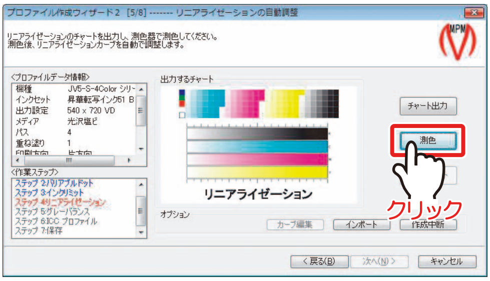
レイアウト	
回転	OFF
ミラー	OFF
移動(幅)	0.00mm
移動(送り)	0.00mm
印刷条件	
ラベルプリント	サイズ小
出力先	
出力先	ファイル

入力 幅 213.07 mm
送り 132.78 mm
出力 幅 213.07 mm
送り 132.78 mm
メディア 幅 1200.0 mm
送り ロール紙

メディアサイズを取得
Linearization
MIMAKI
出力
キャンセル
クリック

3 測色 をクリックします。

♦ 測色器を選択していない場合は、最初に測色器選択画面を表示します。
（☞ P 1-6）



プロファイル作成ウィザード2 [5/8] ------- リニアライゼーションの自動調整

リニアライゼーションのチャートを出力し、測色器で測色してください。
測色後、リニアライゼーションカーブを自動で調整します。

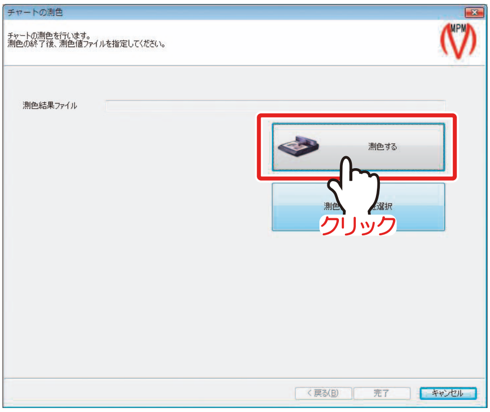
<プロファイルデータ情報>

機種	JV5-S-4Color シリ-
インクセット	昇華転写インク51 B
出力設定	540 x 720 VD
メディア	光沢塩ビ
パス	4
重ね塗り	1
印刷方向	片方向

<作業ステップ>
ステップ 2:バリアブルドット
ステップ 3:インクリミット
ステップ 4:リニアライゼーション
ステップ 5:グレーバランス
ステップ 6:ICC プロファイル
ステップ 7:保存

出力するチャート
リニアライゼーション
チャート出力
測色
クリック
オプション
カーブ編集
インポート
作成中断
< 戻る(B)
次へ(N) >
キャンセル

4 測色する をクリックします。

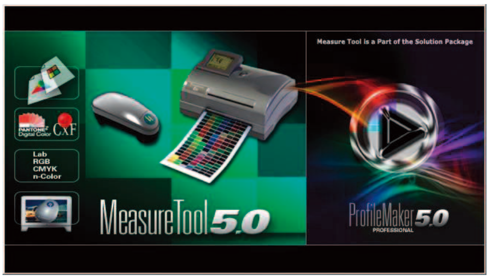


チャートの測色

チャートの測色を行います。
測色の終了後、測色値ファイルを指定してください。

測色結果ファイル
測色する
クリック
< 戻る(B)
完了
キャンセル

5 MeasureTool5.0 が起動します。


Measure Tool is a Part of the Solution Package
PANTONE Digital Color
CxF
Lab
RGB
CMYK
n-Color
MeasureTool 5.0
ProfileMaker 5.0
PROFESSIONAL

重 要 !

- ♦ ProfileMaker ドングルを使用しない場合、MeasureTool5.0はデモモードで起動します。デモモードで起動したときは DTP-41 は使用できません。（他の測色器は、問題なく測色を行うことができます。）

6 測色します。

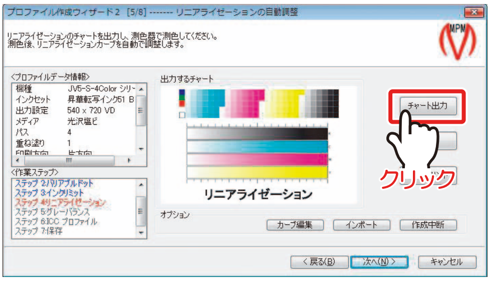
お使いになる測色器によって測色方法は異なります。

- ● Spectro Scan を使用する場合 ☞ P 2-28
- ● Eye-One Pro を使用する場合 ☞ P 2-31
- ● Eye-One iO を使用する場合 ☞ P 2-34
- ● DTP-41 を使用する場合 ☞ P 2-37
- ● i1 iSis を使用する場合 ☞ P 2-39

7 チャート出力 をクリックし、測色結果を確認します。

（☞ P 2-24 手順 1 ～ 2）

自動調整した結果を出力し、確認します。



プロファイル作成ウィザード 2 [5/8] ------- リニアライゼーションの自動調整

リニアライゼーションのチャートを出力し、測色器で測色してください。
測色後、リニアライゼーションカーブを自動で調整します。

<プロファイルデータ情報>

機種	JV5-S-4Color シリ-
インクセット	昇華転写インク51 B
出力設定	540 x 720 VD
メディア	光沢塩ビ
パス	4
重ね塗り	1
印刷方向	片方向

<作業ステップ>

ステップ 2:バリアブルドット
ステップ 3:インクリミット
ステップ 4:リニアライゼーション
ステップ 5:グレーバランス
ステップ 6:ICC プロファイル
ステップ 7:保存

MPM
出力するチャート
リニアライゼーション
チャート出力
クリック
オプション
カーブ編集
インポート
作成中断
< 戻る(B)
次へ(N) >
キャンセル

8 チャートの目視確認部で、各色のグラデーションがなめらかになっているかを確認します。

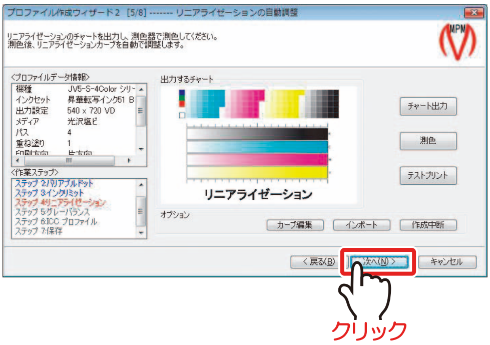
- ♦ 調整が不十分だと感じた場合、手順 7 で出力したチャートを測色します。測色によって再度、自動調整をし、調整の追い込みをします。

重 要 !

- ♦ 自動調整による追い込みは、複数回行っても、目標周辺値で微調整が続いてしまい、効果が得られない場合があります。
- ♦ にじみやすいメディアでは、階調の微妙な調整が困難になるため、ハイライト部の階調性が乏しくなります。

- ♦ カーブ編集 をクリックして、各色のデータを手動で調整することもできます。（☞ P 2-62 ）

9 次へ をクリックします。


プロファイル作成ウィザード2 [5/8] -------- リニアライゼーションの自動調整

リニアライゼーションのチャートを出力し、測色器で測色してください。
測色後、リニアライゼーションカーブを自動で調整します。

<プロファイルデータ情報>

機種	JV5-S-4Color シリ-
インクセット	昇華転写インク51 B
出力設定	540 x 720 VD
メディア	光沢塩ビ
パス	4
重ね塗り	1
印刷方向	片方向

<作業ステップ>
- ステップ 2:バリアブルドット
- ステップ 3:インクリミット
- ステップ 4:リニアライゼーション
- ステップ 5:グレーバランス
- ステップ 6:ICC プロファイル
- ステップ 7:保存

出力するチャート
リニアライゼーション
チャート出力
測色
テストプリント
オプション
カーブ編集
インポート
作成中断
< 戻る(B)
次へ(N) >
キャンセル
クリック

- ♦ カーブを編集した場合、テストプリント をクリックし、出力確認をします。
  弊社が提供する画像ファイルがあります。(TestPrint_Gradation.tif)
- ♦ 確認専用のチャートをお持ちの場合は、お持ちの画像ファイルを選択します。

プロファイル（V2）を選んだ場合
2-46 ページ「グレーバランスの自動調整」へ続く

プロファイル（V3）を選んだ場合
2-42 ページ「3 次色のインクリミットの設定 (プロファイル (V3) を選んだ場合)」へ続く

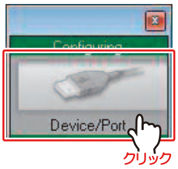
Spectro Scan を使って測色する場合

重 要！

- ♦ 端が反るようなメディアを測色する場合は、端が浮き上がらないように、テープ等で固定してください。
- ♦ シリアルポートの無いPCでSpectro Scanを使う場合は、測色器の販売店にご相談ください。
- ♦ MeasureTool 5.0 で “Language” の設定を変更しないでください。

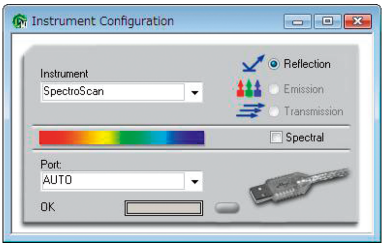
1 出力したチャートを測色器にセットします。

2 ツールバーの “Device/Port” をクリックします。



3 “Instrument Configuration” が起動します。次の項目を確認してください。

- ・“Instrument” には、P 1-6 で設定した測色器が表示されている
- ・“Reflection” が選択されている
- ・“Spectral” がチェックされていない
- ・“Port” の下に「OK」を表示している


Instrument Configuration

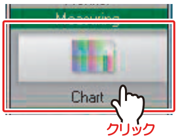
Instrument: SpectroScan
● Reflection
○ Emission
○ Transmission
☐ Spectral
Port: AUTO
OK

重 要！

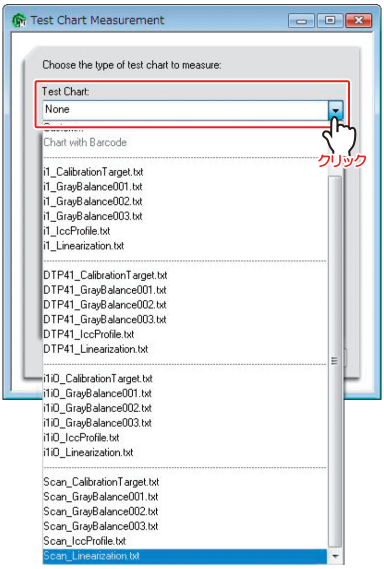
- ♦ 設定されている測色器を変更しないでください。

4 “Instrument Configuration” を閉じます。

5 ツールバーの “Chart” をクリックします。



6 “Test Chart” の下矢印をクリックします。


Test Chart Measurement

Choose the type of test chart to measure:

Test Chart: None

Chart with Barcode

i1_CalibrationTarget.txt
i1_GrayBalance001.txt
i1_GrayBalance002.txt
i1_GrayBalance003.txt
i1_IccProfile.txt
i1_Linearization.txt

DTP41_CalibrationTarget.txt
DTP41_GrayBalance001.txt
DTP41_GrayBalance002.txt
DTP41_GrayBalance003.txt
DTP41_IccProfile.txt
DTP41_Linearization.txt

i1iO_CalibrationTarget.txt
i1iO_GrayBalance001.txt
i1iO_GrayBalance002.txt
i1iO_GrayBalance003.txt
i1iO_IccProfile.txt
i1iO_Linearization.txt

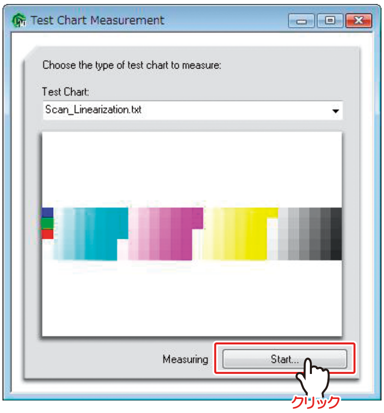
Scan_CalibrationTarget.txt
Scan_GrayBalance001.txt
Scan_GrayBalance002.txt
Scan_GrayBalance003.txt
Scan_IccProfile.txt
Scan_Linearization.txt

表示されたリストから、測色したい要素の名前がついたチャートを選択してください。
（リニアライゼーションの調整をする場合は、「Scan_Linearization.txt」を選択）

重 要！

- ♦ 表示されるリストには、Spectro Scan 以外の測色器用のリストも含まれています。必ず「Scan_」で始まるリストを選んでください。

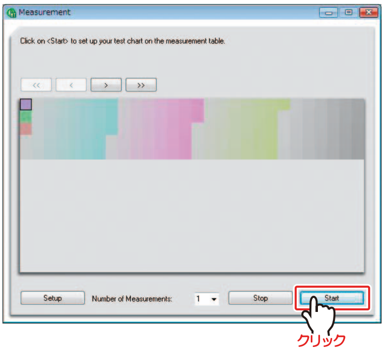
7 **Start** をクリックします。


Test Chart Measurement
Measuring
Start...
クリック

Choose the type of test chart to measure:

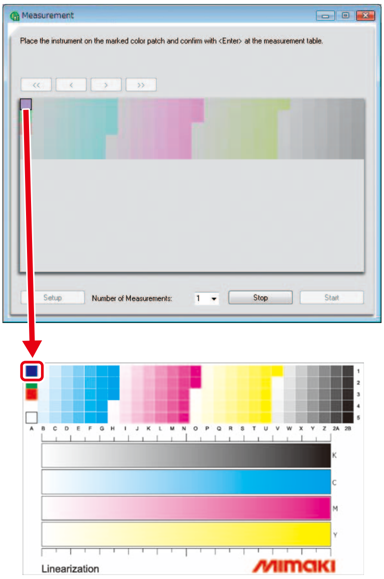
Test Chart: Scan_Linearization.txt

8 **Start** をクリックします。


Measurement
Setup
Number of Measurements:
1
Stop
Start
クリック

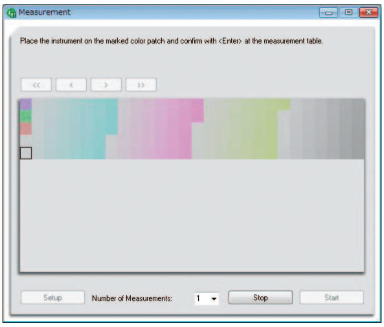
Click on <Start> to set up your test chart on the measurement table.

9 測色器のボタンを押して、測色するチャートと、画面上で指示している部分（左上）を合わせます。


Measurement
Setup
Number of Measurements:
1
Stop
Start
Linearization
MIMAKI

Place the instrument on the marked color patch and confirm with <Enter> at the measurement table.

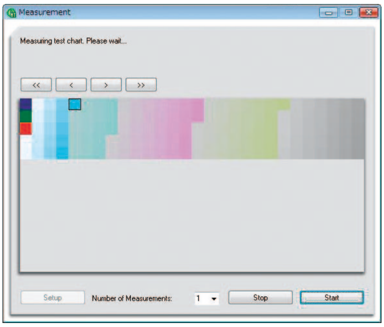
10 測色器の Enter ボタンを押すと、次の画面が表示されます。


Measurement
Setup
Number of Measurements:
1
Stop
Start

Place the instrument on the marked color patch and confirm with <Enter> at the measurement table.

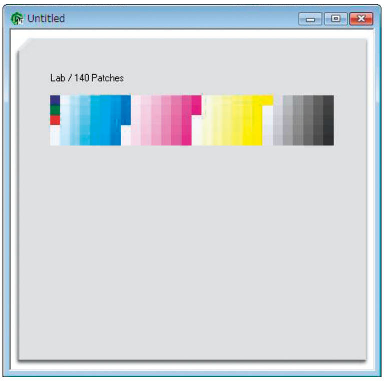
11 手順９と同様に、右上、右下を合わせます。

自動的に測色を開始します。


Measurement
Setup
Number of Measurements:
1
Stop
Start

Measuring test chart. Please wait...

12 メニューバーから［File］→［Save As...］を選択し、測色結果を保存します。



Lab / 140 Patches

測色結果は、必ず“ファイルの種類”を［Text Files(*.txt *.text)］にして保存してください。

13 MeasureTool 5.0 を終了させせます。

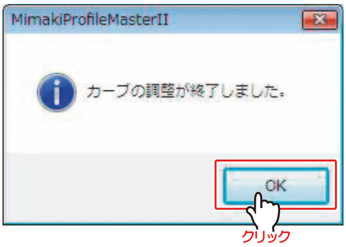
“測色結果ファイル” に、手順 12 で保存したファイル名が表示されていることを確認してください。

重 要 !

- ♦ MeasureTool で測色を複数回行うと、最後に保存されたファイル名が表示されます。使用したい測色結果ファイルと異なる場合は、[測色値ファイルを選択] をクリックしてファイルを選択してください。

14 完了 をクリックします。

自動的に、カーブの調整を行います。
カーブの調整が完了すると、次のダイアログが表示されます。



カーブの調整が終了しました。

15 OK をクリックします。

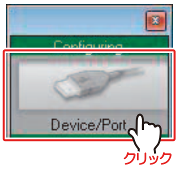
測色が終了しました。☞P 2-26 手順 7 からの操作をしてください。

Eye-One Pro を使って測色する場合

重要!

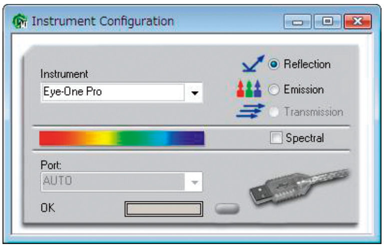
♦ チャートは、測色しやすい平らな場所に設置してください。
♦ MeasureTool 5.0 で “Language” の設定を変更しないでください。

1 ツールバーの “Device/Port” をクリックします。


Configuring
Device/Port
クリック

2 “Instrument Configuration” が起動します。次の項目を確認してください。

- “Instrument” には、P 1-6 で設定した測色器が表示されている
- “Reflection” が選択されている
- “Spectral” がチェックされていない
- “Port” の下に「OK」を表示している


Instrument Configuration

Instrument: Eye-One Pro

● Reflection
○ Emission
○ Transmission

☐ Spectral

Port: AUTO

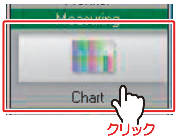
OK

重要!

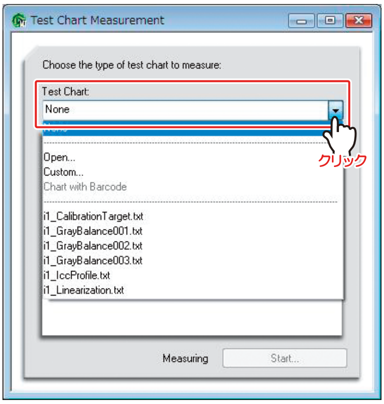
♦ 設定されている測色器を変更しないでください。

3 “Instrument Configuration” を閉じます。

4 ツールバーの “Chart” をクリックします。


Measuring
Chart
クリック

5 “Test Chart” の下矢印をクリックします。


Test Chart Measurement
クリック
Measuring
Start...

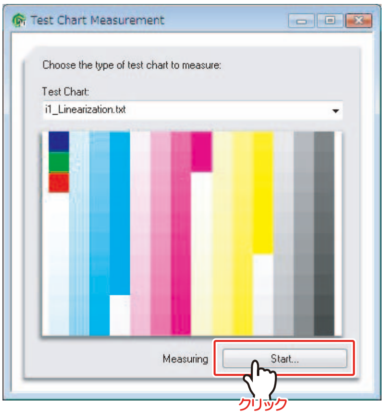
Choose the type of test chart to measure:

Test Chart: None

None
Open...
Custom...
Chart with Barcode
i1_CalibrationTarget.txt
i1_GrayBalance001.txt
i1_GrayBalance002.txt
i1_GrayBalance003.txt
i1_IccProfile.txt
i1_Linearization.txt

Eye-One Pro のチャートを表示します。測色したい要素の名前がついたチャートを選択してください。
（リニアライゼーションの調整をする場合は、「i1_Linearization.txt」を選択）

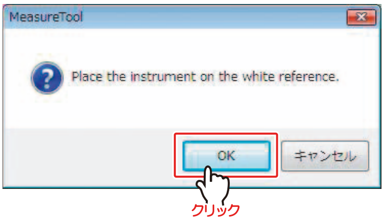
6 **Start** をクリックします。


Test Chart Measurement
Measuring
Start...
クリック

Choose the type of test chart to measure:

Test Chart: i1_Linearization.txt

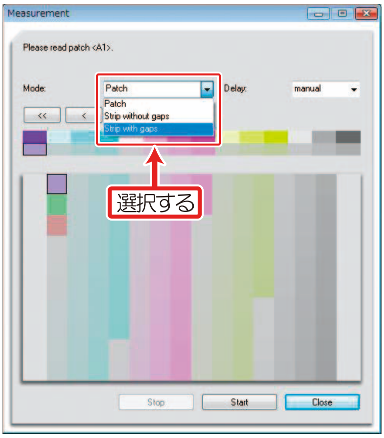
7 次のダイアログを表示したら、測色器本体を白色基準タイルの上に乗せ、**OK** をクリックします。


MeasureTool
OK
キャンセル
クリック

Place the instrument on the white reference.

キャリブレーションを行い、測色の画面を表示します。

8 “Mode”の設定を[Strip with gaps]にします。


Measurement
<<
<
Stop
Start
Close
選択する

Please read patch <A1>.

Mode: Patch

Delay: manual

Patch
Strip without gaps
Strip with gaps

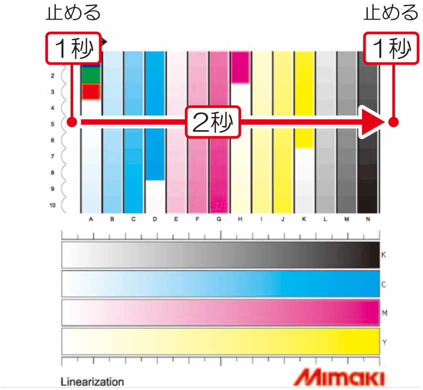
9 チャートの１の行に、測色器付属の基本チャート用測定ガイドを置きます。

- ♦ Eye-One Pro に付属のバックボードをご利用の場合、以下のようにチャートを準備すると、基本チャート用測定ガイドとチャート左端の半円が一致して測色しやすくなります。
  - **(1)** チャートの枠線に沿って切ります。
  - **(2)** チャートをバックボードの左奥に押し当て、クリップで挟みます。

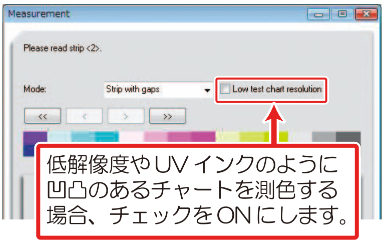
10 基本チャート用測定ガイドに測色器を合わせ測色します。

- ♦ 測定ボタンを押しながら、左から右にゆっくりと一定のスピードでスライドさせて、測色してください。
- ♦ 詳細については、Eye-One の取扱説明書をご覧ください。

左端のプリントされていない部分から、右端のプリントされていない部分まで測色します。（時間は目安です。）


止める
止める
1秒
1秒
2秒
2
3
4
5
6
7
8
9
10
A
B
C
D
E
F
G
H
I
J
K
L
M
N
K
C
M
Y
Linearization
Mimaki

正常に測色できた場合は、測色が完了した行の色が変わり、次の行の測色を指示する表示になります。


Measurement
<<
<
>
>>

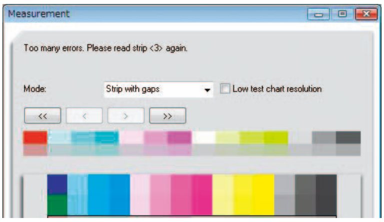
Please read strip <2>.

Mode: Strip with gaps

☐ Low test chart resolution

低解像度や UV インクのように凹凸のあるチャートを測色する場合、チェックを ON にします。

正常に測色できなかった場合
測色できなかったことを表すメッセージを表示します。測色し直してください。


Measurement
<<
<
>
>>

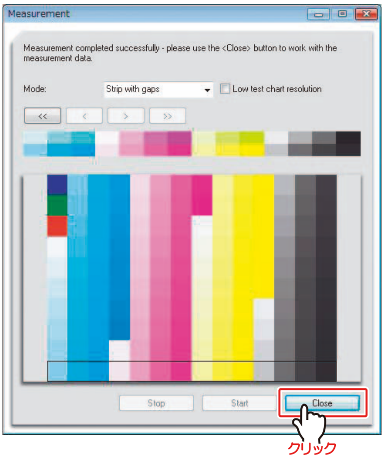
Too many errors. Please read strip <3> again.

Mode: Strip with gaps

☐ Low test chart resolution

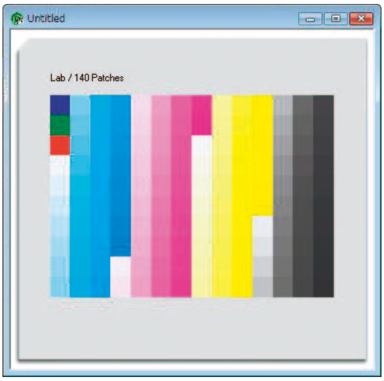
11 同様に他の行も順番に測色します。

12 すべての測色が完了したら、**Close** をクリックします。


Measurement
Mode:
Strip with gaps
☐ Low test chart resolution
<<
<
>
>>
Stop
Start
Close
クリック

Measurement completed successfully - please use the <Close> button to work with the measurement data.

13 メニューバーから[File]→[Save As...]を選択し、測色結果を保存します。


Untitled
Lab / 140 Patches

測色結果は、必ず“ファイルの種類”を[Text Files(*.txt *.text)]にして保存してください。

14 MeasureTool 5.0 を終了させます。

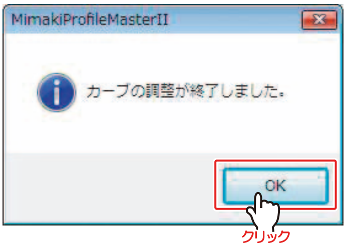
“測色結果ファイル”に、手順 13 で保存したファイル名が表示されていることを確認してください。

重 要！

- ◆ MeasureTool で測色を複数回行うと、最後に保存されたファイル名が表示されます。使用したい測色結果ファイルと異なる場合は、[測色値ファイルを選択]をクリックしてファイルを選択してください。

15 **完了** をクリックします。

自動的に、カーブの調整を行います。
カーブの調整が完了すると、次のダイアログが表示されます。


MimakiProfileMasterII
OK
クリック

カーブの調整が終了しました。

16 **OK** をクリックします。

測色が終了しました。☞P 2-26 手順 7 からの操作をしてください。

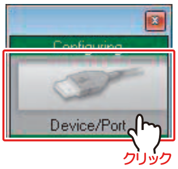
Eye-One iO を使って測色する場合

重 要！

- ♦ 端が反るようなメディアを測色する場合は、端が浮き上がらないように、テープ等で固定してください。
- ♦ 測色をする前に、付録 -12 ページ「Eye-One iO のご使用について」でドライバの確認をしてください。
- ♦ MeasureTool 5.0 で “Language” の設定を変更しないでください。

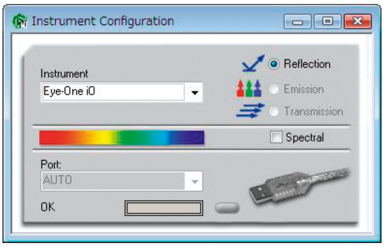
1 出力したチャートを測色器にセットします。

2 ツールバーの “Device/Port” をクリックします。



3 “Instrument Configuration” が起動します。次の項目を確認してください。

- ・“Instrument” には、P 1-6 で設定した測色器が表示されている
- ・“Reflection” が選択されている
- ・“Spectral” がチェックされていない
- ・“Port” の下に「OK」を表示している



Instrument Configuration

Instrument: Eye-One iO

● Reflection
○ Emission
○ Transmission

☐ Spectral

Port: AUTO

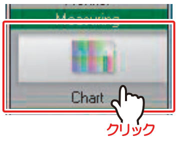
OK

重 要！

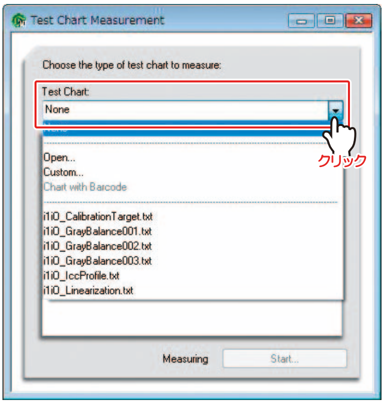
- ♦ 設定されている測色器を変更しないでください。

4 “Instrument Configuration” を閉じます。

5 ツールバーの “Chart” をクリックします。



6 “Test Chart” の下矢印をクリックします。



Test Chart Measurement

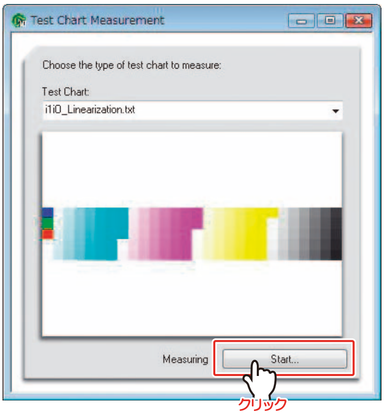
Choose the type of test chart to measure:

Test Chart: None

None
Open...
Custom...
Chart with Barcode
i1iO_CalibrationTarget.txt
i1iO_GrayBalance001.txt
i1iO_GrayBalance002.txt
i1iO_GrayBalance003.txt
i1iO_IccProfile.txt
i1iO_Linearization.txt

Eye-One iO のチャートを表示します。
測色したい要素の名前がついたチャートを選択してください。
（リニアライゼーションの調整をする場合は、「i1iO_Linearization.txt」を選択）

7 **Start** をクリックします。

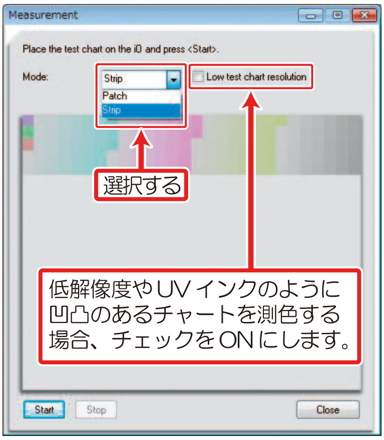


Test Chart Measurement

Choose the type of test chart to measure:

Test Chart: i1iO_Linearization.txt

8 “Mode”の設定を [Strip] にします。


Measurement

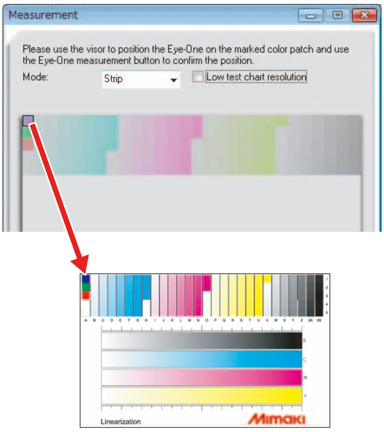
Place the test chart on the i0 and press <Start>.

Mode: Strip ☐ Low test chart resolution

Patch
Strip
選択する
Start
Stop
Close

低解像度やUVインクのように凹凸のあるチャートを測色する場合、チェックをONにします。

9 Eye-One iO のアームを手で動かし、位置確認用スケールを画面上で示している部分（左上）に合わせます。

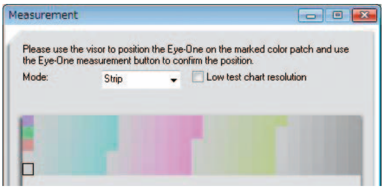

Measurement
Linearization
Mimaki

Please use the visor to position the Eye-One on the marked color patch and use the Eye-One measurement button to confirm the position.

Mode: Strip ☐ Low test chart resolution

10 Eye-One iO の側面にあるボタンを押します。

次の画面を表示します。

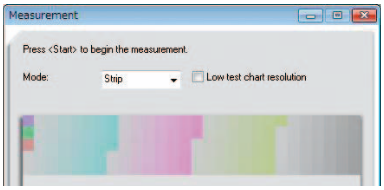

Measurement

Please use the visor to position the Eye-One on the marked color patch and use the Eye-One measurement button to confirm the position.

Mode: Strip ☐ Low test chart resolution

11 手順９と同様に、左下、右下の順番で位置確認用スケールを合わせます。

右下を合わせた後、次の画面が表示されます。


Measurement

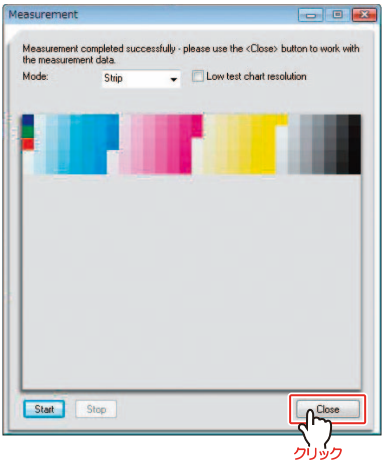
Press <Start> to begin the measurement.

Mode: Strip ☐ Low test chart resolution

用意ができたら **Start** をクリックしてください。

自動的に測色を開始します。

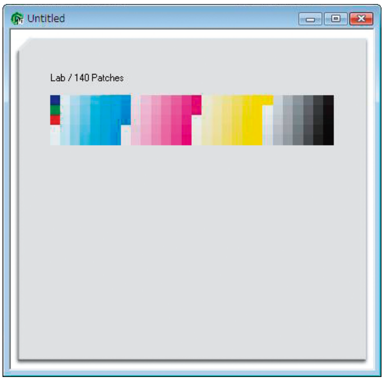
12 すべての測色が完了したら、**Close** をクリックします。


Measurement
Start
Stop
Close
クリック

Measurement completed successfully - please use the <Close> button to work with the measurement data.

Mode: Strip ☐ Low test chart resolution

13 メニューバーから [File] → [Save As...] を選択し、測色結果を保存します。



Lab / 140 Patches

測色結果は、必ず“ファイルの種類”を [Text Files(*.txt *.text)] にして保存してください。

14 MeasureTool 5.0 を終了させせます。

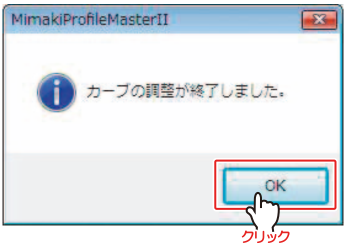
“測色結果ファイル”に、手順 13 で保存したファイル名が表示されていることを確認してください。

重 要 !

- ♦ MeasureTool で測色を複数回行うと、最後に保存されたファイル名が表示されます。使用したい測色結果ファイルと異なる場合は、[測色値ファイルを選択] をクリックしてファイルを選択してください。

15 完了 をクリックします。

自動的に、カーブの調整を行います。
カーブの調整が完了すると、次のダイアログが表示されます。



MimakiProfileMasterII

カーブの調整が終了しました。

16 OK をクリックします。

測色が終了しました。☞P 2-26 手順 7 からの操作をしてください。

● 透けるメディアを測色するときの対応方法

背景が透けて見えるようなメディアを測色する場合、背景色によって測色値に影響が出ます。Spectro Scan、Eye-One Pro、Eye-One iO で測色する場合は、以下のように対処してください。

a. 裏が透けるメディア

白紙の同じメディアか、信頼のおける白色度を持つメディアを測色するチャートの下に 1 枚以上置いて測色してください。黒い紙などを敷くと、色再現が暗くなってしまいます。測色器の背景色が白色の場合は必要ありません。

b. 布メディア

布の表面の粗さによって異なります。
表面が細かい (あまり透けない) 場合、上記の「裏が透けるメディア」と同様に、白い紙のメディアを敷いて測色してください。
表面が粗い（よく透ける）場合、同じチャートを 2 枚印刷し、白いメディアの上に重ね合わせて測色してください。
特に、表面に光沢感のある布メディアを測色する場合は、測色器に付属する偏光フィルタを使用してください。偏光フィルタが付属されていない測色器を使用すると、正しく測色できない場合があります。

c. 裏打ちした透明メディア

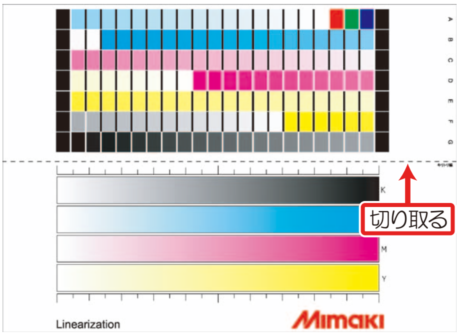
実際に絵柄を見る側から測色します。
白インクだけでは、透けてしまうことがあるので、信頼のおける白色度を持つメディアや、ターゲットにする色校正が出力されたメディアなどを敷いて、測色してください。

DTP-41 を使って測色する場合

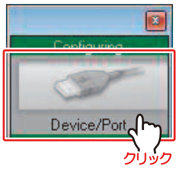
重 要！

- ♦ シリアルポートの無い PC でシリアル接続の古い DTP-41 を使う場合は、測色器の販売店にご相談ください。
- ♦ MeasureTool 5.0 で“Language”の設定を変更しないでください。
- ♦ MeasureTool 5.0 がデモモードのときは、測色できません。
- ♦ 測色するチャートは、インクの表面だけでなく内部も乾燥・硬化していることを確認してから測色してください。インクが完全に乾いていないと、測色器内部のローラーがインクで汚れてしまいます。
- ♦ 糊付きのメディアをお使いになる場合、メディアが台紙から剥がれた状態ではお使いにならないでください。

1 出力したチャートを点線に沿って切り取ります。

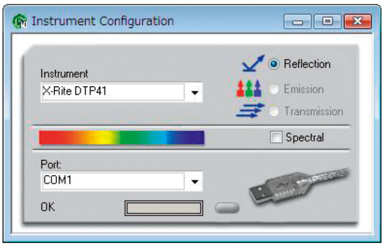

切り取る
Linearization
Mimaki

2 ツールバーの“Device/Port”をクリックします。


Configuring
Device/Port
クリック

3 “Instrument Configuration”が起動します。次の項目を確認してください。

- ・“Instrument”には、P 1-6 で設定した測色器が表示されている
- ・“Reflection”が選択されている
- ・“Spectral”がチェックされていない
- ・“Port”の下に「OK」を表示している


Instrument Configuration

Instrument
X-Rite DTP41

● Reflection
○ Emission
○ Transmission

☐ Spectral

Port:
COM1

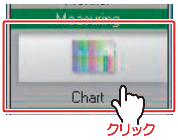
OK

重 要！

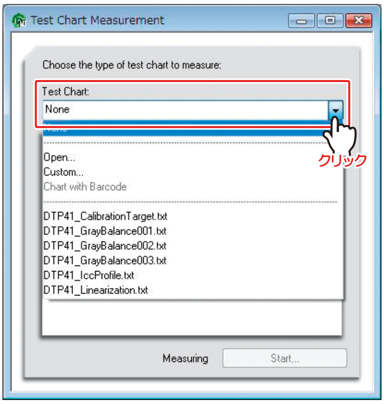
- ♦ 設定されている測色器を変更しないでください。
- ♦ “Port”の下に「OK」が表示されていないときは、接続しているポートを選択して「OK」を表示させてください。

4 “Instrument Configuration”を閉じます。

5 ツールバーの“Chart”をクリックします。


Measuring
Chart
クリック

6 “Test Chart”の下矢印をクリックします。


Test Chart Measurement
クリック
Measuring
Start...

Choose the type of test chart to measure:

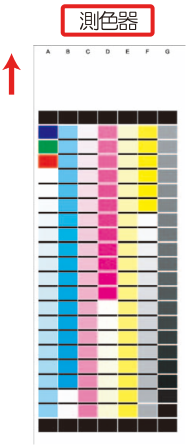
Test Chart:
None

None
Open...
Custom...
Chart with Barcode
DTP41_CalibrationTarget.txt
DTP41_GrayBalance001.txt
DTP41_GrayBalance002.txt
DTP41_GrayBalance003.txt
DTP41_IccProfile.txt
DTP41_Linearization.txt

DTP-41 のチャートを表示します。
測色したい要素の名前がついたチャートを選択してください。
（リニアライゼーションの調整をする場合は、「DTP41_Linearization.txt」を選択）

7 **Start** をクリックします。

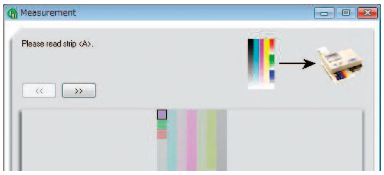
8 測色チャートを測色します。



左端の列から順番に測色します。

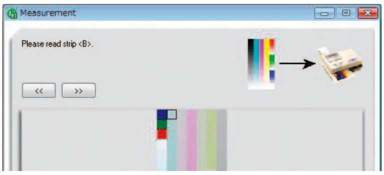
測色する列をセットして、測色器にあるボタンを押してください。

測色中の列が画面に表示されます。
画面のアルファベットは測色する列を示します。


Measurement

Please read strip <A>.

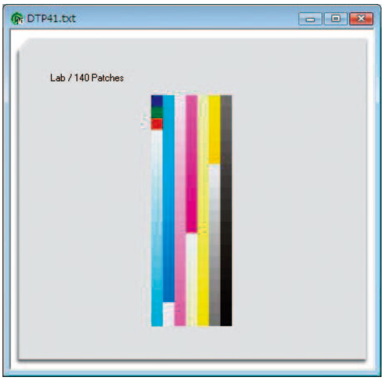
正常に測色できた場合は、次の行の測色を促す画面を表示します。


Measurement

Please read strip <B>.

- ♦ 正常に測色できなかった場合、測色器のランプが早く点滅し、再度、測色するよう促すメッセージを表示します。この場合は、再度測色してください。

9 メニューバーから[File]→[Save As...]を選択し、測色結果を保存します。


DTP41.txt

Lab / 140 Patches

測色結果は、必ず“ファイルの種類”を[Text Files(*.txt *.text)]にして保存してください。

10 MeasureTool 5.0 を終了させせます。

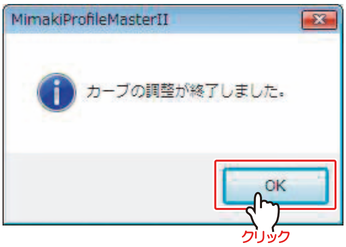
“測色結果ファイル”に、手順９で保存したファイル名が表示されていることを確認してください。

重 要！

- ♦ MeasureTool で測色を複数回行うと、最後に保存されたファイル名が表示されます。使用したい測色結果ファイルと異なる場合は、[測色値ファイルを選択]をクリックしてファイルを選択してください。

11 **完了** をクリックします。

自動的に、カーブの調整を行います。
カーブの調整が完了すると、次のダイアログが表示されます。


MimakiProfileMasterII

カーブの調整が終了しました。

12 **OK** をクリックします。

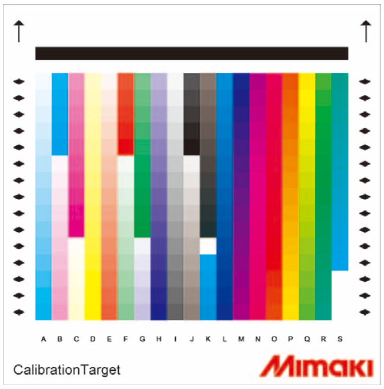
測色が終了しました。☞P 2-26 手順 7 からの操作をしてください。

i1 iSis を使って測色する場合

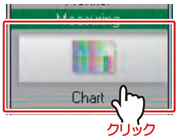
重 要！

- ♦ 測色するチャートは、インクの表面だけでなく内部も乾燥・硬化していることを確認してから測色してください。インクが完全に乾いていないと、測色器内部のローラーがインクで汚れてしまいます。
- ♦ 強くカールしているメディアはお使いにならないでください。メディアジャム（詰まり）の原因となります。
- ♦ 糊付きのメディアをお使いになる場合、メディアが台紙から剥がれた状態ではお使いにならないでください。

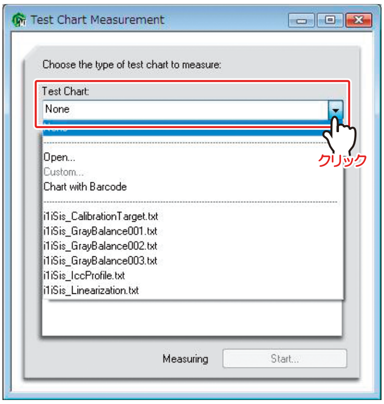
1 出力したチャートを点線に沿って切り取ります。


A B C D E F G H I J K L M N O P Q R S
CalibrationTarget
Mimaki

2 ツールバーの“Chart”をクリックします。


Measuring
Chart
クリック

3 “Test Chart”の下矢印をクリックします。


Test Chart Measurement

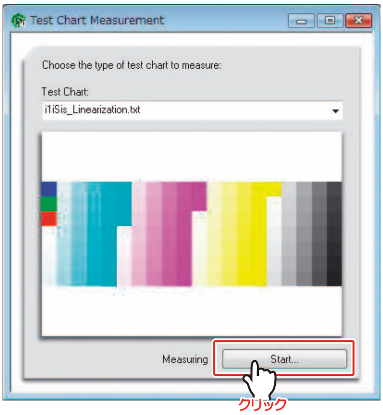
Choose the type of test chart to measure:

Test Chart: None

Open...
Custom...
Chart with Barcode
i1iSis_CalibrationTarget.txt
i1iSis_GrayBalance001.txt
i1iSis_GrayBalance002.txt
i1iSis_GrayBalance003.txt
i1iSis_IccProfile.txt
i1iSis_Linearization.txt
クリック
Measuring
Start...

i1 iSis のチャートを表示します。
測色したい要素の名前がついたチャートを選択してください。
（リニアライゼーションの調整をする場合は、「i1iSis_Linearization.txt」を選択）

4 **Start** をクリックします。


Test Chart Measurement

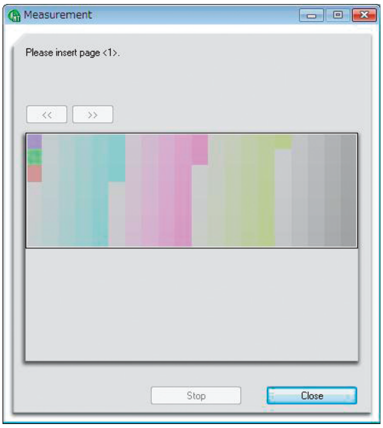
Choose the type of test chart to measure:

Test Chart: i1iSis_Linearization.txt

Measuring
Start...
クリック

5 測色チャートを測色します。

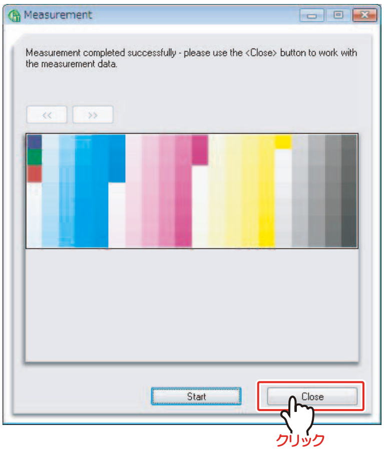
次の画面を表示したら、測色するチャートの左端を i1 iSis の左端に沿わせるようにして挿入します。


Measurement

Please insert page <1>.

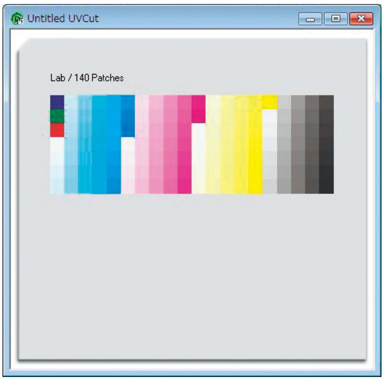
チャートが i1 iSis の一番奥に突き当たると、自動的に測色を開始します。

6 **Close** をクリックします。


Measurement
<<
>>
Start
Close
クリック

Measurement completed successfully - please use the <Close> button to work with the measurement data.

7 メニューバーから [File] → [Save As...] を選択し、測色結果を保存します。


Untitled UVCut
Lab / 140 Patches

測色結果は、必ず“ファイルの種類”を [Text Files(*.txt *.text)] にして保存してください。

8 MeasureTool 5.0 を終了させます。

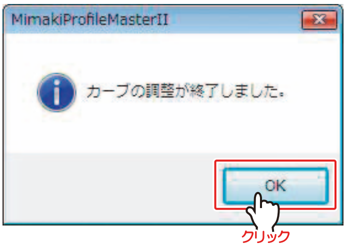
“測色結果ファイル”に、手順 7 で保存したファイル名が表示されていることを確認してください。

重 要！

- ♦ MeasureTool で測色を複数回行うと、最後に保存されたファイル名が表示されます。使用したい測色結果ファイルと異なる場合は、[測色値ファイルを選択] をクリックしてファイルを選択してください。

9 **完了** をクリックします。

自動的に、カーブの調整を行います。
カーブの調整が完了すると、次のダイアログが表示されます。


MimakiProfileMasterII
OK
クリック

カーブの調整が終了しました。

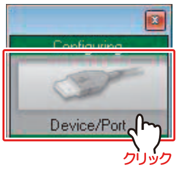
10 **OK** をクリックします。

測色が終了しました。☞P 2-26 手順 7 からの操作をしてください。

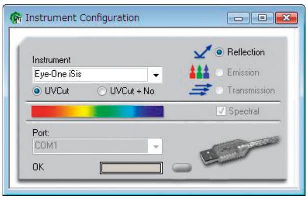
● i1 iSis で測色時、MeasureTool 5.0 を起動後、ツールバーの“Device/Port”をクリックした場合

i1 iSis で、最初にツールバーの“Device/Port”をクリックしてから測色した場合は、次のようにしてください。

1. ツールバーの“Device/Port”をクリックします。


Configuring
Device/Port
クリック

2. 次の項目を確認してください。
   - ・“Instrument”には、P 1-6 で設定した測色器が表示されている
   - ・“Reflection”が選択されている
   - ・“UVCut”が選択されている
   - ・“Port”の下に「OK」を表示している

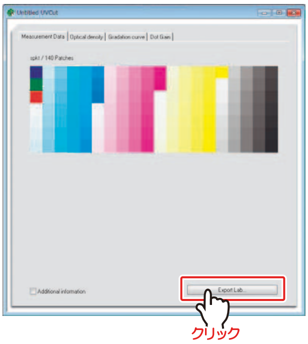

Instrument Configuration

Instrument: Eye-One iSis
● UVCut　○ UVCut + No
● Reflection
○ Emission
○ Transmission
☑ Spectral
Port: COM1
OK

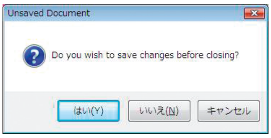
3. “Instrument Configuration”を閉じます。

4. 「i1 iSis を使って測色する場合」手順２～６の操作をします。

5. **Export Lab...** をクリックし、測色結果を保存します。
   測色結果は、必ず“ファイルの種類”を［Text Files(*.txt *.text)］にして保存してください。


Untitled UVCut
Measurement Data
Optical density
Gradation curve
Dot Gain
Additional information
Export Lab
クリック

6. MeasureTool 5.0 を終了させます。
   MeasureTool 5.0 を終了させると、次のダイアログが表示されます。


Unsaved Document
はい(Y)
いいえ(N)
キャンセル

Do you wish to save changes before closing?

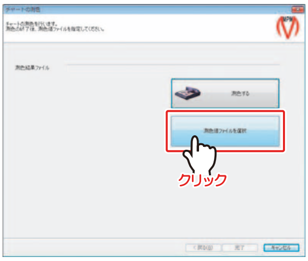
7. **いいえ** をクリックします。

8. **測色値ファイルを選択** をクリックします。

9. 手順５で保存したファイルを選択します。

10. **完了** をクリックします。

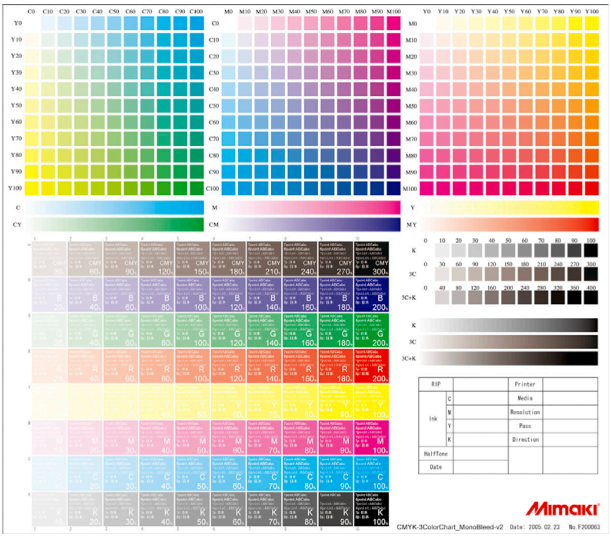
11. **OK** をクリックします。


測色する
測色値ファイルを選択
クリック

3 次色のインクリミットの設定 (プロファイル (V3) を選んだ場合)

チャートを出力して、メディアに乗せることのできるインクリミットを調整します。

- ●ここでは、ライトインクを除く３色以上のインクが使われる部分のインクリミットの調整します。

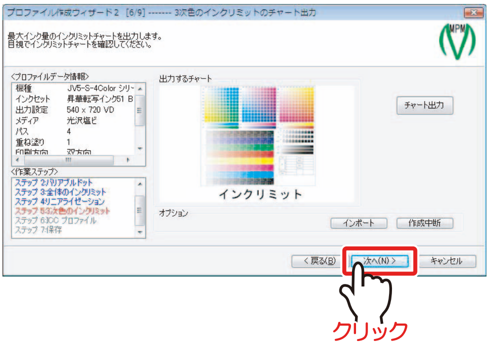

Mimaki
CMYK-3ColorChart_MonoBleed-v2

2-27 ページ「リニアライゼーションの自動調整」から

1 **チャート出力** をクリックし、測色用のチャートを出力します。

(☞ P 2-15 手順１～2)

2 **次へ** をクリックします。



プロファイル作成ウィザード 2 [6/9] ------- 3次色のインクリミットのチャート出力

最大インク量のインクリミットチャートを出力します。
目視でインクリミットチャートを確認してください。

<プロファイルデータ情報>

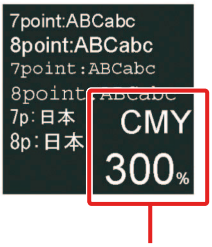
機種	JV5-S-4Color シリ-
インクセット	昇華転写インク51 B
出力設定	540 x 720 VD
メディア	光沢塩ビ
パス	4
重ね塗り	1
印刷方向	双方向

<作業ステップ>
ステップ 2:バリアブルドット
ステップ 3:全体のインクリミット
ステップ 4:リニアライゼーション
ステップ 5:3次色のインクリミット
ステップ 6:ICC プロファイル
ステップ 7:保存

出力するチャート
インクリミット
チャート出力
オプション
インポート
作成中断
< 戻る(B)
次へ(N) >
キャンセル
クリック

3 出力したチャートから３色（CMY）のトータルインク量を決定します。

チャートのにじみや白抜き文字の状態を見て、トータルインク量を決定します。
白抜き文字がはっきりと見えるトータルインク量をチャートから探します。



CMY各色100%ずつ出力

● **インクリミットの決定方法**
インクリミットの決定方法は、目視による判断となります。

● 以下にあげるインクの状態は、以降の設定でチャートを正しく測色できない原因になる場合があります。

a. 数分待っても乾かない。（作成環境によります）
b. インクが均一に乾かない。（ 高濃度の小さい矩形を出力すると、インクが寄ってしまい、濃度が均一にならない）
c. 白い細線が表現できない。
d. 横方向に数珠状につながって、縞模様になる。
e. メディアが波打ってしまう。膨張してしまう。
f. UV インクで出力したとき、見る角度によって光の反射の具合が大きく異なる
g. 高濃度部で階調がなくなってしまっている。

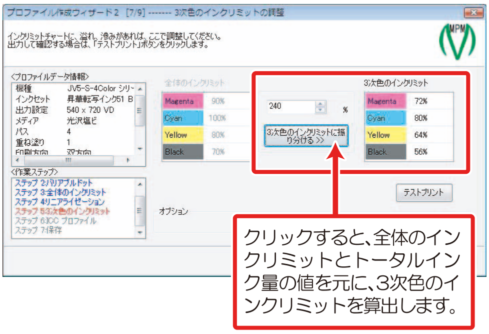
● 高濃度の出力をする際、インク量を多めにする必要があるため、細線が表現できない場合や、多少のにじみが出る場合があります。
● 温度や湿度の影響を受けるので、作成した環境（場所、季節、天候、温度、湿度等）によって、インクリミットの値が異なることがあります。
● インクリミットの値が適正でも、バリアブルドットを使用する場合、「見た目」が問題になることがあります。
バリアブルドットでは、3 種類の大きさ（Small, Middle, Large）のドットを打ち分け、グラデーションをなめらかにしています。しかし、メディアによっては、Small ドットが使用されるハイライト～中間調部分で、ドット間の距離よりドットサイズが下回ることがあり、紙面をドットで埋め尽くすことができません。このとき、見た目に「スジっぽさ」や「粗さ」を感じてしまい、好ましい画像にはならないことがあります。
対処方法として、次の方法があります。
a. デバイスプロファイル作成後に、インク量を調整する。
b. リニアライゼーションカーブを若干濃くする。
● すべてのインク量を同じにしてもデバイスプロファイルの作成はできますが、２次色、３次色（グレーバランス等）の色合いも考慮して各インク量を設定するとより良いデバイスプロファイルが作成できます。

④ ３次色のインクリミットを決定します。

インクリミットの決定方法には次の２種類の方法があります。

- ● 各色の数値部分をクリックして数値入力する。
- ● 3次色のインクリミットに振り分ける をクリックして決定する。

♦ 数値入力するとき、３次色のインクリミットに、全体のインクリミットより大きい値を入れることはできません。



プロファイル作成ウィザード２　[7/9] ------- 3次色のインクリミットの調整

インクリミットチャートに、溢れ、滲みがあれば、ここで調整してください。
出力して確認する場合は、「テストプリント」ボタンをクリックします。

<プロファイルデータ情報>
機種　JV5-S-4Color シリ
インクセット　昇華転写インク51 B
出力設定　540 x 720 VD
メディア　光沢塩ビ
パス　4
重ね塗り　1
印刷方向　双方向

<作業ステップ>
ステップ 2:バリアブルドット
ステップ 3:全体のインクリミット
ステップ 4:リニアライゼーション
ステップ 5:3次色のインクリミット
ステップ 6:ICC プロファイル
ステップ 7:保存

全体のインクリミット

Magenta	90%
Cyan	100%
Yellow	80%
Black	70%

240 %

3次色のインクリミット

Magenta	72%
Cyan	80%
Yellow	64%
Black	56%

クリックすると、全体のインクリミットとトータルインク量の値を元に、3次色のインクリミットを算出します。

● ３次色のインクリミットに振り分けるときは

3次色のインクリミットに振り分ける をクリックして決定されるインクリミットは、2-15 ページ「全体のインクリミットの設定 (プロファイル (V3) を選んだ場合)」で設定した値に従って決定されます。

(1)トータルインク量を３等分します。

(2)各色のインクリミットとトータルインク量を元にして算出されます。

計算方法
(手順 (1) で出した値) × (P 2-16 手順４で決定した各色のインクリミット) ÷ 100

例）手順３でトータルインク量を 240%に
各色のインクリミットを（K:90%　M:100%　C:80%　Y：70%）に
設定した場合は次のようになります。

● 240 ÷ 3 ＝ 80
● K のインクリミット ： 80 ×　90 ÷ 100 ＝ 72%
M のインクリミット ： 80 × 100 ÷ 100 ＝ 80%
C のインクリミット ： 80 ×　80 ÷ 100 ＝ 64%
Y のインクリミット ： 80 ×　70 ÷ 100 ＝ 56%

⑤ テストプリント をクリックし、出力確認します。

(☞ P 2-12 手順２～ 5)

♦ 弊社が提供する画像ファイルが保存されています。(Inklimit.tif)
確認専用のチャートをお持ちの場合は、お持ちの画像ファイルを使用します。

6 次へ をクリックします。

プロファイル（V2）を選んだ場合
2-46 ページ「グレーバランスの自動調整」へ続く ➡

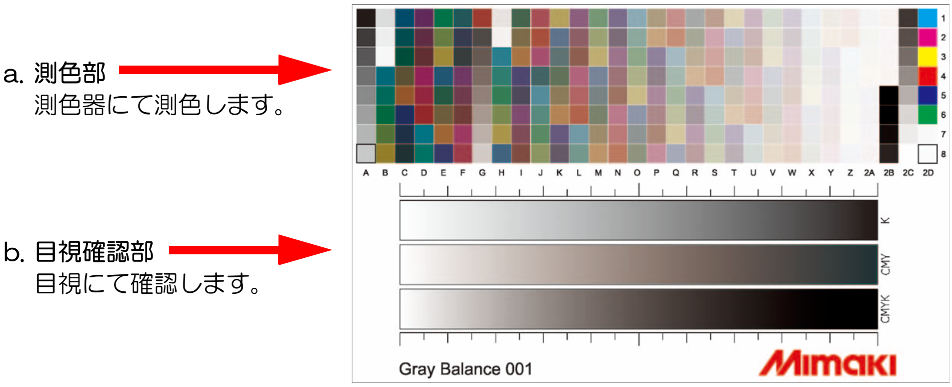
プロファイル（V3）を選んだ場合
2-49 ページ「ICC プロファイルの作成」へ続く ➡

グレーバランスの自動調整

チャートを出力し、測色することによって、CMY の混色で表現されるグレーの階調特性と色みを自動調整します。
自動調整されたグレーのグラデーションが、なめらかになっているかを確認します。
ライトインク、バリアブルドットは、CMYK 各色の構成色ととらえるため、調整しません。

重 要!	♦ インクが乾燥してから測色してください。正しい測色値が測れないことがあります。

測色用のチャートは、2 つのエリアで構成されています。
出力するチャートは測色器によって異なります。


a. 測色部
測色器にて測色します。
b. 目視確認部
目視にて確認します。
1
2
3
4
5
6
7
8
A B C D E F G H I J K L M N O P Q R S T U V W X Y Z 2A 2B 2C 2D
K
CMY
CMYK
Gray Balance 001
Mimaki

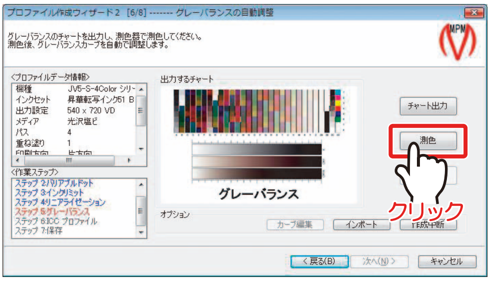
測色器選択で Spectro Scan を選択した場合のチャート

⬅ プロファイル（V2）を選んだ場合
2-27 ページ「リニアライゼーションの自動調整」から

1 チャート出力 をクリックし、測色用のチャートを出力します。

（☞ P 2-24 手順 1 ～ 2）

2 測色 をクリックし、出力したチャートを測色します。



プロファイル作成ウィザード 2 [6/8] -------- グレーバランスの自動調整

グレーバランスのチャートを出力し、測色器で測色してください。
測色後、グレーバランスカーブを自動で調整します。

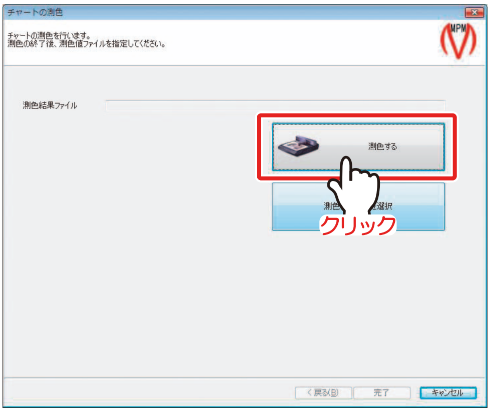
<プロファイルデータ情報>

機種	JV5-S-4Color シリ-
インクセット	昇華転写インク51 B
出力設定	540 x 720 VD
メディア	光沢塩ビ
パス	4
重ね塗り	1
印刷方向	片方向

<作業ステップ>
ステップ 2:バリアブルドット
ステップ 3:インクリミット
ステップ 4:リニアライゼーション
ステップ 5:グレーバランス
ステップ 6:ICC プロファイル
ステップ 7:保存

出力するチャート
グレーバランス
チャート出力
測色
クリック
オプション
カーブ編集
インポート
作成中断
< 戻る(B)
次へ(N) >
キャンセル

③ **測色する** をクリックします。


チャートの測色

チャートの測色を行います。
測色の終了後、測色値ファイルを指定してください。

測色結果ファイル

MPM
測色する
測色値ファイルを選択
クリック
＜戻る(B)
完了
キャンセル

④ MeasureTool5.0 が起動します。

Measure Tool is a Part of the Solution Package
PANTONE Digital Color
CxF
Lab
RGB
CMYK
n-Color
MeasureTool 5.0
ProfileMaker 5.0
PROFESSIONAL

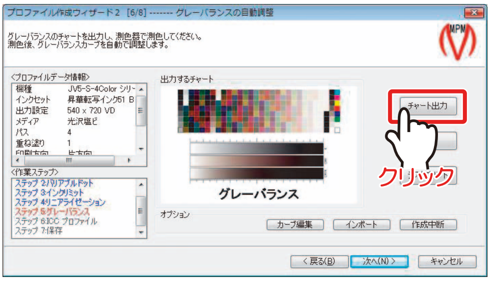
重 要！	◆ ProfileMaker ドングルを使用しない場合、MeasureTool5.0はデモモードで起動します。デモモードで起動したときは DTP-41 は使用できません。(他の測色器は、問題なく測色を行うことができます。)

⑤ 測色します。

(☞ P 2-26 手順 6)
チャートの名前は「○○ _GrayBalance.txt」を選択してください。(○○は測色器の名前)

⑥ **チャート出力** をクリックし、自動調整した結果を出力します。

(☞ P 2-24 手順 1 ～ 2)


プロファイル作成ウィザード２ [6/8] -------- グレーバランスの自動調整

グレーバランスのチャートを出力し、測色器で測色してください。
測色後、グレーバランスカーブを自動で調整します。

<プロファイルデータ情報>
機種　JV5-S-4Color シリ-
インクセット　昇華転写インク51 B
出力設定　540 x 720 VD
メディア　光沢塩ビ
パス　4
重ね塗り　1
印刷方向　片方向

<作業ステップ>
ステップ 2:バリアブルドット
ステップ 3:インクリミット
ステップ 4:リニアライゼーション
ステップ 5:グレーバランス
ステップ 6:ICC プロファイル
ステップ 7:保存

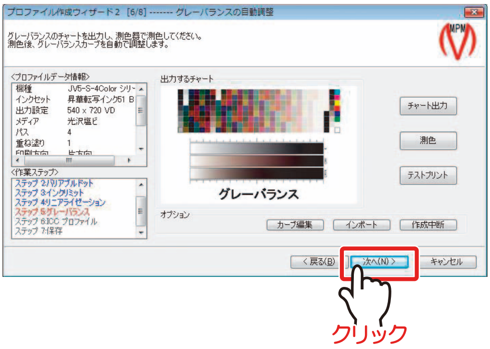
MPM
出力するチャート
グレーバランス
チャート出力
クリック
オプション
カーブ編集
インポート
作成中断
＜戻る(B)
次へ(N)＞
キャンセル

7 チャートの目視確認部で、各色のグラデーションがなめらかになっているかを確認します。

- ♦ 調整が不十分だと感じた場合、手順 6 で出力したチャートを測色します。測色によって再度自動調整をし、調整の追い込みをします。
- ♦ **カーブ編集** をクリックして、各色のデータを手動で調整することもできます。（☞ P 2-62 ）

調整が十分になるまでこの作業を繰り返します。

8 **次へ** をクリックします。



プロファイル作成ウィザード 2　[6/8] ------- グレーバランスの自動調整

グレーバランスのチャートを出力し、測色器で測色してください。
測色後、グレーバランスカーブを自動で調整します。

<プロファイルデータ情報>

機種	JV5-S-4Color シリ-
インクセット	昇華転写インク51 B
出力設定	540 x 720 VD
メディア	光沢塩ビ
パス	4
重ね塗り	1
印刷方向	片方向

<作業ステップ>

ステップ 2:バリアブルドット
ステップ 3:インクリミット
ステップ 4:リニアライゼーション
ステップ 5:グレーバランス
ステップ 6:ICC プロファイル
ステップ 7:保存

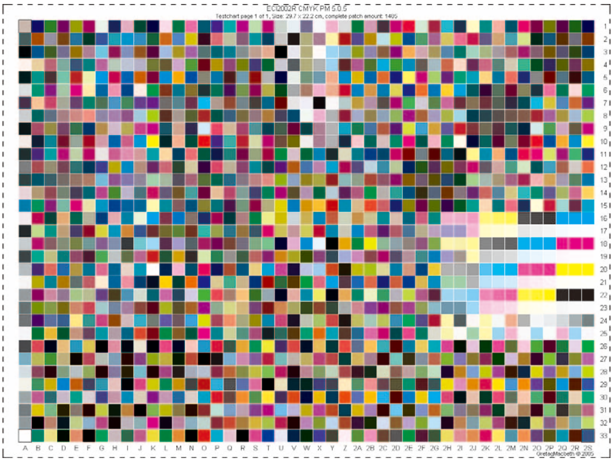
MPM
出力するチャート
グレーバランス
チャート出力
測色
テストプリント
オプション
カーブ編集
インポート
作成中断
< 戻る(B)
次へ(N) >
キャンセル
クリック

- ♦ カーブを編集した場合、**テストプリント** をクリックし、出力確認をします。弊社が提供する画像ファイルがあります。(TestPrint_GrayBalance.tif)
確認専用のチャートをお持ちの場合は、お持ちの画像ファイルを選択します。

2-49 ページ「ICC プロファイルの作成」へ続く ➡

ICC プロファイルの作成

チャートを出力、測色することによって、ICC プロファイルの作成をします。
この項目は、Raster Link シリーズの「カラーマッチング」で、「ICM」を選択した場合に適用されます。

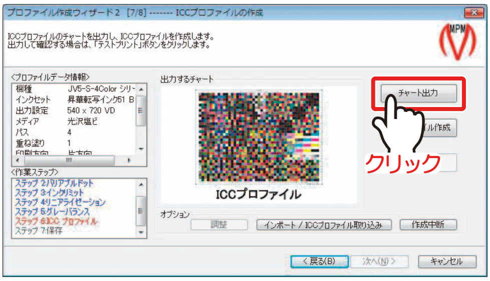

ECI2002R CMYK PM 5.0.5
Testchart page 1 of 1, Size: 29.7 x 22.2 cm, complete patch amount: 1485

測色器選択で SpectroScan を選択した場合のチャート

2-48 ページ「グレーバランスの自動調整」から

1 **チャート出力** をクリックし、測色用のチャートを出力します。

（☞ P 2-24　手順 1 ～ 2）



プロファイル作成ウィザード２ [7/8] -------- ICCプロファイルの作成

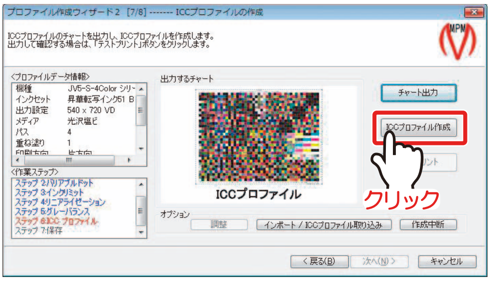
ICCプロファイルのチャートを出力し、ICCプロファイルを作成します。
出力して確認する場合は、「テストプリント」ボタンをクリックします。

<プロファイルデータ情報>
機種　JV5-S-4Color シリ-
インクセット　昇華転写インク51 B
出力設定　540 x 720 VD
メディア　光沢塩ビ
パス　4
重ね塗り　1
印刷方向　片方向

<作業ステップ>
ステップ 2:バリアブルドット
ステップ 3:インクリミット
ステップ 4:リニアライゼーション
ステップ 5:グレーバランス
ステップ 6:ICC プロファイル
ステップ 7:保存

出力するチャート
ICCプロファイル
チャート出力
ル作成
クリック
オプション
調整
インポート / ICCプロファイル取り込み
作成中断
< 戻る(B)
次へ(N) >
キャンセル

2 **ICCプロファイルを作成** をクリックします。



プロファイル作成ウィザード２ [7/8] -------- ICCプロファイルの作成

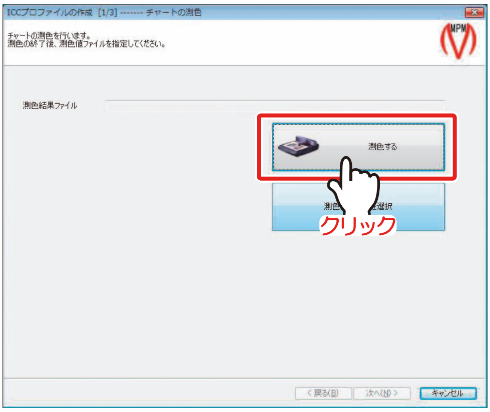
ICCプロファイルのチャートを出力し、ICCプロファイルを作成します。
出力して確認する場合は、「テストプリント」ボタンをクリックします。

<プロファイルデータ情報>
機種　JV5-S-4Color シリ-
インクセット　昇華転写インク51 B
出力設定　540 x 720 VD
メディア　光沢塩ビ
パス　4
重ね塗り　1
印刷方向　片方向

<作業ステップ>
ステップ 2:バリアブルドット
ステップ 3:インクリミット
ステップ 4:リニアライゼーション
ステップ 5:グレーバランス
ステップ 6:ICC プロファイル
ステップ 7:保存

出力するチャート
ICCプロファイル
チャート出力
ICCプロファイル作成
ント
クリック
オプション
調整
インポート / ICCプロファイル取り込み
作成中断
< 戻る(B)
次へ(N) >
キャンセル

③ 測色する をクリックします。


ICCプロファイルの作成 [1/3] ------- チャートの測色

チャートの測色を行います。
測色の終了後、測色値ファイルを指定してください。

測色結果ファイル

MPM
測色する
測色値ファイルを選択
クリック
＜戻る(B)
次へ(N)＞
キャンセル

④ MeasureTool5.0 が起動します。

Measure Tool is a Part of the Solution Package
PANTONE Digital Color
CxF
Lab
RGB
CMYK
n-Color
MeasureTool 5.0
ProfileMaker 5.0
PROFESSIONAL

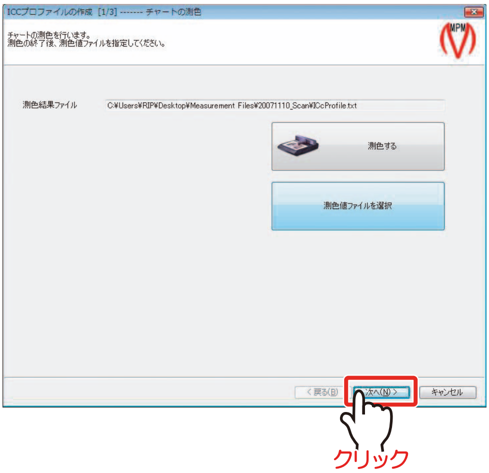
重 要 !

♦ ProfileMaker ドングルを使用しない場合、MeasureTool5.0はデモモードで起動します。デモモードで起動したときは DTP-41 は使用できません。（他の測色器は、問題なく測色を行うことができます。）

⑤ 測色します。

（☞ P 2-26 手順 6）
チャートの名前は「○○ _IccProfile.txt」を選択してください。（○○は測色器の名前）

⑥ 測色が終了したら、次へ をクリックします。

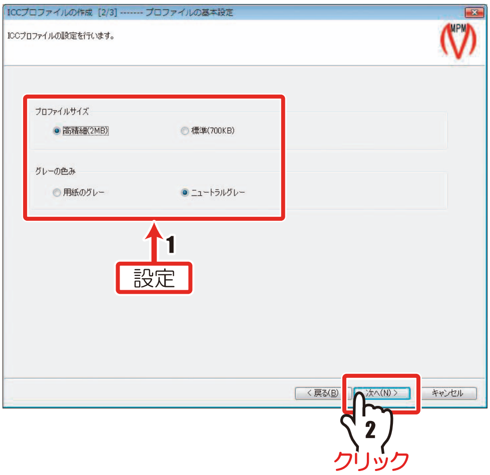

ICCプロファイルの作成 [1/3] ------- チャートの測色

チャートの測色を行います。
測色の終了後、測色値ファイルを指定してください。

測色結果ファイル C:¥Users¥RIP¥Desktop¥Measurement Files¥20071110_Scan¥ICcProfile.txt

MPM
測色する
測色値ファイルを選択
＜戻る(B)
次へ(N)＞
キャンセル
クリック

7 “プロファイルサイズ”と“グレーの色み”を設定し、次へ をクリックします。


ICCプロファイルの作成 [2/3] ------- プロファイルの基本設定

ICCプロファイルの設定を行います。

プロファイルサイズ
● 高精細(2MB)　○ 標準(700KB)

グレーの色み
○ 用紙のグレー　● ニュートラルグレー

MPM
1
設定
< 戻る(B)
次へ(N) >
キャンセル
2
クリック

- プロファイルサイズ

  高精細：

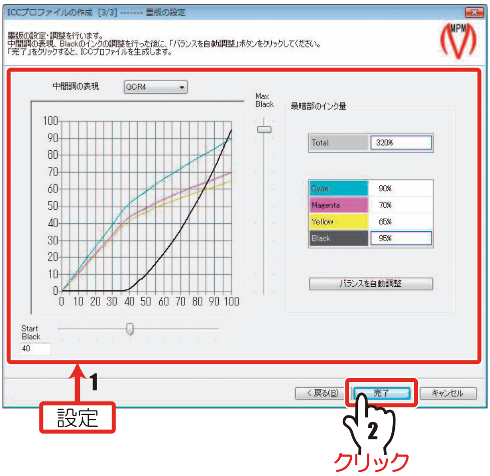
  “標準”より高精度な ICC プロファイルを生成します（約3分）。ファイルサイズは約2MBです。粒状感の出やすい印刷条件で作成する場合に使用します。

  標準：

  短時間（約１分）で ICC プロファイルを生成します。ファイルサイズは約 700KB です。

8 墨版の設定をします。

（☞ P 2-64）


ICCプロファイルの作成 [3/3] ------- 墨版の設定

墨版の設定・調整を行います。
中間調の表現、Blackのインクの調整を行った後に、「バランスを自動調整」ボタンをクリックしてください。
「完了」をクリックすると、ICCプロファイルを生成します。

中間調の表現：GCR4

Start Black：40

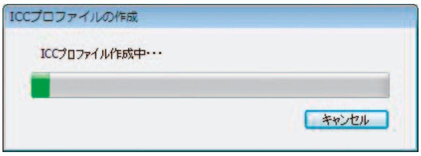
最暗部のインク量

Total	320%
Cyan	90%
Magenta	70%
Yellow	65%
Black	95%

MPM
Max Black
100
90
80
70
60
50
40
30
20
10
0
0 10 20 30 40 50 60 70 80 90 100
バランスを自動調整
1
設定
< 戻る(B)
完了
キャンセル
2
クリック

9 完了 をクリックします。

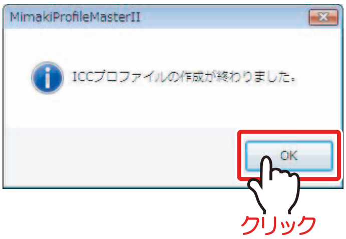
10 ICC プロファイルの作成を始めます。


ICCプロファイルの作成

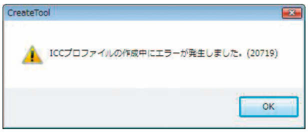
ICCプロファイル作成中・・・

⑪ OK をクリックします。

プロファイル作成ウィザードに戻ります。


MimakiProfileMasterII

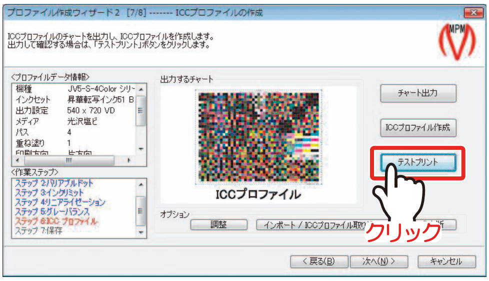
ICCプロファイルの作成が終わりました。

重 要!	◆ 測色ファイルに正しいものを選択しなかった場合、右のようなメッセージが表示されます。  CreateTool ICCプロファイルの作成中にエラーが発生しました。(20719) OK

⑫ テストプリント をクリックして、デバイスプロファイルの出力確認をします。

（☞ P 2-12　手順２～5）

◆ 弊社が提供する画像ファイルが保存されています。（TestPrint_ICCProfile.tif）確認専用のチャートをお持ちの場合は、お持ちの画像ファイルを選択します。


プロファイル作成ウィザード 2　[7/8] ------- ICCプロファイルの作成

ICCプロファイルのチャートを出力し、ICCプロファイルを作成します。
出力して確認する場合は、「テストプリント」ボタンをクリックします。

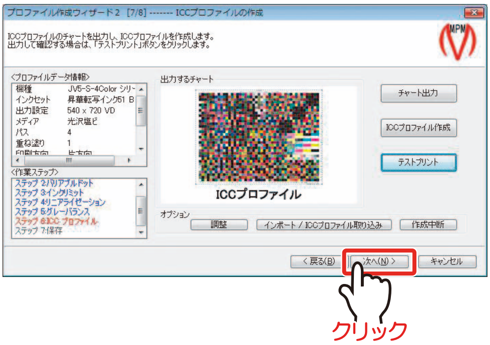
<プロファイルデータ情報>
機種　JV5-S-4Color シリ-
インクセット　昇華転写インク51 B
出力設定　540 x 720 VD
メディア　光沢塩ビ
パス　4
重ね塗り　1

<作業ステップ>
ステップ 2:バリアブルドット
ステップ 3:インクリミット
ステップ 4:リニアライゼーション
ステップ 5:グレーバランス
ステップ 6:ICC プロファイル
ステップ 7:保存

出力するチャート
ICCプロファイル
チャート出力
ICCプロファイル作成
テストプリント
オプション
調整
インポート / ICCプロファイル取り込み
クリック
< 戻る(B)
次へ(N) >
キャンセル

⑬ 確認できたら、次へ をクリックします。

◆ 再度、墨版設定をした場合は、 テストプリント をクリックし、出力確認をします。


プロファイル作成ウィザード 2　[7/8] ------- ICCプロファイルの作成

ICCプロファイルのチャートを出力し、ICCプロファイルを作成します。
出力して確認する場合は、「テストプリント」ボタンをクリックします。

出力するチャート
ICCプロファイル
チャート出力
ICCプロファイル作成
テストプリント
オプション
調整
インポート / ICCプロファイル取り込み
作成中断
< 戻る(B)
次へ(N) >
キャンセル
クリック

プロファイル（V2）を選んだ場合
2-56 ページ「デバイスプロファイルの保存」へ続く ➡

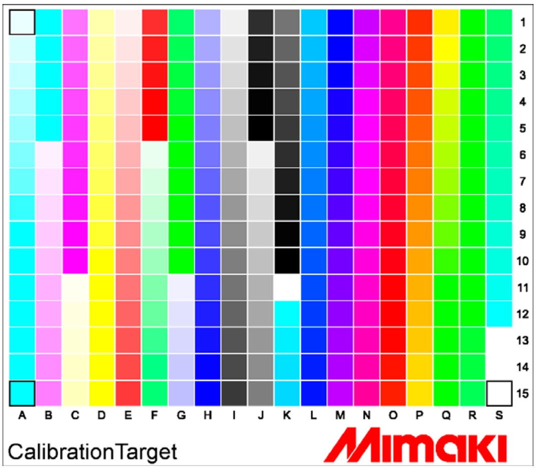
プロファイル（V3）を選んだ場合
2-53 ページ「キャリブレーションの基準設定 (プロファイル (V3) を選んだ場合)」へ続く ➡

キャリブレーションの基準設定 (プロファイル (V3) を選んだ場合)

様々な要因でプリンタの発色が変化してしまったときに、色を補正するための「基準となる色」を記録します。
キャリブレーション機能によって、変化してしまったプリンタの発色を、「基準となる色」に近づけるように補正します。

- ♦ 基準となる色をプロファイルに記録しておけば、温度変化やプリンタヘッドの調整などの要因によって発色が変わってしまっても、今回記録した状態に近づけるようにプロファイルを補正することができます。

重 要 !	♦ キャリブレーションの基準設定を行う前に、付録 -5 ページ「測色時のご注意」をよく読み、測色結果に異常な値を含まないように、ご注意ください。 ♦ 基準設定で記録した測色結果に異常がある場合、正常にキャリブレーションを行うことができず、変化した色を「基準となる色」に近づけることができません。

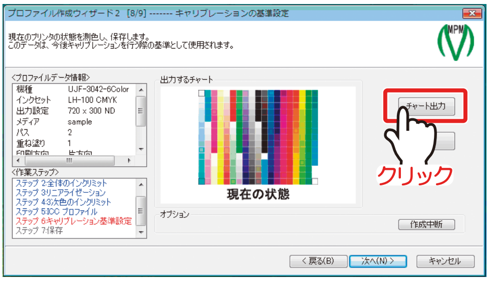

1
2
3
4
5
6
7
8
9
10
11
12
13
14
15
A B C D E F G H I J K L M N O P Q R S
CalibrationTarget
Mimaki

測色器選択で SpectroScan を選択した場合のチャート

2-52 ページ「ICC プロファイルの作成」から

1 **チャート出力** をクリックし、測色用のチャートを出力します。

（☞ P 2-24　手順 1 ～ 2）


プロファイル作成ウィザード2　[8/9] ------- キャリブレーションの基準設定
MPM
出力するチャート
現在の状態
チャート出力
クリック
オプション
作成中断
< 戻る(B)
次へ(N) >
キャンセル

現在のプリンタの状態を測色し、保存します。
このデータは、今後キャリブレーションを行う際の基準として使用されます。

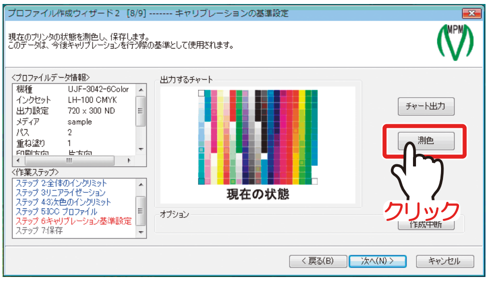
<プロファイルデータ情報>

機種	UJF-3042-6Color
インクセット	LH-100 CMYK
出力設定	720 x 300 ND
メディア	sample
パス	2
重ね塗り	1
印刷方向	片方向

<作業ステップ>

ステップ 2:全体のインクリミット
ステップ 3:リニアライゼーション
ステップ 4:3次色のインクリミット
ステップ 5:ICC プロファイル
ステップ 6:キャリブレーション基準設定
ステップ 7:保存

② **測色** をクリックし、出力したチャートを測色します。



プロファイル作成ウィザード 2 [8/9] ------- キャリブレーションの基準設定

現在のプリンタの状態を測色し、保存します。
このデータは、今後キャリブレーションを行う際の基準として使用されます。

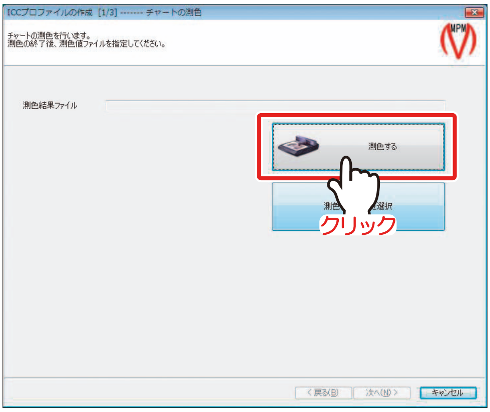
<プロファイルデータ情報>

機種	UJF-3042-6Color
インクセット	LH-100 CMYK
出力設定	720 x 300 ND
メディア	sample
パス	2
重ね塗り	1
印刷方向	片方向

<作業ステップ>
- ステップ 2:全体のインクリミット
- ステップ 3:リニアライゼーション
- ステップ 4:3次色のインクリミット
- ステップ 5:ICC プロファイル
- ステップ 6:キャリブレーション基準設定
- ステップ 7:保存

MPM
出力するチャート
現在の状態
オプション
チャート出力
測色
クリック
作成中断
< 戻る(B)
次へ(N) >
キャンセル

③ **測色する** をクリックします。

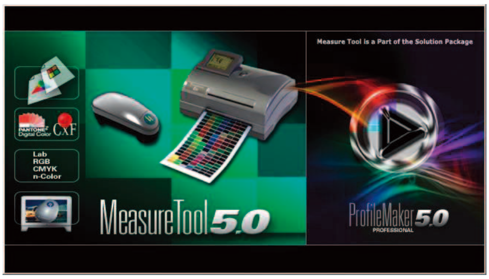


ICCプロファイルの作成 [1/3] ------- チャートの測色

チャートの測色を行います。
測色の終了後、測色値ファイルを指定してください。

MPM
測色結果ファイル
測色する
クリック
測色
選択
< 戻る(B)
次へ(N) >
キャンセル

④ MeasureTool5.0 が起動します。



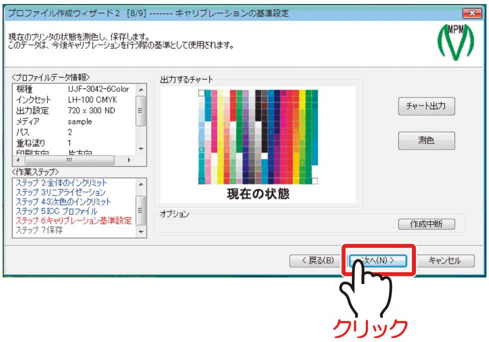
Measure Tool is a Part of the Solution Package
PANTONE Digital Color
CxF
Lab
RGB
CMYK
n-Color
MeasureTool 5.0
ProfileMaker 5.0
PROFESSIONAL

重 要!	♦ ProfileMaker ドングルを使用しない場合、MeasureTool5.0 はデモモードで起動します。デモモードで起動したときは DTP-41 は使用できません。(他の測色器は、問題なく測色を行うことができます。)

⑤ 測色します。

(☞ P 2-26 手順 6)
チャートの名前は「OO _CalibrationTarget.txt」を選択してください。(OOは測色器の名前)

6 測色が終了したら、
次へ をクリックします。


プロファイル作成ウィザード2　[8/9] ------- キャリブレーションの基準設定

現在のプリンタの状態を測色し、保存します。
このデータは、今後キャリブレーションを行う際の基準として使用されます。

<プロファイルデータ情報>

機種	UJF-3042-6Color
インクセット	LH-100 CMYK
出力設定	720 x 300 ND
メディア	sample
パス	2
重ね塗り	1
印刷方向	片方向

<作業ステップ>
ステップ 2:全体のインクリミット
ステップ 3:リニアライゼーション
ステップ 4:3次色のインクリミット
ステップ 5:ICC プロファイル
ステップ 6:キャリブレーション基準設定
ステップ 7:保存

MPM
出力するチャート
現在の状態
チャート出力
測色
オプション
作成中断
< 戻る(B)
次へ(N) >
キャンセル
クリック

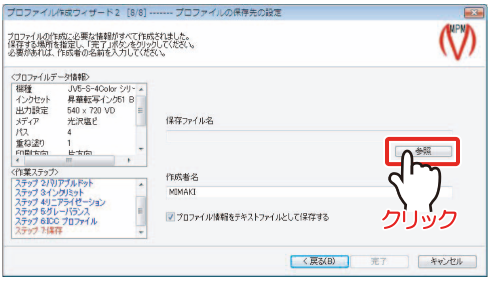
2-56 ページ「デバイスプロファイルの保存」へ続く

デバイスプロファイルの保存

作成したデバイスプロファイルを保存します。

2-52 ページ「ICC プロファイルの作成」から

1 **参照** をクリックします。


プロファイル作成ウィザード2 [8/8] ------- プロファイルの保存先の設定

プロファイルの作成に必要な情報がすべて作成されました。
保存する場所を指定し、「完了」ボタンをクリックしてください。
必要があれば、作成者の名前を入力してください。

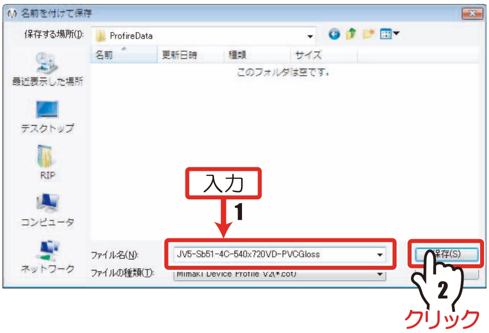
<プロファイルデータ情報>

機種	JV5-S-4Color シリ-
インクセット	昇華転写インク51 B
出力設定	540 x 720 VD
メディア	光沢塩ビ
パス	4
重ね塗り	1
印刷方向	片方向

<作業ステップ>
ステップ 2:バリアブルドット
ステップ 3:インクリミット
ステップ 4:リニアライゼーション
ステップ 5:グレーバランス
ステップ 6:ICC プロファイル
ステップ 7:保存

保存ファイル名:
作成者名: MIMAKI
☑ プロファイル情報をテキストファイルとして保存する

2 ファイルの保存先を指定し、ファイル名を入力します。


名前を付けて保存

保存する場所(I): ProfireData

名前	更新日時	種類	サイズ

このフォルダは空です。

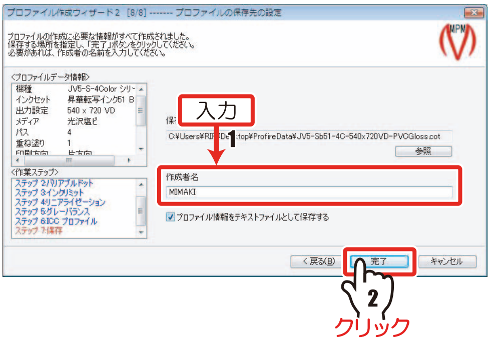
ファイル名(N): JV5-Sb51-4C-540x720VD-PVCGloss
ファイルの種類(T): Mimaki Device Profile V2(*.cot)

3 **保存** をクリックします。

「プロファイル作成ウィザード」に戻ります。

4 作成者名を入力します。

日本語環境以外で使われるプロファイルには、日本語を入力しないでください。


プロファイル作成ウィザード2 [8/8] ------- プロファイルの保存先の設定

プロファイルの作成に必要な情報がすべて作成されました。
保存する場所を指定し、「完了」ボタンをクリックしてください。
必要があれば、作成者の名前を入力してください。

<プロファイルデータ情報>

機種	JV5-S-4Color シリ-
インクセット	昇華転写インク51 B
出力設定	540 x 720 VD
メディア	光沢塩ビ
パス	4
重ね塗り	1
印刷方向	片方向

<作業ステップ>
ステップ 2:バリアブルドット
ステップ 3:インクリミット
ステップ 4:リニアライゼーション
ステップ 5:グレーバランス
ステップ 6:ICC プロファイル
ステップ 7:保存

C:¥Users¥RIP¥De top¥ProfireData¥JV5-Sb51-4C-540x720VD-PVCGloss.cot
作成者名: MIMAKI
☑ プロファイル情報をテキストファイルとして保存する

5 **完了** をクリックします。

デバイスプロファイルの作成が完了し、メインメニューに戻ります。

機能ボタンについて

デバイスプロファイルを作成、編集する際に使用する以下の機能ボタンについて説明します。

- ●テストプリントボタン、チャート出力ボタン（☞ このページ）
- ●インポートボタン（☞ P 2-61）
- ●カーブ編集ボタン（☞ P 2-62）
- ●作成中断ボタン（☞ P 2-67）
- ●調整ボタン（☞ P 2-64）
- ●測色器の保存 / 読み込み（☞ P 2-70）

テストプリントボタン、チャート出力ボタン

デバイスプロファイル作成ウィザードや、デバイスプロファイル編集ダイアログで表示されます。

チャート出力：デバイスプロファイルを作成するときに必要なチャートを出力します。
テストプリント：画像ファイルを選択して、設定されたデータを適用した画像を出力します。

♦次の画像フォーマットを、テストプリントで選択できます。

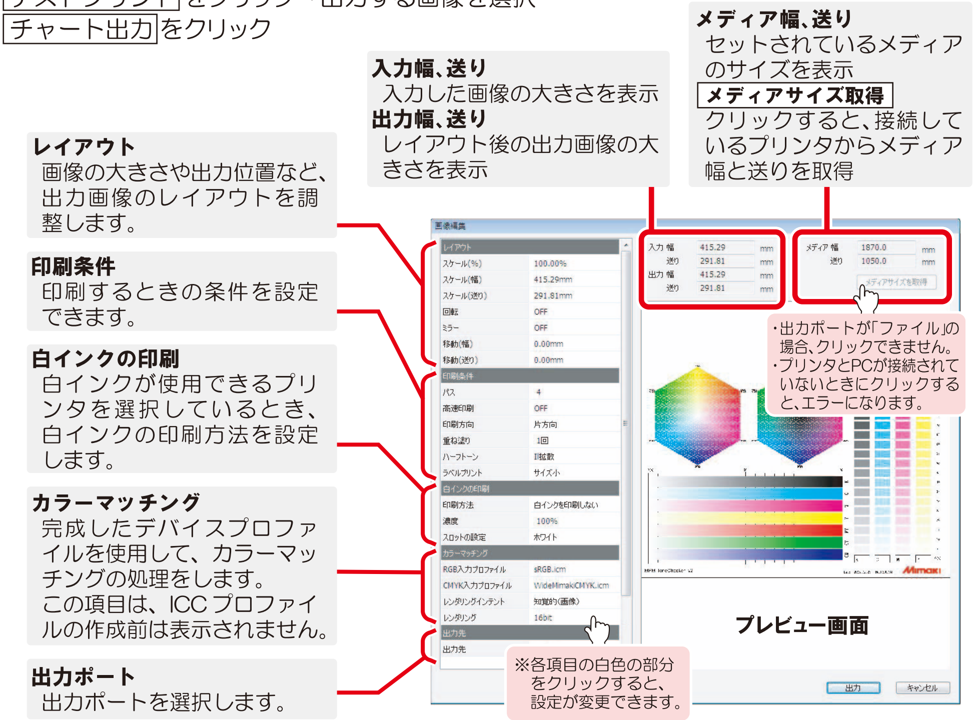
画像フォーマット	カラーモード
TIFF	CMYK、RGB* (LZW 圧縮された画像は不可）
BMP*	フルカラー、インデックスカラー

*. TIFF のRGBカラーモードおよびBMPは、ICCプロファイルのテストプリントのみ選択できます。

重要！
♦測色に使用するチャートは画像サイズを変更できません。600mm(23.6inch) 以上の幅のあるメディアをセットしてください。小型のプリンタには、サイズの小さいチャートを用意しています。
♦メディアの取り扱い方法については、各機種の取扱説明書をご覧ください。

以下のダイアログは、次のようなときに表示されます。

テストプリント をクリック→出力する画像を選択
チャート出力 をクリック



入力幅、送り
入力した画像の大きさを表示
出力幅、送り
レイアウト後の出力画像の大きさを表示

メディア幅、送り
セットされているメディアのサイズを表示
メディアサイズ取得
クリックすると、接続しているプリンタからメディア幅と送りを取得

レイアウト
画像の大きさや出力位置など、出力画像のレイアウトを調整します。

印刷条件
印刷するときの条件を設定できます。

白インクの印刷
白インクが使用できるプリンタを選択しているとき、白インクの印刷方法を設定します。

カラーマッチング
完成したデバイスプロファイルを使用して、カラーマッチングの処理をします。
この項目は、ICC プロファイルの作成前は表示されません。

出力ポート
出力ポートを選択します。

・出力ポートが「ファイル」の場合、クリックできません。
・プリンタとPCが接続されていないときにクリックすると、エラーになります。

※各項目の白色の部分をクリックすると、設定が変更できます。

プレビュー画面

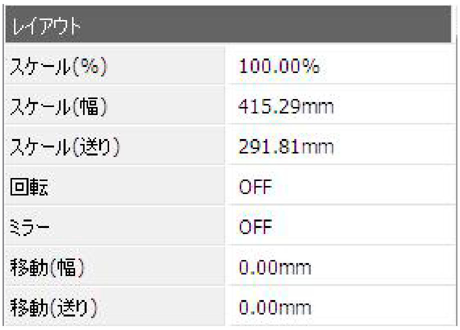
画像編集

レイアウト	
スケール(%)	100.00%
スケール(幅)	415.29mm
スケール(送り)	291.81mm
回転	OFF
ミラー	OFF
移動(幅)	0.00mm
移動(送り)	0.00mm
印刷条件	
パス	4
高速印刷	OFF
印刷方向	片方向
重ね塗り	1回
ハーフトーン	誤差拡散
ラベルプリント	サイズ小
白インクの印刷	
印刷方法	白インクを印刷しない
濃度	100%
スロットの設定	ホワイト
カラーマッチング	
RGB入力プロファイル	sRGB.icm
CMYK入力プロファイル	WideMimakiCMYK.icm
レンダリングインテント	知覚的(画像)
レンダリング	16bit
出力先	
出力先	

入力 幅 415.29 mm
送り 291.81 mm
出力 幅 415.29 mm
送り 291.81 mm

メディア 幅 1870.0 mm
送り 1050.0 mm

■ レイアウト



レイアウト	
スケール(%)	100.00%
スケール(幅)	415.29mm
スケール(送り)	291.81mm
回転	OFF
ミラー	OFF
移動(幅)	0.00mm
移動(送り)	0.00mm

●スケール (%)/(幅)/(送り)
画像の大きさを変更します。ミリまたはインチ単位、比率で変更できます。
・幅、送り方向のサイズの比は固定されています。
・スケールの範囲は、25.4mm ～ 2500mm または 300% です。

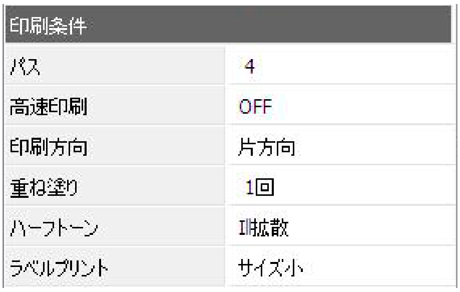
●回転
出力する画像を反時計回りに回転させせます。
(OFF, 90 度 , 180 度 , 270 度)

●ミラー
出力する画像を左右反転させせます。(ON,OFF)

●移動 (幅)/(送り)
プリンタで指定された原点から画像を移動する距離を指定します。
・移動できる範囲
0 ～ 5000mm (0 ～ 196.85 inch)

■ 印刷条件

チャート出力のときは、パス・高速印刷・印刷方向・重ね塗り・ハーフトーンは表示されません。プロファイル条件を使って出力します。



印刷条件	
パス	4
高速印刷	OFF
印刷方向	片方向
重ね塗り	1回
ハーフトーン	[illegible]拡散
ラベルプリント	サイズ小

●パス
印刷時のパス数を設定します。

●高速印刷
早く印刷したいとき“ON”を選びます。
(“ON”にすると、通常より画質が劣ります。)

●印刷方向
印刷方向を選びます。

●重ね塗り
重ね塗りの回数を設定します。

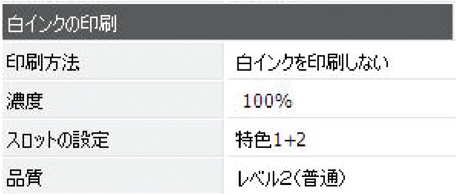
●ハーフトーン
ハーフトーンの方式を選びます。

●ラベルプリント
デバイスプロファイルの情報を画像に追加します。
ラベルプリントの有無、または、ラベルプリントのサイズを選択できます。(プリントしない、サイズ小、サイズ中、サイズ大) 以下の情報を出力します。

・出力日
・調整中の出力データ
・プリンタの情報 (機種名、出力設定)
・インクセット名
・オプション設定 (☞ P 1-9) の [ラベル] で設定した項目。

■ 白インクの印刷

白インクが使用できるプリンタを選択した場合に表示します。



白インクの印刷

印刷方法	白インクを印刷しない
濃度	100%
スロットの設定	特色1+2
品質	レベル2(普通)

●印刷方法

白インクを印刷しない

表面が白いメディアを使用する場合に選択します。

白インク→フルカラー

表面が白色でないメディアを使用する場合に選択します。

フルカラー→白インク

透明メディアのウラ面に印刷する場合に選択します。このパラメータを選択すると、自動的に「ミラー」の設定が ON に切り替わります。

●濃度

白インクの濃度を設定します。

●スロットの設定

白インクが入っているスロットのカラー設定を選択します。カラー設定の確認方法は、プリンタの取扱説明書をご覧ください。

●品質

白インクを作図した上にカラーインクを作図するときの設定です。LEVEL は１～３があり、数字が大きいほど白インクで作図してからカラーインクを作図するまでの時間が長くなります。LEVEL を大きくすると白インクの乾燥性が上がりますが、作図時間は長くなります。

重 要!

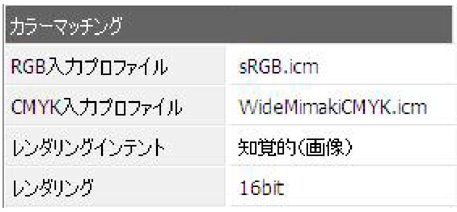
♦ UJF シリーズ、JF-16XX シリーズ、JFX で白インクを使用する場合、白の画像とフルカラーの画像を２つ連続で出力します。危険ですので、出力が完全に終わるまでプリンタに触れないでください。

♦ “品質” は、次の組み合わせでデバイスプロファイルを作成しているときに表示されます。

プリンタ	インクセット
JV3-SP-8Color シリーズ	SS2CMYK、SS2CMYKLcLm
JV33-S-8Color シリーズ	SS21CMYK、SS21CMYKLcLm
CJV30-8Color シリーズ	SS21CMYK、SS21CMYKLcLm
TPC-8Color	SS21CMYK、SS21CMYKLcLm
UJV-160-8Color	LH100CMYK、LF200CMYK

■ カラーマッチング

完成したデバイスプロファイルを使用して、カラーマッチング処理をします。この項目は、ICCプロファイルのテストプリントで表示します。



カラーマッチング	
RGB入力プロファイル	sRGB.icm
CMYK入力プロファイル	WideMimakiCMYK.icm
レンダリングインテント	知覚的(画像)
レンダリング	16bit

●**RGB 入力プロファイル**
RGB画像を出力する際に、使用する入力プロファイルです。ターゲット RIP にインストールされている RGB 入力プロファイルから選択できます。

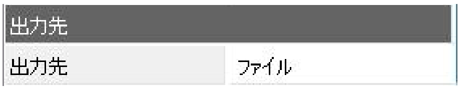
●**CMYK 入力プロファイル**
CMYK画像を出力する際に、使用する入力プロファイルです。ターゲット RIP にインストールされている CMYK 入力プロファイルから選択できます。

●**レンダリングインテント**
カラーマッチングの手法を選択します。

●**レンダリング**
V3 プロファイルで出力する際に、カラーマッチング処理の精度を選択します。

■ 出力先

PC に接続されているプリンタのうち、プロファイル条件の設定（☞ P 2-5）で選択したプリンタが持つポートに接続されたプリンタが表示されます。



出力先	
出力先	ファイル

重 要!	♦ 昇華転写インクの使用もしくは透明メディアへの裏打ちをする際は、必ずミラー処理を使用してください。ミラー処理をしないでプリントすると、転写の際に画像が反転してしまいます。ただし、原画像を反転している場合は、ミラー処理をする必要はありません。 ♦ データサイズがメディアサイズを超える場合や、データの移動をしてメディア内にデータが収まらなくなった場合などは、このまま印刷を行ってもよいか確認のダイアログが表示されます。設定をし直し、メディア内に収まるようにに印刷したいときは いいえ をクリックして設定し直してください。 ♦ 画像が出力幅よりはみ出している場合、はみ出した部分は出力しません。 ♦ 原点位置が出力範囲外にある場合、画像を出力しません。

インポートボタン

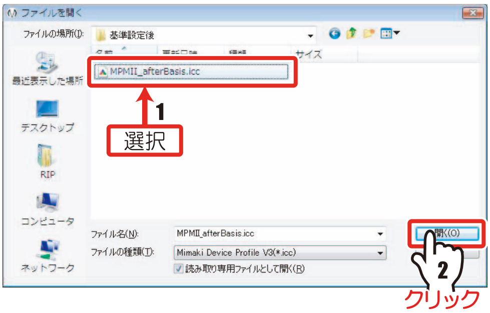
デバイスプロファイル作成中に［インポート］をクリックすると、設定中の項目のデータを、既存のプロファイルからコピーすることができます。
すでに作成したプロファイルと同じ値を設定する場合に便利です。

重 要！	♦ インポート元のデバイスプロファイルは、以下の条件のものを指定してください。 ・現在設定中の項目のデータがあること ・作成中のデバイスプロファイルと同じ色のインクがあること 上記の条件以外のデバイスプロファイルを指定した場合、エラーメッセージが表示され、データをインポートできません。

♦ メディア補正値、ヒーター温度のインポートにおいて、インポート元のデバイスプロファイルにデータがなくてもインポートはエラーになりません。初期値の値が設定されます。必要な場合は、値を変更してください。

1 ［インポート］をクリックします。

2 インポートするプロファイルを選択します。


ファイルを開く
最近表示した場所
デスクトップ
RIP
コンピュータ
ネットワーク
サイズ
開く(O)
1
選択
2
クリック

ファイルの場所(I): 基準設定後

MPMII_afterBasis.icc

ファイル名(N): MPMII_afterBasis.icc

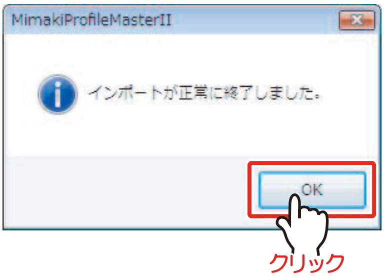
ファイルの種類(T): Mimaki Device Profile V3(*.icc)

☑ 読み取り専用ファイルとして開く(R)

3 ［開く］をクリックします。

4 インポートが終了します。

右図のダイアログを表示します。


MimakiProfileMasterII
OK
クリック

インポートが正常に終了しました。

5 ［OK］をクリックします。

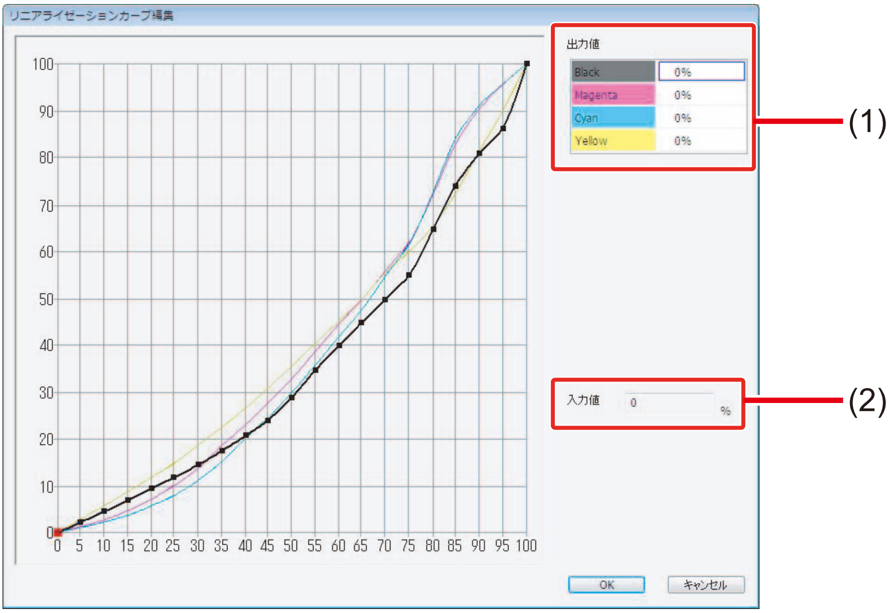
インポート互換表

インポート元とインポート先のデバイスプロファイルが違っている場合、インポートできない項目があります。

	メディア固有情報	リニアライゼーション	インクリミット	グレーバランス	ICCプロファイル	バリアブルドット	ライトインク
V2→V3	○	×	×	×	○	×	×
V3→V3	○	○	○	○	○	○	○
V3→V2	○	×	×	×	○	×	×
V2→V2	○	○	○	○	○	○	○

カーブ編集ボタン

カーブ編集 は、リニアライゼーションカーブ、グレーバランスのカーブを調整する機能です。
カーブ編集 をクリックすると、下のダイアログが表示されます。
下の図はリニアライゼーションのカーブを表示しています。
カーブの編集には、マウスとキーボードを使用します。
制御点（赤）を表示しているカーブの編集ができます。
制御点は 5% 刻みに表示します。
カーブの色は、インク色と対応しています。
太線のカーブが編集できます。点線のカーブは、ダイアログを開いた時の最初の状態を表しています。


リニアライゼーションカーブ編集

出力値

Black	0%
Magenta	0%
Cyan	0%
Yellow	0%

入力値 0 %

100
90
80
70
60
50
40
30
20
10
0
0 5 10 15 20 25 30 35 40 45 50 55 60 65 70 75 80 85 90 95 100
(1)
(2)
OK
キャンセル

(1) 出力値

選択している制御点の各インクのインク量を表示します。
数値をクリックすると値の編集ができます。このとき、現在選択しているカーブと異なるカーブの値をクリックした場合、カーブの選択も切り替わります。

(2) 入力値

現在選択している制御点の、横軸の座標を示します。数値の変更はできません。

カーブ編集方法

マウスでの操作

操　作	説　明
選択中のカーブの制御点を左クリック	選択した制御点が赤くなります。
選択中のカーブの制御点を左ダブルクリック	制御点を削除します。 広範囲に渡って編集したい場合に使用します。
選択中のカーブの消えた制御点を左クリック（カーブと横軸から出ている補助線の交点を左クリック）	削除した制御点が復活します。
選択中のカーブの制御点をドラッグ	制御点を上下に動かします。 制御点は左右には動きません。 ドラッグ中は、カーブ編集エリア内をマウスカーソルの動きに従って、制御点が上下します。
カーブ編集エリア内を右クリック	制御点を表示しているカーブに対して、６個の機能を提供するポップアップメニューを表示します。 ・**元に戻す** カーブ編集ダイアログを開いた状態に戻します。 ・**直線** ０～100％のまっすぐなカーブにします。 ・**ガンマ** ガンマ値のかかったカーブにします。ガンマ値を入力するダイアログを表示します。 ・**最低値に設定** カーブ全体を最も小さい値にします。 ・**コピー** 選択しているカーブをメモリ上へコピーします。 ・**貼り付け** メモリ上にコピーしたカーブで、選択しているカーブを上書きします。コピーを実行すると、メニューから選択できるようになります。
選択していないカーブを左ダブルクリック	カーブの選択を変更します。

キーボードでの操作

操　作	説　明
↑，↓キー	選択している制御点を上下に動かします。
←，→キー	選択している制御点の選択を移動できます。 制御点がカーブ上にない場合、制御点を追加しながら移動します。
Shift ＋ ↑，↓ キー	カーブの選択を変更します。 出力値リストに表示した順番にカーブを選択できます。

調整ボタン

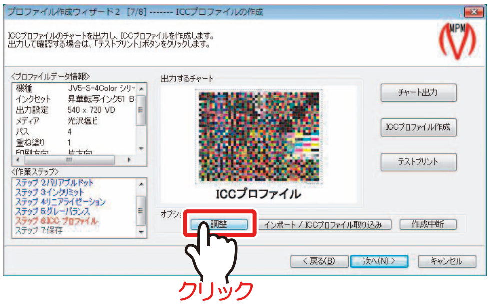
ICC プロファイル作成画面で 調整 をクリックすると、「イエローの濁り軽減」と「墨版設定」ができます。

重 要！	♦「イエローの濁り軽減」と「墨版設定」の両方の設定を行う場合、墨版設定を行った後にイエローの濁り軽減を行ってください。順番を逆にして設定を行うと、イエローの濁り軽減処理が無効になります。

イエローの濁り軽減

Y に C が乗る現象を防ぎます。Y の色相を一定にして、階調性・変化の連続性を保ちます。

1 ICC プロファイル作成画面で 調整 をクリックします。



プロファイル作成ウィザード2 [7/8] ------- ICCプロファイルの作成

ICCプロファイルのチャートを出力し、ICCプロファイルを作成します。
出力して確認する場合は、「テストプリント」ボタンをクリックします。

<プロファイルデータ情報>

機種	JV5-S-4Color シリ-
インクセット	昇華転写インク51 B
出力設定	540 x 720 VD
メディア	光沢塩ビ
パス	4
重ね塗り	1
印刷方向	片方向

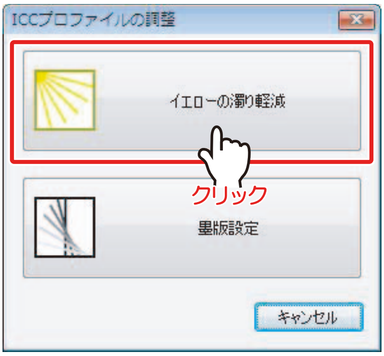
<作業ステップ>

ステップ 2:バリアブルドット
ステップ 3:インクリミット
ステップ 4:リニアライゼーション
ステップ 5:グレーバランス
ステップ 6:ICC プロファイル
ステップ 7:保存

MPM
出力するチャート
ICCプロファイル
チャート出力
ICCプロファイル作成
テストプリント
オプション
調整
インポート / ICCプロファイル取り込み
作成中断
< 戻る(B)
次へ(N) >
キャンセル
クリック

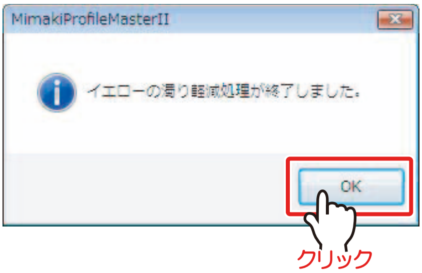
2 イエローの濁り軽減 をクリックします。

自動的に、イエローの濁り軽減処理を行います。



ICCプロファイルの調整
イエローの濁り軽減
クリック
墨版設定
キャンセル

3 OK をクリックします。



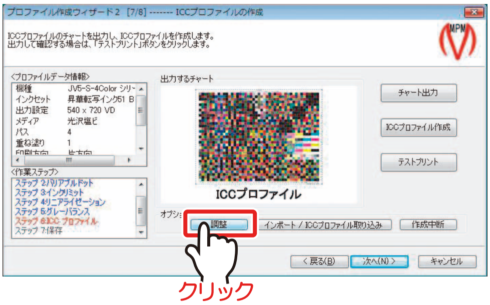
MimakiProfileMasterII

イエローの濁り軽減処理が終了しました。

墨版設定

C+M+Y を混色したときのグレー成分を、K インクに置き換えるための設定です。シャドー部など、インク量が多くあふれてしまう場合や、墨版を保持したい場合に調節すると効果的です。
ここで設定する K インクの置き換えは、Raster Link シリーズで、カラーマッチングを ON に、ICM を ON にして出力したときに有効になります。

1 ICC プロファイル作成画面で 調整 をクリックします。


プロファイル作成ウィザード 2 [7/8] ------- ICCプロファイルの作成

ICCプロファイルのチャートを出力し、ICCプロファイルを作成します。
出力して確認する場合は、「テストプリント」ボタンをクリックします。

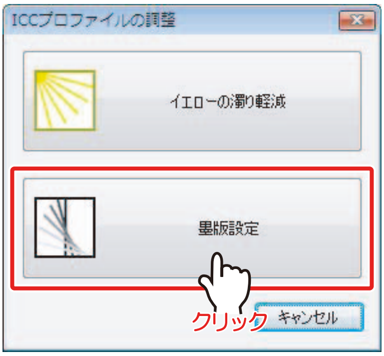
<プロファイルデータ情報>

機種	JV5-S-4Color シリ-
インクセット	昇華転写インク51 B
出力設定	540 x 720 VD
メディア	光沢塩ビ
パス	4
重ね塗り	1

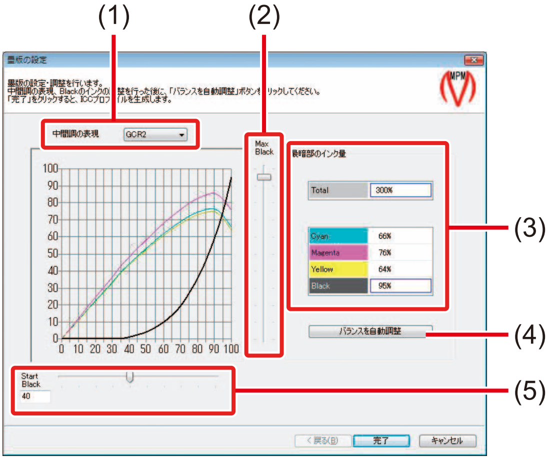
<作業ステップ>
ステップ 2:バリアブルドット
ステップ 3:インクリミット
ステップ 4:リニアライゼーション
ステップ 5:グレーバランス
ステップ 6:ICC プロファイル
ステップ 7:保存

出力するチャート
ICCプロファイル
チャート出力
ICCプロファイル作成
テストプリント
オプシ
調整
インポート / ICCプロファイル取り込み
作成中断
< 戻る(B)
次へ(N) >
キャンセル
クリック

2 墨版設定 をクリックします。


ICCプロファイルの調整
イエローの濁り軽減
墨版設定
キャンセル
クリック

3 各項目の設定をします。


墨版の設定

墨版の設定・調整を行います。
中間調の表現、Blackのインクの 整を行った後に、「バランスを自動調整」ボタンを リックしてください。
「完了」をクリックすると、ICCプロフ イルを生成します。

中間調の表現　GCR2

最暗部のインク量

Total	300%
Cyan	66%
Magenta	76%
Yellow	64%
Black	95%

Start Black　40

(1)
(2)
(3)
(4)
(5)
Max Black
100
90
80
70
60
50
40
30
20
10
0
0 10 20 30 40 50 60 70 80 90 100
バランスを自動調整
< 戻る(B)
完了
キャンセル

(1) 中間調の表現
中間調における、墨版のインク量と墨版に置き換えるCMYのインク量のバランスを変更します。

(2) Max Black
最も暗い色での墨版のインク量を設定します。

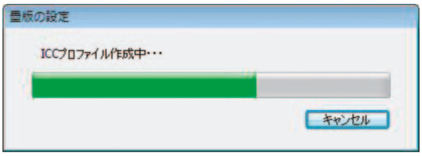
(3) 最暗部のインク量
最も暗い色での CMYK の各インク量を設定します。“Total” は CMYK の各インク量を足した値になります。

(4) バランスを自動調整
“中間調の表現”“Max Black”“最暗部のインク量” によって崩れたグレーの色みを自動調整します。各設定が終わってからクリックしてください。

(5) Start Black
墨版の入り始める濃度を設定します。
40 ～ 60 にすると、Black のドットによるハイライトの粒状感がなくなります。

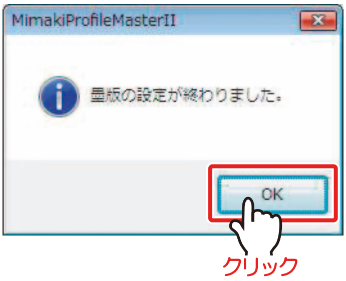
4 設定が終わったら 完了 をクリックします。

ICC プロファイルを作成します。


墨版の設定

ICCプロファイル作成中…

5 OK をクリックします。


MimakiProfileMasterII

墨版の設定が終わりました。

重 要！

♦ CMY でグレーを表現している場合、K インク量を多くすると、ハイライト部や K インクの入りはじめで粒状感が出やすくなりますが、中間調の色相は落ち着きます。K インクには若干ながら黄みや赤みを帯びる性質があるため、青みのグレーを出力したい場合は、K のインク量は増やさないでください。

作成中断ボタン

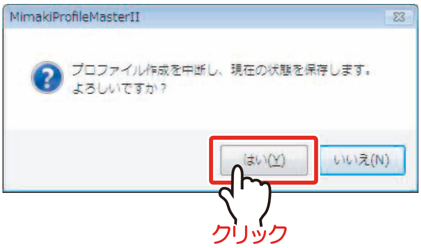
作成中断 は、作成途中のデバイスプロファイル（中断ファイル）に名前を付けて保存する機能です。
プロファイル作成ウィザードのすべての画面に表示します。
中断ファイルの拡張子は、“*.chocot” です。
中断ファイルは、再作成（☞P 2-68）で、再開できます。
中断ファイル (*.chocot) は、Raster Link シリーズにインストールできません。

1 **作成中断** をクリックします。

作成中断の確認ダイアログを表示します。

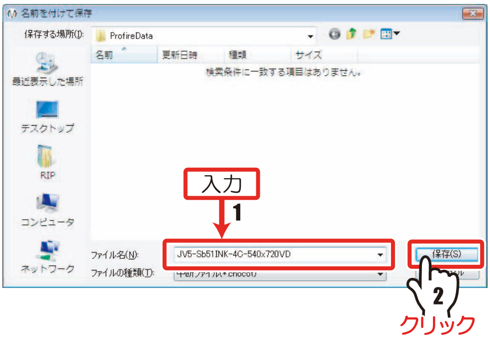
2 **はい** をクリックします。

中断ファイル保存のダイアログを表示します。


MimakiProfileMasterII
はい(Y)
いいえ(N)
クリック

プロファイル作成を中断し、現在の状態を保存します。
よろしいですか？

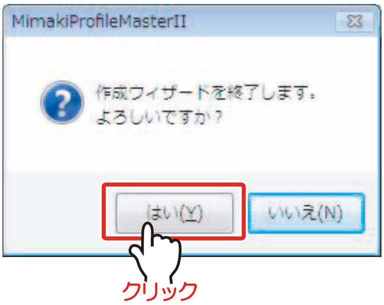
3 ファイルの保存先を指定し、ファイル名を入力します。


名前を付けて保存
名前
更新日時
種類
サイズ
最近表示した場所
デスクトップ
RIP
コンピュータ
ネットワーク
入力
1
保存(S)
2
クリック

保存する場所(I): ProfireData
検索条件に一致する項目はありません。
ファイル名(N): JV5-Sb51INK-4C-540x720VD
ファイルの種類(T): 中断ファイル(*.chocot)

4 **保存** をクリックします。

作成ウィザードを終了する確認ダイアログを表示します。


MimakiProfileMasterII
はい(Y)
いいえ(N)
クリック

作成ウィザードを終了します。
よろしいですか？

5 **はい** をクリックします。

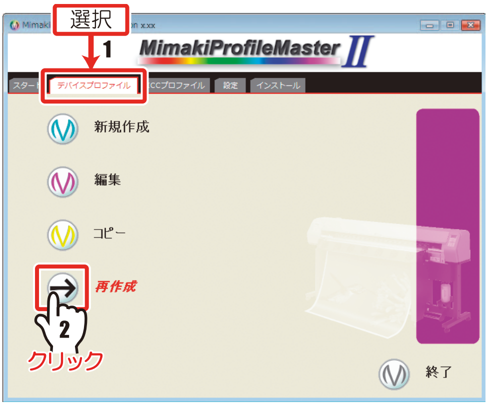
メインメニューに戻ります。
作成作業を続ける場合は、
いいえ をクリックします。

再作成

作成中断（☞P 2-67）で保存したファイルを開き、デバイスプロファイルを完成させせます。

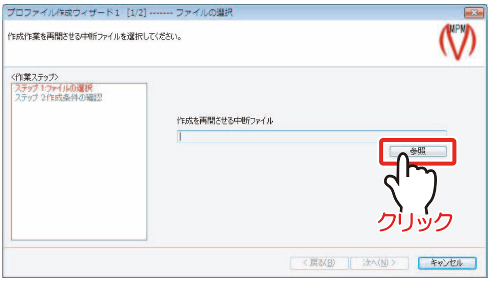
1 ［デバイスプロファイル］タブを選択し、“再作成”をクリックします。

プロファイル作成ウィザードが開きます。


選択
1
Mimaki
MimakiProfileMaster II
スタート
デバイスプロファイル
ICCプロファイル
設定
インストール
新規作成
編集
コピー
再作成
2
クリック
終了

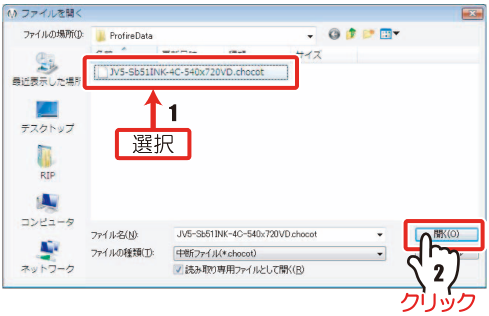
2 **参照** をクリックします。

再開させる中断ファイルを開きます。
開けるファイルは、拡張子が“*.chocot”のファイルのみです。


プロファイル作成ウィザード1 [1/2] ------- ファイルの選択

作成作業を再開させる中断ファイルを選択してください。
MPM
<作業ステップ>
ステップ 1:ファイルの選択
ステップ 2:作成条件の確認
作成を再開させる中断ファイル
参照
クリック
< 戻る(B)
次へ(N) >
キャンセル

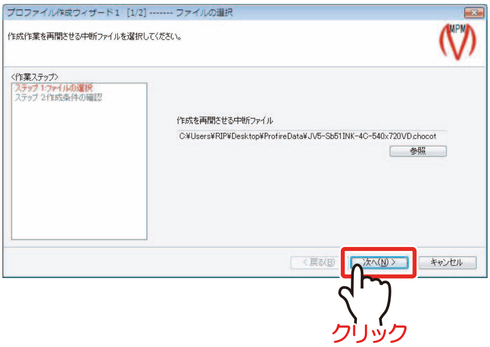
3 ファイルを選択し、**開く** をクリックします。


ファイル名(N): JV5-Sb51INK-4C-540x720VD.chocot

ファイルの種類(T): 中断ファイル(*.chocot)

☑ 読み取り専用ファイルとして開く(R)
ファイルを開く
ファイルの場所(I): ProfireData
サイズ
JV5-Sb51INK-4C-540x720VD.chocot
1
選択
最近表示した場所
デスクトップ
RIP
コンピュータ
ネットワーク
開く(O)
2
クリック

4. 次へ をクリックします。

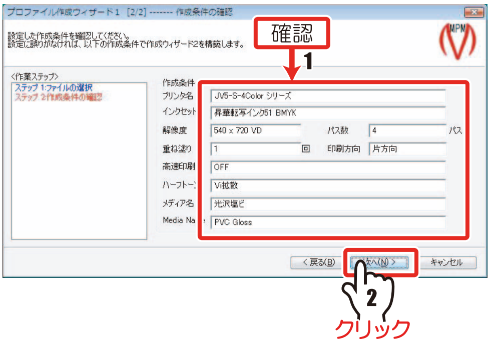

プロファイル作成ウィザード１ [1/2] ------- ファイルの選択

作成作業を再開させる中断ファイルを選択してください。

作成を再開させる中断ファイル
C:¥Users¥RIP¥Desktop¥ProfireData¥JV5-Sb51INK-4C-540x720VD.chocot
MPM
<作業ステップ>
ステップ 1:ファイルの選択
ステップ 2:作成条件の確認
参照
< 戻る(B)
次へ(N) >
キャンセル
クリック

- ♦ トライアル版で作成した中断ファイルや、MPM II から削除されたメディアが指定されている中断ファイルを指定した場合、メディア選択画面が表示されます。メディアを選択して 次へ をクリックしてください。

5. 作成条件を確認します。


プロファイル作成ウィザード１ [2/2] ------- 作成条件の確認

設定した作成条件を確認してください。
設定に誤りがなければ、以下の作成条件で作成ウィザード2を構築します。

作成条件
プリンタ名　JV5-S-4Color シリーズ
インクセット　昇華転写インク51 BMYK
解像度　540 x 720 VD　パス数　4 パス
重ね塗り　1 回　印刷方向　片方向
高速印刷　OFF
ハーフトーン　Vi拡散
メディア名　光沢塩ビ
Media Name　PVC Gloss
MPM
確認
1
<作業ステップ>
ステップ 1:ファイルの選択
ステップ 2:作成条件の確認
< 戻る(B)
次へ(N) >
キャンセル
2
クリック

6. 次へ をクリックします。

中断した場所を表示します。

7. デバイスプロファイルの作成を再開します。

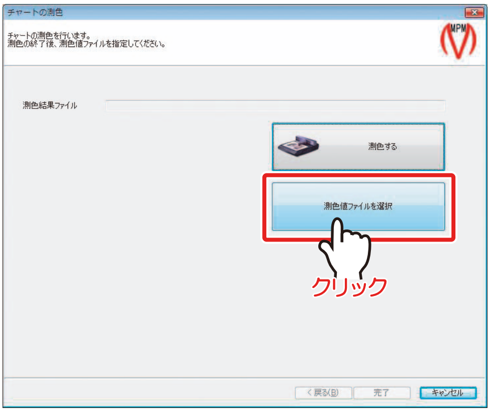
- ♦ 以降の操作方法は、“プロファイル作成ウィザード 2”と同じです。（☞P 2-7 ）

測色値ファイルの読み込み

リニアライゼーション・グレーバランス・ICC プロファイルの測色画面で、保存済みの測色値を読み込んで作成中のプロファイルの測色値としてお使いになれます。

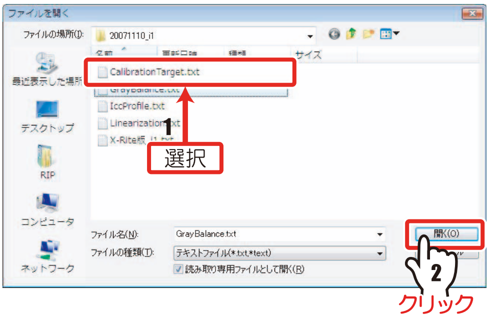
1. 測色画面で 測色 をクリックします。

2. 測色値ファイルを選択 をクリックします。


チャートの測色
MPM
測色結果ファイル
測色する
測色値ファイルを選択
クリック
< 戻る(B)
完了
キャンセル

チャートの測色を行います。
測色の終了後、測色値ファイルを指定してください。

3. 測色値を読み込むファイルを選択し、開く をクリックします。


ファイルを開く
ファイルの場所(I):
20071110_i1
名前
更新日時
種類
サイズ
最近表示した場所
デスクトップ
RIP
コンピュータ
ネットワーク
CalibrationTarget.txt
GrayBalance.txt
IccProfile.txt
Linearization.txt
X-Rite版_i1.txt
1
選択
開く(O)
2
クリック

ファイル名(N): GrayBalance.txt
ファイルの種類(T): テキストファイル(*.txt,*text)
☑ 読み取り専用ファイルとして開く(R)

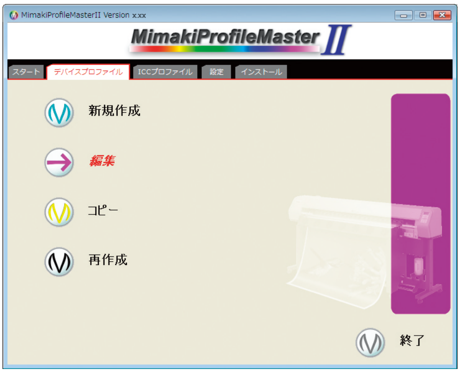
4. 完了 をクリックします。

3章
デバイスプロファイルを編集する

デバイスプロファイル編集の流れ 3-2
“編集”を選ぶ 3-3
編集するプロファイルをリストに追加する 3-4
デバイスプロファイルを編集する 3-6
インクリミットの編集 3-10
ICC プロファイルの編集 3-10
メディア固有情報の編集 3-11
グレーバランスの編集 3-12
リニアライゼーションの編集 3-12
インクリミットの調整（キャリブレーション／イコライゼーション編集画面） 3-12
リニアライゼーションの自動調整（キャリブレーション／イコライゼーション編集画面） 3-13
グレーバランスの自動調整（キャリブレーション／イコライゼーション編集画面） 3-13
色差の確認（キャリブレーション／イコライゼーション編集画面） 3-13
色置換情報 3-14
色置換情報を追加する 3-14
インク消費量予測計算 3-16

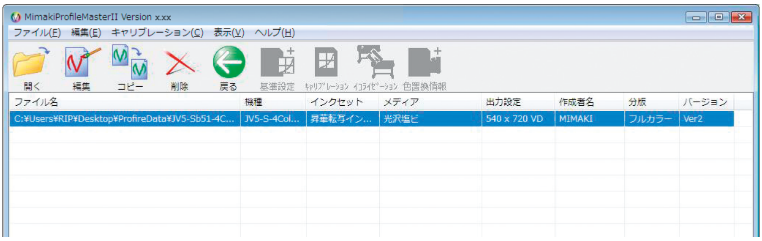
デバイスプロファイル編集の流れ

◆ “編集” を選ぶ ☞ P 3-3


MimakiProfileMasterII Version x.xx
MimakiProfileMaster II
スタート
デバイスプロファイル
ICCプロファイル
設定
インストール
新規作成
編集
コピー
再作成
終了

◆ 編集するプロファイルをリストに追加する ☞ P 3-4

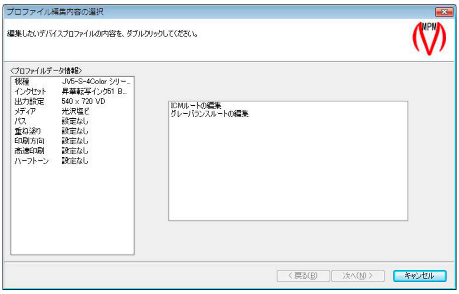
編集したいデバイスプロファイルを、編集リストに追加します。


MimakiProfileMasterII Version x.xx
ファイル(F)
編集(E)
キャリブレーション(C)
表示(V)
ヘルプ(H)
開く
編集
コピー
削除
戻る
基準設定
ｷｬﾘﾌﾞﾚｰｼｮﾝ
ｲｺﾗｲｾﾞｰｼｮﾝ
色置換情報

ファイル名	機種	インクセット	メディア	出力設定	作成者名	分版	バージョン
C:¥Users¥RIP¥Desktop¥ProfireData¥JV5-Sb51-4C...	JV5-S-4Col...	昇華転写イン...	光沢塩ビ	540 x 720 VD	MIMAKI	フルカラー	Ver2

◆ デバイスプロファイルを編集する ☞ P 3-6

登録済みのデバイスプロファイルを編集します。


プロファイル編集内容の選択
MPM
＜ 戻る(B)
次へ(N) ＞
キャンセル

編集したいデバイスプロファイルの内容を、ダブルクリックしてください。

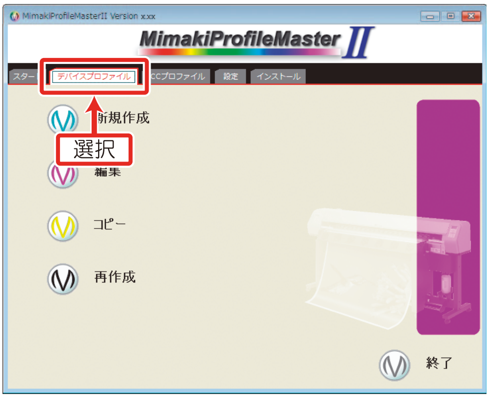
<プロファイルデータ情報>

機種	JV5-S-4Color シリー...
インクセット	昇華転写インク51 B...
出力設定	540 x 720 VD
メディア	光沢塩ビ
パス	設定なし
重ね塗り	設定なし
印刷方向	設定なし
高速印刷	設定なし
ハーフトーン	設定なし

ICMルートの編集
グレーバランスルートの編集

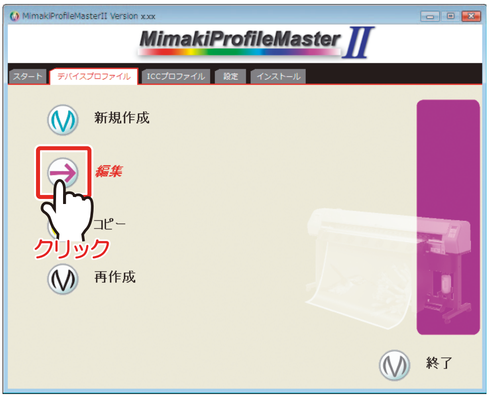
“編集” を選ぶ

1 ［デバイスプロファイル］タブを選択します。


MimakiProfileMasterII Version x.xx
MimakiProfileMaster II
スタート
デバイスプロファイル
ICCプロファイル
設定
インストール
選択
新規作成
編集
コピー
再作成
終了

2 “編集” をクリックします。

編集リストを表示します。

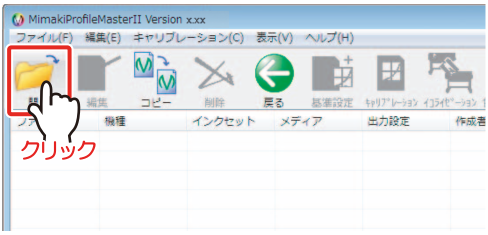

MimakiProfileMasterII Version x.xx
MimakiProfileMaster II
スタート
デバイスプロファイル
ICCプロファイル
設定
インストール
新規作成
編集
コピー
クリック
再作成
終了

P.3-4 「編集するプロファイルをリストに追加する」へ続く ➡

編集するプロファイルをリストに追加する

「“編集”を選ぶ」から

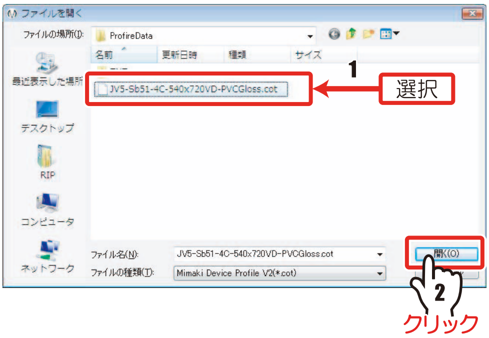
1 “開く”をクリックします。


MimakiProfileMasterII Version x.xx
ファイル(F)　編集(E)　キャリブレーション(C)　表示(V)　ヘルプ(H)
編集
コピー
削除
戻る
基準設定
ｷｬﾘﾌﾞﾚｰｼｮﾝ
ｲｺﾗｲｾﾞｰｼｮﾝ
機種
インクセット
メディア
出力設定
作成者
クリック

2 編集するデバイスプロファイルを選択します。

複数のデバイスプロファイルを選択する場合、Ctrl キーを押しながら左クリックします。

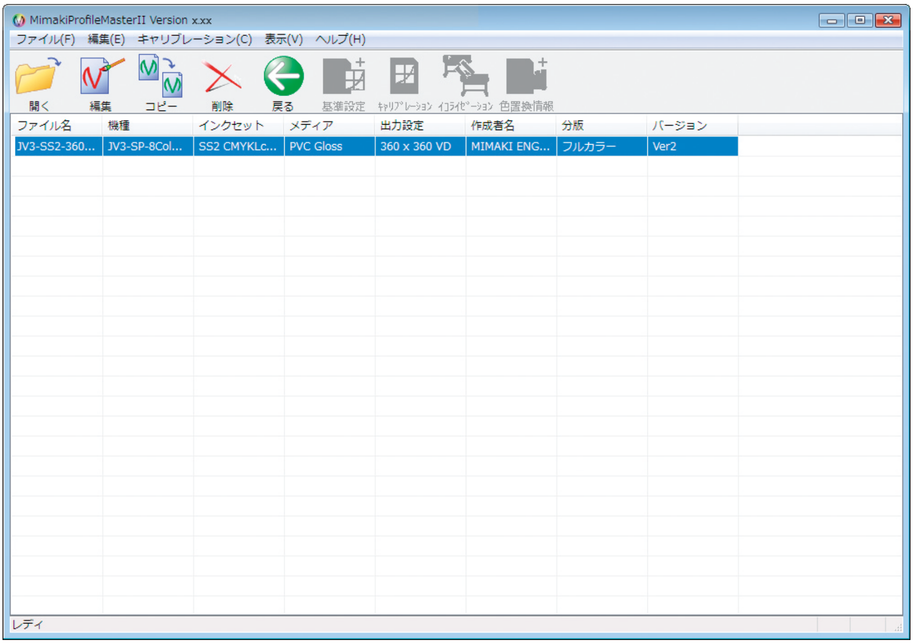
3 開く をクリックします。


ファイルを開く
ファイルの場所(I):
ProfireData
名前
更新日時
種類
サイズ
最近表示した場所
デスクトップ
RIP
コンピュータ
ネットワーク
JV5-Sb51-4C-540x720VD-PVCGloss.cot
1
選択
開く(O)
2
クリック

ファイル名(N): JV5-Sb51-4C-540x720VD-PVCGloss.cot

ファイルの種類(T): Mimaki Device Profile V2(*.cot)

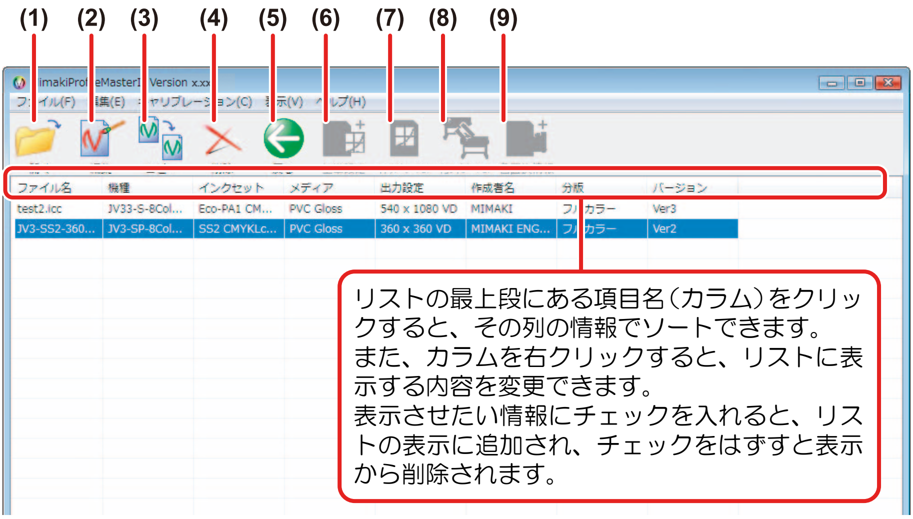
編集リストに、選択したプロファイルが追加されます。


MimakiProfileMasterII Version x.xx
ファイル(F)　編集(E)　キャリブレーション(C)　表示(V)　ヘルプ(H)
開く
編集
コピー
削除
戻る
基準設定
ｷｬﾘﾌﾞﾚｰｼｮﾝ
ｲｺﾗｲｾﾞｰｼｮﾝ
色置換情報
レディ

ファイル名	機種	インクセット	メディア	出力設定	作成者名	分版	バージョン
JV3-SS2-360...	JV3-SP-8Col...	SS2 CMYKLc...	PVC Gloss	360 x 360 VD	MIMAKI ENG...	フルカラー	Ver2

編集リスト

追加したデバイスプロファイルが表示されます。
また、選択したデバイスプロファイルを使用してプリントしたときに消費されるインク量を算出することもできます。

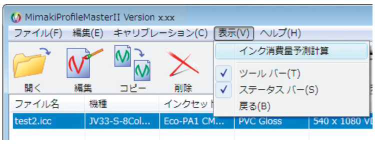

(1)
(2)
(3)
(4)
(5)
(6)
(7)
(8)
(9)
imakiProf eMasterI Version x.xx
ファイル(F)
編集(E)
キャリブレーション(C)
表示(V)
ヘルプ(H)

ファイル名	機種	インクセット	メディア	出力設定	作成者名	分版	バージョン
test2.icc	JV33-S-8Col...	Eco-PA1 CM...	PVC Gloss	540 x 1080 VD	MIMAKI	フルカラー	Ver3
JV3-SS2-360...	JV3-SP-8Col...	SS2 CMYKLc...	PVC Gloss	360 x 360 VD	MIMAKI ENG...	フルカラー	Ver2

リストの最上段にある項目名（カラム）をクリックすると、その列の情報でソートできます。
また、カラムを右クリックすると、リストに表示する内容を変更できます。
表示させたい情報にチェックを入れると、リストの表示に追加され、チェックをはずすと表示から削除されます。

(1)	**開く**	デバイスプロファイルをリストに追加します。（☞ P.3-4 ） Raster Link シリーズ用のプロファイル以外は開くことができません。
(2)	**編集**	リストから選択したデバイスプロファイルを編集します。
(3)	**コピー**	リストから選択したデバイスプロファイルを、違う条件のデバイスプロファイルに作り変えます。（☞P.5-2 「プロファイルコピーウィザード」）
(4)	**削除**	選択したデバイスプロファイルを、プロファイルリストから削除します。
(5)	**戻る**	メインメニューに戻ります。
(6)	**基準設定**	キャリブレーション・イコライゼーション機能を使用するためのターゲット情報を記録します。V3 プロファイルでのみ有効になります。 （☞P.4-3 「基準になる色を記録する (基準設定)」）
(7)	**キャリブレーション**	プリンタの色味が変わってしまったとき、基準設定に記録した色に合わせます。基準設定にターゲット情報を記録している V3 プロファイルでのみ有効になります。（☞P.4-5 「キャリブレーションを行う」）
(8)	**イコライゼーション**	複数の同機種のプリンタを使用しているとき、プリンタ間の色を近づけます。基準設定にターゲット情報を記録している V3 プロファイルでのみ有効になります。（☞P.4-14 「イコライゼーションを行う」）
(9)	**色置換情報**	Raster Link Pro Ⅲ 以降の Raster Link シリーズのカラーコレクションなどの色情報を計算するための情報を記録します。V3 プロファイルでのみ有効になります。

♦ 表示メニューの[インク消費量予測計算]を選択すると、選択したプロファイルを使用したときに消費されるインク量を算出します。（☞ P.3-16 ）


MimakiProfileMasterII Version x.xx
ファイル(F)
編集(E)
キャリブレーション(C)
表示(V)
ヘルプ(H)
インク消費量予測計算
✓ ツール バー(T)
✓ ステータス バー(S)
戻る(B)
開く
編集
コピー
削除

ファイル名	機種	インクセット		
test2.icc	JV33-S-8Col...	Eco-PA1 CM...	PVC Gloss	540 x 1080 VD

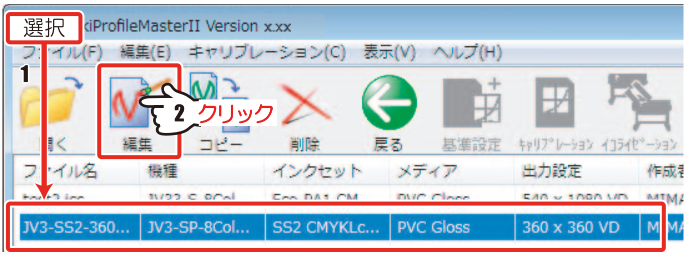
P.3-6 「デバイスプロファイルを編集する」へ続く ➡

デバイスプロファイルを編集する

「編集するプロファイルをリストに追加する」から

1 編集するデバイスプロファイルを選択し、“編集”をクリックします。

プロファイル編集ウィンドウが開きます。

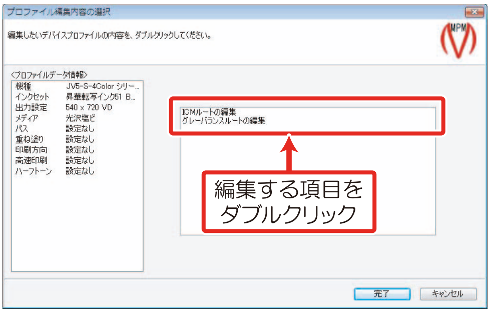

選択
iProfileMasterII Version x.xx
ファイル(F)　編集(E)　キャリブレーション(C)　表示(V)　ヘルプ(H)
1
開く
編集
2 クリック
コピー
削除
戻る
基準設定
ｷｬﾘﾌﾞﾚｰｼｮﾝ
ﾘﾆｱﾗｲｾﾞｰｼｮﾝ

ファイル名	機種	インクセット	メディア	出力設定	作成者
JV3-SS2-360...	JV3-SP-8Col...	SS2 CMYKLc...	PVC Gloss	360 x 360 VD	MIMA

2 デバイスプロファイルの編集内容をダブルクリックします。

項目数や編集内容は、デバイスプロファイルによって異なります。

詳細はＰ 3-8 を参照してください。


プロファイル編集内容の選択
MPM
ICMルートの編集
グレーバランスルートの編集
編集する項目を
ダブルクリック
完了
キャンセル

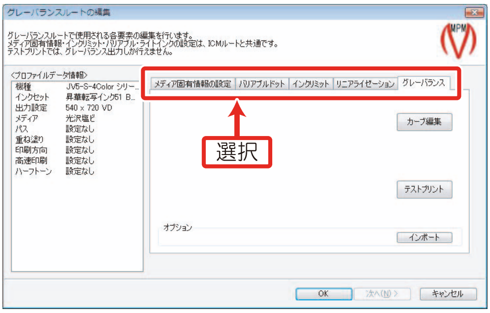
編集したいデバイスプロファイルの内容を、ダブルクリックしてください。

<プロファイルデータ情報>

機種	JV5-S-4Color シリー...
インクセット	昇華転写インク51 B...
出力設定	540 x 720 VD
メディア	光沢塩ビ
パス	設定なし
重ね塗り	設定なし
印刷方向	設定なし
高速印刷	設定なし
ハーフトーン	設定なし

3 編集項目を選択します。

タブを選択し、プロファイルの作成時と同様に編集します。


グレーバランスルートの編集
MPM
メディア固有情報の設定
バリアブルドット
インクリミット
リニアライゼーション
グレーバランス
選択
カーブ編集
テストプリント
オプション
インポート
OK
次へ(N) >
キャンセル

グレーバランスルートで使用される各要素の編集を行います。
メディア固有情報・インクリミット・バリアブル・ライトインクの設定は、ICMルートと共通です。
テストプリントでは、グレーバランス出力しか行えません。

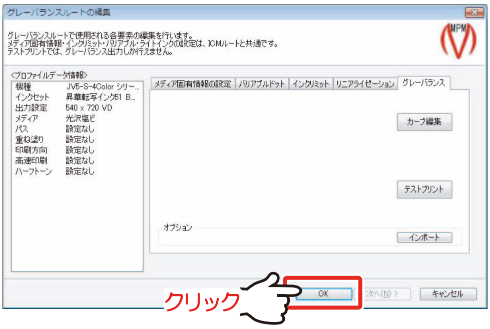
<プロファイルデータ情報>

機種	JV5-S-4Color シリー...
インクセット	昇華転写インク51 B...
出力設定	540 x 720 VD
メディア	光沢塩ビ
パス	設定なし
重ね塗り	設定なし
印刷方向	設定なし
高速印刷	設定なし
ハーフトーン	設定なし

- ♦ リニアライゼーションを調整すると、グラデーションのなめらかさに影響が出るため、Raster Link シリーズでの出力時（カラーマッチング ON、グレーバランスONの場合）のC+M+Yのグレーが色みを帯びてしまうことがあります。その場合は、グレーバランスの再調整を行い、適切なグレーを再現するようにしてください。

4 編集後、OK をクリックします。

手順２の画面を表示します。
続けて、他のルートを編集するときはダブルクリックしてください。



グレーバランスルートの編集

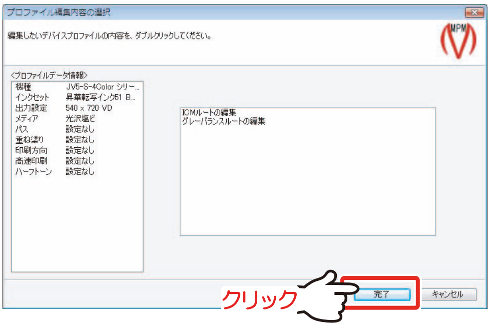
グレーバランスルートで使用される各要素の編集を行います。
メディア固有情報・インクリミット・バリアブル・ライトインクの設定は、ICMルートと共通です。
テストプリントでは、グレーバランス出力しか行えません。

<プロファイルデータ情報>

機種	JV5-S-4Color シリー...
インクセット	昇華転写インク51 B...
出力設定	540 x 720 VD
メディア	光沢塩ビ
パス	設定なし
重ね塗り	設定なし
印刷方向	設定なし
高速印刷	設定なし
ハーフトーン	設定なし

5 すべての編集が終わったら、完了 をクリックします。

デバイスプロファイルを保存する画面になります。



プロファイル編集内容の選択

編集したいデバイスプロファイルの内容を、ダブルクリックしてください。

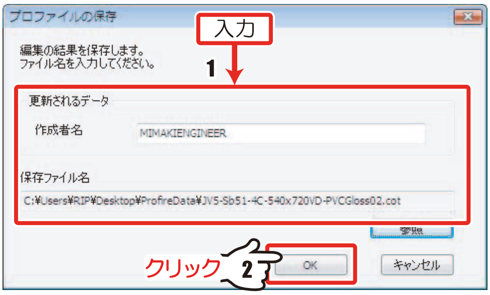
<プロファイルデータ情報>

機種	JV5-S-4Color シリー...
インクセット	昇華転写インク51 B...
出力設定	540 x 720 VD
メディア	光沢塩ビ
パス	設定なし
重ね塗り	設定なし
印刷方向	設定なし
高速印刷	設定なし
ハーフトーン	設定なし

ICMルートの編集
グレーバランスルートの編集

6 保存ファイル名、作成者名を入力し、OK をクリックします。

編集リスト画面に戻ります。

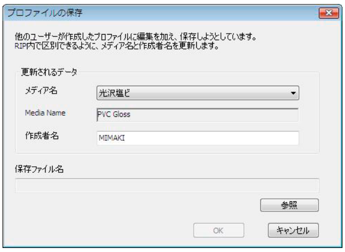


プロファイルの保存

編集の結果を保存します。
ファイル名を入力してください。

更新されるデータ
作成者名: MIMAKIENGINEER
保存ファイル名: C:¥Users¥RIP¥Desktop¥ProfireData¥JV5-Sb51-4C-540x720VD-PVCGloss02.cot

♦ 他の人が作成したデバイスプロファイルを編集し、保存する場合は、メディア名を選択してください。



プロファイルの保存

他のユーザーが作成したプロファイルに編集を加え、保存しようとしています。
RIP内で区別できるように、メディア名と作成者名を更新します。

更新されるデータ
メディア名: 光沢塩ビ
Media Name: PVC Gloss
作成者名: MIMAKI

保存ファイル名

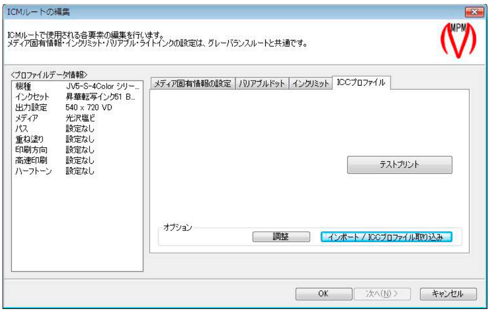
重 要！

- ♦ プロファイル編集では、デバイスプロファイルを別名で保存できます。この場合、編集元のデバイスプロファイルと、プリンタ、インクセット、解像度、メディア名など、デバイスプロファイルの条件がまったく同じになります。
- ♦ Raster Link Pro では、後にインストールしたデバイスプロファイルが先にインストールしたデバイスプロファイルを上書きします。（ 同時にインストールした場合は、どちらを先にインストールするかは保証しません。）デバイスプロファイルを Raster Link Pro へインストールする場合は、注意してください。
- ♦ Raster Link Pro シリーズ以外の Raster Link シリーズでは、ProfileManager を使用して、既存のデバイスプロファイルまたは、後にインストールしたデバイスプロファイルのどちらを使用するか選択することができます。

■ 編集項目一覧表

		V2 プロファイル		V3 プロファイル		
		ICM ルート	グレーバランスルート	V3 プロファイル	キャリブレーション	イコライゼーション
インクリミット		○	○	○		
ICC プロファイル		○		○		
メディア固有情報	メディア補正値	○	○	○		
	ヒーター温度	○	○	○		
	メディア送り設定	○	○	○		
	ドットサイズ	○	○	○		
バリアブルドット		○	○	○		
グレーバランス			○	○		
リニアライゼーション			○	○		
ライトインク		○	○	○		
インクリミットの調整					○	○
リニアライゼーションの自動調整					○	○
グレーバランスの自動調整					○	○
色差の確認					○	○

■ ICM ルート編集画面



ICMルートの編集

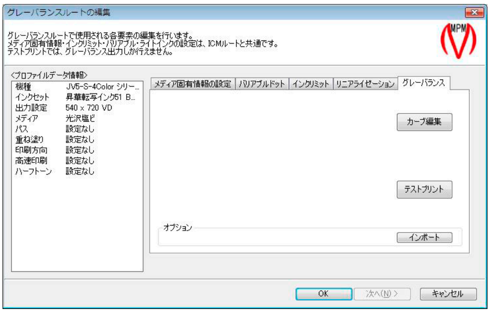
ICMルートで使用される各要素の編集を行います。
メディア固有情報・インクリミット・バリアブル・ライトインクの設定は、グレーバランスルートと共通です。

<プロファイルデータ情報>

機種	JV5-S-4Color シリー...
インクセット	昇華転写インク51 B...
出力設定	540 x 720 VD
メディア	光沢塩ビ
パス	設定なし
重ね塗り	設定なし
印刷方向	設定なし
高速印刷	設定なし
ハーフトーン	設定なし

MPM
メディア固有情報の設定
バリアブルドット
インクリミット
ICCプロファイル
テストプリント
オプション
調整
インポート / ICCプロファイル取り込み
OK
次へ(N) >
キャンセル

■ グレーバランスルート編集画面



グレーバランスルートの編集

グレーバランスルートで使用される各要素の編集を行います。
メディア固有情報・インクリミット・バリアブル・ライトインクの設定は、ICMルートと共通です。
テストプリントでは、グレーバランス出力しか行えません。

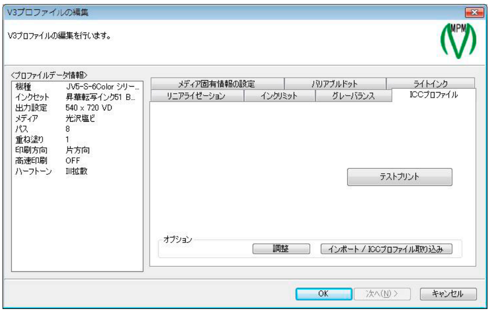
<プロファイルデータ情報>

機種	JV5-S-4Color シリー...
インクセット	昇華転写インク51 B...
出力設定	540 x 720 VD
メディア	光沢塩ビ
パス	設定なし
重ね塗り	設定なし
印刷方向	設定なし
高速印刷	設定なし
ハーフトーン	設定なし

MPM
メディア固有情報の設定
バリアブルドット
インクリミット
リニアライゼーション
グレーバランス
カーブ編集
テストプリント
オプション
インポート
OK
次へ(N) >
キャンセル

説　明	参照ページ
各インクのインク量を調整します。	P 3-10
ICC プロファイルの調整やインポート等をします。	P 3-10
「メディア補正値の設定を有効にする」をチェックして、メディア補正値の調整をします。	P 3-11
「ヒーター温度の設定を有効にする」をチェックして、ヒーター温度の調整をします。	P 3-11
「メディア送り速度の設定を有効にする」をチェックして、メディア送り速度の調整をします。	P 3-11
プリンタに JF-16XX シリーズ、UJV-160、JFX、UJF-706、UJF-3042、Tx400 を設定しているときにドットサイズを調整できます。（プリンタを JV3 に設定しているときのドットサイズの編集はできません。）	P 3-11
バリアブルドットのパラメータを表示します（バリアブルドット選択時のみ）。 この項目は編集できません。	–
各インクのカーブを調整をします。	P 3-12
各インクのカーブを調整をします。	P 3-12
現在使用しているライトインクの設定を表示します（ライトインク選択時のみ）。 この項目は編集できません。	–
各インクのインク量を自動的に調整します。	P 3-12
各インクのカーブを自動的に調整をします。	P 3-13
各インクのカーブを自動的に調整をします。	P 3-13
	P 3-13

■ V3 プロファイル編集画面

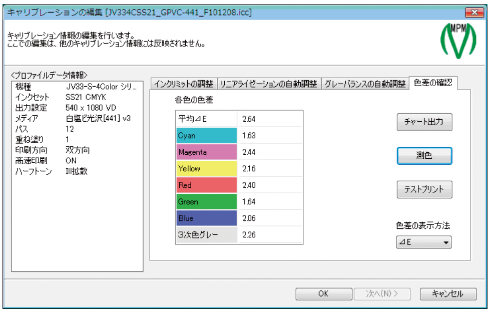

V3プロファイルの編集
MPM
メディア固有情報の設定
バリアブルドット
ライトインク
リニアライゼーション
インクリミット
グレーバランス
ICCプロファイル
テストプリント
オプション
調整
インポート / ICCプロファイル取り込み
OK
次へ(N) >
キャンセル

V3プロファイルの編集を行います。

<プロファイルデータ情報>

機種	JV5-S-6Color シリー…
インクセット	昇華転写インク51 B…
出力設定	540 x 720 VD
メディア	光沢塩ビ
パス	8
重ね塗り	1
印刷方向	片方向
高速印刷	OFF
ハーフトーン	III拡散

■ キャリブレーション / イコライゼーション 編集画面


キャリブレーションの編集 [JV334CSS21_GPVC-441_F101208.icc]
MPM
インクリミットの調整
リニアライゼーションの自動調整
グレーバランスの自動調整
色差の確認
チャート出力
測色
テストプリント
色差の表示方法
⊿E
OK
次へ(N) >
キャンセル

キャリブレーション情報の編集を行います。
ここでの編集は、他のキャリブレーション情報には反映されません。

<プロファイルデータ情報>

機種	JV33-S-4Color シリ…
インクセット	SS21 CMYK
出力設定	540 x 1080 VD
メディア	白塩ビ光沢[441] v3
パス	12
重ね塗り	1
印刷方向	双方向
高速印刷	ON
ハーフトーン	III拡散

各色の色差

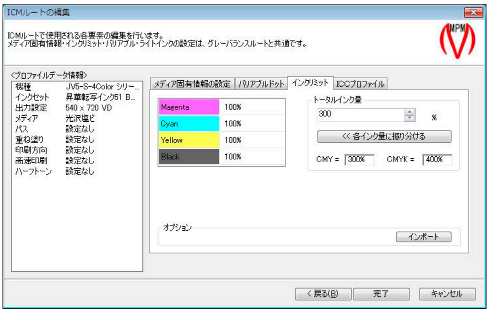
平均⊿E	2.64
Cyan	1.63
Magenta	2.44
Yellow	2.16
Red	2.40
Green	1.64
Blue	2.06
3次色グレー	2.26

- ♦ キャリブレーション機能（☞ P.4-2）またはイコライゼーション機能（☞ P.4-13）を設定しているプロファイルを選択したときのみ編集できます。

インクリミットの編集

[インクリミット] タブをクリックすると、以下の画面を表示します。

V2 プロファイルの場合
編集方法は 2-19 ページを参照してください。


ICMルートの編集

ICMルートで使用される各要素の編集を行います。
メディア固有情報・インクリミット・バリアブル・ライトインクの設定は、グレーバランスルートと共通です。

<プロファイルデータ情報>

機種	JV5-S-4Color シリー...
インクセット	昇華転写インク51 B...
出力設定	540 x 720 VD
メディア	光沢塩ビ
パス	設定なし
重ね塗り	設定なし
印刷方向	設定なし
高速印刷	設定なし
ハーフトーン	設定なし

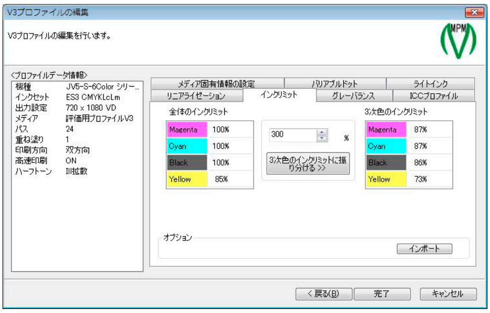
Magenta	100%
Cyan	100%
Yellow	100%
Black	100%

トータルインク量 300 %

CMY = 300%　CMYK = 400%

メディア固有情報の設定
バリアブルドット
インクリミット
ICCプロファイル
<< 各インク量に振り分ける
オプション
インポート
< 戻る(B)
完了
キャンセル

V3 プロファイルの場合
編集方法は 2-42 ページを参照してください。


V3プロファイルの編集

V3プロファイルの編集を行います。

<プロファイルデータ情報>

機種	JV5-S-6Color シリー...
インクセット	ES3 CMYKLcLm
出力設定	720 x 1080 VD
メディア	評価用プロファイルV3
パス	24
重ね塗り	1
印刷方向	双方向
高速印刷	ON
ハーフトーン	III拡散

全体のインクリミット

Magenta	100%
Cyan	100%
Black	100%
Yellow	85%

300 %

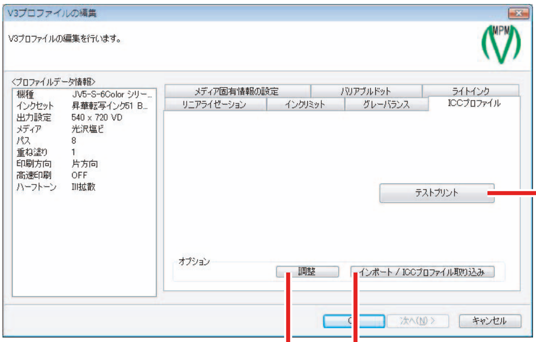
3次色のインクリミット

Magenta	87%
Cyan	87%
Black	86%
Yellow	73%

メディア固有情報の設定
バリアブルドット
ライトインク
リニアライゼーション
インクリミット
グレーバランス
ICCプロファイル
3次色のインクリミットに振り分ける >>
オプション
インポート
< 戻る(B)
完了
キャンセル

ICC プロファイルの編集

[ICC プロファイル] タブをクリックすると、以下の画面を表示します。


V3プロファイルの編集

V3プロファイルの編集を行います。

<プロファイルデータ情報>

機種	JV5-S-6Color シリー...
インクセット	昇華転写インク51 B...
出力設定	540 x 720 VD
メディア	光沢塩ビ
パス	8
重ね塗り	1
印刷方向	片方向
高速印刷	OFF
ハーフトーン	III拡散

メディア固有情報の設定
バリアブルドット
ライトインク
リニアライゼーション
インクリミット
グレーバランス
ICCプロファイル
テストプリント
オプション
調整
インポート / ICCプロファイル取り込み
次へ(N) >
キャンセル

2-12 ページを参照してプリントしてください。

2-64 ページを参照して調整してください。

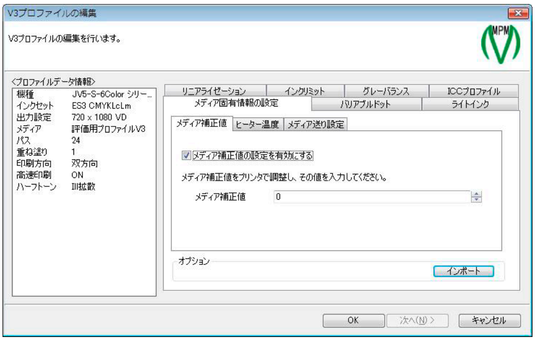
インポート とほぼ同じ機能です。選択できるファイルは、拡張子が .cot、.icm または、.icc です。
2-61 ページを参照して調整してください。

メディア固有情報の編集

[メディア固有情報] タブをクリックして編集します。
編集するプロファイルによって、メディア固有情報で編集できる項目が異なります。

メディア補正値の編集

2-7 ページを参照して編集してください。


V3プロファイルの編集

V3プロファイルの編集を行います。

<プロファイルデータ情報>

機種	JV5-S-6Color シリー...
インクセット	ES3 CMYKLcLm
出力設定	720 x 1080 VD
メディア	評価用プロファイルV3
パス	24
重ね塗り	1
印刷方向	双方向
高速印刷	ON
ハーフトーン	III拡散

☑ メディア補正値の設定を有効にする

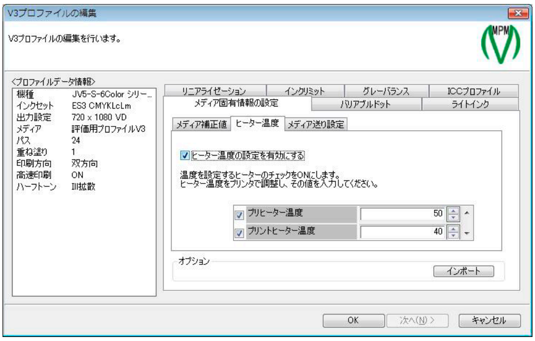
メディア補正値をプリンタで調整し、その値を入力してください。

メディア補正値　0

リニアライゼーション
インクリミット
グレーバランス
ICCプロファイル
メディア固有情報の設定
バリアブルドット
ライトインク
メディア補正値
ヒーター温度
メディア送り設定
オプション
インポート
OK
次へ(N) >
キャンセル

ヒーター温度の編集

2-7 ページを参照して編集してください。


V3プロファイルの編集

V3プロファイルの編集を行います。

<プロファイルデータ情報>

機種	JV5-S-6Color シリー...
インクセット	ES3 CMYKLcLm
出力設定	720 x 1080 VD
メディア	評価用プロファイルV3
パス	24
重ね塗り	1
印刷方向	双方向
高速印刷	ON
ハーフトーン	III拡散

☑ ヒーター温度の設定を有効にする

温度を設定するヒーターのチェックをONにします。
ヒーター温度をプリンタで調整し、その値を入力してください。

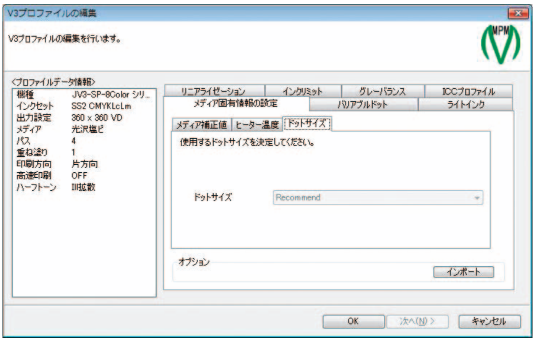
☑ プリヒーター温度　50
☑ プリントヒーター温度　40

リニアライゼーション
インクリミット
グレーバランス
ICCプロファイル
メディア固有情報の設定
バリアブルドット
ライトインク
メディア補正値
ヒーター温度
メディア送り設定
オプション
インポート
OK
次へ(N) >
キャンセル

ドットサイズの編集

2-8 ページを参照して編集してください。

重 要！	♦ ドットサイズの編集が可能なのは、JF-16xx シリーズ、UJF-160、JFX、UJF-706、UJF-3042、Tx400 です。


V3プロファイルの編集

V3プロファイルの編集を行います。

<プロファイルデータ情報>

機種	JV3-SP-8Color シリ...
インクセット	SS2 CMYKLcLm
出力設定	360 x 360 VD
メディア	光沢塩ビ
パス	4
重ね塗り	1
印刷方向	片方向
高速印刷	OFF
ハーフトーン	III拡散

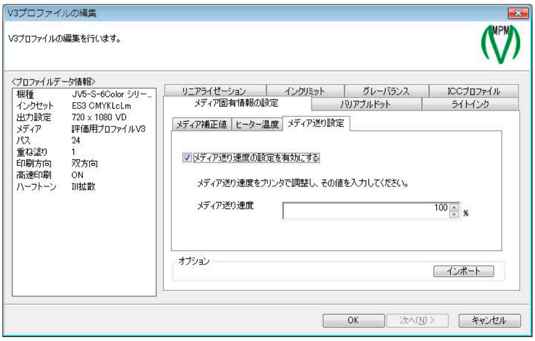
使用するドットサイズを決定してください。

ドットサイズ　Recommend

リニアライゼーション
インクリミット
グレーバランス
ICCプロファイル
メディア固有情報の設定
バリアブルドット
ライトインク
メディア補正値
ヒーター温度
ドットサイズ
オプション
インポート
OK
次へ(N) >
キャンセル

メディア送り速度の編集

2-11 ページを参照して編集してください。


V3プロファイルの編集

V3プロファイルの編集を行います。

<プロファイルデータ情報>

機種	JV5-S-6Color シリー...
インクセット	ES3 CMYKLcLm
出力設定	720 x 1080 VD
メディア	評価用プロファイルV3
パス	24
重ね塗り	1
印刷方向	双方向
高速印刷	ON
ハーフトーン	III拡散

☑ メディア送り速度の設定を有効にする

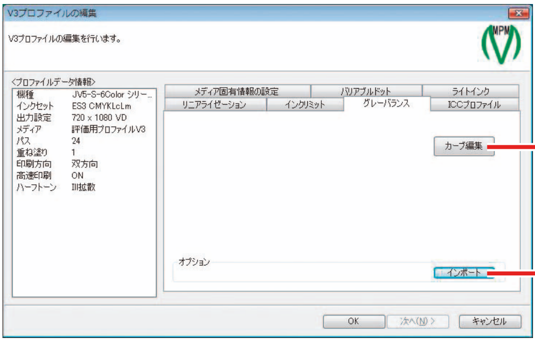
メディア送り速度をプリンタで調整し、その値を入力してください。

メディア送り速度　100 %

リニアライゼーション
インクリミット
グレーバランス
ICCプロファイル
メディア固有情報の設定
バリアブルドット
ライトインク
メディア補正値
ヒーター温度
メディア送り設定
オプション
インポート
OK
次へ(N) >
キャンセル

グレーバランスの編集

［グレーバランス］タブをクリックすると、以下の画面を表示します。


V3プロファイルの編集
メディア固有情報の設定
バリアブルドット
ライトインク
リニアライゼーション
インクリミット
グレーバランス
ICCプロファイル
カーブ編集
オプション
インポート
OK
次へ(N) >
キャンセル

V3プロファイルの編集を行います。

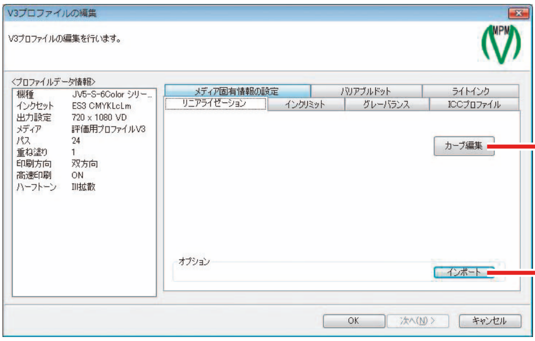
<プロファイルデータ情報>
機種　JV5-S-6Color シリー...
インクセット　ES3 CMYKLcLm
出力設定　720 x 1080 VD
メディア　評価用プロファイルV3
パス　24
重ね塗り　1
印刷方向　双方向
高速印刷　ON
ハーフトーン　III拡散

2-62 ページを参照してください。

2-61 ページを参照してください。

リニアライゼーションの編集

［リニアライゼーション］タブをクリックすると、以下の画面を表示します。


V3プロファイルの編集
メディア固有情報の設定
バリアブルドット
ライトインク
リニアライゼーション
インクリミット
グレーバランス
ICCプロファイル
カーブ編集
オプション
インポート
OK
次へ(N) >
キャンセル

V3プロファイルの編集を行います。

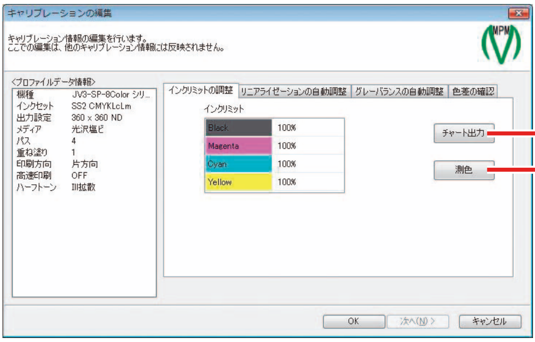
<プロファイルデータ情報>
機種　JV5-S-6Color シリー...
インクセット　ES3 CMYKLcLm
出力設定　720 x 1080 VD
メディア　評価用プロファイルV3
パス　24
重ね塗り　1
印刷方向　双方向
高速印刷　ON
ハーフトーン　III拡散

2-62 ページを参照してください。

2-61 ページを参照してください。

インクリミットの調整（キャリブレーション／イコライゼーション編集画面）

［インクリミットの調整］タブをクリックすると、以下の画面を表示します。


キャリブレーションの編集
インクリミットの調整
リニアライゼーションの自動調整
グレーバランスの自動調整
色差の確認
チャート出力
測色
OK
次へ(N) >
キャンセル

キャリブレーション情報の編集を行います。
ここでの編集は、他のキャリブレーション情報には反映されません。

<プロファイルデータ情報>
機種　JV3-SP-8Color シリ...
インクセット　SS2 CMYKLcLm
出力設定　360 x 360 ND
メディア　光沢塩ビ
パス　4
重ね塗り　1
印刷方向　片方向
高速印刷　OFF
ハーフトーン　III拡散

インクリミット

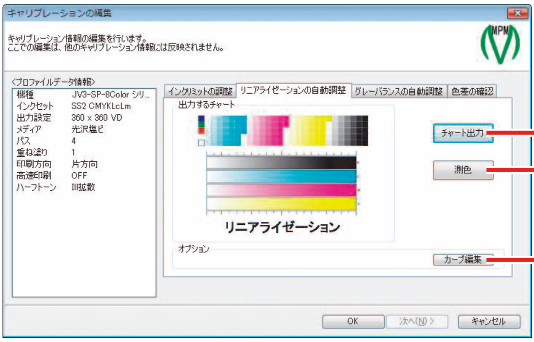
Black	100%
Magenta	100%
Cyan	100%
Yellow	100%

2-15 ページを参照してください。

2-26 ページを参照してください。

リニアライゼーションの自動調整（キャリブレーション／イコライゼーション編集画面）

［リニアライゼーションの自動調整］タブをクリックすると、以下の画面を表示します。



キャリブレーションの編集

キャリブレーション情報の編集を行います。
ここでの編集は、他のキャリブレーション情報には反映されません。

<プロファイルデータ情報>

機種	JV3-SP-8Color シリ...
インクセット	SS2 CMYKLcLm
出力設定	360 x 360 VD
メディア	光沢塩ビ
パス	4
重ね塗り	1
印刷方向	片方向
高速印刷	OFF
ハーフトーン	III拡散

インクリミットの調整
リニアライゼーションの自動調整
グレーバランスの自動調整
色差の確認
出力するチャート
リニアライゼーション
オプション
チャート出力
測色
カーブ編集
OK
次へ(N) >
キャンセル

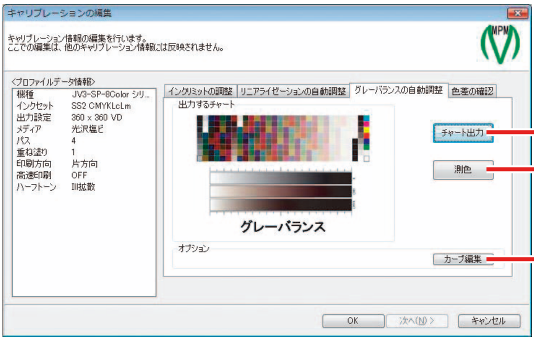
2-15 ページを参照してください。

2-26 ページを参照してください。

2-62 ページを参照してください。

グレーバランスの自動調整（キャリブレーション／イコライゼーション編集画面）

［グレーバランスの自動調整］タブをクリックすると、以下の画面を表示します。



キャリブレーションの編集

キャリブレーション情報の編集を行います。
ここでの編集は、他のキャリブレーション情報には反映されません。

<プロファイルデータ情報>

機種	JV3-SP-8Color シリ...
インクセット	SS2 CMYKLcLm
出力設定	360 x 360 VD
メディア	光沢塩ビ
パス	4
重ね塗り	1
印刷方向	片方向
高速印刷	OFF
ハーフトーン	III拡散

インクリミットの調整
リニアライゼーションの自動調整
グレーバランスの自動調整
色差の確認
出力するチャート
グレーバランス
オプション
チャート出力
測色
カーブ編集
OK
次へ(N) >
キャンセル

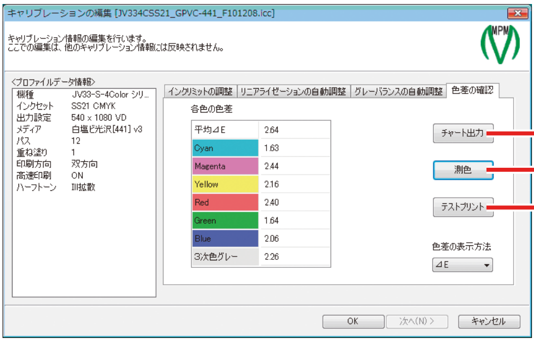
2-15 ページを参照してください。

2-26 ページを参照してください。

2-62 ページを参照してください。

色差の確認（キャリブレーション／イコライゼーション編集画面）

［色差の確認］タブをクリックすると、以下の画面を表示します。



キャリブレーションの編集 [JV334CSS21_GPVC-441_F101208.icc]

キャリブレーション情報の編集を行います。
ここでの編集は、他のキャリブレーション情報には反映されません。

<プロファイルデータ情報>

機種	JV33-S-4Color シリ...
インクセット	SS21 CMYK
出力設定	540 x 1080 VD
メディア	白塩ビ光沢[441] v3
パス	12
重ね塗り	1
印刷方向	双方向
高速印刷	ON
ハーフトーン	III拡散

各色の色差

平均⊿E	2.64
Cyan	1.63
Magenta	2.44
Yellow	2.16
Red	2.40
Green	1.64
Blue	2.06
3次色グレー	2.26

色差の表示方法: ⊿E

インクリミットの調整
リニアライゼーションの自動調整
グレーバランスの自動調整
色差の確認
チャート出力
測色
テストプリント
OK
次へ(N) >
キャンセル

2-15 ページを参照してください。

2-26 ページを参照してください。

2-12 ページを参照してプリントしてください。

色置換情報

Raster Link ProII 以降の Raster Link シリーズでは、カラーコレクションやスキャナ測色機能を使用して、希望した色に近い色を自動的に算出し置換することができます。そのとき色置換の算出に使用する情報は、プロファイルから取り出されます。

MPM II では、V3 プロファイルに色置換で使用される情報を追加することができます。

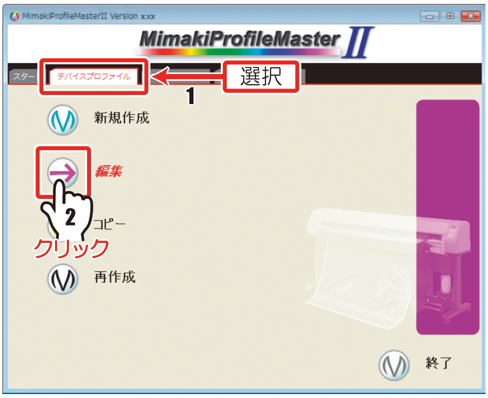
重 要！	♦ 新規に作成されたV3プロファイルに色置換情報を追加する場合は、プロファイルの編集がすべて終了してから行ってください。

色置換情報を追加する

重 要！	♦ 色置換情報は、選択した V3 プロファイルに追加され上書き保存されます。あらかじめ、プロファイルをバックアップしておくことをお勧めします。

1 ［デバイスプロファイル］タブを選択し、“編集”をクリックします。

編集リストが開きます。

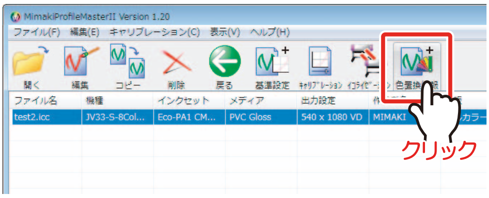

MimakiProfileMasterII Version x.xx
MimakiProfileMaster II
スター
デバイスプロファイル
選択
1
新規作成
編集
2
コピー
クリック
再作成
終了

2 V3 プロファイルを、編集リストに追加する

☞ P.3-4 「編集するプロファイルをリストに追加する」

3 “色置換情報” をクリックします。

高精度色置換情報の生成ウィザードが起動します。

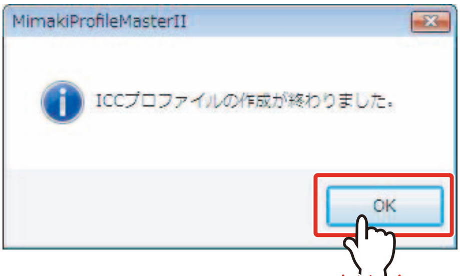

MimakiProfileMasterII Version 1.20
ファイル(F)
編集(E)
キャリブレーション(C)
表示(V)
ヘルプ(H)
開く
編集
コピー
削除
戻る
基準設定
ｷｬﾘﾌﾞﾚｰｼｮﾝ
ｲｺﾗｲｾﾞｰｼｮﾝ
色置換情報
クリック

ファイル名	機種	インクセット	メディア	出力設定	作
test2.icc	JV33-S-8Col...	Eco-PA1 CM...	PVC Gloss	540 x 1080 VD	MIMAKI

4 チャートを出力し、ICC プロファイルを作成します。

☞ P.2-49 「ICC プロファイルの作成」

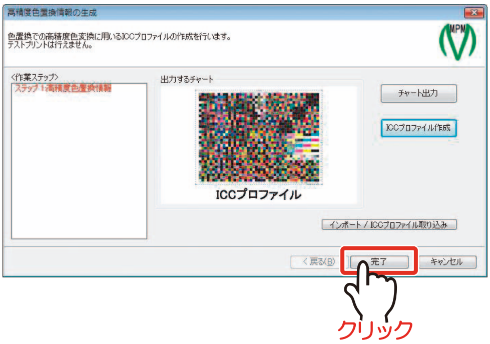
5 **OK** をクリックします。


MimakiProfileMasterII
OK

ICCプロファイルの作成が終わりました。

クリック

6 **完了** をクリックします。


高精度色置換情報の生成
MPM
<作業ステップ>
ステップ 1:高精度色置換情報
出力するチャート
ICCプロファイル
チャート出力
ICCプロファイル作成
インポート / ICCプロファイル取り込み
< 戻る(B)
完了
キャンセル

色置換での高精度色変換に用いるICCプロファイルの作成を行います。
テストプリントは行えません。

クリック

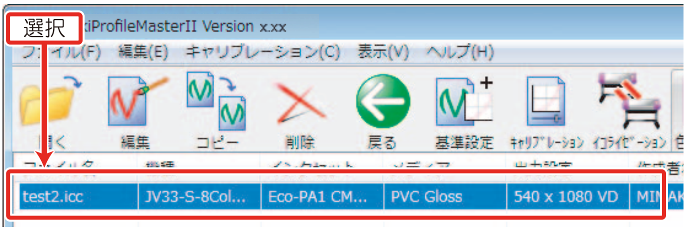
インク消費量予測計算

選択したデバイスプロファイルを使用してプリントしたときに、消費されるインク量を算出できます。

♦ 実際に出力処理を行っているファイルのインク消費量を計算したい場合は、P.1-9「オプション設定」で［動作］タブを選び、「インク消費予測量を算出する」のチェックをONにしてください。印刷終了後にインク消費量を表示するようになります。

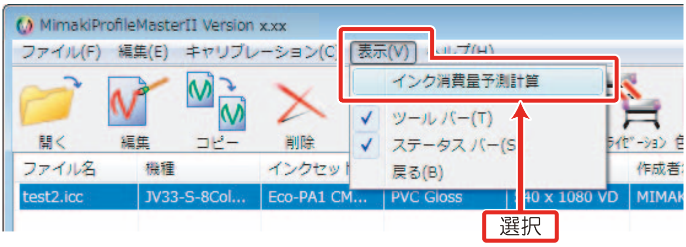
1 「デバイスプロファイルをリストに追加する」（☞ P.3-4）を参照して、編集リストを表示させます。

2 インク消費量を算出したいデバイスプロファイルを選択します。

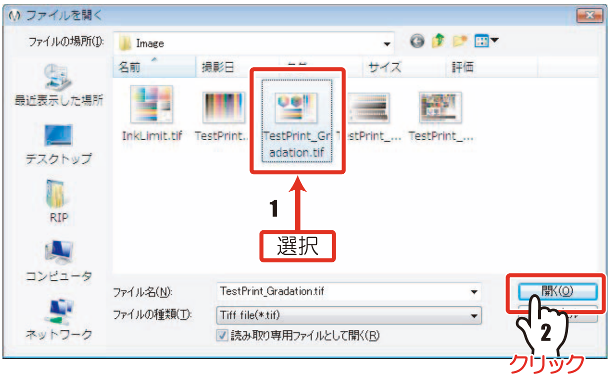

選択
MimakiProfileMasterII Version x.xx
ファイル(F) 編集(E) キャリブレーション(C) 表示(V) ヘルプ(H)
開く
編集
コピー
削除
戻る
基準設定
ｷｬﾘﾌﾞﾚｰｼｮﾝ
ﾘﾆｱﾗｲｾﾞｰｼｮﾝ
ファイル名
機種
インクセット
メディア
出力設定
作成者

test2.icc	JV33-S-8Col...	Eco-PA1 CM...	PVC Gloss	540 x 1080 VD	MIMAK

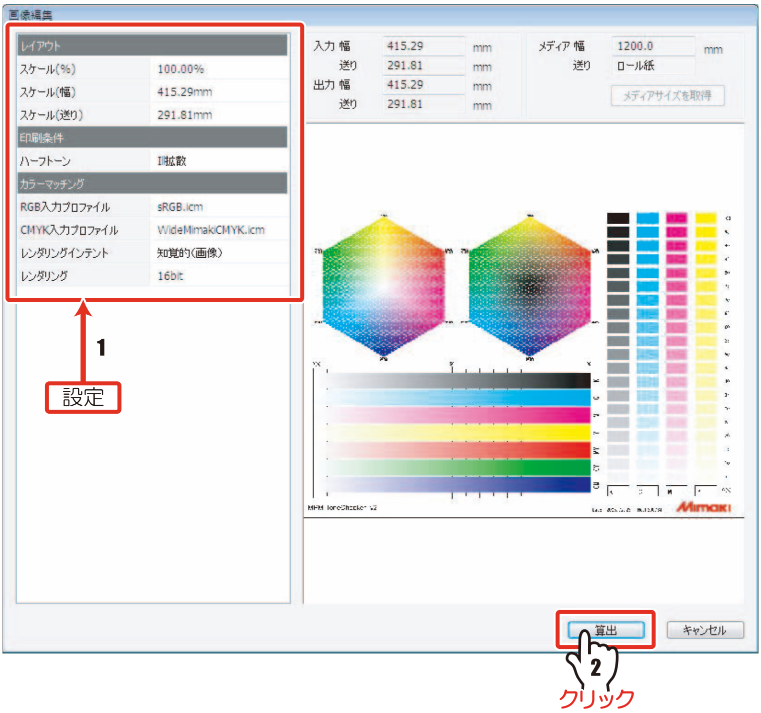
3 “表示” - “インク消費量予測計算” を選択します。


MimakiProfileMasterII Version x.xx
ファイル(F) 編集(E) キャリブレーション(C) 表示(V) ヘルプ(H)
インク消費量予測計算
ツール バー(T)
ステータス バー(S)
戻る(B)
開く
編集
コピー
削除
ファイル名
機種
インクセット
作成者
test2.icc
JV33-S-8Col...
Eco-PA1 CM...
PVC Gloss
540 x 1080 VD
MIMAK
選択

4 選択したデバイスプロファイルを使って印刷したときに、インクの消費量を計算したいデータを選択し、［開く］をクリックします。


ファイルを開く
ファイルの場所(I): Image
名前
撮影日
タグ
サイズ
評価
最近表示した場所
デスクトップ
RIP
コンピュータ
ネットワーク
InkLimit.tif
TestPrint...
TestPrint_Gradation.tif
TestPrint_...
TestPrint_...
1
選択
ファイル名(N): TestPrint_Gradation.tif
ファイルの種類(T): Tiff file(*.tif)
☑ 読み取り専用ファイルとして開く(R)
開く(O)
2
クリック

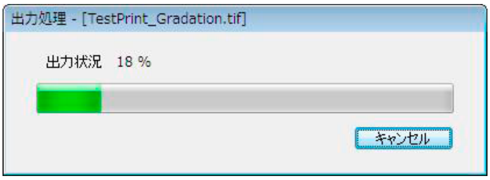
5 印刷条件を設定し、算出 をクリックします。


画像編集
1
設定
2
クリック
算出
キャンセル
メディアサイズを取得
Mimaki

レイアウト	
スケール(%)	100.00%
スケール(幅)	415.29mm
スケール(送り)	291.81mm
印刷条件	
ハーフトーン	Ⅲ拡散
カラーマッチング	
RGB入力プロファイル	sRGB.icm
CMYK入力プロファイル	WideMimakiCMYK.icm
レンダリングインテント	知覚的(画像)
レンダリング	16bit

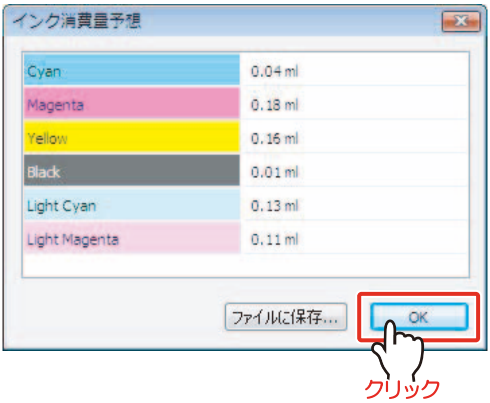
入力 幅	415.29	mm	メディア 幅	1200.0	mm
送り	291.81	mm	送り	ロール紙	
出力 幅	415.29	mm			
送り	291.81	mm			

右のダイアログが表示され、インク消費量の予測計算をします。


出力処理 - [TestPrint_Gradation.tif]
キャンセル

出力状況　18 %

6 算出した予測消費量を確認して、OK をクリックします。


インク消費量予想
ファイルに保存...
OK
クリック

Cyan	0.04 ml
Magenta	0.18 ml
Yellow	0.16 ml
Black	0.01 ml
Light Cyan	0.13 ml
Light Magenta	0.11 ml

- ♦ ファイルに保存... をクリックして、算出した数値を保存しておくことができます。

4章

キャリブレーション、イコライゼーションを行う

キャリブレーション機能、イコライゼーション機能の操作手順と運用方法を説明します。

キャリブレーション機能 ……… 4-2
　基準になる色を記録する（基準設定）……… 4-3
　キャリブレーションを行う ……… 4-5
イコライゼーション機能 ……… 4-13
　イコライゼーションを行う ……… 4-14
キャリブレーション・イコライゼーションの運用について ……… 4-21
　日常の色差を確認する ……… 4-21
　キャリブレーションデータを再調整する ……… 4-24
　新しいキャリブレーションデータを追加する ……… 4-28
　キャリブレーションデータを使用してプリントする ……… 4-30

キャリブレーション機能

インクジェットプリンタでプリントするとき、次のような要因でプリンタの発色が異なることがあります。

温度や湿度の変化	インクやメディアが影響を受け、発色に影響を与えます。
プリンタヘッドの調整や交換	ヘッドが変わることにより、以前とは異なった発色をすることがあります。

「基準となる色」を記録しておけば、温度変化などの要因によりプリンタの発色が変化してしまっても、あらかじめ記録しておいた「基準となる色」の状態に近づけるようにプロファイルを補正できます。

重 要！

- ♦ キャリブレーション機能で補正したプロファイルは、Raster Link ProII 以降の Raster Link シリーズで使用することができます。
- ♦ キャリブレーション機能は、V3プロファイル（拡張子が.iccのファイル）でのみ使用可能です。
- ♦ Raster Link ProII 以降のRaster Link シリーズに付属するProfileManager を使用して V2 から V3 に変換された V3 プロファイルでは、正常にキャリブレーションが行えません。
- ♦ キャリブレーション機能を使用するためには、事前に基準設定を行う必要があります。

- ♦ キャリブレーション機能はプロファイル１つ１つに対して調整を行います。
  インクやメディアによりドットの広がり方 (ドットゲイン) が異なり、解像度やパス数によりインクの乾燥性が異なるため、プロファイルごとに異なる調整が必要です。
  よく使うプロファイルが決まったら、基準設定を行ってください。

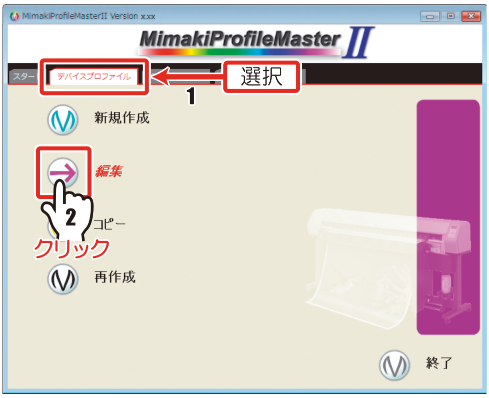
基準になる色を記録する（基準設定）

様々な要因でプリンタの発色が変化してしまったときに、色を補正するための「基準となる色」を記録します。
キャリブレーション機能では、変化してしまったプリンタの発色を、ここで記録した「基準となる色」に近づけるように補正します。
プロファイルを作成したときに「基準となる色」を記録してある場合、基準設定を行う必要はありません。

重 要！	◆ 基準設定は、選択した V3 プロファイルに上書き保存されます。あらかじめ、プロファイルをバックアップしておくことをお勧めします。

1 ［デバイスプロファイル］タブを選択し、“編集”をクリックします。

編集リストが開きます。

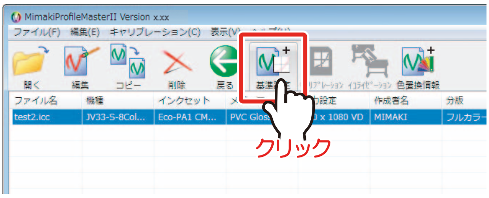

MimakiProfileMasterII Version x.xx
MimakiProfileMaster II
スター
デバイスプロファイル
選択
1
新規作成
編集
2
コピー
クリック
再作成
終了

2 基準設定をする V3 プロファイルを、編集リストに追加します。

☞ 3-4 ページの「編集するプロファイルをリストに追加する」

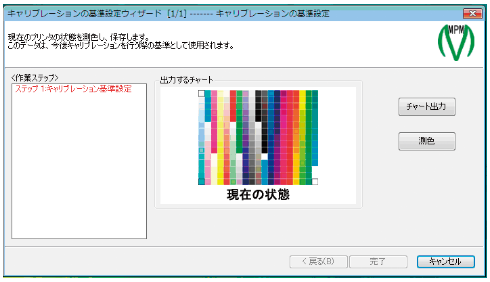
3 “基準設定” をクリックします。

キャリブレーションの基準設定ウィザードが起動します。


MimakiProfileMasterII Version x.xx
ファイル(F)　編集(E)　キャリブレーション(C)　表示(V)
開く
編集
コピー
削除
戻る
基準設定
キャリブレーション
イコライゼーション
色置換情報
ファイル名
機種
インクセット
作成者名
分版
test2.icc
JV33-S-8Col...
Eco-PA1 CM...
PVC Gloss
x 1080 VD
MIMAKI
フルカラー
クリック

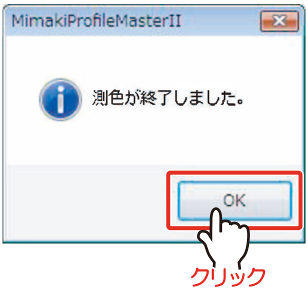
4 チャートを出力し、測色します。

2-24 ページの「リニアライゼーションの自動調整」手順１～６を参照してください。
チャートの名前は「○○_CalibrationTarget.txt」を選択してください。（○○は測色器の名前）


キャリブレーションの基準設定ウィザード [1/1] ------- キャリブレーションの基準設定
MPM
<作業ステップ>
ステップ 1:キャリブレーション基準設定
出力するチャート
現在の状態
チャート出力
測色
＜戻る(B)
完了
キャンセル

現在のプリンタの状態を測色し、保存します。
このデータは、今後キャリブレーションを行う際の基準として使用されます。

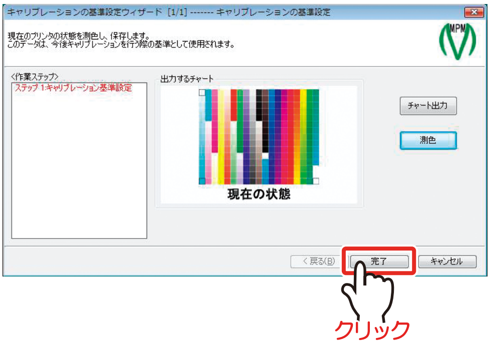
5 OK をクリックします。


MimakiProfileMasterII

測色が終了しました。

6 完了 をクリックします。

編集リストが表示されます。


キャリブレーションの基準設定ウィザード [1/1] -------- キャリブレーションの基準設定

現在のプリンタの状態を測色し、保存します。
このデータは、今後キャリブレーションを行う際の基準として使用されます。

<作業ステップ>
ステップ 1:キャリブレーション基準設定

出力するチャート

現在の状態

MPM
チャート出力
測色
< 戻る(B)
完了
キャンセル
クリック

キャリブレーションを行う

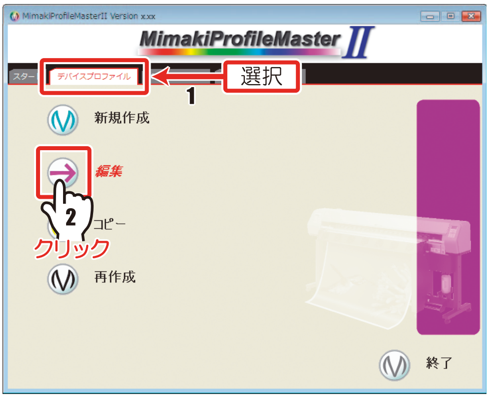
お使いのプリンタの発色が以前と異なる場合､基準設定を記録しておいたV3プロファイルを使って、インクリミット・リニアライゼーション・グレーバランスの３つの要素を調整します。

重 要！	♦キャリブレーションで調整した内容は､選択したV3プロファイルに上書き保存されます。あらかじめ、プロファイルをバックアップしておくことをお勧めします。 ♦色差の計算では、D50 光源を想定していますので、ご利用の環境光源とは必ずしも同じ結果にはなりません。見た目と数値の差はご了承ください。

現在の状態を測色する

1 ［デバイスプロファイル］タブを選択し、“編集”をクリックします。

編集リストが開きます。

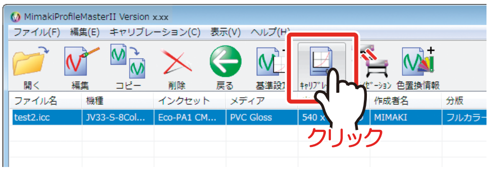

MimakiProfileMasterII Version xxx
MimakiProfileMaster II
スター
デバイスプロファイル
選択
1
新規作成
編集
2
クリック
コピー
再作成
終了

2 基準設定をしてある V3 プロファイルを、編集リストに追加します。

☞ 3-4 ページの「編集するプロファイルをリストに追加する」

3 “キャリブレーション”をクリックします。

キャリブレーションウィザードが起動します。


MimakiProfileMasterII Version xxx
ファイル(F)　編集(E)　キャリブレーション(C)　表示(V)　ヘルプ(H)
開く
編集
コピー
削除
戻る
基準設定
ｷｬﾘﾌﾞﾚ
ｾﾞｰｼｮﾝ
色置換情報
クリック

ファイル名	機種	インクセット	メディア		作成者名	分版
test2.icc	JV33-S-8Col...	Eco-PA1 CM...	PVC Gloss	540 x	MIMAKI	フルカラー

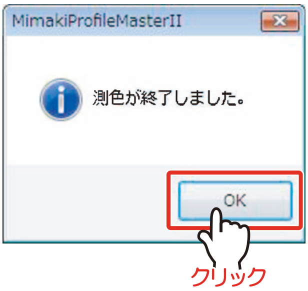
重 要！	♦“キャリブレーション”が無効になっている場合は、まず基準設定を行ってください。（☞ P.4-3）

4 チャートを出力し、測色します。

2-24 ページの「リニアライゼーションの自動調整」手順１～６を参照してください。チャートの名前は「○○ _CalibrationTarget.txt」を選択してください。（○○は測色器の名前）

5 OK をクリックします。

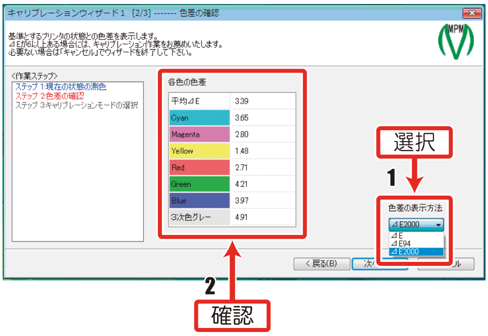
数秒後に自動的に画面が進みます。
しばらくお待ちください。


MimakiProfileMasterII

測色が終了しました。

6 色差の値を確認します。

記録されている基準設定と、現在の測色結果の差が表示されます。
色差の数値の詳細は、用語解説をご覧ください。（☞ P. 付録 -2）



キャリブレーションウィザード１ [2/3] ------- 色差の確認

基準とするプリンタの状態との色差を表示します。
⊿Eが6以上ある場合には、キャリブレーション作業をお薦めいたします。
必要ない場合は「キャンセル」でウィザードを終了して下さい。

<作業ステップ>
ステップ 1:現在の状態の測色
ステップ 2:色差の確認
ステップ 3:キャリブレーションモードの選択

各色の色差

平均⊿E	3.39
Cyan	3.65
Magenta	2.80
Yellow	1.48
Red	2.71
Green	4.21
Blue	3.97
3次色グレー	4.91

色差の表示方法: ⊿E2000

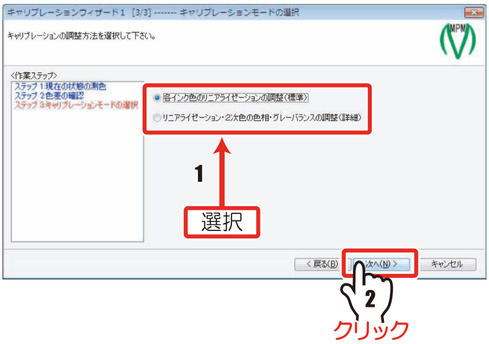
重要!	◆ 色差の値を確認するため、画面右下の「色差の表示方法」を選択してください。 ◆ 色差の表示方法には、ΔE、ΔE94、ΔE2000 がありますが、人の目が感じる色差と最も近い「ΔE2000」をお勧めします。

キャリブレーションを行う場合は　次へ をクリックしてください。

キャリブレーションを行わない場合は　**キャンセル** をクリックしてください。
編集リストが表示されます。

- ◆ 色差が [6] 以上の場合、⚠ マークが表示されます。⚠ マークが表示されている場合は、キャリブレーションを行うことをお勧めします。
- ◆ ⚠ マークが表示されていなくても、キャリブレーションはできます。必要に応じて行ってください。
- ◆ ⚠ マークが多い場合や数値が大きい場合は、プリンタの調整を行ってください。

7 作業内容を選択し、次へ をクリックします。



キャリブレーションウィザード１ [3/3] ------- キャリブレーションモードの選択

キャリブレーションの調整方法を選択して下さい。

<作業ステップ>
ステップ 1:現在の状態の測色
ステップ 2:色差の確認
ステップ 3:キャリブレーションモードの選択

● 各インク色のリニアライゼーションの調整(標準)
○ リニアライゼーション・2次色の色相・グレーバランスの調整(詳細)

各インク色のリニアライゼーションの調整 (標準)
CMYK のグラデーションの調整のみ行います。(約 30 分の作業)

リニアライゼーション･2次色の色相・グレーバランスの調整 (詳細)
2 次色の色相の微調整、グラデーションの階調性、グレーバランスの色みの調整の 3 つの要素の調整を行います。(約 2 時間の作業)

重要!	◆ ここで選択した作業内容 (標準 / 詳細) は、途中で変更できません。

◆ プリンタの調整を行うことで生じるる色差は、ドットの重なりが変わることによるものです。ドットの重なり方が変わると、色の混ざり方が変わるため、2 次色・3 次色に影響があります。
プリンタを調整した場合は、詳細モードでキャリブレーションを行ってください。

（標準）を選んだ場合は 4-7 ページへ
（詳細）を選んだ場合は 4-9 ページへ続く ➡

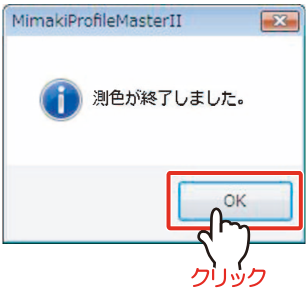
作業内容 (標準) を選んだ場合

P.4-6 の「現在の状態を測色する」から

1 リニアライゼーションの自動調整を行います。

チャートを出力し、測色します。
2-24 ページの「リニアライゼーションの自動調整」手順１～６を参照してください。
チャートの名前は「〇〇 _Linearization.txt」を選択してください。（〇〇は測色器の名前）

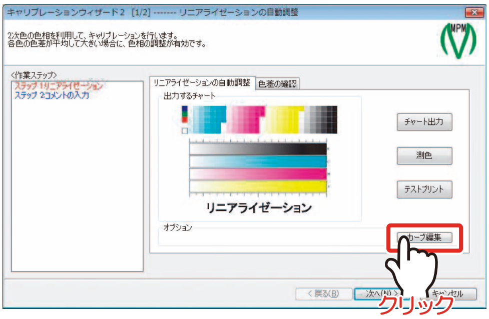
2 **OK** をクリックします。


MimakiProfileMasterII

測色が終了しました。

3 必要に応じて、カーブ編集をします。

カーブ編集が必要なときは、**カーブ編集** をクリックしてください。
編集方法は 2-62 ページの「カーブ編集ボタン」を参照してください。

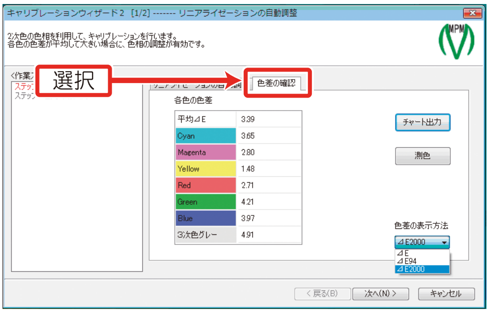

キャリブレーションウィザード２ [1/2] ------- リニアライゼーションの自動調整

2次色の色相を利用して、キャリブレーションを行います。
各色の色差が平均して大きい場合に、色相の調整が有効です。
<作業ステップ>
ステップ 1:リニアライゼーション
ステップ 2:コメントの入力
リニアライゼーションの自動調整
色差の確認
出力するチャート
リニアライゼーション
チャート出力
測色
テストプリント
オプション
カーブ編集
< 戻る(B)
次へ(N) >
キャンセル
クリック

◆ 自動調整後のカーブが大きく曲がっていたり、S 字を描いている場合は測色ミスの可能性があります。カーブを直線にして、再度測色してください。

4 [色差の確認] タブを選択します。

画面には、キャリブレーションを行う前の色差が表示されています。


キャリブレーションウィザード２ [1/2] ------- リニアライゼーションの自動調整

2次色の色相を利用して、キャリブレーションを行います。
各色の色差が平均して大きい場合に、色相の調整が有効です。

各色の色差

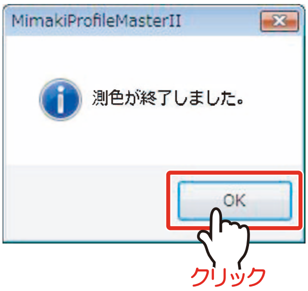
平均⊿E	3.39
Cyan	3.65
Magenta	2.80
Yellow	1.48
Red	2.71
Green	4.21
Blue	3.97
3次色グレー	4.91

色差の表示方法: ⊿E2000
選択
色差の確認
チャート出力
測色
⊿E
⊿E94
⊿E2000
< 戻る(B)
次へ(N) >
キャンセル

5 チャートを出力し、測色します。

調整結果を反映したチャートを測色することで、キャリブレーションした結果を確認します。
2-24 ページの「リニアライゼーションの自動調整」手順１～６を参照してください。

6 OK をクリックします。


MimakiProfileMasterII
OK

測色が終了しました。

クリック

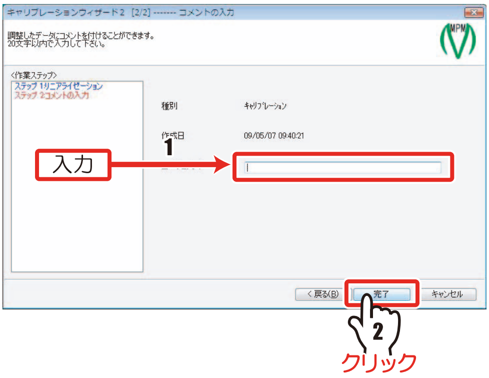
7 調整後の色差を確認します。

- ♦ 測色値は測色誤差を含むため、測色するごとに値が変化します。また、それによって、色差の値も変化します。
- ♦ 測色誤差には以下のような要因があります。
  - a. 測色器の個体差
  - b. 測色器の繰り返し精度
  - c. 印刷物のムラ
  - d. 印刷物と測色器の距離または、接触のしかた
- ♦ 測色器による測色誤差は、ΔE にすると 1 以下です。
  見た目の差以上に色差の値が大きい場合は、印刷物にノズル抜けやムラがないかチェックしてから、測色し直してください。

8 次へ をクリックします。

9 コメントを入力します。（最大 20 文字）

コメントはRaster Link ProII 以降のRaster Link シリーズで使用する際に表示されます。簡単でわかりやすいものにしてください。


キャリブレーションウィザード2 [2/2] ------- コメントの入力
MPM
<作業ステップ>
ステップ 1:リニアライゼーション
ステップ 2:コメントの入力
< 戻る(B)
完了
キャンセル
1
2

調整したデータにコメントを付けることができます。
20文字以内で入力して下さい。

種別　キャリブレーション

作成日　09/05/07 09:40:21

入力

クリック

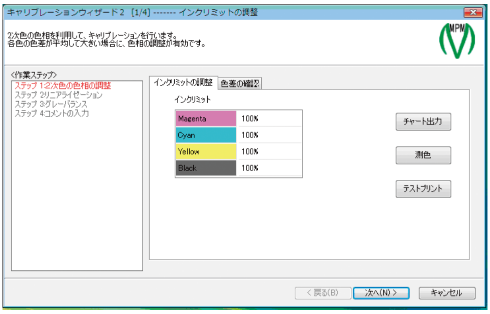
10 完了 をクリックします。

キャリブレーションデータは V3 プロファイルに追加され、上書き保存されます。

作業内容（詳細）を選んだ場合

P.4-6 の「現在の状態を測色する」から

1 ２次色の色相の調整を行います。


キャリブレーションウィザード2 [1/4] ------- インクリミットの調整

2次色の色相を利用して、キャリブレーションを行います。
各色の色差が平均して大きい場合に、色相の調整が有効です。

<作業ステップ>
- ステップ 1:2次色の色相の調整
- ステップ 2:リニアライゼーション
- ステップ 3:グレーバランス
- ステップ 4:コメントの入力

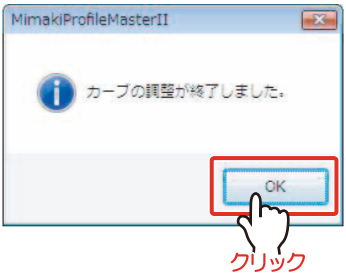
インクリミット

Magenta	100%
Cyan	100%
Yellow	100%
Black	100%

インクリミットの調整
色差の確認
チャート出力
測色
テストプリント
< 戻る(B)
次へ(N) >
キャンセル

チャートを出力し、測色します。
2-24 ページの「リニアライゼーションの自動調整」手順１～６を参照してください。
チャートの名前は「○○_CalibrationTarget.txt」を選択してください。（○○は測色器の名前）

2 OK をクリックします。


MimakiProfileMasterII

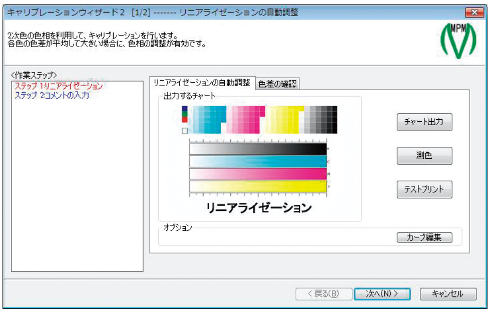
カーブの調整が終了しました。

自動的にインク量の調整を行います。

重 要！	♦ ここでの調整は、微調整を目的としています。インク量が大きく変化した場合（90%以下など）は、測色ミスの可能性があります。インク量をすべて 100%に戻し、再度測色してください。

3 次へ をクリックします。

4 リニアライゼーションの自動調整を行います。


キャリブレーションウィザード2 [1/2] ------- リニアライゼーションの自動調整

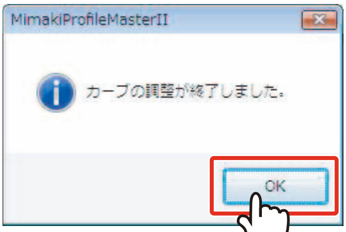
2次色の色相を利用して、キャリブレーションを行います。
各色の色差が平均して大きい場合に、色相の調整が有効です。

<作業ステップ>
- ステップ 1:リニアライゼーション
- ステップ 2:コメントの入力

リニアライゼーションの自動調整
色差の確認
出力するチャート
リニアライゼーション
チャート出力
測色
テストプリント
オプション
カーブ編集
< 戻る(B)
次へ(N) >
キャンセル

チャートを出力し、測色します。
2-24 ページの「リニアライゼーションの自動調整」手順１～６を参照してください。
チャートの名前は「○○_Linearization.txt」を選択してください。（○○は測色器の名前）

5 OK をクリックします。


MimakiProfileMasterII

カーブの調整が終了しました。

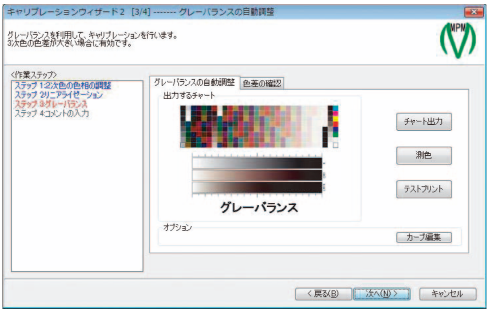
クリック

♦ リニアライゼーションを調整したことで色差が大きくなってしまう場合は、カーブ編集 でカーブをすべて直線にしてください。（キャリブレーションをしない状態にする）

6 次へ をクリックします。

7 グレーバランスの自動調整を行います。

2-46 ページの「グレーバランスの自動調整」を参照してください。
チャートの名前は「〇〇_GrayBalance001.txt」を選択してください。（〇〇は測色器の名前）

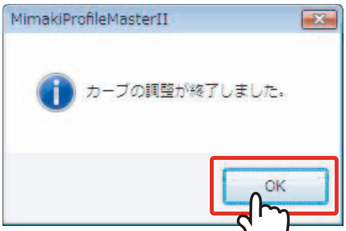

キャリブレーションウィザード2 [3/4] ------- グレーバランスの自動調整

グレーバランスを利用して、キャリブレーションを行います。
3次色の色差が大きい場合に有効です。

<作業ステップ>
ステップ 1:2次色の色相の調整
ステップ 2:リニアライゼーション
ステップ 3:グレーバランス
ステップ 4:コメントの入力

グレーバランスの自動調整
色差の確認
出力するチャート
グレーバランス
チャート出力
測色
テストプリント
オプション
カーブ編集
< 戻る(B)
次へ(N) >
キャンセル

8 OK をクリックします。


MimakiProfileMasterII

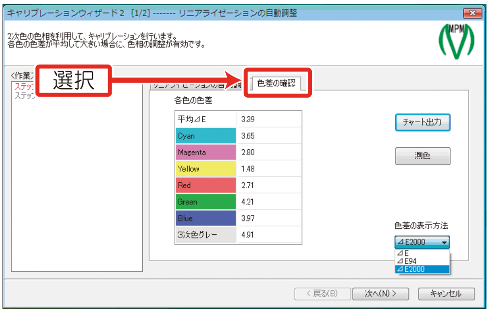
カーブの調整が終了しました。

クリック

♦ グレーバランスを調整したことで色差が大きくなってしまう場合は、カーブ編集 でカーブをすべて直線にしてください。（キャリブレーションをしない状態にする）

9 ［色差の確認］タブを選択します。

画面には、キャリブレーションを行う前の色差が表示されています。



キャリブレーションウィザード２ [1/2] ------- リニアライゼーションの自動調整

2次色の色相を利用して、キャリブレーションを行います。
各色の色差が平均して大きい場合に、色相の調整が有効です。

各色の色差

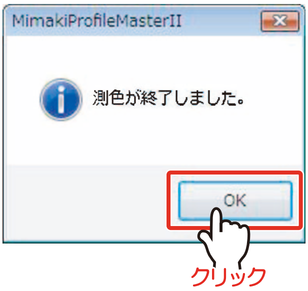
平均⊿E	3.39
Cyan	3.65
Magenta	2.80
Yellow	1.48
Red	2.71
Green	4.21
Blue	3.97
3次色グレー	4.91

色差の表示方法: ⊿E2000

10 チャートを出力し、測色します。

調整結果を反映したチャートを測色することで、キャリブレーションした結果を確認します。
2-24 ページの「リニアライゼーションの自動調整」手順１～６を参照してください。
チャートの名前は「○○ _CalibrationTarget.txt」を選択してください。（○○は測色器の名前）

11 OK をクリックします。



MimakiProfileMasterII

測色が終了しました。

12 調整後の色差を確認します。

♦ 測色値は測色誤差を含むため、測色するごとに値が変化します。また、それによって、色差の値も変化します。
♦ 測色誤差には以下のような要因があります。
  a. 測色器の個体差
  b. 測色器の繰り返し精度
  c. 印刷物のムラ
  d. 印刷物と測色器の距離または、接触のしかた
♦ 測色器による測色誤差は、ΔE にすると１以下です。
見た目の差以上に色差の値が大きい場合は、印刷物にノズル抜けやムラがないかチェックしてから、測色し直してください。

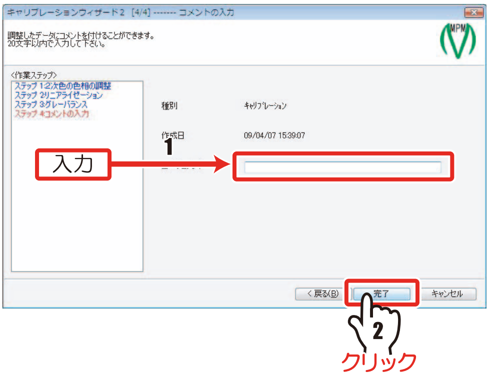
13 次へ をクリックします。

14 コメントを入力します。
(最大 20 文字)

コメントは Raster Link ProII 以降の Raster Link シリーズで使用する際に表示されます。簡単でわかりやすいものにしてください。

15 完了 をクリックします。

キャリブレーションデータは V3 プロファイルに追加され、上書き保存されます。



キャリブレーションウィザード2 [4/4] ------- コメントの入力

調整したデータにコメントを付けることができます。
20文字以内で入力して下さい。

種別 キャリブレーション

作成日 09/04/07 15:39:07

MPM
<作業ステップ>
ステップ 1:2次色の色相の調整
ステップ 2:リニアライゼーション
ステップ 3:グレーバランス
ステップ 4:コメントの入力
入力
1
< 戻る(B)
完了
キャンセル
2
クリック

イコライゼーション機能

同じ機種のプリンタを複数台使って出力しても、各々の装置の特性により発色が異なる場合があります。
MPM II では、同じ出力条件で使用される複数台のプリンタに対して、同様の出力結果が得られるように、プロファイルの補正を行うことができます。

■ 出力条件としてそろえる項目

プリンタの種類	使用するインク	インクセットの構成	使用するメディア
解像度	使用ドットサイズ (ND または VD)		パス数
印刷方向	高速印刷の ON/OFF		重ね塗り回数

重 要！	♦ イコライゼーション機能で補正したプロファイルは、Raster Link ProII 以降 Raster Link シリーズで使用することができます。 ♦ イコライゼーション機能は、V3プロファイル（拡張子が.iccのファイル）でのみ使用可能です。 ♦ 出力条件が異なる場合は、良い結果が得られないことがあります。 ♦ Raster Link ProII 以降の Raster Link シリーズに付属する ProfileManager を使用して V2 から V3 に変換された V3 プロファイルでは、正常にイコライゼーションが行えません。 ♦ イコライゼーション機能を使用するためには、事前に基準設定を行う必要があります。

イコライゼーションを行う

重 要！	♦ あらかじめ、基準設定が記録されているV3プロファイルを用意しておいてください。 ♦ イコライゼーションで調整した内容は、選択したV3プロファイルに上書き保存されます。あらかじめ、プロファイルをバックアップしておくことをお勧めします。 ♦ 色差の計算では、D50 光源を想定していますので、ご利用の環境光源とは必ずしも同じ結果にはなりません。見た目と数値の差はご了承ください。

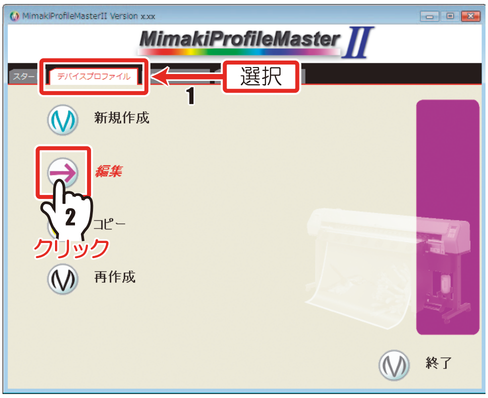
ターゲットプリンタへ出力する

まず、調整目標とするプリンタの状態を記録します。

1 ターゲットプリンタを PC と接続します。

2 ［デバイスプロファイル］タブを選択し、“編集”をクリックします。

編集リストが開きます。

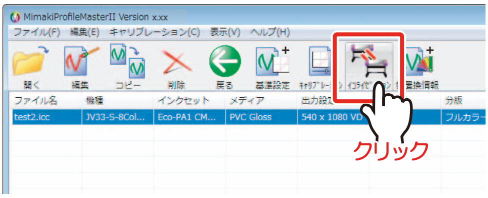

MimakiProfileMasterII Version x.xx
MimakiProfileMaster II
スター
デバイスプロファイル
選択
1
新規作成
編集
2
コピー
クリック
再作成
終了

3 基準設定をしてある V3 プロファイルを、編集リストに追加します。

☞ 3-4 ページの「編集するプロファイルをリストに追加する」

4 “イコライゼーション” をクリックします。

イコライゼーションウィザードが起動します。

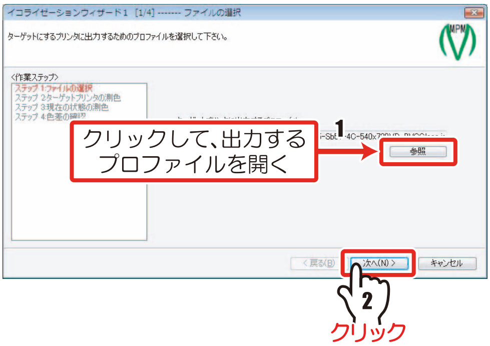

MimakiProfileMasterII Version x.xx
ファイル(F)　編集(E)　キャリブレーション(C)　表示(V)　ヘルプ(H)
開く
編集
コピー
削除
戻る
基準設定
ｷｬﾘﾌﾞﾚｰｼｮﾝ
ｲｺﾗｲｾﾞｰｼｮﾝ
置換情報
クリック

ファイル名	機種	インクセット	メディア	出力設	分版
test2.icc	JV33-S-8Col...	Eco-PA1 CM...	PVC Gloss	540 x 1080 VD	フルカラー

重 要！	♦ “イコライゼーション” が無効になっている場合は、まず基準設定を行ってください。（☞ P.4-3 ）

5 ターゲットにするプリンタに出力するためのV3プロファイルを選択します。

1 参照 をクリックします。
2 V3 プロファイルを選択し、
開く をクリックします。
3 次へ をクリックします。



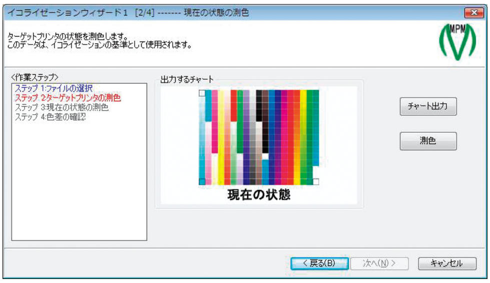
イコライゼーションウィザード1 [1/4] ------- ファイルの選択

ターゲットにするプリンタに出力するためのプロファイルを選択して下さい。

MPM
<作業ステップ>
ステップ 1:ファイルの選択
ステップ 2:ターゲットプリンタの測色
ステップ 3:現在の状態の測色
ステップ 4:色差の確認
クリックして、出力するプロファイルを開く
1
参照
< 戻る(B)
次へ(N) >
キャンセル
2
クリック

♦ ここで選択したプロファイルは、イコライゼーションの調整結果の影響は受けません。

6 ターゲットプリンタの現在の状態を測色します。



イコライゼーションウィザード1 [2/4] ------- 現在の状態の測色

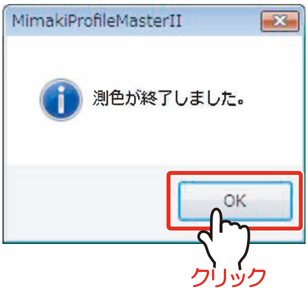
ターゲットプリンタの状態を測色します。
このデータは、イコライゼーションの基準として使用されます。

<作業ステップ>
ステップ 1:ファイルの選択
ステップ 2:ターゲットプリンタの測色
ステップ 3:現在の状態の測色
ステップ 4:色差の確認
出力するチャート
現在の状態
チャート出力
測色
< 戻る(B)
次へ(N) >
キャンセル

チャートを出力し、測色します。
2-24ページの「リニアライゼーションの自動調整」手順１～６を参照してください。
チャートの名前は「○○_CalibrationTarget.txt」を選択してください。（○○は測色器の名前）

重 要！	♦ プリンタを複数台接続している場合は、必ず、ターゲットプリンタを出力先に選択してください。

7 OK をクリックします。



MimakiProfileMasterII

測色が終了しました。

8 次へ をクリックします。

4-16 ページの「イコライゼーションを行うプリンタへ出力する」へ続く

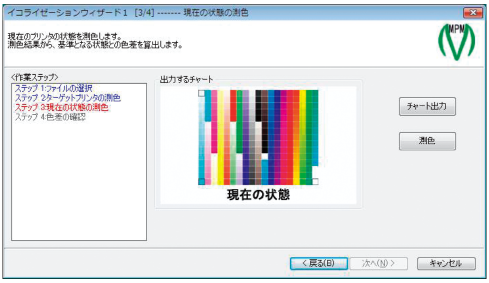
イコライゼーションを行うプリンタへ出力する

4-15 ページの「ターゲットプリンタへ出力する」から

1 イコライゼーションを行いたいプリンタを PC と接続します。

2 イコライゼーションを行うプリンタの現在の状態を測色します。

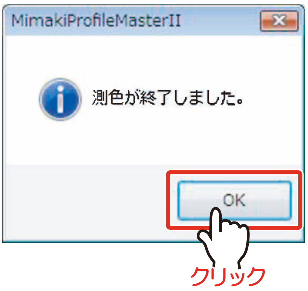
チャートを出力し、測色します。
2-24ページの「リニアライゼーションの自動調整」手順１～６を参照してください。
チャートの名前は「○○_CalibrationTarget.txt」を選択してください。（○○は測色器の名前）


イコライゼーションウィザード１ [3/4] ------- 現在の状態の測色

現在のプリンタの状態を測色します。
測色結果から、基準となる状態との色差を算出します。

MPM
<作業ステップ>
ステップ 1:ファイルの選択
ステップ 2:ターゲットプリンタの測色
ステップ 3:現在の状態の測色
ステップ 4:色差の確認
出力するチャート
現在の状態
チャート出力
測色
< 戻る(B)
次へ(N) >
キャンセル

3 **OK** をクリックします。

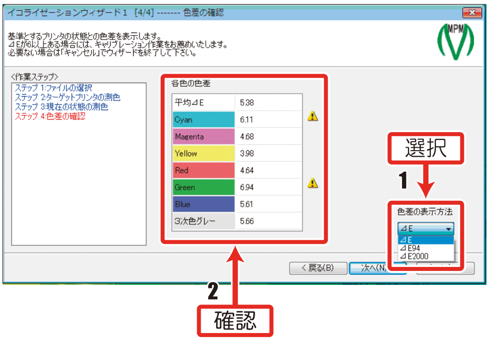

MimakiProfileMasterII

測色が終了しました。

重 要！	♦ プリンタを複数台接続している場合は、必ず、イコライゼーションを行うプリンタを出力先に選択してください。

4 調整前の色差を確認します。

記録されている基準設定と、現在の測色結果の差が表示されます。
色差の数値の詳細は、用語解説をご覧ください。（☞ P. 付録 -2 ）



イコライゼーションウィザード1　[4/4] ------- 色差の確認

基準とするプリンタの状態との色差を表示します。
⊿Eが6以上ある場合には、キャリブレーション作業をお薦めいたします。
必要ない場合は「キャンセル」でウィザードを終了して下さい。

<作業ステップ>
ステップ 1:ファイルの選択
ステップ 2:ターゲットプリンタの測色
ステップ 3:現在の状態の測色
ステップ 4:色差の確認

各色の色差

平均⊿E	5.38
Cyan	6.11 ⚠
Magenta	4.68
Yellow	3.98
Red	4.64
Green	6.94 ⚠
Blue	5.61
3次色グレー	5.66

色差の表示方法: ⊿E

重 要！	♦ 色差の値を確認するため、画面右下の「色差の表示方法」を選択してください。 ♦ 色差の表示方法には、ΔE、ΔE94、ΔE2000 がありますが、人の目が感じる色差と最も近い「ΔE2000」をお勧めします。

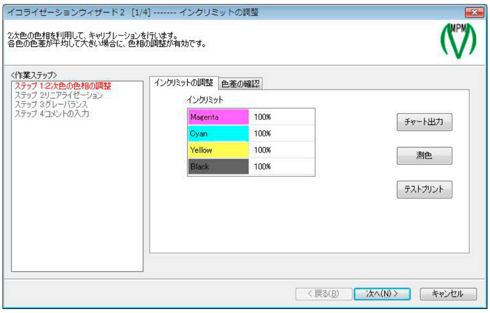
イコライゼーションを行う場合は　**次へ** をクリックしてください。
イコライゼーションを行わない場合は　**キャンセル** をクリックしてください。
編集リストが表示されます。

- ♦ 色差が [6] 以上の場合、⚠ マークが表示されます。⚠ マークが表示されている場合は、イコライゼーションを行うことをお勧めします。
- ♦ ⚠ マークが表示されていなくても、イコライゼーションはできます。必要に応じて行ってください。
- ♦ ⚠ マークが多い場合や数値が大きい場合は、プリンタの調整を行ってください。

重 要！	♦ 異なるインクや異なるプロファイルをターゲットにしている場合は、⚠ マークが多く表示されたり、数値が大きくなることがあります。元々異なる発色のプロファイルを近付けることはできません。

5 2 次色の色相の調整を行います。

2-24 ページの「リニアライゼーションの自動調整」手順１～６を参照してチャート出力と測色を行います。
チャートの名前は「OO_CalibrationTarget.txt」を選択してください。（ OOは測色器の名前）



イコライゼーションウィザード2　[1/4] ------- インクリミットの調整

2次色の色相を利用して、キャリブレーションを行います。
各色の色差が平均して大きい場合に、色相の調整が有効です。

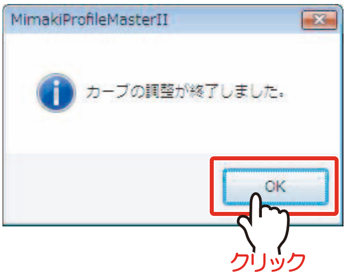
<作業ステップ>
ステップ 1:2次色の色相の調整
ステップ 2:リニアライゼーション
ステップ 3:グレーバランス
ステップ 4:コメントの入力

インクリミット

Magenta	100%
Cyan	100%
Yellow	100%
Black	100%

6 OK をクリックします。

自動的にインク量の調整を行います。



MimakiProfileMasterII

カーブの調整が終了しました。

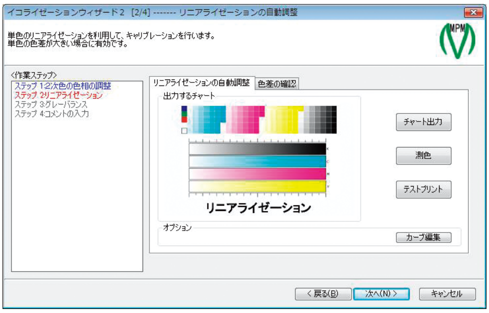
重 要！

◆異なるインクや異なるプロファイルをターゲットにしてイコライゼーションを行うと、インク量が大きく変化することがあります。その場合は、充分な濃度が得られないため、結果が近付きません。

7 次へ をクリックします。

8 リニアライゼーションの自動調整を行います。

2-24ページの「リニアライゼーションの自動調整」手順１～６を参照してチャート出力と測色を行います。チャートの名前は「○○_Linearization.txt」を選択してください。（○○は測色器の名前）



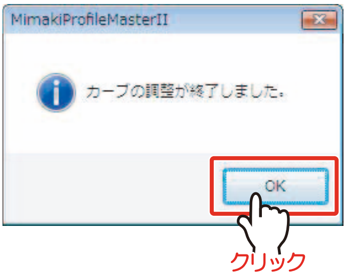
イコライゼーションウィザード2 [2/4] ------- リニアライゼーションの自動調整

単色のリニアライゼーションを利用して、キャリブレーションを行います。
単色の色差が大きい場合に有効です。

<作業ステップ>
ステップ 1:2次色の色相の調整
ステップ 2:リニアライゼーション
ステップ 3:グレーバランス
ステップ 4:コメントの入力

リニアライゼーションの自動調整
色差の確認
出力するチャート
リニアライゼーション
チャート出力
測色
テストプリント
オプション
カーブ編集
< 戻る(B)
次へ(N) >
キャンセル

9 OK をクリックします。



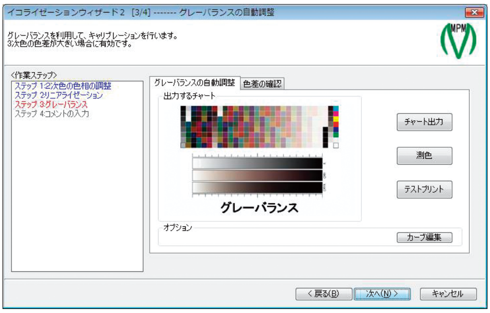
MimakiProfileMasterII

カーブの調整が終了しました。

10 次へ をクリックします。

11 グレーバランスの自動調整を行います。

チャートを出力し、測色します。
2-46 ページの「グレーバランスの自動調整」を参照してください。
チャートの名前は「〇〇 _GrayBalance001.txt」を選択してください。（〇〇は測色器の名前）

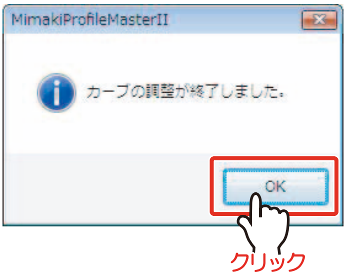


イコライゼーションウィザード2 [3/4] ------- グレーバランスの自動調整

グレーバランスを利用して、キャリブレーションを行います。
3次色の色差が大きい場合に有効です。

MPM
<作業ステップ>
ステップ 1:2次色の色相の調整
ステップ 2:リニアライゼーション
ステップ 3:グレーバランス
ステップ 4:コメントの入力
グレーバランスの自動調整
色差の確認
出力するチャート
グレーバランス
チャート出力
測色
テストプリント
オプション
カーブ編集
< 戻る(B)
次へ(N) >
キャンセル

12 OK をクリックします。

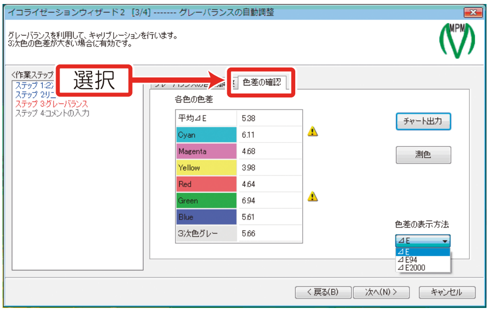


MimakiProfileMasterII

カーブの調整が終了しました。

13 [色差の確認] タブを選択します。

画面には、イコライゼーションを行う前の色差が表示されています。



イコライゼーションウィザード2 [3/4] ------- グレーバランスの自動調整

グレーバランスを利用して、キャリブレーションを行います。
3次色の色差が大きい場合に有効です。

各色の色差

平均⊿E	5.38
Cyan	6.11
Magenta	4.68
Yellow	3.98
Red	4.64
Green	6.94
Blue	5.61
3次色グレー	5.66

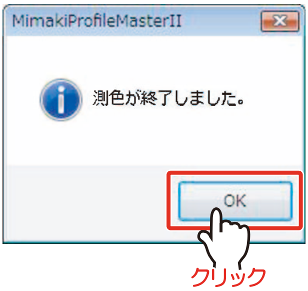
色差の表示方法：⊿E

MPM
<作業ステップ>
ステップ 1:2次
ステップ 2:リニ
ステップ 3:グレーバランス
ステップ 4:コメントの入力
選択
色差の確認
チャート出力
測色
⊿E
⊿E94
⊿E2000
< 戻る(B)
次へ(N) >
キャンセル

14 チャートを出力し、測色します。

調整結果を反映したチャートを測色することで、イコライゼーションした結果を確認します。
2-24 ページの「リニアライゼーションの自動調整」手順１～６を参照してください。
チャートの名前は「〇〇 _CalibrationTarget.txt」を選択してください。（〇〇は測色器の名前）

15 OK をクリックします。



MimakiProfileMasterII

測色が終了しました。

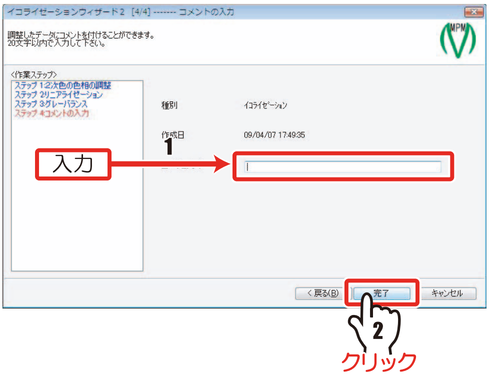
16 調整後の色差を確認します。

- ♦ 測色値は測色誤差を含むため、測色するごとに値が変化します。また、それによって、色差の値も変化します。
- ♦ 測色誤差には以下のような要因があります。
  - a. 測色器の個体差
  - b. 測色器の繰り返し精度
  - c. 印刷物のムラ
  - d. 印刷物と測色器の距離または、接触のしかた
- ♦ 測色器による測色誤差は、ΔE にすると 1 以下です。
  見た目の差以上に色差の値が大きい場合は、印刷物にノズル抜けやムラがないかチェックしてから、測色し直してください。

17 次へ をクリックします。

18 コメントを入力します。（最大 20 文字）

コメントは Raster Link ProII 以降 Raster Link シリーズで使用する際に表示されます。簡単でわかりやすいものにしてください。



イコライゼーションウィザード2 [4/4] ------- コメントの入力

調整したデータにコメントを付けることができます。
20文字以内で入力して下さい。

<作業ステップ>
ステップ 1:2次色の色相の調整
ステップ 2:リニアライゼーション
ステップ 3:グレーバランス
ステップ 4:コメントの入力

種別　イコライゼーション

作成日　09/04/07 17:49:35

19 完了 をクリックします。

キャリブレーションデータは V3 プロファイルに追加され、上書き保存されます。

- ♦ P.4-14　「ターゲットプリンタへ出力する」の手順で使用したデバイスプロファイルは、ターゲットプリンタに接続している Raster Link ProII シリーズにインストールしてください。
- ♦ イコライゼーションを行ったデバイスプロファイルは、イコライゼーションを行ったプリンタに接続しているRaster Link ProII シリーズにインストールしてください。
- ♦ ターゲットプリンタには通常に出力し、イコライゼーションを行ったプリンタにはイコライゼーション要素を選択して出力してください。

キャリブレーション・イコライゼーションの運用について

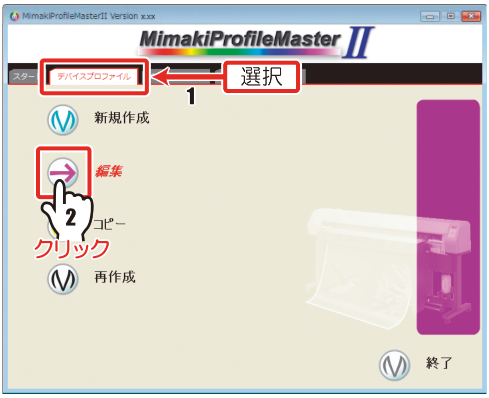
日常の色差を確認する

キャリブレーションデータを生成し、後日、色差を確認する手順を説明します。

♦ **キャリブレーションデータとは**
キャリブレーション機能、イコライゼーション機能で生成した V3 プロファイルの補正情報です。キャリブレーションデータを指定して色変換することで、キャリブレーションを反映した出力が可能です。

1 [デバイスプロファイル] タブを選択し、“編集”をクリックします。

編集リストが開きます。

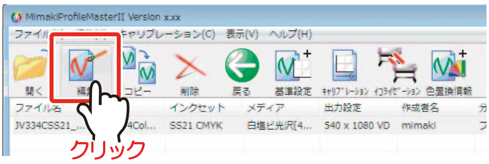

MimakiProfileMasterII Version x.xx
MimakiProfileMaster II
スター
デバイスプロファイル
選択
1
新規作成
編集
2
コピー
クリック
再作成
終了

2 色差を確認したいキャリブレーションデータがあるV3プロファイルを、編集リストに追加します。

☞ 3-4 ページの「編集するプロファイルをリストに追加する」

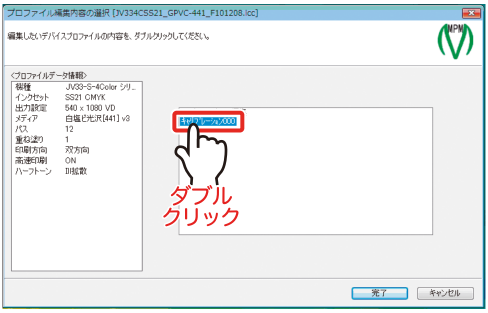
3 “編集” をクリックします。

編集可能な項目が、一覧表示されます。


MimakiProfileMasterII Version x.xx
ファイル
キャリブレーション(C)
表示(V)
ヘルプ(H)
開く
編集
コピー
削除
戻る
基準設定
ｷｬﾘﾌﾞﾚｰｼｮﾝ
ｲｺﾗｲｾﾞｰｼｮﾝ
色置換情報
クリック

ファイル名		インクセット	メディア	出力設定	作成者名	分
JV334CSS21_...	4Col...	SS21 CMYK	白塩ビ光沢[4...	540 x 1080 VD	mimaki	フ

4 色差を確認したいキャリブレーションデータの名前をダブルクリックします。


プロファイル編集内容の選択 [JV334CSS21_GPVC-441_F101208.icc]

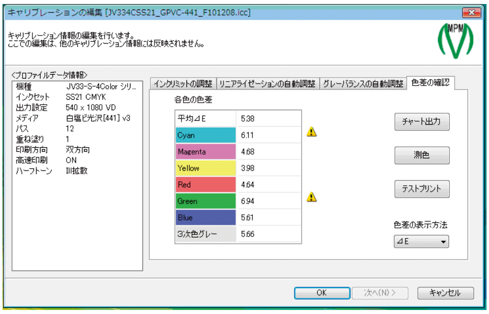
編集したいデバイスプロファイルの内容を、ダブルクリックしてください。

<プロファイルデータ情報>

機種	JV33-S-4Color シリ…
インクセット	SS21 CMYK
出力設定	540 x 1080 VD
メディア	白塩ビ光沢[441] v3
パス	12
重ね塗り	1
印刷方向	双方向
高速印刷	ON
ハーフトーン	III拡散

キャリブレーション000
ダブル
クリック
完了
キャンセル

[色差の確認] タブにキャリブレーションデータを生成したときの色差が表示されます。


キャリブレーションの編集 [JV334CSS21_GPVC-441_F101208.icc]

キャリブレーション情報の編集を行います。
ここでの編集は、他のキャリブレーション情報には反映されません。

<プロファイルデータ情報>

機種	JV33-S-4Color シリ…
インクセット	SS21 CMYK
出力設定	540 x 1080 VD
メディア	白塩ビ光沢[441] v3
パス	12
重ね塗り	1
印刷方向	双方向
高速印刷	ON
ハーフトーン	III拡散

各色の色差

平均⊿E	5.38	
Cyan	6.11	⚠
Magenta	4.68	
Yellow	3.98	
Red	4.64	
Green	6.94	⚠
Blue	5.61	
3次色グレー	5.66	

色差の表示方法: ⊿E

インクリミットの調整
リニアライゼーションの自動調整
グレーバランスの自動調整
色差の確認
チャート出力
測色
テストプリント
OK
次へ(N) >
キャンセル

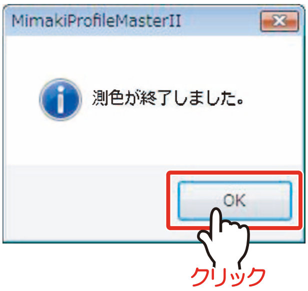
5 チャートを出力し、測色します。

2-24 ページの「リニアライゼーションの自動調整」手順１～６を参照してください。チャートの名前は「○○ _CalibrationTarget.txt」を選択してください。(○○は測色器の名前)

6 OK をクリックします。

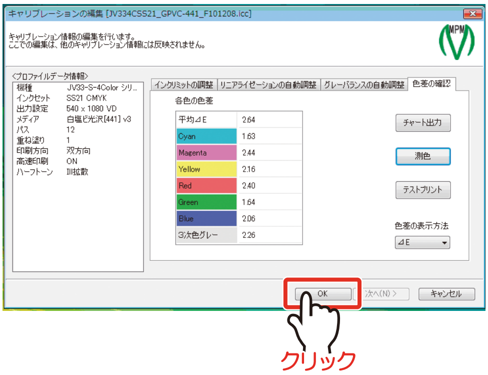
現在の色差に更新されます。

色差を確認した結果、キャリブレーション機能またはイコライゼーション機能での再調整が必要な場合は4-24 ページの操作をしてください。


MimakiProfileMasterII

測色が終了しました。

7 OK をクリックします。


キャリブレーションの編集 [JV334CSS21_GPVC-441_F101208.icc]

キャリブレーション情報の編集を行います。
ここでの編集は、他のキャリブレーション情報には反映されません。

<プロファイルデータ情報>

機種	JV33-S-4Color シリ…
インクセット	SS21 CMYK
出力設定	540 x 1080 VD
メディア	白塩ビ光沢[441] v3
パス	12
重ね塗り	1
印刷方向	双方向
高速印刷	ON
ハーフトーン	III拡散

各色の色差

平均⊿E	2.64
Cyan	1.63
Magenta	2.44
Yellow	2.16
Red	2.40
Green	1.64
Blue	2.06
3次色グレー	2.26

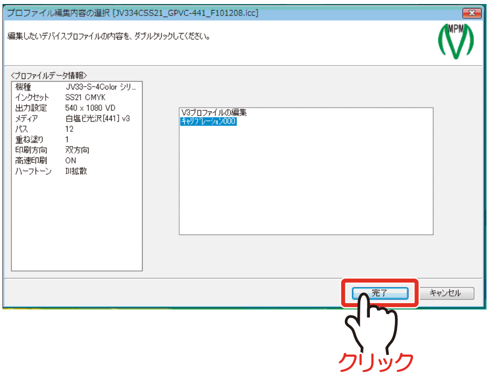
色差の表示方法: ⊿E

インクリミットの調整
リニアライゼーションの自動調整
グレーバランスの自動調整
色差の確認
チャート出力
測色
テストプリント
OK
次へ(N) >
キャンセル
クリック

8 完了 をクリックします。

今回算出した色差が上書き保存されます。

P.3-6 「デバイスプロファイルを編集する」手順５～６を参照してください。



プロファイル編集内容の選択 [JV334CSS21_GPVC-441_F101208.icc]

編集したいデバイスプロファイルの内容を、ダブルクリックしてください。

<プロファイルデータ情報>

機種	JV33-S-4Color シリ...
インクセット	SS21 CMYK
出力設定	540 x 1080 VD
メディア	白塩ビ光沢[441] v3
パス	12
重ね塗り	1
印刷方向	双方向
高速印刷	ON
ハーフトーン	III拡散

V3プロファイルの編集
キャリブレーション000

重 要！

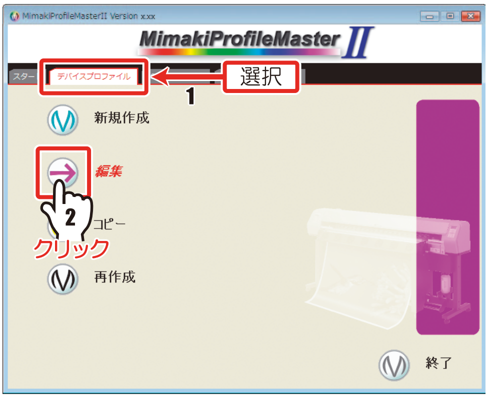
◆色差の履歴は保存されません。以前の色差を残しておく場合、デバイスプロファイルを別名で保存するか、キャンセルしてください。

キャリブレーションデータを再調整する

重 要！	♦ 色差の値が２以下の場合、測定誤差や計算誤差などで色差が大きくなることがあります。 ♦ キャリブレーションデータは上書き保存されます。以前のデータは残りませんのでご注意ください。

1 ［デバイスプロファイル］タブを選択し、“編集”をクリックします。

編集リストが開きます。

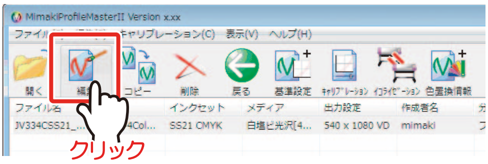

MimakiProfileMasterII Version x.xx
MimakiProfileMaster II
スター
デバイスプロファイル
選択
1
新規作成
編集
2
クリック
コピー
再作成
終了

2 調整したいキャリブレーションデータがある V3 プロファイルを、編集リストに追加します。

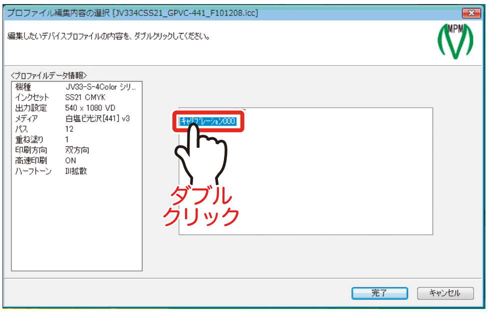
☞ 3-4 ページの「編集するプロファイルをリストに追加する」

3 “編集” をクリックします。

編集可能な項目が、一覧表示されます。


MimakiProfileMasterII Version x.xx
ファイル
キャリブレーション(C)
表示(V)
ヘルプ(H)
開く
編集
コピー
削除
戻る
基準設定
ｷｬﾘﾌﾞﾚｰｼｮﾝ
ｲｺﾗｲｾﾞｰｼｮﾝ
色置換情報
ファイル名
インクセット
メディア
出力設定
作成者名
JV334CSS21_...
4Col...
SS21 CMYK
白塩ビ光沢[4...
540 x 1080 VD
mimaki
クリック

4 調整したいキャリブレーションデータの名前をダブルクリックします。



プロファイル編集内容の選択 [JV334CSS21_GPVC-441_F101208.icc]

編集したいデバイスプロファイルの内容を、ダブルクリックしてください。

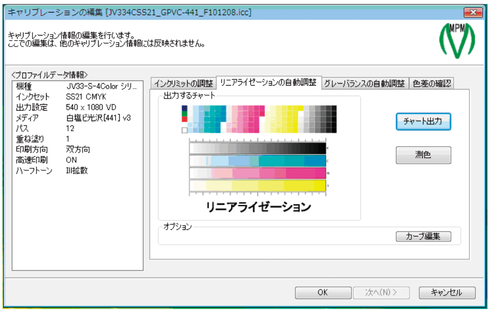
<プロファイルデータ情報>

機種	JV33-S-4Color シリ...
インクセット	SS21 CMYK
出力設定	540 x 1080 VD
メディア	白塩ビ光沢[441] v3
パス	12
重ね塗り	1
印刷方向	双方向
高速印刷	ON
ハーフトーン	III拡散

MPM
ｷｬﾘﾌﾞﾚｰｼｮﾝ000
ダブル
クリック
完了
キャンセル

5 リニアライゼーションの自動調整を行います。

チャートを出力し、測色します。
2-24 ページの「リニアライゼーションの自動調整」手順１～６を参照してください。
チャートの名前は「○○_Linearization.txt」を選択してください。（○○は測色器の名前）

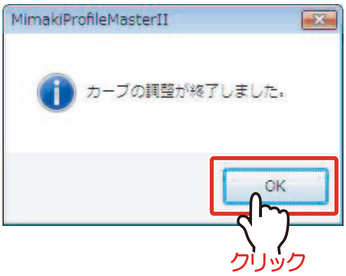

キャリブレーションの編集 [JV334CSS21_GPVC-441_F101208.icc]

キャリブレーション情報の編集を行います。
ここでの編集は、他のキャリブレーション情報には反映されません。

<プロファイルデータ情報>
機種　JV33-S-4Color シリ...
インクセット　SS21 CMYK
出力設定　540 x 1080 VD
メディア　白塩ビ光沢[441] v3
パス　12
重ね塗り　1
印刷方向　双方向
高速印刷　ON
ハーフトーン　Ⅲ拡散

インクリミットの調整
リニアライゼーションの自動調整
グレーバランスの自動調整
色差の確認
出力するチャート
リニアライゼーション
チャート出力
測色
オプション
カーブ編集
OK
次へ(N) >
キャンセル

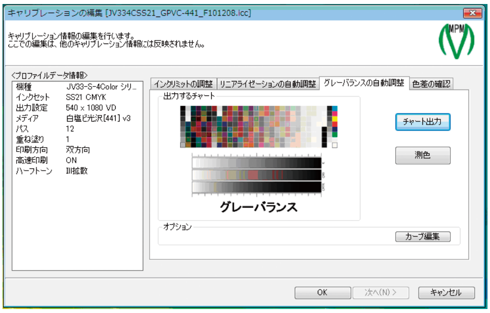
6 **OK** をクリックします。


MimakiProfileMasterII

カーブの調整が終了しました。

7 グレーバランスの自動調整を行います。

2-46 ページの「グレーバランスの自動調整」を参照してください。
チャートの名前は「○○_GrayBalance001.txt」を選択してください。（○○は測色器の名前）

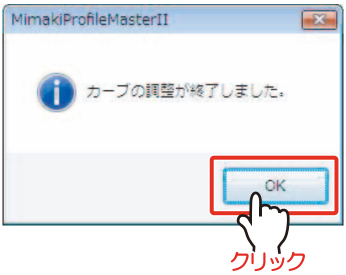

キャリブレーションの編集 [JV334CSS21_GPVC-441_F101208.icc]

キャリブレーション情報の編集を行います。
ここでの編集は、他のキャリブレーション情報には反映されません。

<プロファイルデータ情報>
機種　JV33-S-4Color シリ...
インクセット　SS21 CMYK
出力設定　540 x 1080 VD
メディア　白塩ビ光沢[441] v3
パス　12
重ね塗り　1
印刷方向　双方向
高速印刷　ON
ハーフトーン　Ⅲ拡散

インクリミットの調整
リニアライゼーションの自動調整
グレーバランスの自動調整
色差の確認
出力するチャート
グレーバランス
チャート出力
測色
オプション
カーブ編集
OK
次へ(N) >
キャンセル

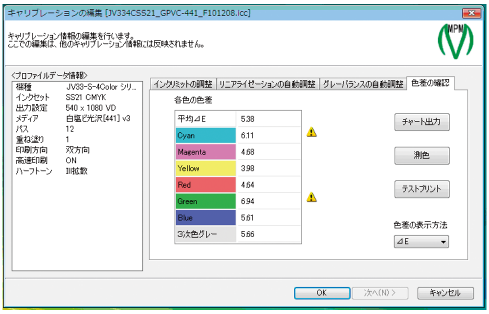
8 **OK** をクリックします。


MimakiProfileMasterII

カーブの調整が終了しました。

9 色差の確認を行います。

画面には、前回の結果が表示されます。
チャートを出力し、測色します。
2-24ページの「リニアライゼーションの自動調整」手順１～６を参照してください。
チャートの名前は「○○_CalibrationTarget.txt」を選択してください。（○○は測色器の名前）


キャリブレーションの編集 [JV334CSS21_GPVC-441_F101208.icc]

キャリブレーション情報の編集を行います。
ここでの編集は、他のキャリブレーション情報には反映されません。

<プロファイルデータ情報>

機種	JV33-S-4Color シリ...
インクセット	SS21 CMYK
出力設定	540 x 1080 VD
メディア	白塩ビ光沢[441] v3
パス	12
重ね塗り	1
印刷方向	双方向
高速印刷	ON
ハーフトーン	III拡散

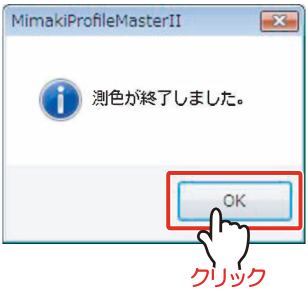
各色の色差

平均⊿E	5.38
Cyan	6.11
Magenta	4.68
Yellow	3.98
Red	4.64
Green	6.94
Blue	5.61
3次色グレー	5.66

色差の表示方法：⊿E
MPM
インクリミットの調整
リニアライゼーションの自動調整
グレーバランスの自動調整
色差の確認
チャート出力
測色
テストプリント
OK
次へ(N) >
キャンセル

10 OK をクリックします。

現在の色差に更新されます。

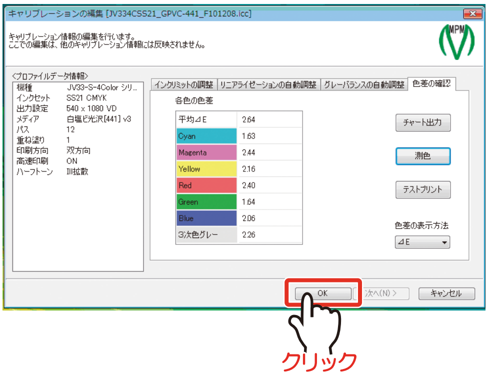

MimakiProfileMasterII

測色が終了しました。

11 調整後の色差を確認します。

- ♦ 測色値は測色誤差を含むため、測色するごとに値が変化します。また、それによって、色差の値も変化します。
- ♦ 測色誤差には以下のような要因があります。
  - a. 測色器の個体差
  - b. 測色器の繰り返し精度
  - c. 印刷物のムラ
  - d. 印刷物と測色器の距離または、接触のしかた
- ♦ 測色器による測色誤差は、ΔE にすると 1 以下です。
  見た目の差以上に色差の値が大きい場合は、印刷物にノズル抜けやムラがないかチェックしてから、測色し直してください。

12 OK をクリックします。


キャリブレーションの編集 [JV334CSS21_GPVC-441_F101208.icc]

キャリブレーション情報の編集を行います。
ここでの編集は、他のキャリブレーション情報には反映されません。

<プロファイルデータ情報>

機種	JV33-S-4Color シリ...
インクセット	SS21 CMYK
出力設定	540 x 1080 VD
メディア	白塩ビ光沢[441] v3
パス	12
重ね塗り	1
印刷方向	双方向
高速印刷	ON
ハーフトーン	III拡散

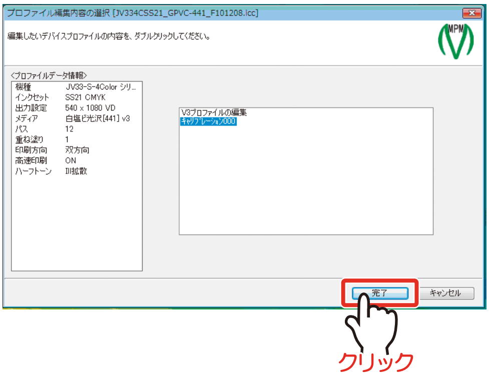
各色の色差

平均⊿E	2.64
Cyan	1.63
Magenta	2.44
Yellow	2.16
Red	2.40
Green	1.64
Blue	2.06
3次色グレー	2.26

色差の表示方法：⊿E
MPM
インクリミットの調整
リニアライゼーションの自動調整
グレーバランスの自動調整
色差の確認
チャート出力
測色
テストプリント
OK
次へ(N) >
キャンセル
クリック

⑬ 完了 をクリックします。

P.3-6 「デバイスプロファイルを編集する」手順５～６を参照してください。



プロファイル編集内容の選択 [JV334CSS21_GPVC-441_F101208.icc]

編集したいデバイスプロファイルの内容を、ダブルクリックしてください。

<プロファイルデータ情報>

機種	JV33-S-4Color シリ...
インクセット	SS21 CMYK
出力設定	540 x 1080 VD
メディア	白塩ビ光沢[441] v3
パス	12
重ね塗り	1
印刷方向	双方向
高速印刷	ON
ハーフトーン	III拡散

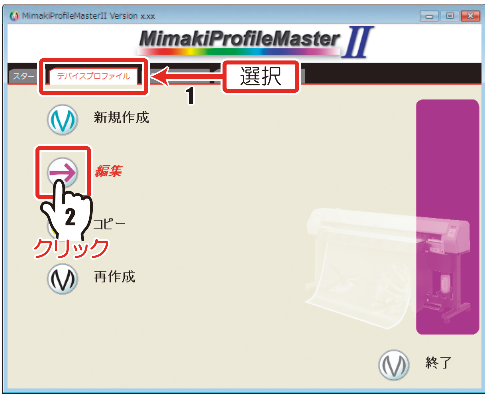
V3プロファイルの編集
キャリブレーション000

新しいキャリブレーションデータを追加する

キャリブレーションデータを新たに追加する方法を説明します。
新たにキャリブレーションデータを追加することにより、キャリブレーションデータを履歴として残すことができます。

1 ［デバイスプロファイル］タブを選択し、“編集”をクリックします。

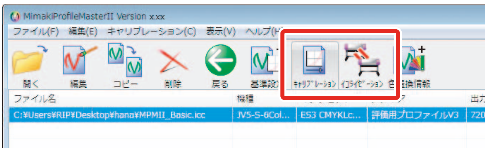
編集リストが開きます。


MimakiProfileMasterII Version x.xx
MimakiProfileMaster II
スター
デバイスプロファイル
選択
1
新規作成
編集
2
コピー
クリック
再作成
終了

2 調整したいキャリブレーションデータがある V3 プロファイルを、編集リストに追加します。

☞ 3-4 ページの「編集するプロファイルをリストに追加する」

3 “キャリブレーション” または “イコライゼーション” をクリックします。

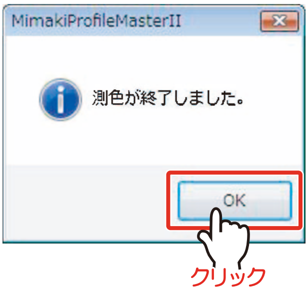

MimakiProfileMasterII Version x.xx
ファイル(F)
編集(E)
キャリブレーション(C)
表示(V)
ヘルプ(H
開く
編集
コピー
削除
戻る
基準設
ｷｬﾘﾌﾞﾚｰｼｮﾝ
ｲｺﾗｲｾﾞｰｼｮﾝ
色
置換情報
ファイル名
機種
出力
C:¥Users¥RIP¥Desktop¥hana¥MPMII_Basic.icc
JV5-S-6Col...
ES3 CMYKLc...
評価用プロファイルV3
720

4 チャートを出力し、測色します。

2-24 ページの「リニアライゼーションの自動調整」手順１～６を参照してください。
チャートの名前は「○○ _CalibrationTarget.txt」を選択してください。（○○は測色器の名前）

重 要！	♦ チャートは、既存のキャリブレーションデータで補正していないデバイスプロファイルによって出力されます。

5 **OK** をクリックします。


測色が終了しました。
MimakiProfileMasterII
OK
クリック

6 色差を確認します。

7 キャリブレーションまたはイコライゼーションを行います。

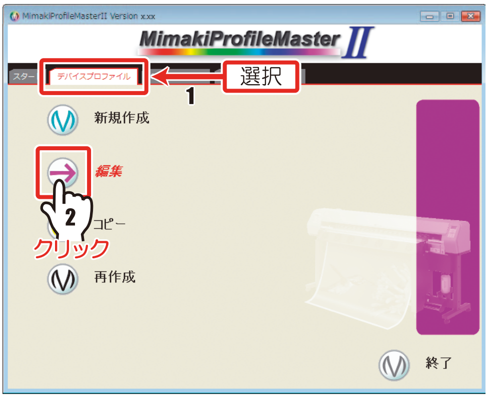
- キャリブレーションを行う場合は、4-5 ページの「キャリブレーションを行う」を参照してください。
- イコライゼーションを行う場合は、4-14 ページの「イコライゼーションを行う」を参照してください。

キャリブレーションデータを使用してプリントする

キャリブレーションデータで補正されたデバイスプロファイルで出力する手順を説明します。

1 ［デバイスプロファイル］タブを選択し、“編集”をクリックします。

編集リストが開きます。

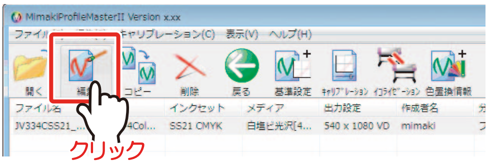

MimakiProfileMasterII Version x.xx
MimakiProfileMaster II
スター
デバイスプロファイル
選択
1
新規作成
編集
2
コピー
クリック
再作成
終了

2 キャリブレーションデータがある V3 プロファイルを、編集リストに追加します。

☞ 3-4 ページの「編集するプロファイルをリストに追加する」

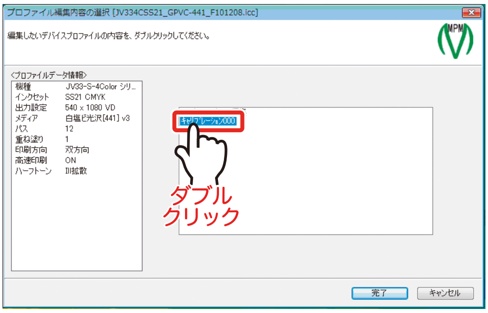
3 “編集” をクリックします。

編集可能な項目が、一覧表示されます。


MimakiProfileMasterII Version x.xx
ファイル
キャリブレーション(C)
表示(V)
ヘルプ(H)
開く
編集
コピー
削除
戻る
基準設定
ｷｬﾘﾌﾞﾚｰｼｮﾝ
ｲｺﾗｲｾﾞｰｼｮﾝ
色置換情報
クリック

ファイル名		インクセット	メディア	出力設定	作成者名
JV334CSS21_...	4Col...	SS21 CMYK	白塩ビ光沢[4...	540 x 1080 VD	mimaki

4 キャリブレーションデータの名前をダブルクリックします。


キャリブレーション000
ダブルクリック
完了
キャンセル

プロファイル編集内容の選択 [JV334CSS21_GPVC-441_F101208.icc]

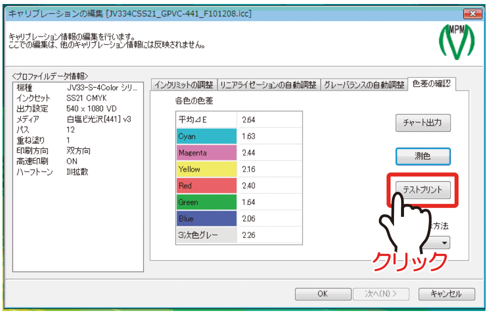
編集したいデバイスプロファイルの内容を、ダブルクリックしてください。

<プロファイルデータ情報>

機種	JV33-S-4Color シリ...
インクセット	SS21 CMYK
出力設定	540 x 1080 VD
メディア	白塩ビ光沢[441] v3
パス	12
重ね塗り	1
印刷方向	双方向
高速印刷	ON
ハーフトーン	III拡散

5 **テストプリント** をクリックします。

P.2-12 を参照してプリントしてください。
キャリブレーションデータで補正されて出力されます。


インクリミットの調整
リニアライゼーションの自動調整
グレーバランスの自動調整
色差の確認
チャート出力
測色
テストプリント
方法
クリック
OK
次へ(N) >
キャンセル

キャリブレーションの編集 [JV334CSS21_GPVC-441_F101208.icc]

キャリブレーション情報の編集を行います。
ここでの編集は、他のキャリブレーション情報には反映されません。

<プロファイルデータ情報>

機種	JV33-S-4Color シリ...
インクセット	SS21 CMYK
出力設定	540 x 1080 VD
メディア	白塩ビ光沢[441] v3
パス	12
重ね塗り	1
印刷方向	双方向
高速印刷	ON
ハーフトーン	III拡散

各色の色差

平均⊿E	2.64
Cyan	1.63
Magenta	2.44
Yellow	2.16
Red	2.40
Green	1.64
Blue	2.06
3次色グレー	2.26

５章

デバイスプロファイルをコピーする

デバイスプロファイルのコピー 5-2
プロファイルコピーウィザード 5-2

デバイスプロファイルのコピー

似通った特性を持つ印刷条件、メディアを使用してデバイスプロファイルを作成する場合、既存のデバイスプロファイルをコピーし、印刷条件の設定のみ変更して保存できます。

プロファイルコピー機能では、プリンタ、インクセット、解像度、メディア名、メディア固有情報の設定 (メディア補正値、ヒーター温度など) が編集できます。

重 要!

- ♦ コピー元のデバイスプロファイルによって、コピーできるプロファイル設定条件が決まっています。下表のように、コピー元のプロファイル条件が、ライトインクを含むインクセットである場合、新しくコピー作成するデバイスプロファイルは、ライトインクを含むインクセットでなければなりません。また、ライトインクの設定のできないプリンタに対しても、コピーできません。バリアブルドット（VD）の場合も同様です。

CMYK、CMYKLcLm の例

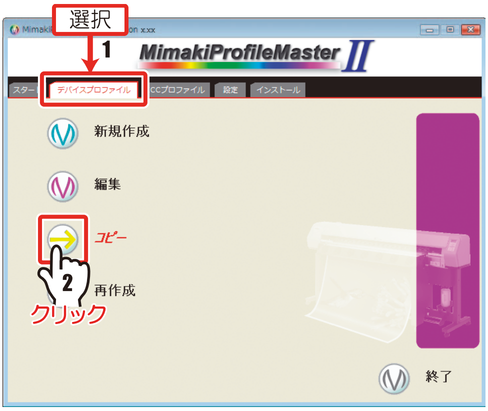
コピー元の条件 新規コピー先条件	CMYK ND	CMYKLcLm ND	CMYK VD	CMYKLcLm VD
CMYK ND	○	×	×	×
CMYKLcLm ND	×	○	×	×
CMYK VD	×	×	○	×
CMYKLcLm VD	×	×	×	○

- ♦ V2プロファイルをV3プロファイルに変換したり、プロファイル (V3) をV2プロファイルに変換することはできません。
V2 プロファイルから V3 プロファイルへの変換は、Raster Link ProII シリーズ以降の Raster Link シリーズに付属の ProfileManager をお使いください。

プロファイルコピーウィザード

1 ［デバイスプロファイル］タブを選択し、“コピー” をクリックします。

プロファイルコピーウィザード 1 が起動します。

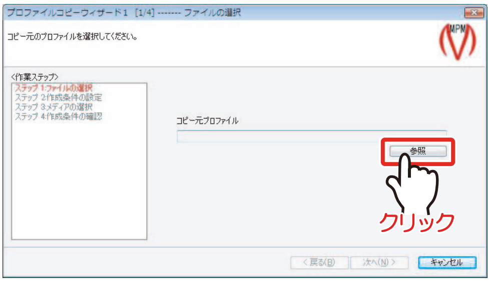


- ♦ 次のようにしても、プロファイルコピーウィザードが起動します。
  1. ［デバイスプロファイル］タブの “編集” をクリックする。
  2. 編集リストにコピーするデバイスプロファイルを追加する。（☞ P.3-4）
  3. “コピー” をクリックする。

② コピー元のデバイスプロファイルを選択します。

コピー元のデバイスプロファイルを開きます。

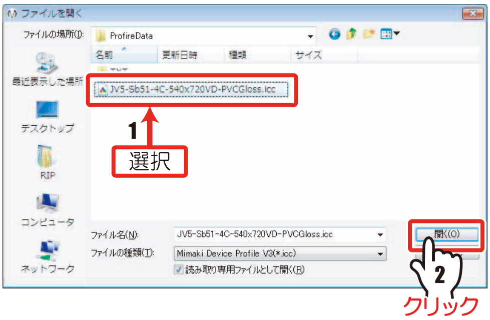
編集リスト（☞P.3-5）で、１つだけデバイスプロファイルを選択して起動した場合は、そのデバイスプロファイルのパスがすでに表示されています。
変更の必要がないときは、手順５へ進んでください。


プロファイルコピーウィザード１ [1/4] ------- ファイルの選択
<作業ステップ>
ステップ 1:ファイルの選択
ステップ 2:作成条件の設定
ステップ 3:メディアの選択
ステップ 4:作成条件の確認
コピー元プロファイル
参照
クリック
< 戻る(B)
次へ(N) >
キャンセル

コピー元のプロファイルを選択してください。

③ 参照 をクリックして、コピー元にするデバイスプロファイルを指定します。

④ コピー元のデバイスプロファイルを選択し、開く をクリックします。


ファイルを開く
ファイルの場所(I):
名前
更新日時
種類
サイズ
最近表示した場所
デスクトップ
RIP
コンピュータ
ネットワーク
1
選択
開く(O)
2
クリック

ファイルの場所(I): ProfireData

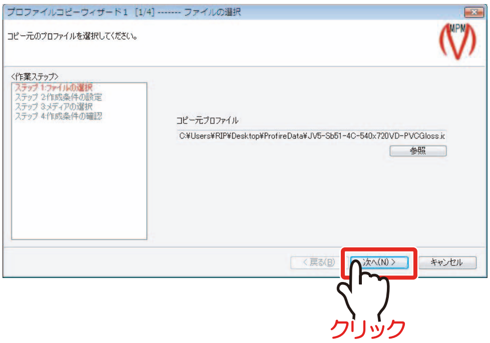
JV5-Sb51-4C-540x720VD-PVCGloss.icc

ファイル名(N): JV5-Sb51-4C-540x720VD-PVCGloss.icc

ファイルの種類(T): Mimaki Device Profile V3(*.icc)

☑ 読み取り専用ファイルとして開く(R)

⑤ 次へ をクリックします。


プロファイルコピーウィザード１ [1/4] ------- ファイルの選択
<作業ステップ>
ステップ 1:ファイルの選択
ステップ 2:作成条件の設定
ステップ 3:メディアの選択
ステップ 4:作成条件の確認
コピー元プロファイル
参照
< 戻る(B)
次へ(N) >
キャンセル
クリック

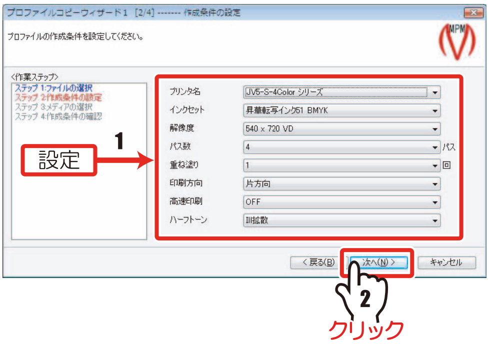
コピー元のプロファイルを選択してください。

コピー元プロファイル: C:¥Users¥RIP¥Desktop¥ProfireData¥JV5-Sb51-4C-540x720VD-PVCGloss.ic

6 作成条件を設定します。

コピー先のデバイスプロファイル作成条件を設定します。

- ウィザードを開くと、コピー元と同じ条件が表示されます。
- 表示される選択肢は、コピー元のデバイスプロファイルによって制限されます。



プロファイルコピーウィザード1 [2/4] ------- 作成条件の設定

プロファイルの作成条件を設定してください。

プリンタ名: JV5-S-4Color シリーズ
インクセット: 昇華転写インク51 BMYK
解像度: 540 x 720 VD
パス数: 4 パス
重ね塗り: 1 回
印刷方向: 片方向
高速印刷: OFF
ハーフトーン: III拡散

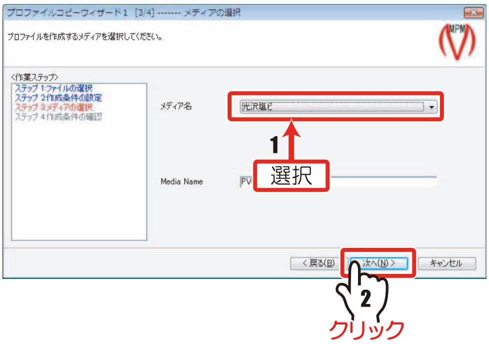
MPM
<作業ステップ>
ステップ 1:ファイルの選択
ステップ 2:作成条件の設定
ステップ 3:メディアの選択
ステップ 4:作成条件の確認
設定
1
< 戻る(B)
次へ(N) >
キャンセル
2
クリック

7 次へ をクリックします。

8 コピー先のメディア名を設定します。

メディア名登録で、登録したメディア名の中から選択できます。

日本語名を選択すると、対応する英語名を表示します。日本語環境以外の Raster Link シリーズでは、英語名のメディア名を表示します。



プロファイルコピーウィザード1 [3/4] ------- メディアの選択

プロファイルを作成するメディアを選択してください。

メディア名: 光沢塩ビ
Media Name: PV

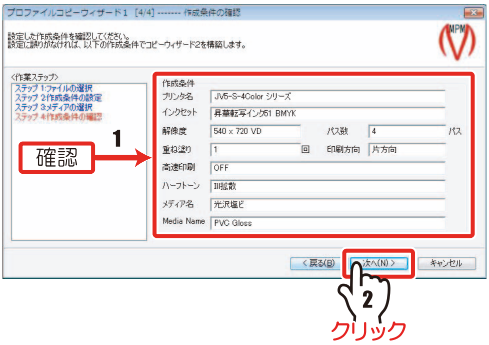
MPM
<作業ステップ>
ステップ 1:ファイルの選択
ステップ 2:作成条件の設定
ステップ 3:メディアの選択
ステップ 4:作成条件の確認
1
選択
< 戻る(B)
次へ(N) >
キャンセル
2
クリック

9 次へ をクリックします。

10 プロファイル作成条件を確認します。

設定した作成条件になっているか確認します。

変更する場合、戻る をクリックし、作成条件を変更します。



プロファイルコピーウィザード1 [4/4] ------- 作成条件の確認

設定した作成条件を確認してください。
設定に誤りがなければ、以下の作成条件でコピーウィザード2を構築します。

作成条件
プリンタ名: JV5-S-4Color シリーズ
インクセット: 昇華転写インク51 BMYK
解像度: 540 x 720 VD
パス数: 4 パス
重ね塗り: 1 回
印刷方向: 片方向
高速印刷: OFF
ハーフトーン: III拡散
メディア名: 光沢塩ビ
Media Name: PVC Gloss

MPM
<作業ステップ>
ステップ 1:ファイルの選択
ステップ 2:作成条件の設定
ステップ 3:メディアの選択
ステップ 4:作成条件の確認
確認
1
< 戻る(B)
次へ(N) >
キャンセル
2
クリック

11 次へ をクリックします。

プロファイルコピーウィザード２が表示されます。

重 要！

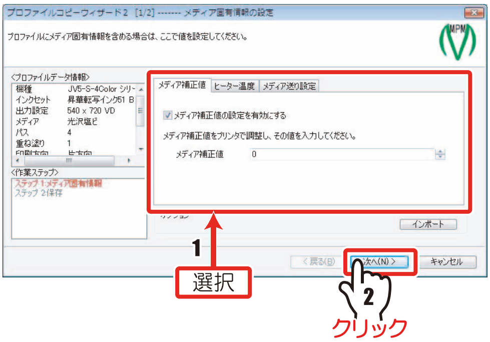
- ♦ プロファイルコピーウィザード2から､プロファイルコピーウィザード1へ戻ることはできません。プロファイルコピーウィザード 2 に移ってからプロファイル条件を変更する場合は、手順 1 からやり直します。

12 メディア固有情報を設定します。

(☞ P.2-7)

メディア固有情報 (メディア補正値、ヒーター温度など) を設定します。

ここで設定できる項目は、コピー先のデバイスプロファイルが対象としているプリンタによって変わります。



プロファイルコピーウィザード２ [1/2] ------- メディア固有情報の設定

プロファイルにメディア固有情報を含める場合は、ここで値を設定してください。

<プロファイルデータ情報>

機種	JV5-S-4Color シリ-
インクセット	昇華転写インク51 B
出力設定	540 x 720 VD
メディア	光沢塩ビ
パス	4
重ね塗り	1
印刷方向	片方向

<作業ステップ>

ステップ 1:メディア固有情報
ステップ 2:保存

☑ メディア補正値の設定を有効にする

メディア補正値をプリンタで調整し、その値を入力してください。

メディア補正値　0

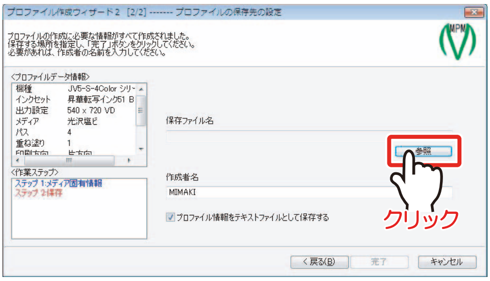
重 要！

- ♦ メディア固有情報は、コピー元のデバイスプロファイルとコピー先のデバイスプロファイルに同じ項目があればコピーします。また、コピー元にない情報で、コピー先にある情報の場合、初期値が設定されます。

13 次へ をクリックします。

14 デバイスプロファイルを保存します。

新しいデバイスプロファイルの保存をします。



プロファイル作成ウィザード２ [2/2] ------- プロファイルの保存先の設定

プロファイルの作成に必要な情報がすべて作成されました。
保存する場所を指定し、「完了」ボタンをクリックしてください。
必要があれば、作成者の名前を入力してください。

<プロファイルデータ情報>

機種	JV5-S-4Color シリ-
インクセット	昇華転写インク51 B
出力設定	540 x 720 VD
メディア	光沢塩ビ
パス	4
重ね塗り	1
印刷方向	片方向

<作業ステップ>

ステップ 1:メディア固有情報
ステップ 2:保存

保存ファイル名

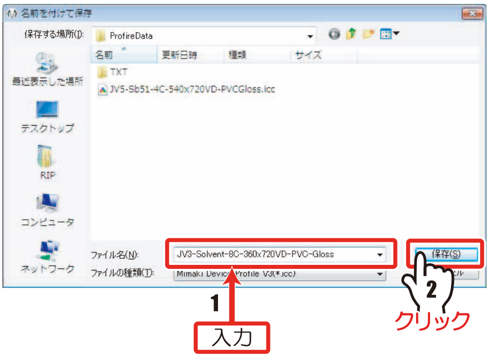
作成者名　MIMAKI

☑ プロファイル情報をテキストファイルとして保存する

15 参照 をクリックします。

⑯ 保存先を指定し、保存するファイル名を入力します。

⑰ 保存 をクリックします。


名前を付けて保存

保存する場所(I): ProfireData

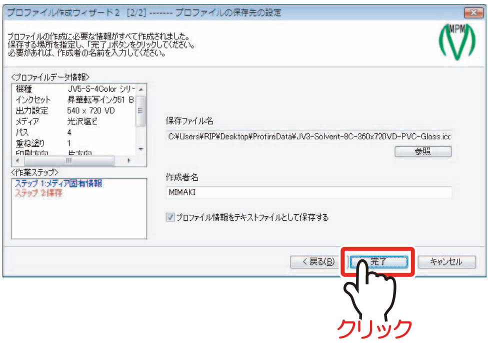
TXT
JV5-Sb51-4C-540x720VD-PVCGloss.icc

ファイル名(N): JV3-Solvent-8C-360x720VD-PVC-Gloss
ファイルの種類(T): Mimaki Devic Profile V3(*.icc)

名前
更新日時
種類
サイズ
最近表示した場所
デスクトップ
RIP
コンピュータ
ネットワーク
保存(S)
1
入力
2
クリック

⑱ 完了 をクリックします。

デバイスプロファイルのコピーが終了し、メインメニューに戻ります。


プロファイル作成ウィザード2 [2/2] ------- プロファイルの保存先の設定

プロファイルの作成に必要な情報がすべて作成されました。
保存する場所を指定し、「完了」ボタンをクリックしてください。
必要があれば、作成者の名前を入力してください。

<プロファイルデータ情報>

機種	JV5-S-4Color シリ-
インクセット	昇華転写インク51 B
出力設定	540 x 720 VD
メディア	光沢塩ビ
パス	4
重ね塗り	1
印刷方向	片方向

<作業ステップ>
ステップ 1:メディア固有情報
ステップ 2:保存

保存ファイル名
C:¥Users¥RIP¥Desktop¥ProfireData¥JV3-Solvent-8C-360x720VD-PVC-Gloss.icc

作成者名
MIMAKI

☑ プロファイル情報をテキストファイルとして保存する

MPM
参照
< 戻る(B)
完了
キャンセル
クリック

６章
ＩＣＣプロファイルを作成する

ICC プロファイルの作成方法を説明します。

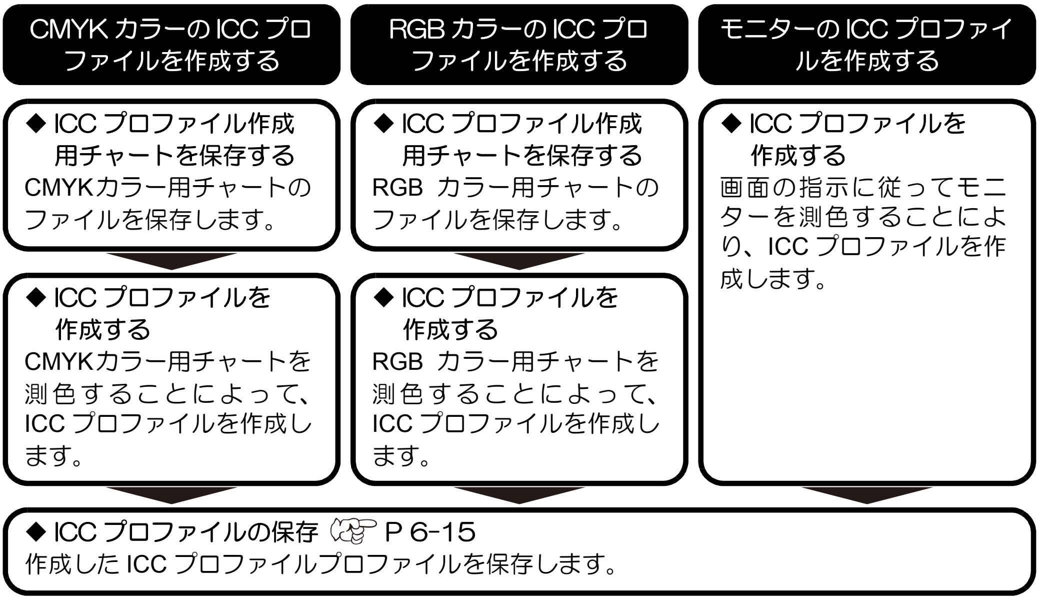
ICC プロファイル作成の流れ 6-2
ICC プロファイルを作成する 6-3
  CMYK カラーの ICC プロファイルを作成する 6-3
  RGB カラーの ICC プロファイルを作成する 6-7
  モニターの ICC プロファイルを作成する 6-11
  ICC プロファイルの保存 6-15

ICC プロファイル作成の流れ

MPMII では、以下の３種類のプロファイルを作成できます。

プロファイルの種類	詳　細
CMYK カラーの ICC プロファイル	･カラーシミュレーション機能で、CMYK カラーの画像をモニター上で表示するためのプロファイル（☞ P 9-16） ･ColorPicker を使用して、特定の色を印刷するときの CMYK 値を算出するためのプロファイル（☞ P 8-4） ･ICCプロファイルに対応した他社RIPアプリケーション用の出力プロファイル
RGB カラーの ICC プロファイル	･カラーシミュレーション機能で、RGB　カラーの画像をモニター上で表示するためのプロファイル（☞ P 9-19） ･プリンタドライバを使用している校正用プリンタの出力プロファイル（☞ P 9-13）
モニターのICCプロファイル	･ミマキ製プリンタで出力される色をモニターで再現するためのプロファイル（☞ P 9-7）

重 要！	♦ CMYK カラー､RGB カラーの ICC プロファイル作成では､測色用のチャートのファイル保存のみ行います。測色チャートのプリントは、他のアプリケーションを使用して、プリンタ出力してください。



CMYK カラーの ICC プロファイルを作成する

◆ ICC プロファイル作成用チャートを保存する
CMYKカラー用チャートのファイルを保存します。

◆ ICC プロファイルを作成する
CMYKカラー用チャートを測色することによって、ICC プロファイルを作成します。

RGB カラーの ICC プロファイルを作成する

◆ ICC プロファイル作成用チャートを保存する
RGB カラー用チャートのファイルを保存します。

◆ ICC プロファイルを作成する
RGB カラー用チャートを測色することによって、ICC プロファイルを作成します。

モニターの ICC プロファイルを作成する

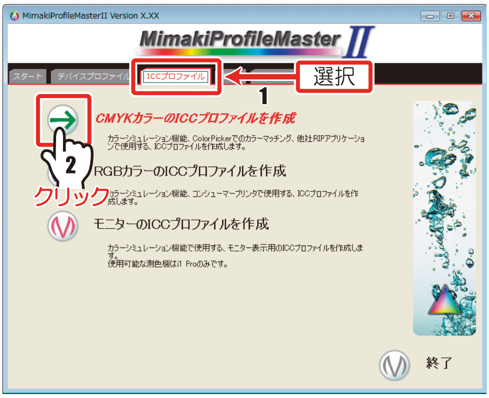
◆ ICC プロファイルを作成する
画面の指示に従ってモニターを測色することにより、ICC プロファイルを作成します。

◆ ICC プロファイルの保存 ☞ P 6-15
作成した ICC プロファイルプロファイルを保存します。

ICC プロファイルを作成する

CMYK カラーの ICC プロファイルを作成する

1. [ICC プロファイル] タブを選択し、“CMYK カラーの ICC プロファイルを作成”をクリックします。


MimakiProfileMasterII Version X.XX
MimakiProfileMaster II
スタート
デバイスプロファイル
ICCプロファイル
選択
1
2
クリック
CMYKカラーのICCプロファイルを作成
RGBカラーのICCプロファイルを作成
モニターのICCプロファイルを作成
終了

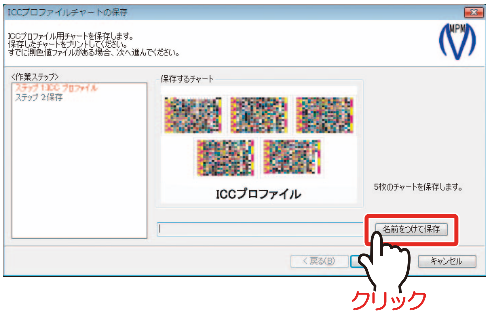
カラーシミュレーション機能、ColorPickerでのカラーマッチング、他社RIPアプリケーションで使用する、ICCプロファイルを作成します。

カラーシミュレーション機能、コンシューマープリンタで使用する、ICCプロファイルを作成します。

カラーシミュレーション機能で使用する、モニター表示用のICCプロファイルを作成します。
使用可能な測色機はi1 Proのみです。

2. **名前を付けて保存** をクリックします。

設定されている測色器によって、保存するチャートの枚数が異なります。


ICCプロファイルチャートの保存
MPM
<作業ステップ>
ステップ 1:ICC プロファイル
ステップ 2:保存
保存するチャート
ICCプロファイル
名前をつけて保存
< 戻る(B)
キャンセル
クリック

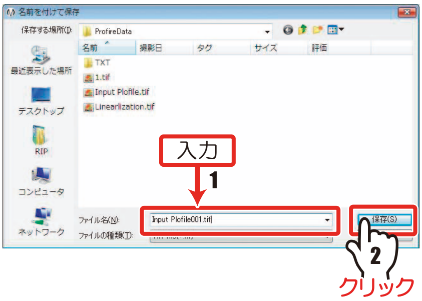
ICCプロファイル用チャートを保存します。
保存したチャートをプリントしてください。
すでに測色値ファイルがある場合、次へ進んでください。

5枚のチャートを保存します。

3. ICC プロファイルチャートの保存先を選び、ファイル名を入力します。

4. **保存** をクリックします。

確認画面が表示されます。
OK をクリックしてください。

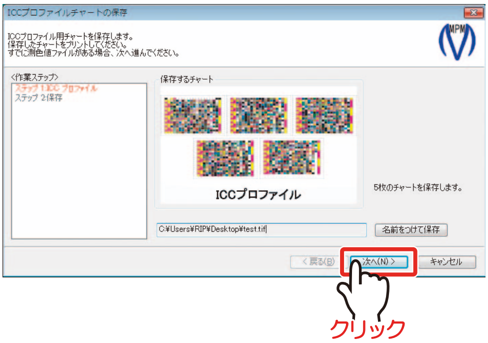

名前を付けて保存
名前
撮影日
タグ
サイズ
評価
TXT
1.tif
Input Plofile.tif
Linearlization.tif
最近表示した場所
デスクトップ
RIP
コンピュータ
ネットワーク
入力
1
保存(S)
2
クリック

保存する場所(I): ProfireData

ファイル名(N): Input Plofile001.tif

ファイルの種類(T):

5 **次へ** をクリックします。



ICCプロファイルチャートの保存

ICCプロファイル用チャートを保存します。
保存したチャートをプリントしてください。
すでに測色値ファイルがある場合、次へ進んでください。

<作業ステップ>
ステップ 1:ICC プロファイル
ステップ 2:保存

保存するチャート

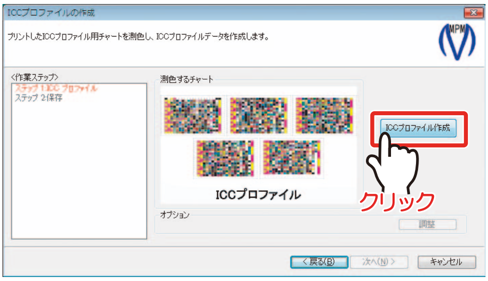
5枚のチャートを保存します。

C:¥Users¥RIP¥Desktop¥test.tif

ICCプロファイル
名前をつけて保存
< 戻る(B)
次へ(N) >
キャンセル
クリック

6 お使いになるプリンタで、保存した ICC プロファイルチャートをプリントします。

7 **ICCプロファイル作成** をクリックします。



ICCプロファイルの作成

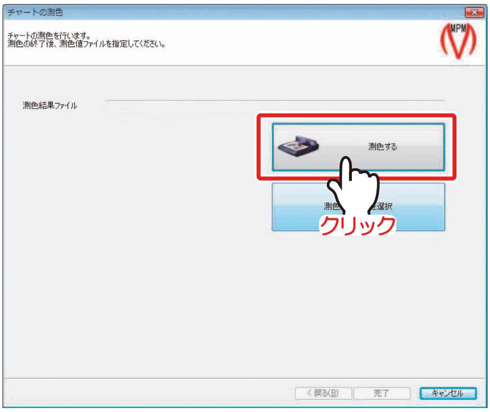
プリントしたICCプロファイル用チャートを測色し、ICCプロファイルデータを作成します。

<作業ステップ>
ステップ 1:ICC プロファイル
ステップ 2:保存

測色するチャート

ICCプロファイル
ICCプロファイル作成
クリック
オプション
調整
< 戻る(B)
次へ(N) >
キャンセル

8 **測色する** をクリックします。



チャートの測色

チャートの測色を行います。
測色の終了後、測色値ファイルを指定してください。

測色結果ファイル

測色する
測色　　選択
クリック
< 戻る(B)
完了
キャンセル

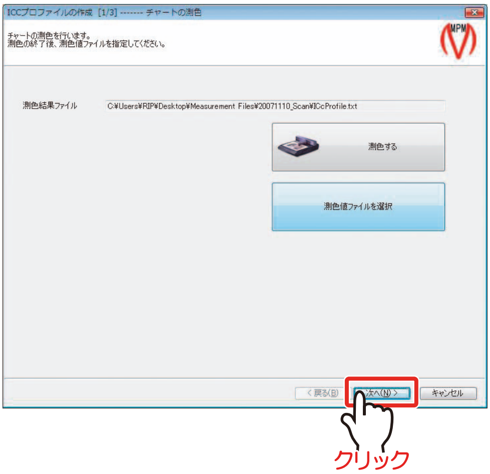
9 MeasureTool5.0 が起動します。

Measure Tool is a Part of the Solution Package
PANTONE Digital Color
CxF
Lab
RGB
CMYK
n-Color
MeasureTool 5.0
ProfileMaker 5.0
PROFESSIONAL

10 プリントしたチャートを測色します。

（☞ P 2-26 手順 6）
チャートの名前は「○○ _IccProfileCMYK.txt」を選択してください。（○○は測色器の名前）

11 測色が終了したら、次へ をクリックします。



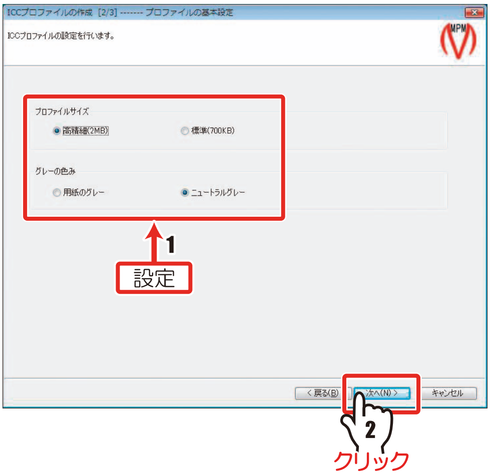
ICCプロファイルの作成 [1/3] ------- チャートの測色

チャートの測色を行います。
測色の終了後、測色値ファイルを指定してください。

測色結果ファイル　C:¥Users¥RIP¥Desktop¥Measurement Files¥20071110_Scan¥ICcProfile.txt

MPM
測色する
測色値ファイルを選択
< 戻る(B)
次へ(N) >
キャンセル
クリック

12 “プロファイルサイズ”と“グレーの色み”を設定し、次へ をクリックします。



ICCプロファイルの作成 [2/3] ------- プロファイルの基本設定

ICCプロファイルの設定を行います。

プロファイルサイズ
● 高精細(2MB)　○ 標準(700KB)

グレーの色み
○ 用紙のグレー　● ニュートラルグレー

MPM
1
設定
< 戻る(B)
次へ(N) >
キャンセル
2
クリック

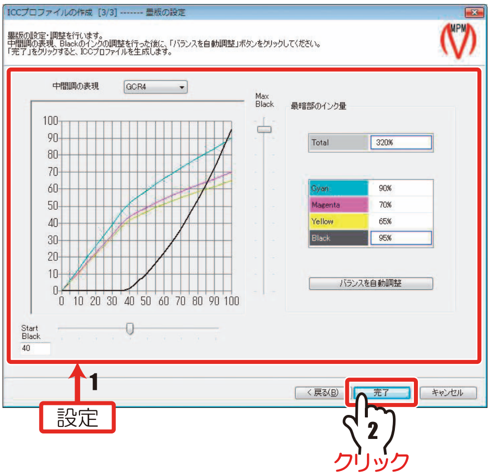
● プロファイルサイズ

高精細：
“標準”より高精度な ICC プロファイルを生成します（約3分）。ファイルサイズは約2MBです。

標準：
短時間（約 1 分）で ICC プロファイルを生成します。ファイルサイズは約 700KB です。

13 墨版の設定をします。（☞ P 2-65）

入力プロファイルを作成する場合、墨版の調整は必要ありません。（調整をしても、影響はありません。）



ICCプロファイルの作成 [3/3] ------- 墨版の設定

墨版の設定・調整を行います。
中間調の表現、Blackのインクの調整を行った後に、「バランスを自動調整」ボタンをクリックしてください。
「完了」をクリックすると、ICCプロファイルを生成します。

中間調の表現：GCR4

Start Black：40

最暗部のインク量

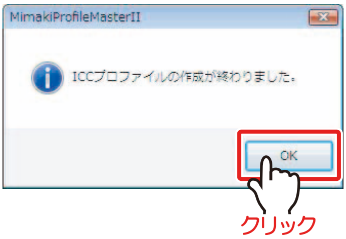
Total	320%
Cyan	90%
Magenta	70%
Yellow	65%
Black	95%

MPM
100
90
80
70
60
50
40
30
20
10
0
0 10 20 30 40 50 60 70 80 90 100
Max Black
バランスを自動調整
1
設定
< 戻る(B)
完了
キャンセル
2
クリック

14 完了 をクリックします。

ICCプロファイルの作成を始めます。

15 OK をクリックします。

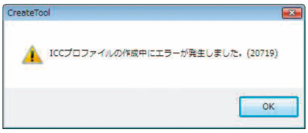

MimakiProfileMasterII

ICCプロファイルの作成が終わりました。

16 次へ をクリックします。

重 要！

- ♦ 測色ファイルに正しいものを選択しなかった場合、右のようなメッセージが表示されます。

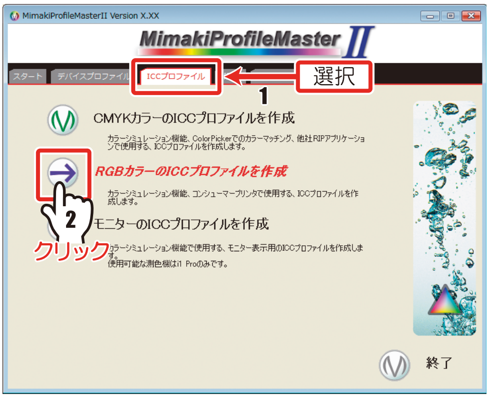

CreateTool

ICCプロファイルの作成中にエラーが発生しました。(20719)

6-15 ページ「ICC プロファイルの保存」へ続く ➡

RGB カラーの ICC プロファイルを作成する

1 [ICC プロファイル] タブを選択し、“RGB カラーの ICC プロファイルを作成” をクリックします。



MimakiProfileMasterII Version X.XX

MimakiProfileMaster II

スタート　デバイスプロファイル　ICCプロファイル

CMYKカラーのICCプロファイルを作成

カラーシミュレーション機能、ColorPickerでのカラーマッチング、他社RIPアプリケーションで使用する、ICCプロファイルを作成します。

RGBカラーのICCプロファイルを作成

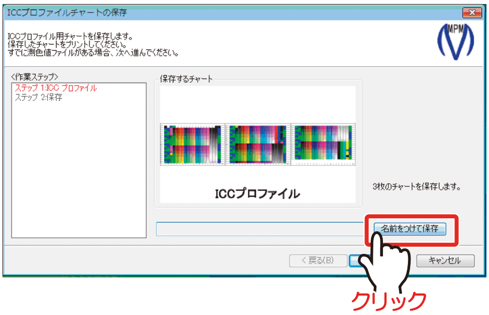
カラーシミュレーション機能、コンシューマープリンタで使用する、ICCプロファイルを作成します。

モニターのICCプロファイルを作成

カラーシミュレーション機能で使用する、モニター表示用のICCプロファイルを作成します。
使用可能な測色機はi1 Proのみです。

2 **名前を付けて保存** をクリックします。

設定されている測色器によって、保存するチャートの枚数が異なります。



ICCプロファイルチャートの保存

ICCプロファイル用チャートを保存します。
保存したチャートをプリントしてください。
すでに測色値ファイルがある場合、次へ進んでください。

<作業ステップ>
ステップ 1:ICC プロファイル
ステップ 2:保存

保存するチャート

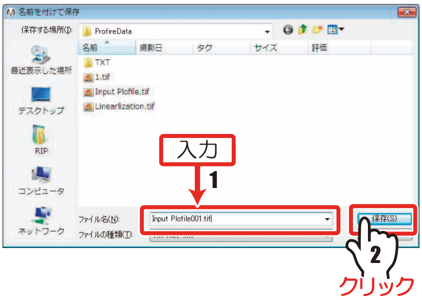
ICCプロファイル

3枚のチャートを保存します。

3 ICC プロファイルチャートの保存先を選び、ファイル名を入力します。

4 **保存** をクリックします。

複数のチャートを保存する場合、再びチャートの保存先を選びファイル名を入力します。



名前を付けて保存

保存する場所(I): ProfireData

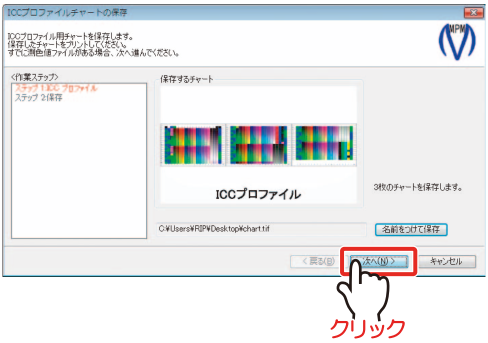
名前	撮影日	タグ	サイズ	評価
TXT				
1.tif				
Input Plofile.tif				
Linearlization.tif				

ファイル名(N): Input Plofile001.tif

ファイルの種類(T):

確認画面が表示されます。**OK** をクリックしてください。

5 次へ をクリックします。


ICCプロファイルチャートの保存

ICCプロファイル用チャートを保存します。
保存したチャートをプリントしてください。
すでに測色値ファイルがある場合、次へ進んでください。

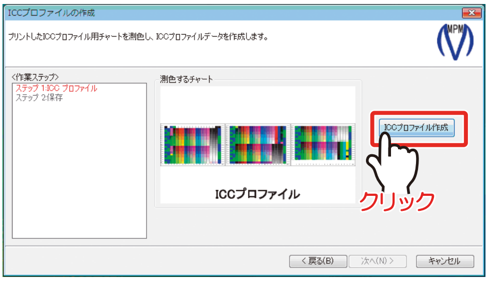
3枚のチャートを保存します。

C:¥Users¥RIP¥Desktop¥chart.tif

MPM
<作業ステップ>
ステップ 1:ICC プロファイル
ステップ 2:保存
保存するチャート
ICCプロファイル
名前をつけて保存
< 戻る(B)
次へ(N) >
キャンセル
クリック

6 お使いになるプリンタで、保存した ICC プロファイルチャートをプリントします。

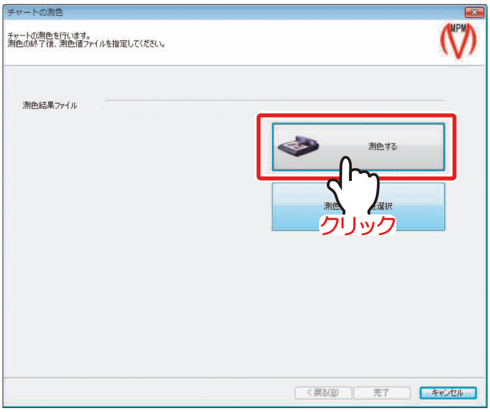
7 ICCプロファイル作成 をクリックします。


ICCプロファイルの作成

プリントしたICCプロファイル用チャートを測色し、ICCプロファイルデータを作成します。

MPM
<作業ステップ>
ステップ 1:ICC プロファイル
ステップ 2:保存
測色するチャート
ICCプロファイル
ICCプロファイル作成
クリック
< 戻る(B)
次へ(N) >
キャンセル

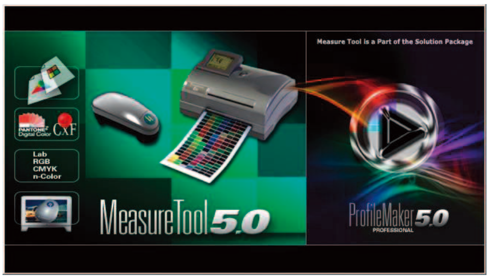
8 測色する をクリックします。


チャートの測色

チャートの測色を行います。
測色の終了後、測色値ファイルを指定してください。

MPM
測色結果ファイル
測色する
測色 選択
クリック
< 戻る(B)
完了
キャンセル

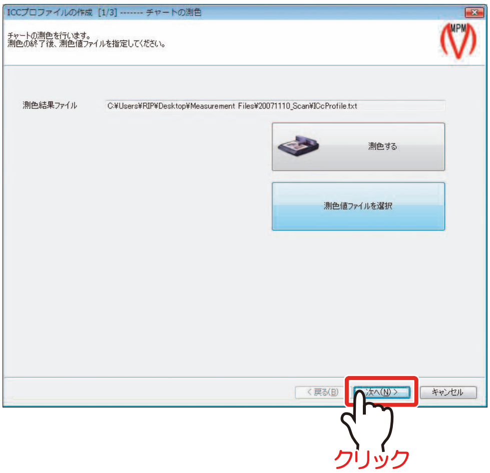
9 MeasureTool5.0 が起動します。


Measure Tool is a Part of the Solution Package
PANTONE Digital Color
CxF
Lab
RGB
CMYK
n-Color
MeasureTool 5.0
ProfileMaker 5.0
PROFESSIONAL

⑩ プリントしたチャートを測色します。

（☞P 2-26　手順 6）
チャートの名前は「〇〇 _IccProfileRGB.txt」を選択してください。（〇〇は測色器の名前）

⑪ 測色が終了したら、次へ をクリックします。



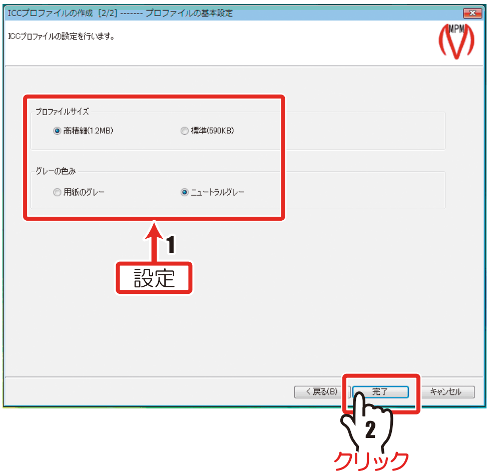
ICCプロファイルの作成 [1/3] ------- チャートの測色

チャートの測色を行います。
測色の終了後、測色値ファイルを指定してください。

測色結果ファイル　C:¥Users¥RIP¥Desktop¥Measurement Files¥20071110_Scan¥ICcProfile.txt

MPM
測色する
測色値ファイルを選択
< 戻る(B)
次へ(N) >
キャンセル
クリック

⑫ “プロファイルサイズ” と “グレーの色み” を設定します。



ICCプロファイルの作成 [2/2] ------- プロファイルの基本設定

ICCプロファイルの設定を行います。

プロファイルサイズ
◉ 高精細(1.2MB)　○ 標準(590KB)

グレーの色み
○ 用紙のグレー　◉ ニュートラルグレー

MPM
1
設定
< 戻る(B)
完了
キャンセル
2
クリック

- プロファイルサイズ

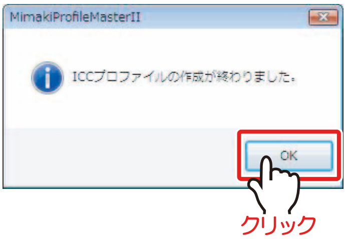
高精細：
“標準” より高精度な ICC プロファイルを生成します（約2分）。ファイルサイズは約 1.2MB です。

標準：
短時間（約 1 分）で ICC プロファイルを生成します。ファイルサイズは約 590KB です。

⑬ 次へ をクリックします。

ICCプロファイルの作成を始めます。

14 **OK** をクリックします。

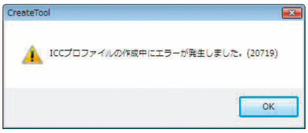

MimakiProfileMasterII
OK
クリック

ICCプロファイルの作成が終わりました。

15 **次へ** をクリックします。

重 要！

- ♦ 測色ファイルに正しいものを選択しなかった場合、右のようなメッセージが表示されます。


CreateTool
OK

ICCプロファイルの作成中にエラーが発生しました。(20719)

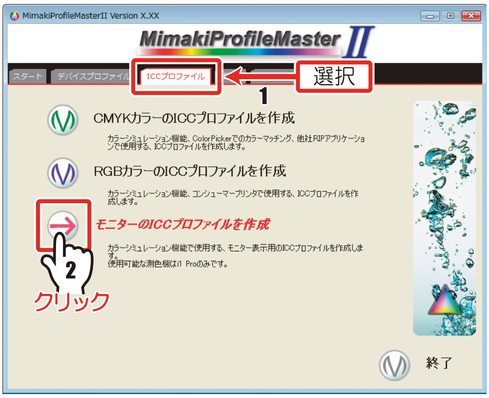
6-15 ページ「ICC プロファイルの保存」へ続く ➡

モニターの ICC プロファイルを作成する

1 [ICC プロファイル] タブを選択し、“モニターの ICC プロファイル作成”をクリックします。

選択されている測色器が i1 Pro 以外の場合、選択できません。

重 要！	◆ 数分間、モニターを測色します。スクリーンセーバーやモニターの省電力設定を解除してください。


MimakiProfileMasterII Version X.XX
MimakiProfileMaster II
スタート
デバイスプロファイル
ICCプロファイル
選択
1
2
クリック
終了

CMYKカラーのICCプロファイルを作成

カラーシミュレーション機能、ColorPickerでのカラーマッチング、他社RIPアプリケーションで使用する、ICCプロファイルを作成します。

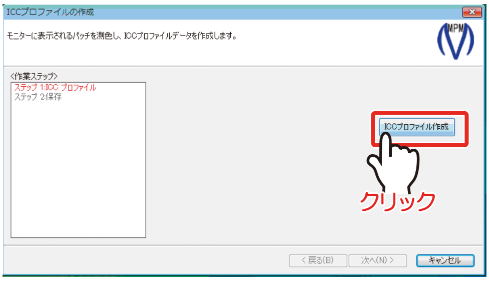
RGBカラーのICCプロファイルを作成

カラーシミュレーション機能、コンシューマープリンタで使用する、ICCプロファイルを作成します。

モニターのICCプロファイルを作成

カラーシミュレーション機能で使用する、モニター表示用のICCプロファイルを作成します。
使用可能な測色機はi1 Proのみです。

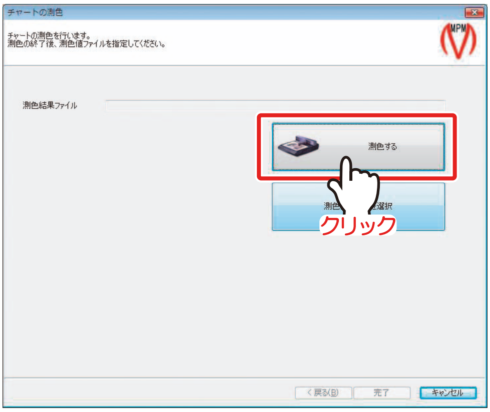
2 **ICCプロファイル作成** をクリックします。


ICCプロファイルの作成
MPM
ICCプロファイル作成
クリック
< 戻る(B)
次へ(N) >
キャンセル

モニターに表示されるパッチを測色し、ICCプロファイルデータを作成します。

<作業ステップ>
ステップ 1:ICC プロファイル
ステップ 2:保存

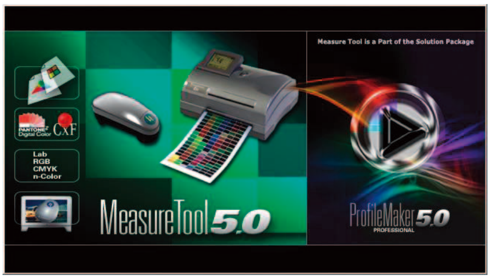
3 **測色する** をクリックします。


チャートの測色
MPM
測色する
選択
クリック
< 戻る(B)
完了
キャンセル

チャートの測色を行います。
測色の終了後、測色値ファイルを指定してください。

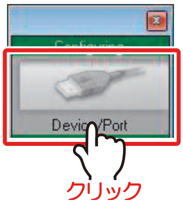
測色結果ファイル

4 MeasureTool5.0 が起動します。


Measure Tool is a Part of the Solution Package
PANTONE Digital Color
CxF
Lab
RGB
CMYK
n-Color
MeasureTool 5.0
ProfileMaker 5.0
PROFESSIONAL

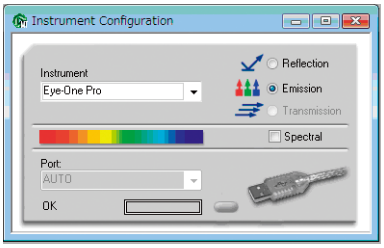
5 ツールバーの“Device/Port”をクリックします。

“Instrument Configuration”が表示されます。



6 次の項目を確認してください。

- ・“Instrument”には“Eye-One Pro”が選択されている。
- ・“Emission”が選択されている。
- ・“Spectral”がチェックされていない。
- ・“Port”の下に「OK」が表示されている。



Instrument Configuration

Instrument: Eye-One Pro

○ Reflection
● Emission
○ Transmission

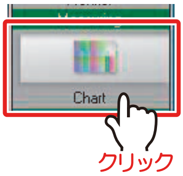
☐ Spectral

Port: AUTO

OK

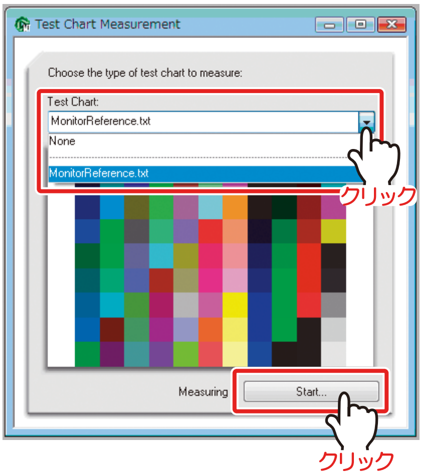
確認後、“Instrument Configuration”を閉じます。

7 ツールバーの“Chart”をクリックします。



8 “Test Chart”の下矢印をクリックし、「MonitorReference.txt」を選択します。

9 **Start** をクリックします。



Test Chart Measurement

Choose the type of test chart to measure:

Test Chart: MonitorReference.txt

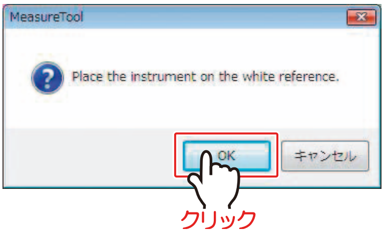
None

MonitorReference.txt

Measuring

10 測色器本体を白色基準タイルの上に乗せ、**OK** をクリックします。

測色器のキャリブレーションを行い、測色の画面を表示します。

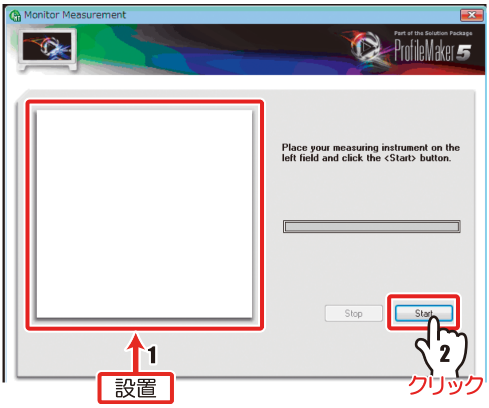


MeasureTool

Place the instrument on the white reference.

11 測色器のセンサー部をモニターの画面上のパッチに設置します。

重 要！	◆センサーとモニター面は隙間がないように設置してください。


Monitor Measurement
Part of the Solution Package
ProfileMaker 5
Stop
Start
1
設置
2
クリック

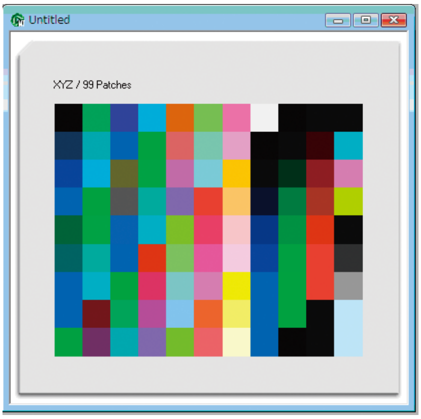
Place your measuring instrument on the left field and click the <Start> button.

12 設置後、Start をクリックします。

自動的に測色を開始します。

13 メニューバーから［File］→［Save as…］を選択し、測色結果を保存します。

測色結果は、必ず“ファイルの種類”を［Text File(*.txt *.text)］にして保存してください。


Untitled
XYZ / 99 Patches

14 MeasureTool5.0 を終了させます。

“測色結果ファイル”に手順 13 で保存したファイル名が表示されます。

重 要！	◆MeasureTool で測色を複数回行うと、最後に保存されたファイル名が表示されます。使用したい測色結果ファイルと異なる場合は、［測色値ファイルを選択］をクリックしてファイルを選択してください。

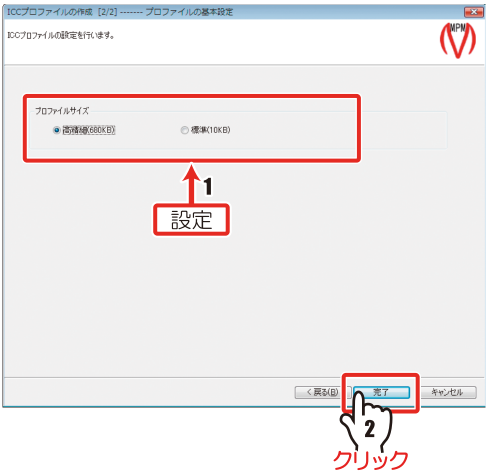
15 次へ をクリックします。

16 “プロファイルサイズ”を設定します。

- ● プロファイルサイズ

高精細：
“標準”より高精度な ICC プロファイルを生成します（約1分）。ファイルサイズは約 680KB です。

標準：
短時間（約 30 秒）で ICC プロファイルを生成します。ファイルサイズは約 10KB です。


ICCプロファイルの作成 [2/2] ------- プロファイルの基本設定

ICCプロファイルの設定を行います。

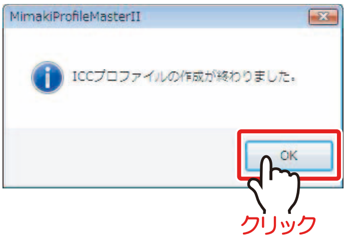
プロファイルサイズ
◉ 高精細(680KB)　○ 標準(10KB)

17 完了 をクリックします。

ICCプロファイルの作成を始めます。

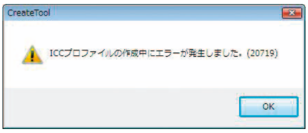
18 OK をクリックします。

19 次へ をクリックします。


MimakiProfileMasterII

ICCプロファイルの作成が終わりました。

重 要 !	♦ 測色ファイルに正しいものを選択しなかった場合、右のようなメッセージが表示されます。


CreateTool

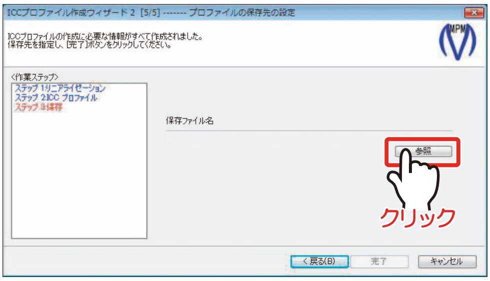
ICCプロファイルの作成中にエラーが発生しました。(20719)

6-15 ページ「ICC プロファイルの保存」へ続く ➡

ICC プロファイルの保存

6-6 ページ「CMYK カラーの ICC プロファイルを作成する」
6-10 ページ「RGB カラーの ICC プロファイルを作成する」
6-14 ページ「モニターの ICC プロファイルを作成する」から

1 **参照** をクリックします。

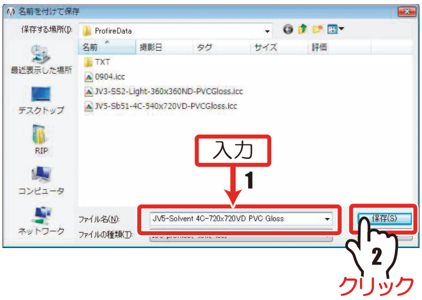

ICCプロファイル作成ウィザード 2 [5/5] ------- プロファイルの保存先の設定

ICCプロファイルの作成に必要な情報がすべて作成されました。
保存先を指定し、[完了]ボタンをクリックしてください。

MPM
<作業ステップ>
ステップ 1:リニアライゼーション
ステップ 2:ICC プロファイル
ステップ 3:保存
保存ファイル名
参照
クリック
< 戻る(B)
完了
キャンセル

2 ファイルの保存先を指定し、ファイル名を入力します。

3 **保存** をクリックします。

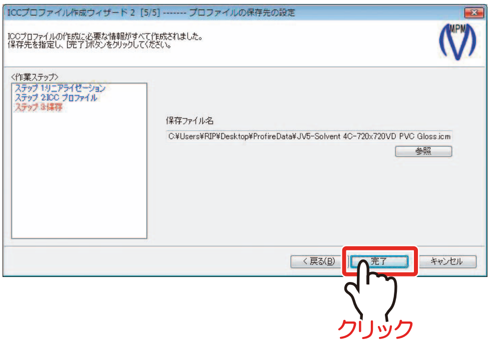

名前を付けて保存

保存する場所(I): ProfireData

ファイル名(N): JV5-Solvent 4C-720x720VD PVC Gloss

名前
撮影日
タグ
サイズ
評価
TXT
0904.icc
JV3-SS2-Light-360x360ND-PVCGloss.icc
JV5-Sb51-4C-540x720VD-PVCGloss.icc
最近表示した場所
デスクトップ
RIP
コンピュータ
ネットワーク
ファイルの種類(T):
入力
1
保存(S)
2
クリック

4 **完了** をクリックします。


ICCプロファイル作成ウィザード 2 [5/5] ------- プロファイルの保存先の設定

ICCプロファイルの作成に必要な情報がすべて作成されました。
保存先を指定し、[完了]ボタンをクリックしてください。

保存ファイル名: C:¥Users¥RIP¥Desktop¥ProfireData¥JV5-Solvent 4C-720x720VD PVC Gloss.icm

MPM
<作業ステップ>
ステップ 1:リニアライゼーション
ステップ 2:ICC プロファイル
ステップ 3:保存
参照
< 戻る(B)
完了
キャンセル
クリック

７章
プロファイルのインストールとアンインストール

プロファイルを Raster Link シリーズにインストール / アンインストールする方法を説明します。

Raster Link Pro にデバイスプロファイルをインストールする 7-2
Raster Link Pro 以外の Raster Link シリーズへのプロファイルのインストール・アンインストール 7-4
  ProfileManager を起動する 7-4
  Raster Link Pro 以外の Raster Link シリーズにインストールする 7-6
  Raster Link Pro 以外の Raster Link シリーズからプロファイルをアンインストールする 7-9

♦「Raster Link Pro 以外の Raster Link シリーズ」とは、以下の Raster Link を含みます。

Raster Link UJ	Raster Link GP
Raster Link Pro II	Raster Link Pro III
Raster Link IP III	Raster Link TA III
Raster Link Pro4 SG	Raster Link Pro4 IP
Raster Link Pro4 TA	Raster Link Pro5 SG
Raster Link Pro5 IP	Raster Link Pro5 TA

Raster Link Pro にデバイスプロファイルをインストールする

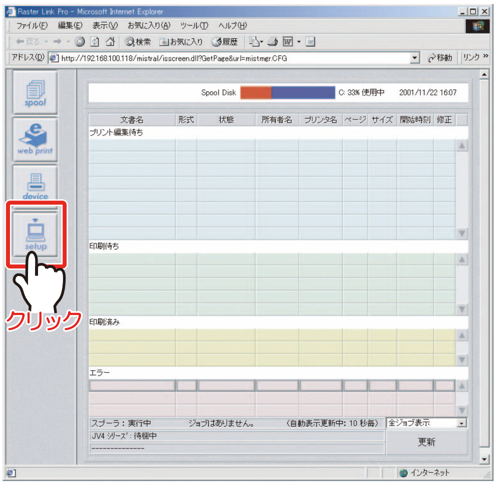
作成したデバイスプロファイルを Raster Link Pro にインストールします。

重 要 !	♦ Raster Link Pro と MPM II は同時に起動しないでください。故障の原因になります。必ず MPM II を終了してから、Raster Link Pro を起動してください。 ♦ 拡張子が ICC のデバイスプロファイルを Raster Link Pro にインストールすることはできません。 ♦ Raster Link Pro では、デバイスプロファイルをアンインストールすることはできません。

① MPM II が終了していることを確認し、Raster Link Pro を起動します。

spool 画面を表示します。

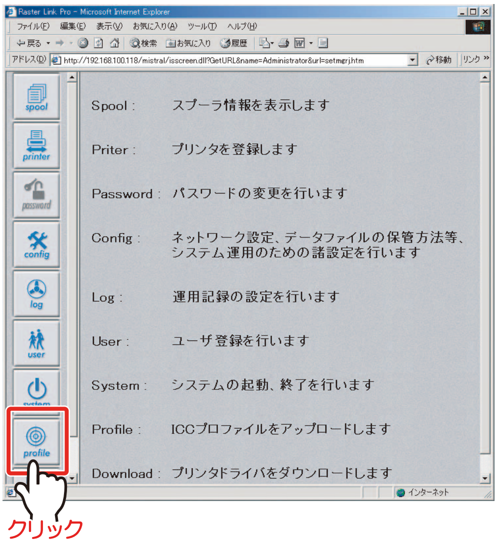
② **setup** をクリックします。


Raster Link Pro - Microsoft Internet Explorer
ファイル(F) 編集(E) 表示(V) お気に入り(A) ツール(T) ヘルプ(H)
戻る 検索 お気に入り 履歴
アドレス(D) http://192.168.100.118/mistral/isscreen.dll?GetPage&url=mistmgr.CFG
移動 リンク
spool
web print
device
setup
クリック
Spool Disk
C: 33% 使用中
2001/11/22 16:07
文書名
形式
状態
所有者名
プリンタ名
ページ
サイズ
開始時刻
修正
プリント編集待ち
印刷待ち
印刷済み
エラー
全ジョブ表示
更新
インターネット

スプーラ：実行中　ジョブはありません。　（自動表示更新中：10 秒毎）

JV4 シリーズ：待機中

③ **profile** をクリックします。


Raster Link Pro - Microsoft Internet Explorer
ファイル(F) 編集(E) 表示(V) お気に入り(A) ツール(T) ヘルプ(H)
戻る 検索 お気に入り 履歴
アドレス(D) http://192.168.100.118/mistral/isscreen.dll?GetURL&name=Administrator&url=setmgrj.htm
移動 リンク
spool
printer
password
config
log
user
system
profile
クリック
インターネット

Spool : スプーラ情報を表示します

Priter : プリンタを登録します

Password : パスワードの変更を行います

Config : ネットワーク設定、データファイルの保管方法等、システム運用のための諸設定を行います

Log : 運用記録の設定を行います

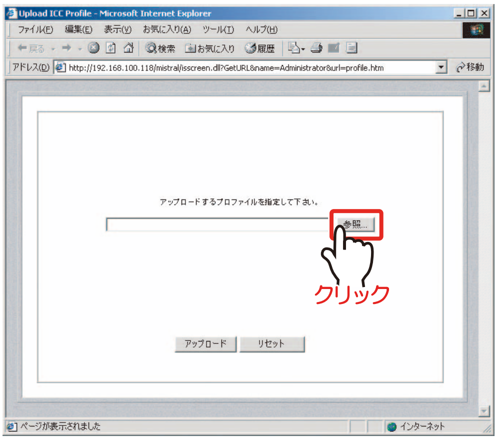
User : ユーザ登録を行います

System : システムの起動、終了を行います

Profile : ICCプロファイルをアップロードします

Download : プリンタドライバをダウンロードします

4 **参照** をクリックします。


Upload ICC Profile - Microsoft Internet Explorer

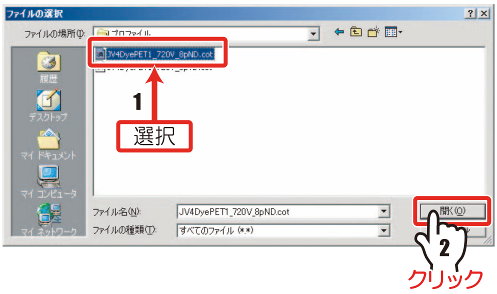
http://192.168.100.118/mistral/isscreen.dll?GetURL&name=Administrator&url=profile.htm

アップロードするプロファイルを指定して下さい。

ページが表示されました
ファイル(F)
編集(E)
表示(V)
お気に入り(A)
ツール(T)
ヘルプ(H)
戻る
検索
お気に入り
履歴
アドレス(D)
移動
参照...
クリック
アップロード
リセット
インターネット

5 追加したいデバイス
プロファイルを選択します。

6 **開く** をクリックします。


ファイルの選択

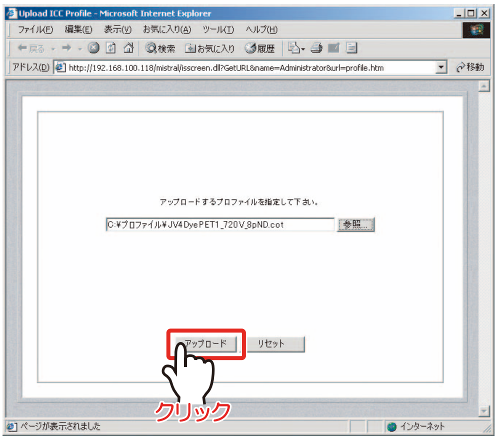
ファイルの場所(I): プロファイル

JV4DyePET1_720V_8pND.cot

ファイル名(N): JV4DyePET1_720V_8pND.cot

ファイルの種類(T): すべてのファイル (*.*)
履歴
デスクトップ
マイ ドキュメント
マイ コンピュータ
マイ ネットワーク
1
選択
開く(O)
2
クリック

7 **アップロード** を
クリックします。


Upload ICC Profile - Microsoft Internet Explorer

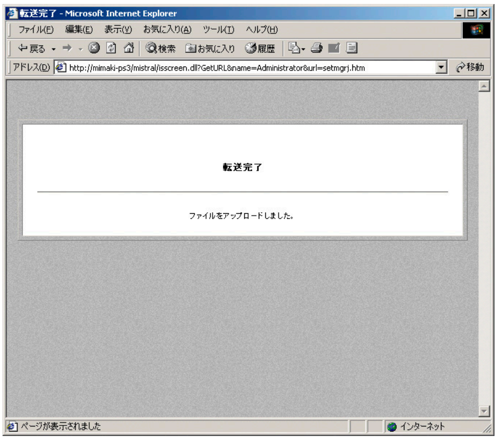
http://192.168.100.118/mistral/isscreen.dll?GetURL&name=Administrator&url=profile.htm

アップロードするプロファイルを指定して下さい。

C:¥プロファイル¥JV4DyePET1_720V_8pND.cot

ページが表示されました
参照...
アップロード
リセット
クリック
インターネット

転送完了の画面になります。


転送完了 - Microsoft Internet Explorer

http://mimaki-ps3/mistral/isscreen.dll?GetURL&name=Administrator&url=setmgrj.htm

転送完了

ファイルをアップロードしました。

ページが表示されました
ファイル(F)
編集(E)
表示(V)
お気に入り(A)
ツール(T)
ヘルプ(H)
戻る
検索
お気に入り
履歴
アドレス(D)
移動
インターネット

8 PC を再起動します。

デバイスプロファイルのインストールが完了します。

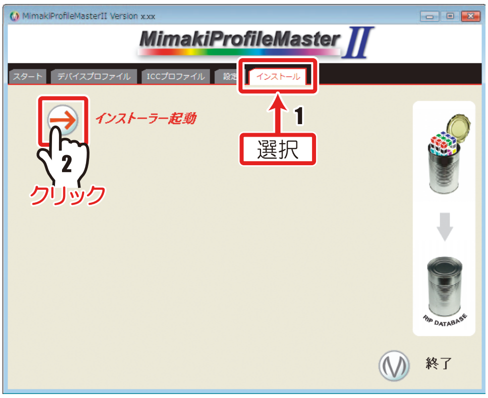
Raster Link Pro 以外の Raster Link シリーズへのプロファイルのインストール・アンインストール

ProfileManager を起動する

重要！	♦ “ProfileManager” 起動中は、MPM II が使用できません。

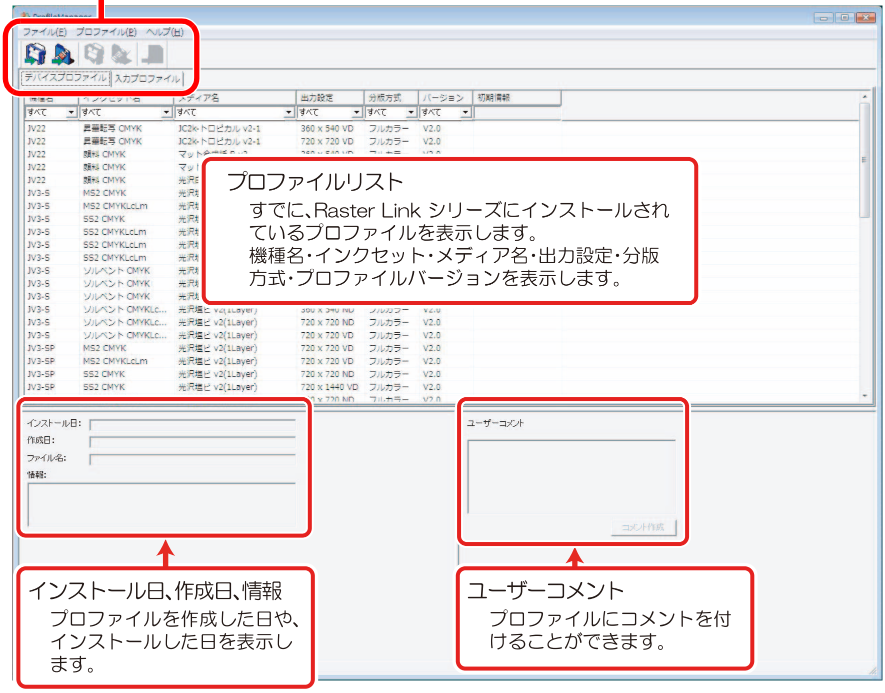
1 ［インストール］タブを選択し、“インストーラー起動” をクリックします。

ProfileManager が起動します。


MimakiProfileMasterII Version x.xx
MimakiProfileMaster II
スタート
デバイスプロファイル
ICCプロファイル
設定
インストール
インストーラー起動
1
選択
2
クリック
RIP DATABASE
終了

ProfileManager

アイコンの説明は、ページ下部をご覧ください。



機種名	インクセット名	メディア名	出力設定	分版方式	バージョン	初期情報
すべて	すべて	すべて	すべて	すべて	すべて	
JV22	昇華転写 CMYK	JC2k-トロピカル v2-1	360 x 540 VD	フルカラー	V2.0	
JV22	昇華転写 CMYK	JC2k-トロピカル v2-1	720 x 720 VD	フルカラー	V2.0	
JV22	顔料 CMYK					
JV22	顔料 CMYK					
JV22	顔料 CMYK					
JV3-S	MS2 CMYK					
JV3-S	MS2 CMYKLcLm					
JV3-S	SS2 CMYK					
JV3-S	SS2 CMYKLcLm					
JV3-S	SS2 CMYKLcLm					
JV3-S	SS2 CMYKLcLm					
JV3-S	ソルベント CMYK					
JV3-S	ソルベント CMYK					
JV3-S	ソルベント CMYK					
JV3-S	ソルベント CMYKLc...					
JV3-S	ソルベント CMYKLc...	光沢塩ビ v2(1Layer)	720 x 720 ND	フルカラー	V2.0	
JV3-S	ソルベント CMYKLc...	光沢塩ビ v2(1Layer)	720 x 720 VD	フルカラー	V2.0	
JV3-SP	MS2 CMYK	光沢塩ビ v2(1Layer)	720 x 720 VD	フルカラー	V2.0	
JV3-SP	MS2 CMYKLcLm	光沢塩ビ v2(1Layer)	720 x 720 VD	フルカラー	V2.0	
JV3-SP	SS2 CMYK	光沢塩ビ v2(1Layer)	720 x 720 ND	フルカラー	V2.0	
JV3-SP	SS2 CMYK	光沢塩ビ v2(1Layer)	720 x 1440 VD	フルカラー	V2.0	

インストール日：
作成日：
ファイル名：
情報：

ユーザーコメント

プロファイルリスト

すでに、Raster Link シリーズにインストールされているプロファイルを表示します。
機種名・インクセット・メディア名・出力設定・分版方式・プロファイルバージョンを表示します。

インストール日、作成日、情報

プロファイルを作成した日や、インストールした日を表示します。

ユーザーコメント

プロファイルにコメントを付けることができます。

アイコンの説明

デバイスプロファイルを Raster Link Pro 以外の Raster Link シリーズにインストールします。（☞P.7-6）

入力プロファイルを Raster Link Pro 以外の Raster Link シリーズにインストールします。（☞P.7-6）

デバイスプロファイルを Raster Link Pro 以外の Raster Link シリーズからアンインストールします。（☞P.7-9）

入力プロファイルを Raster Link Pro 以外の Raster Link シリーズからアンインストールします。（☞P.7-9）

V2 プロファイルから V3 プロファイルに変換します。Raster Link ProII シリーズをターゲット Rip に設定したときに表示されるボタンです。

Raster Link Pro 以外の Raster Link シリーズにインストールする

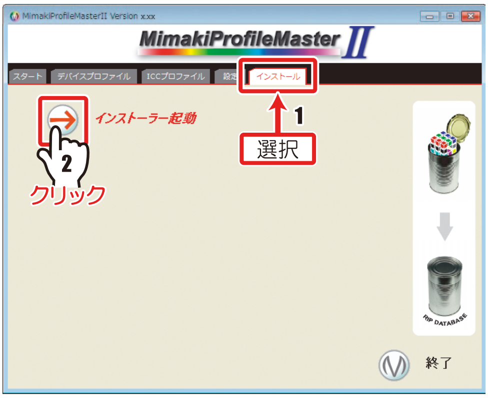
ProfileManager を使って、Raster Link Pro 以外の Raster Link シリーズにプロファイルをインストールします。

重 要 !

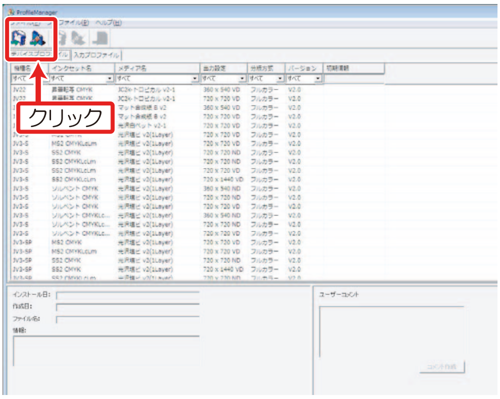
- ♦ “ProfileManager” 起動中は、MPM II を使用できません。
- ♦ インストール候補で表示するプロファイルの拡張子は、デバイスプロファイルと入力プロファイルで異なります。
  - デバイスプロファイルの場合 ： .cot または、icc ファイル
  - 入力ファイルの場合 ： .icc または、.icm ファイル

1 [インストール] タブを選択し、“インストーラー起動” をクリックします。

ProfileManager が起動します。


MimakiProfileMasterII Version x.xx
MimakiProfileMaster II
スタート
デバイスプロファイル
ICCプロファイル
設定
インストール
インストーラー起動
1
選択
2
クリック
RIP DATABASE
終了

2 デバイスプロファイルをインストールする場合は を、入力プロファイルをインストールする場合は を クリックします。

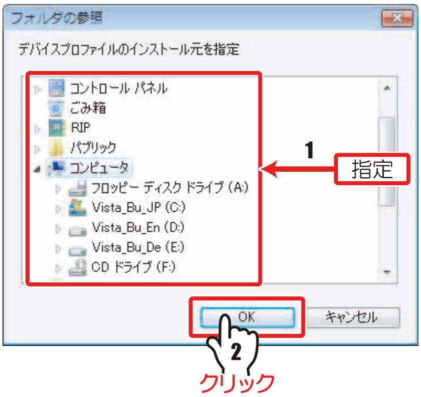

ProfileManager
ファイル(F)
ヘルプ(H)
デバイスプロファイル
入力プロファイル
クリック
インストール日:
作成日:
ファイル名:
情報:
ユーザーコメント

または、ツールバーの [プロファイル] から “デバイスプロファイルのインストール” または、“入力プロファイルのインストール” をクリックします。

“フォルダの参照” ウィンドウが表示されます。

③ プロファイルが保存されているフォルダを指定します。

♦ プロファイルをひとつのフォルダに保存しておくと、インストールが 1 度で行え、便利です。


フォルダの参照

デバイスプロファイルのインストール元を指定

コントロール パネル
ごみ箱
RIP
パブリック
コンピュータ
フロッピー ディスク ドライブ (A:)
Vista_Bu_JP (C:)
Vista_Bu_En (D:)
Vista_Bu_De (E:)
CD ドライブ (F:)
1
指定
OK
キャンセル
2
クリック

④ OK をクリックします。

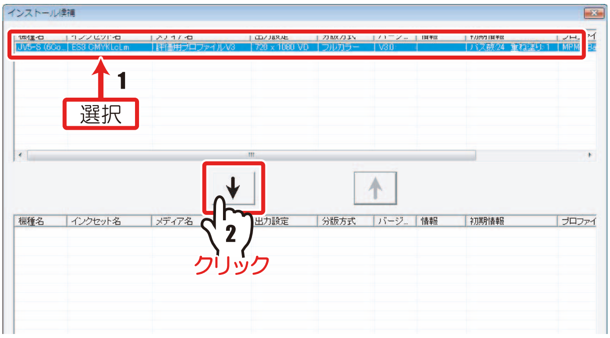
“インストール候補” ウィンドウが表示されます。

♦ 指定したフォルダに対象となるプロファイルがない場合、エラーメッセージを表示します。

⑤ インストールするプロファイルを選択します。

♦ 複数を選択する場合、Ctrl キーを押しながら選択します。

選択したプロファイルが青色に反転します。


インストール候補

機種名	インクセット名	メディア名	出力設定	分版方式	バージ…	情報	初期情報	プロファイ
JV5-S (6Co…	ES3 CMYKLcLm	評価用プロファイルV3	720 x 1080 VD	フルカラー	V3.0		パス数:24　重ね塗り:1	MPM

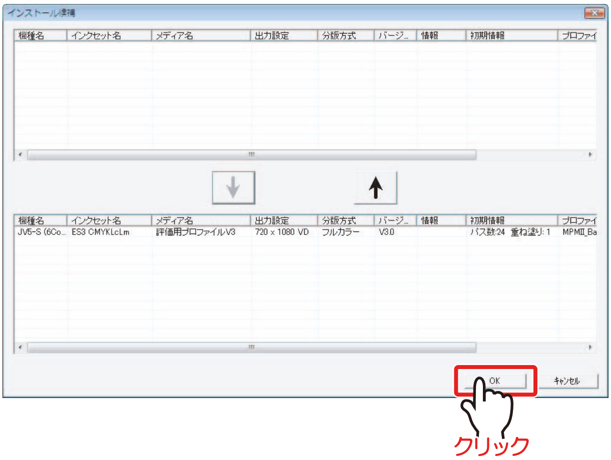
⑥ ↓ をクリックします。

選択したプロファイルが上のリストから消え、下のリストに表示します。

♦ 下のリストに表示しているプロファイルを戻す場合は、対象のプロファイルを選択後、↑ をクリックします。

⑦ **OK** をクリックします。

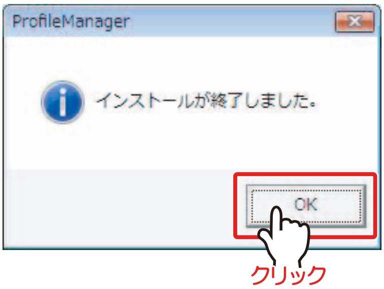
- ♦リストに同一設定のプロファイルがある場合、上書きの確認ダイアログが表示されます。



機種名	インクセット名	メディア名	出力設定	分版方式	バージ...	情報	初期情報	プロファイ

機種名	インクセット名	メディア名	出力設定	分版方式	バージ...	情報	初期情報	プロファイ
JV5-S (6Co...	ES3 CMYKLcLm	評価用プロファイルV3	720 x 1080 VD	フルカラー	V3.0		パス数:24　重ね塗り: 1	MPMII_Ba

右のダイアログが表示されます。



インストールが終了しました。

⑧ **OK** をクリックします。

ProfileManager のリストに追加したプロファイルが表示され、プロファイルのインストールが完了します。

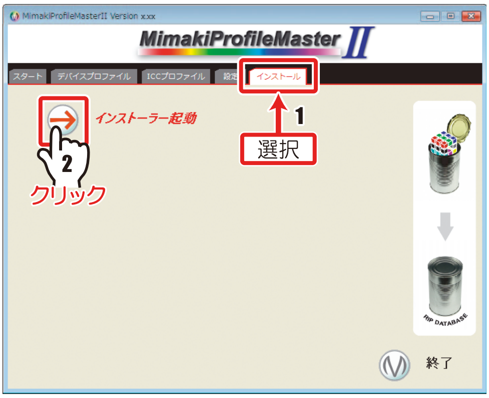
- ♦デバイスプロファイルをインストールした場合は [デバイスプロファイル] タブに、また、入力プロファイルをインストールした場合は、[入力プロファイル] タブにインストールしたプロファイルを表示します。

Raster Link Pro 以外の Raster Link シリーズからプロファイルをアンインストールする

Raster Link Pro 以外の Raster Link シリーズにインストールしたプロファイルをアンインストールします。

♦ デバイスプロファイルと入力プロファイルのアンインストール方法は同じです。

1 ［インストール］タブを選択し、“インストーラー起動”をクリックします。

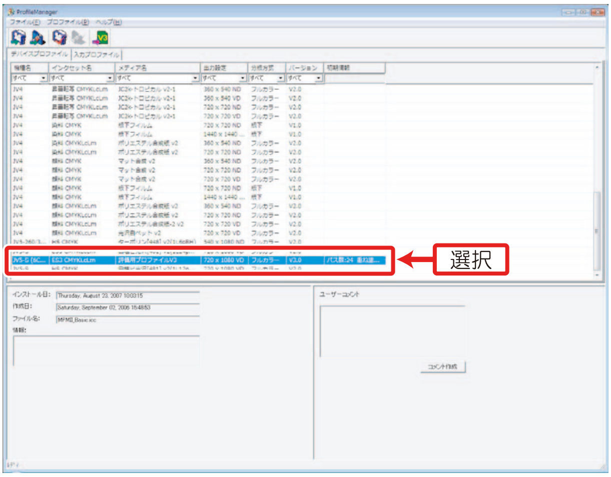

MimakiProfileMasterII Version x.xx
MimakiProfileMaster II
スタート
デバイスプロファイル
ICCプロファイル
設定
インストール
インストーラー起動
1
選択
2
クリック
RIP DATABASE
終了

ProfileManager が起動します。

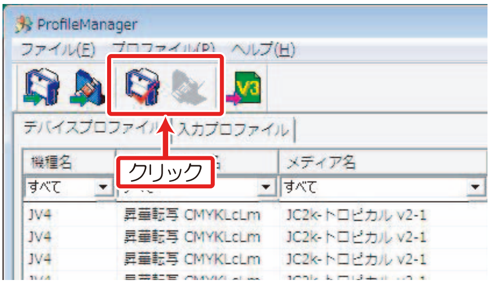
2 ［デバイスプロファイル］または、［入力プロファイル］にあるリストから、アンインストールしたいプロファイルを選択します。

♦ 複数を選択する場合、Ctrl キーを押しながら選択します。

選択したプロファイルが青色に反転します。


ProfileManager
選択

③ デバイスプロファイルをアンインストールする場合は を、入力プロファイルをアンインストールする場合は をクリックします。

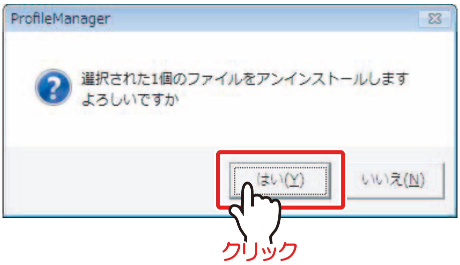

ProfileManager
ファイル(F)
プロファイル(P)
ヘルプ(H)
デバイスプロファイル
入力プロファイル
クリック
機種名
メディア名
すべて
すべて

機種名		メディア名
JV4	昇華転写 CMYKLcLm	JC2k-トロピカル v2-1
JV4	昇華転写 CMYKLcLm	JC2k-トロピカル v2-1
JV4	昇華転写 CMYKLcLm	JC2k-トロピカル v2-1

または、ツールバーの［プロファイル］から“デバイスプロファイルのアンインストール”もしくは、“入力プロファイルのアンインストール”をクリックします。

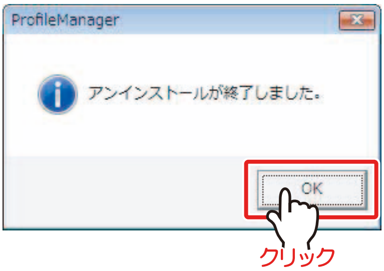
確認のダイアログを表示します。

④ **はい** をクリックします。


ProfileManager
はい(Y)
いいえ(N)
クリック

選択された1個のファイルをアンインストールします
よろしいですか

右のダイアログを表示します。


ProfileManager
OK
クリック

アンインストールが終了しました。

⑤ **OK** をクリックします。

ProfileManager のリストからアンインストールしたプロファイルが削除され、プロファイルのアンインストールが完了します。

8章

ColorPicker を使用してスポットカラーのカラーマッチングを行う

ColorPicker と Raster Link シリーズの色置換機能を使用した、
スポットカラーのカラーマッチング方法を説明します。

ColorPicker を使用したスポットカラーマッチング 8-2
ColorPicker とは 8-2
ColorPicker を使用したスポットカラーのカラーマッチングの流れ 8-2
ColorPicker で使用する ICC プロファイルの作成 8-4
ColorPicker でのスポットカラーのカラーマッチング 8-7
Illustrator で画像を修正する 8-9
Raster Link シリーズで色置換して出力する 8-11

ColorPicker を使用したスポットカラーマッチング

ColorPicker とは

ColorPicker とは特定の色を再現したいときに色見本の色を測色して、その色を出力するための CMYK 値を算出するソフトウェアです。
クライアントから特定の色見本を提示されているときなど、ColorPicker を使って、色見本に合わせた CMYK 値を測色・算出してください。

重要!

- ♦ ColorPickerをMacintoshでご利用されたい方は、X-RiteのWebサイトからダウンロードしてください。

  X-Rite の Web サイト　http://www.xrite.com/

ColorPicker を使用したスポットカラーのカラーマッチングの流れ

ColorPicker を使用したスポットカラーのカラーマッチング作業を説明します。
スポットカラーが指定されているベクターデータ（Adobe Illustrator で描いた CG など ）を、Raster Link シリーズの色置換機能を使用して、スポットカラーのカラーマッチングを実現します。
色置換機能の詳細は、Raster Link シリーズの取扱説明書をご覧ください。

重要!

- ♦ Raster Link ProII以降のRaster Linkシリーズの色置換機能をお使いください。
- ♦ ここでは例として i1 Pro を使用した作業の流れを説明いたします。
- ♦ ColorPickerでは、i1 iSisを測色器としてご利用いただけませんのでご注意ください。

スポットカラーのカラーマッチングを行う際の注意点

- ・ガマットから外れた色は再現できません
- ・カラーマッチングの計算では、D50 光源を想定していますので、ご利用の環境光源とは必ずしも同じ結果にはなりません。見た目と数値の差*1 はご了承ください。

*1. 表示される色差の値は計算上の予測値であり、実際に出力された色と色見本との色差を保証するものではありません。

1 ColorPicker で使用する ICC プロファイルを作成します。

作業内容	使用するアプリケーション
ICC プロファイルを作成するためのカラーチャートを保存します。	MPM II
↓	
カラーチャートを印刷します。 カラーマッチングは OFF で出力します。	Raster Link シリーズ
↓	
カラーチャートを測色して、ICC プロファイルを作成します。	MPM II

2 ColorPicker でのスポットカラーのカラーマッチングを行います。

作業内容	使用するアプリケーション
ColorPicker のカラーマッチングの設定を行います。	ColorPicker
作成したICCプロファイルをColorPickerに読み込みます。	
ターゲットとなる見本の色を測色します。	
ColorPicker に⊿Ｅが最小になるように指示します。	
算出結果をスウォッチライブラリに書き出します。	

3 Illustrator で画像を修正します。

作業内容	使用するアプリケーション
スウォッチライブラリを読み込みます。	Illustrator
スウォッチライブラリを使って色を変更します。	

4 Raster Link シリーズで色置換して出力します。

作業内容	使用するアプリケーション
ベクター画像をRaster Linkシリーズにジョブ登録します。	Raster Link シリーズ
色置換情報を設定します。	
ジョブを出力します。	

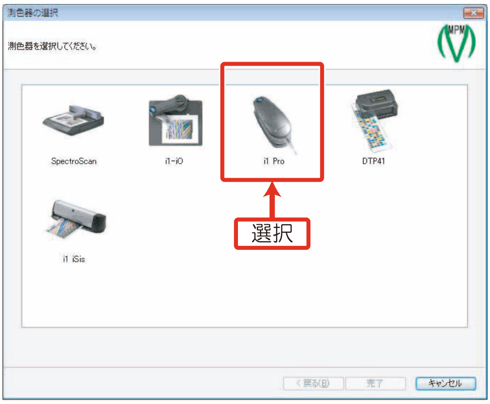
ColorPicker で使用する ICC プロファイルの作成

1 MPMII を起動します。

2 i1 Pro を測色器として選択します。

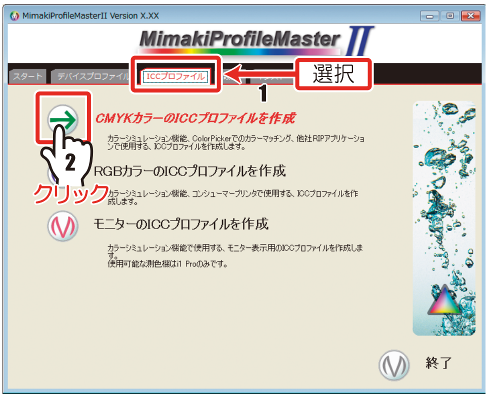
(1) [設定] タブを選択し、“測色器選択” をクリックします。
(2) i1 Pro を選択します。

測色器の選択方法について、詳しくは P.1-6 をご覧ください。


測色器の選択
MPM
SpectroScan
i1-iO
i1 Pro
DTP41
i1 iSis
選択
< 戻る(B)
完了
キャンセル

測色器を選択してください。

3 [ICC プロファイル] タブを選択し、“CMYK カラーの ICC プロファイルを作成” をクリックします。


MimakiProfileMasterII Version X.XX
MimakiProfileMaster II
スタート
デバイスプロファイル
ICCプロファイル
選択
1
2
クリック
CMYKカラーのICCプロファイルを作成
RGBカラーのICCプロファイルを作成
モニターのICCプロファイルを作成
終了

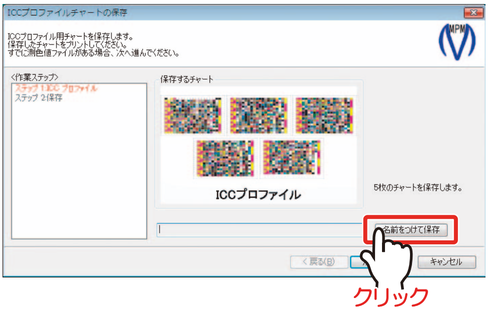
CMYKカラーのICCプロファイルを作成：カラーシミュレーション機能、ColorPickerでのカラーマッチング、他社RIPアプリケーションで使用する、ICCプロファイルを作成します。

RGBカラーのICCプロファイルを作成：カラーシミュレーション機能、コンシューマープリンタで使用する、ICCプロファイルを作成します。

モニターのICCプロファイルを作成：カラーシミュレーション機能で使用する、モニター表示用のICCプロファイルを作成します。
使用可能な測色機はi1 Proのみです。

4 名前を付けて保存 をクリックします。

設定されている測色器によって、保存するチャートの枚数が異なります。


ICCプロファイルチャートの保存
MPM
<作業ステップ>
ステップ 1:ICC プロファイル
ステップ 2:保存
保存するチャート
ICCプロファイル
名前をつけて保存
< 戻る(B)
キャンセル
クリック

ICCプロファイル用チャートを保存します。
保存したチャートをプリントしてください。
すでに測色値ファイルがある場合、次へ進んでください。

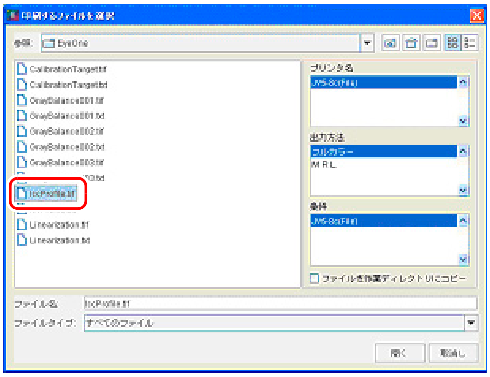
5枚のチャートを保存します。

5 ICC プロファイル用チャートを保存します。

6 Rastser Link シリーズを起動します。

7 Raster Link シリーズに、保存したチャートをジョブとして追加します。

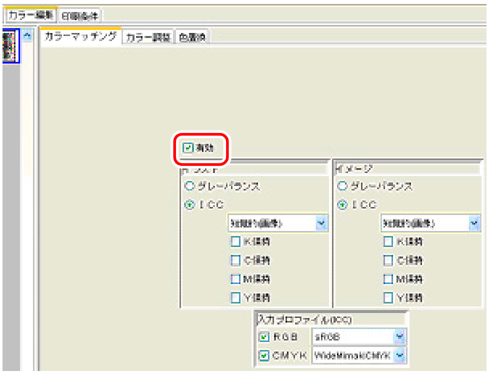
(1) [ファイル]-[開く]をえらびます。
(2) 手順3-(3) で保存したチャートを追加します。


印刷するファイルを選択
参照:
EyeOne
CalibrationTarget.tif
CalibrationTarget.txt
GrayBalance001.tif
GrayBalance001.txt
GrayBalance002.tif
GrayBalance002.txt
GrayBalance003.tif
IccProfile.tif
Linearization.tif
Linearization.txt
プリンタ名
出力方法
フルカラー
MRL
条件
ファイルを作業ディレクトリにコピー
ファイル名:
IccProfile.tif
ファイルタイプ:
すべてのファイル
開く
取消し

8 作成したジョブのジョブエディタを開きます。

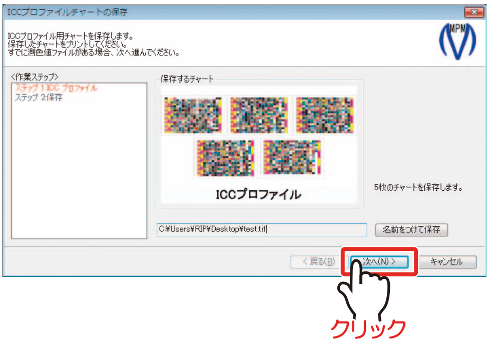
［カラー編集］タグ→［カラーマッチング］タグで、「有効」のチェックを外します。

設定を行った後、チャートを出力します。
Raster Link シリーズの出力方法については、Raster Link シリーズのマニュアルをご覧ください。


カラー編集
印刷条件
カラーマッチング
カラー調整
色置換
有効
イメージ
グレーバランス
ICC
K保持
C保持
M保持
Y保持
入力プロファイル(ICC)
RGB
sRGB
CMYK
WideMimakiCMYK

9 手順７で出力したチャートを測色し、ICC プロファイルを作成します。

(1) [ICC プロファイル] タブを選択し、“CMYK カラーの ICC プロファイル作成” をクリックします。
(2) 次へ をクリックします。


ICCプロファイルチャートの保存

ICCプロファイル用チャートを保存します。
保存したチャートをプリントしてください。
すでに測色値ファイルがある場合、次へ進んでください。

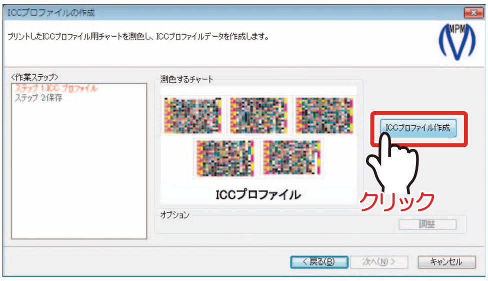
5枚のチャートを保存します。

C:¥Users¥RIP¥Desktop¥test.tif

<作業ステップ>
ステップ 1:ICC プロファイル
ステップ 2:保存
保存するチャート
ICCプロファイル
名前をつけて保存
< 戻る(B)
次へ(N) >
キャンセル
クリック

(3) ICCプロファイル作成 をクリックします。

(4) 測色する をクリックし、チャートを測色します。
測色方法は、P 2-31 をご覧ください。



ICCプロファイルの作成

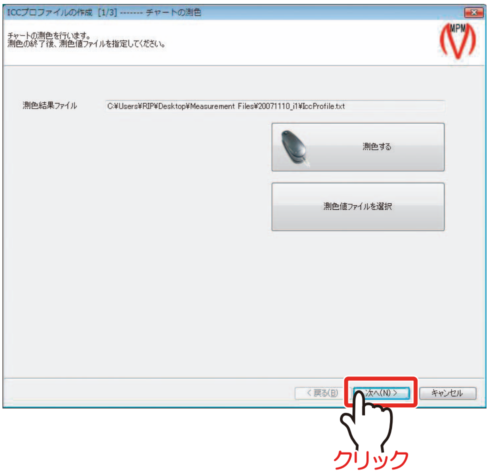
プリントしたICCプロファイル用チャートを測色し、ICCプロファイルデータを作成します。

MPM
<作業ステップ>
ステップ 1:ICC プロファイル
ステップ 2:保存
測色するチャート
ICCプロファイル
ICCプロファイル作成
クリック
オプション
調整
< 戻る(B)
次へ(N) >
キャンセル

(5) 測色が終了したら、
次へ をクリックします。

(6) プロファイルの基本設定や墨版の設定を行います。
設定方法は、P 6-5 をご覧ください。

墨版設定は、初期値のままとしてください。設定内容について、詳細は P 2-65 をご覧ください。
チャートの名前は「OO_IccProfileCMYK.txt」を選択してください。（OOは測色器の名前）



ICCプロファイルの作成 [1/3] ------- チャートの測色

チャートの測色を行います。
測色の終了後、測色値ファイルを指定してください。

測色結果ファイル C:¥Users¥RIP¥Desktop¥Measurement Files¥20071110_i1¥IccProfile.txt

MPM
測色する
測色値ファイルを選択
< 戻る(B)
次へ(N) >
キャンセル
クリック

10 完了 をクリックします。

ICC プロファイルが作成されたら、次へ をクリックします。

11 作成したICCプロファイルプロファイルを保存し、MPM IIを終了します。

8-7 ページ 「ColorPicker でのスポットカラーのカラーマッチング」へ続く ➡

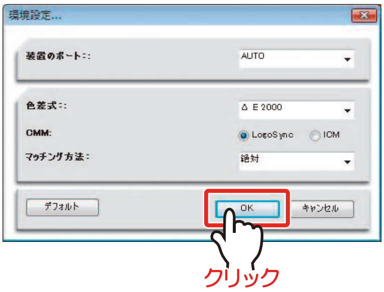
ColorPicker でのスポットカラーのカラーマッチング

1 i1 Pro(測色器) を PC に接続し、ColorPicker を起動します。

ColorPicker 5.0
ProfileMaker 5.0

2 [編集] → [環境設定…] を選択し、以下のように設定を行い、**OK** をクリックします。

装置のポート　：AUTO
色差式　　　　：⊿ E2000
CMM　　　　　：LogoSync
マッチング方法：絶対


環境設定...

装置のポート:: AUTO

色差式:: Δ E 2000

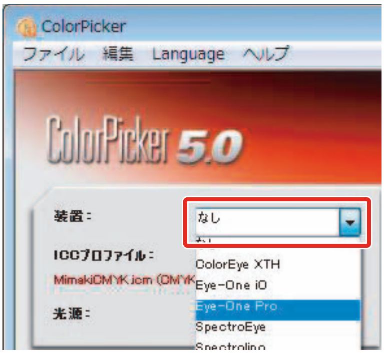
CMM: ● LogoSync ○ ICM

マッチング方法: 絶対

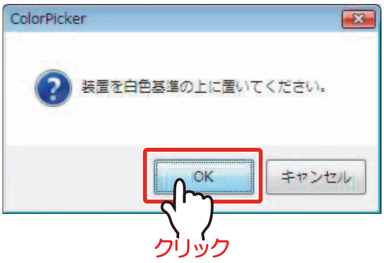
デフォルト
OK
キャンセル
クリック

3 [装置] のリストボックスをクリックし、「Eye-One Pro」を選択します。

重 要！	♦ i1 Pro が認識されない場合は、USB ケーブルの接続場所を変更したり、ドライバの再インストールを試みてください。


ColorPicker
ファイル
編集
Language
ヘルプ
ColorPicker 5.0
装置:
なし
ICCプロファイル:
MimakiCMYK.icm (CMYK
光源:
ColorEye XTH
Eye-One iO
Eye-One Pro
SpectroEye
Spectroline

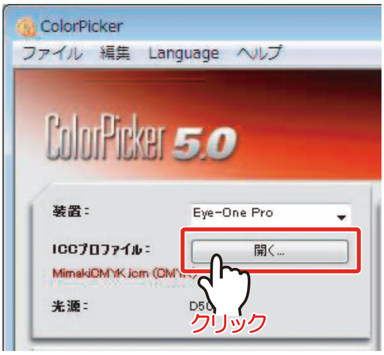
4 **OK** をクリックします。


ColorPicker

装置を白色基準の上に置いてください。

OK
キャンセル
クリック

5 開く をクリックし、「ColorPicker で使用する ICC プロファイルの作成」で作成した ICC プロファイルを選択します。


ColorPicker
ファイル 編集 Language ヘルプ
ColorPicker 5.0
開く...
クリック

装置： Eye−One Pro

ICCプロファイル： MimakiCMYK.icm (CMY...

光源： D50

6 色見本を i1 Pro で測色します。

画色見本の上に i1 Pro のレンズ部を載せ、i1 Pro の側面にあるボタンを押します。

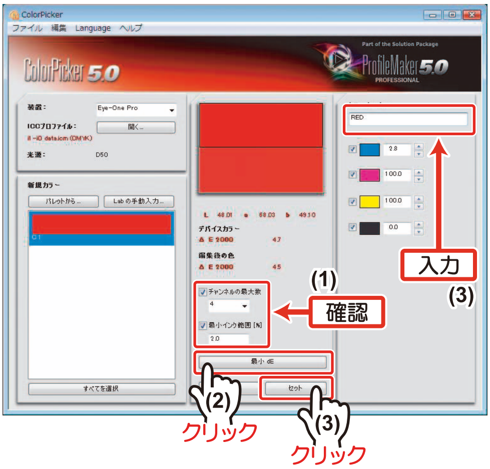
「ピッ」と音がなり、測色した色が ColorPicker に表示されます。

7 測色したデータを調整します。

(1) 「チャンネルの最大数」にチェックが付き、値が” 4”。「最小インク範囲」にチェックが付き、値が” 2.0” になっていることを確認します。

(2) 最小 dE をクリックします。「編集後の色」の色差の値が小さくなり、より適切な色に編集されます。

(3) 測色した色の名前を入れ、セット をクリックします。


ColorPicker
ファイル 編集 Language ヘルプ
ColorPicker 5.0
Part of the Solution Package
ProfileMaker 5.0
PROFESSIONAL
開く...
新規カラー
パレットから...
Labの手動入力...
C1
すべてを選択
最小 dE
セット
(1)
確認
入力
(3)
(2)
クリック
(3)
クリック

装置： Eye−One Pro

ICCプロファイル： i1-iO data.icm (CMYK)

光源： D50

L 48.01 a 68.03 b 49.10

デバイスカラー Δ E 2000 4.7

編集後の色 Δ E 2000 4.5

☑ チャンネルの最大数 4

☑ 最小インク範囲 [%] 2.0

RED

☑ 2.8

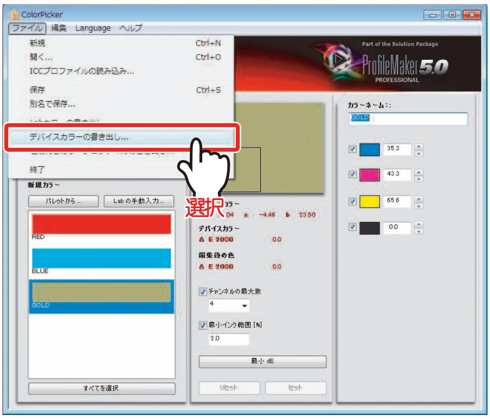
☑ 100.0

☑ 100.0

☑ 0.0

♦ 色差が 5 以上の項目には、「！」マークが表示されます。最小 dE ボタンをクリックしても「！」マークが消えない場合は、Gamut 内にない（再現できない）色です。

8 必要な数の色見本を測色したら、［ファイル］→［デバイスカラーの書き出し］を選択します。


ColorPicker
ファイル 編集 Language ヘルプ
新規 Ctrl+N
開く... Ctrl+O
ICCプロファイルの読み込み...
保存 Ctrl+S
別名で保存...
デバイスカラーの書き出し...
終了
Part of the Solution Package
ProfileMaker 5.0
PROFESSIONAL
選択
新規カラー
パレットから...
Labの手動入力...
RED
BLUE
GOLD
すべてを選択
最小 dE
リセット
セット

a −4.46 b 23.50

デバイスカラー Δ E 2000 0.0

編集後の色 Δ E 2000 0.0

☑ チャンネルの最大数 4

☑ 最小インク範囲 [%] 2.0

カラーネーム： GOLD

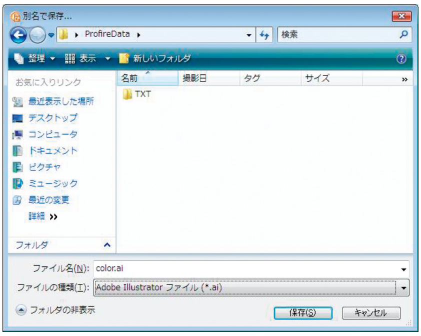
☑ 35.3

☑ 43.3

☑ 65.6

☑ 0.0

9 Illustrator のスウォッチライブラリとして保存するため、拡張子を “.ai” にして **保存** をクリックします。


別名で保存...
ProfireData
検索
整理
表示
新しいフォルダ
お気に入りリンク
最近表示した場所
デスクトップ
コンピュータ
ドキュメント
ピクチャ
ミュージック
最近の変更
詳細 »
フォルダ
名前
撮影日
タグ
サイズ
TXT
フォルダの非表示
保存(S)
キャンセル

ファイル名(N): color.ai
ファイルの種類(T): Adobe Illustrator ファイル (*.ai)

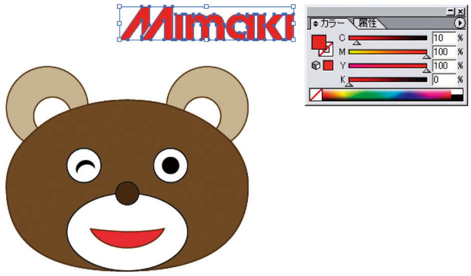
- ♦ 保存先を直接Illustratorのフォルダに設定すると、Illustratorでの設定が楽になります。
  C:¥Program Files¥Adobe¥Illustrator（バージョン）¥プリセット¥スウォッチ

8-9 ページ 「Illustrator で画像を修正する」へ続く

Illustrator で画像を修正する

1 ColorPicker を終了させ、Illustrator を起動します。

2 出力予定の画像を開きます。


Mimaki
カラー
属性

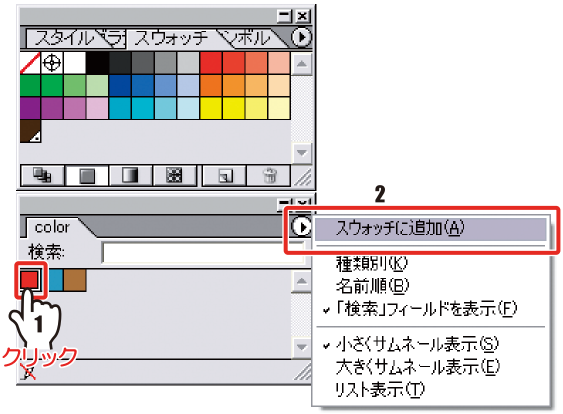
C 10 %
M 100 %
Y 100 %
K 0 %

3 [ウィンドウ]→[スウォッチライブラリ]→[その他のライブラリ]で、「ColorPicker でのスポットカラーのカラーマッチング」手順 9 で保存した “.ai” ファイルを読み込みます。

- ♦「ColorPicker でのスポットカラーのカラーマッチング」手順 8 で保存先を Illustrator のフォルダにしていた場合、[ウィンドウ] → [スウォッチライブラリ] と選択しただけで、作成したスウォッチライブラリが列挙されます。

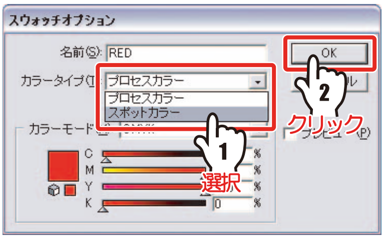
4　手順３で読み込んだ色をスポットカラーに設定します。

(1) 読み込んだ色をスウォッチライブラリに追加します。



スタイル
スウォッチ
シンボル
color
検索:
1
クリック
2
スウォッチに追加(A)
種類別(K)
名前順(B)
「検索」フィールドを表示(F)
小さくサムネール表示(S)
大きくサムネール表示(E)
リスト表示(T)

(2) スウォッチライブラリに追加した色をダブルクリックし、スポットカラーに設定します。

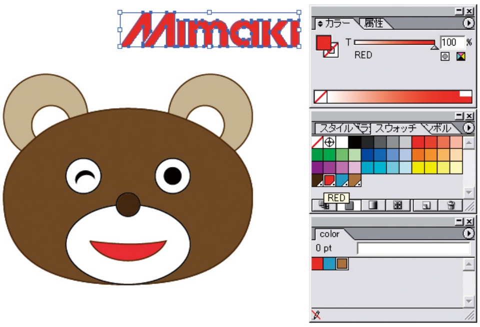

スウォッチオプション

名前(S): RED

カラータイプ(T): プロセスカラー

プロセスカラー
スポットカラー
カラーモード
C
M
Y
K
0
%
OK
プレビュー(P)
1
選択
2
クリック

5　スウォッチライブラリに追加された色を使用して、画像を修正します。



Mimaki
カラー
属性
T
100
%
RED
スタイル
スウォッチ
シンボル
RED
color
0 pt

6　画像を EPS 保存し、Illustrator を終了します。

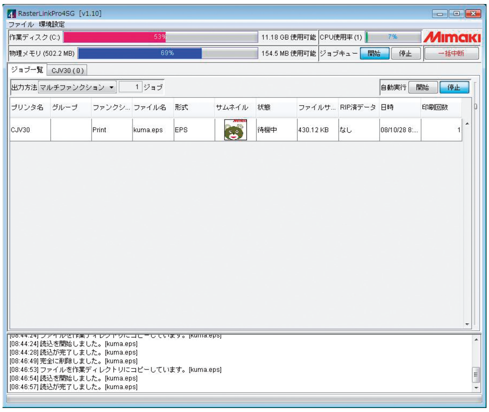
8-11 ページ 「Raster Link シリーズで色置換して出力する」へ続く ➡

Raster Link シリーズで色置換して出力する

1. Rastser Link シリーズを起動します。

2. Raster Link シリーズでベクター画像をジョブ登録します。

   ジョブの登録方法については、Raster Link シリーズの取扱説明書をご参照ください。



プリンタ名	グループ	ファンクシ...	ファイル名	形式	サムネイル	状態	ファイルサ...	RIP済データ	日時	印刷回数
CJV30		Print	kuma.eps	EPS		待機中	430.12 KB	なし	08/10/28 8:...	1

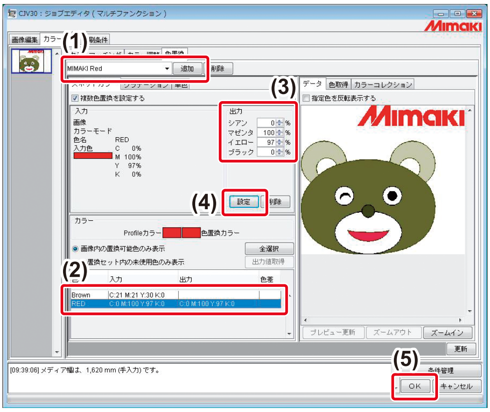
```
[08:44:24] 読込を開始しました。[kuma.eps]
[08:44:28] 読込が完了しました。[kuma.eps]
[08:46:49] 完全に削除しました。[kuma.eps]
[08:46:53] ファイルを作業ディレクトリにコピーしています。[kuma.eps]
[08:46:54] 読込を開始しました。[kuma.eps]
[08:46:57] 読込が完了しました。[kuma.eps]
```

3. ジョブエディタを開き、[色置換] タブを選択します。

   [カラー編集] タブ -[色置換] タブを選択します。

4. [色置換] タブを選択し、色置換情報を追加します。

   (1) 色置換名称を入力し、**追加** をクリックします。
   (2) 色置換する色を指定します。
   ・色置換する色がスポットカラー名として設定されている場合は、リスト表示されているスポットカラー名をクリックします。
   ・スポットカラー名が指定されていない場合は、プレビュー画像上の色をクリックします。
   (3) ColorPicker の作業にて [入力] に表示されている CMYK 値をそのまま [出力] に入力します。
   (4) **設定** をクリックし、色置換情報を追加します。
   (5) 設定が全て完了したら、**OK** をクリックし、ジョブエディタを閉じます。



出力
シアン 0 %
マゼンタ 100 %
イエロー 97 %
ブラック 0 %

色	入力	出力	色差
Brown	C:21 M:21 Y:30 K:0		
RED	C:0 M:100 Y:97 K:0	C:0 M:100 Y:97 K:0	

```
[09:39:06] メディア幅は、1,620 mm (手入力) です。
```

5. Raster Link シリーズで出力をします。

9章
カラーシミュレーションを行う

PC のモニターや校正用プリンタ (コンシューマープリンタ) で、
ミマキ製プリンタで出力したときの色を再現 (シミュレーション)
するための方法を説明します。

Adobe Photoshop ／ Illustrator を使用してカラーシミュレーションを行う 9-2
カラーシミュレーション機能に関する注意事項 9-2
カラーシミュレーション機能に必要なシステム環境 9-3
カラーシミュレーション機能を使用するための準備 9-3
カラーシミュレーションの流れ 9-4
高演色形蛍光灯を使用して、環境光を整える (任意) 9-6
モニターのキャリブレーションを行う 9-6
モニターの ICC プロファイルを作成する 9-7
校正用プリンタの ICC プロファイルを作成する 9-13
CMYK カラーのシミュレーション用プロファイルを作成する 9-16
RGB カラーのシミュレーション用プロファイルを作成する 9-19
作成したプロファイルを Photoshop ／ Illustrator に設定する 9-22
モニターの色をターゲットの色に近づけるように、色を調整する 9-24
校正用プリンタで出力し、ターゲットとの色の差を確認する 9-26
校正用プリンタで印刷する 9-29
ミマキ製プリンタで印刷する 9-29

Adobe Photoshop ／ Illustrator を使用してカラーシミュレーションを行う

カラーシミュレーションを行うと、モニターや校正用プリンタ上でミマキ製品のプリンタで出力する色を再現 (シミュレーション) することができます。

カラーシミュレーション機能を使用するメリット

- ♦ ミマキ製プリンタで出力される色をターゲットの色と比較しながら、その都度色調整をする必要がなくなります。作業の無駄を軽減して、作業効率をあげることが可能になります。
- ♦ ミマキ製プリンタで出力される色がモニターに表示されるため、モニターでの色調整の精度を向上させることができます。
- ♦ 校正用プリンタ（コンシューマープリンタ）で出力した印刷物は、クライアントへの色見本として使うことができます。

カラーシミュレーション機能に関する注意事項

重 要 !	♦ この機能を使用しても、必ずしもミマキ製プリンタで出力したものと完全な色合わせが行えるわけではありません。(プリンタやモニターには特性の違いや個体差があり、ミマキ製プリンタで出力した色を完全にはシミュレーションできないためです。) ♦ モニターや校正用プリンタのガマットから外れた色は再現することができません。 ♦ モニターや校正用プリンタでカラーシミュレーションを行うためには、ミマキ製プリンタの色をシミュレーションするための ICC プロファイルを作成する必要があります。 ♦ 印刷物の色は、ご利用の環境光源によって見え方が変化します。この機能は、D50 光源を想定しています。

カラーシミュレーション機能に必要なシステム環境

カラーシミュレーション機能を使用するには、以下の環境を準備する必要があります。

Mimaki Profile MasterII v2.00	ICC プロファイルの作成に使用します。
Raster Link シリーズ	ICC プロファイルを作成するときに必要なチャートを出力します。
i1 Pro	モニターの測色に使用します。
Adobe Photoshop Adobe Illustrator	画像の色調整やモニターでのシミュレーションの表示に使用します。 カラーマネジメントに対応した Photoshop6.0 以降、Illustrator9.0 以降を使用してください。(CS 以上を推奨）
オペレーター PC	Adobe Photoshop ／ Illustrator がインストールされている PC です。
カラーマネジメント対応モニター	オペレーター PC のモニターです。 AdobeRGB、sRGB に対応しているもの。（ハードウェアキャリブレーション機能付を推奨）
高演色蛍光灯 *1	5000K の色温度を持つ、色評価用の蛍光灯。 印刷物の観察光源として使用します。
校正用プリンタ	一般に手に入るコンシューマープリンタ。（正確な出力を行うため、プロ用途のものを推奨。）

*1. 任意で用意してください。

カラーシミュレーション機能を使用するための準備

カラーシミュレーション機能を使用するため、以下のソフトウェアをインストールしてください。

Raster Link シリーズ *1	MPMII
i1 Pro のドライバ *2	Adobe Photoshop、AdobeIllustrator *3
モニターのキャリブレーションで使用するソフトウェア *3	校正用プリンタのプリンタドライバ *4

*1. インストール手順は、Raster Link シリーズのインストールガイドをご覧ください。
*2. ドライバは MPMII の CD に入っています。
ドライバを指定する際に、MPMII の CD 内の以下のフォルダを指定してください。
[CD ドライブ]Driver¥EyeOne
*3. インストール手順は、それぞれのソフトウェアの取扱説明書をご覧ください。
*4. インストール手順は、使用するコンシューマープリンタの取扱説明書をご覧ください。

重 要!

♦ クライアントから依頼された画像ファイルを調整する PC（オペレーターPC）と、ミマキ製プリンタに出力する PC（出力用 PC）が異なる場合、下記を参考にしてインストールしてください。

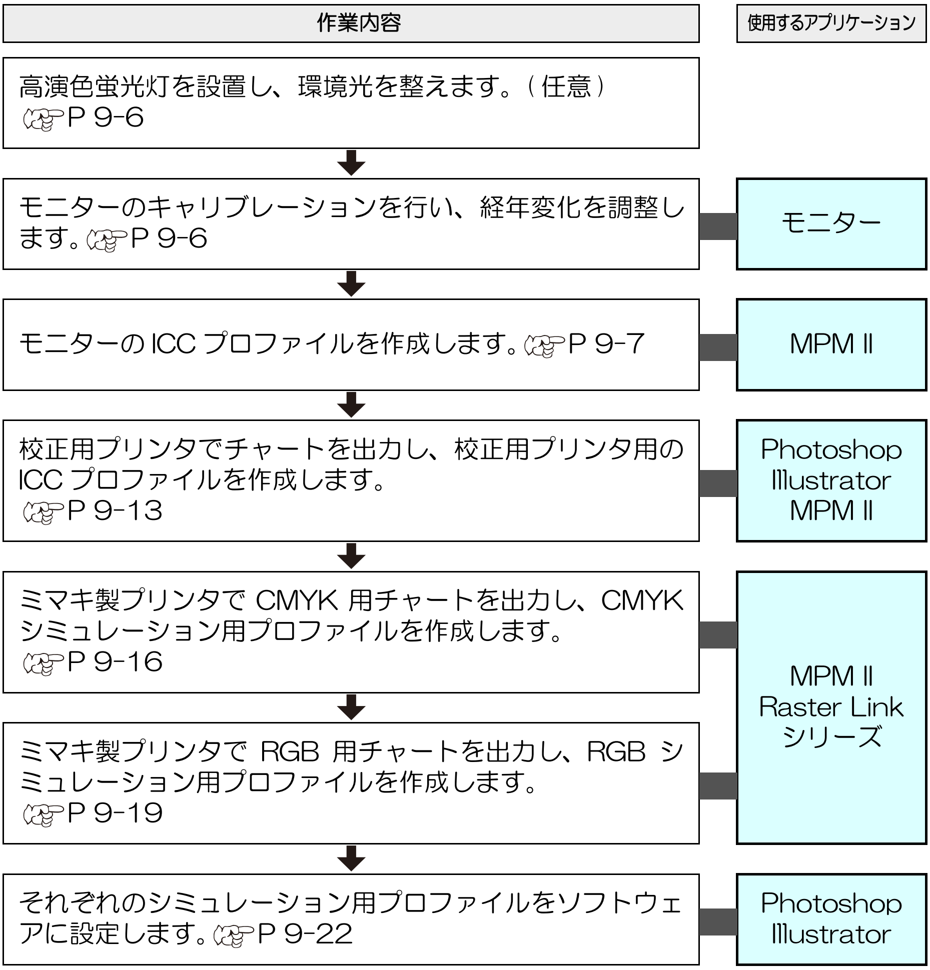
Raster Link シリーズ	出力用 PC
MPMII	出力用 PC、オペレーター PC *1
X-Rite i1 Pro ドライバ	オペレーター PC、出力用 PC
校正用プリンタのプリンタドライバ	オペレーター PC
モニターのキャリブレーション用ソフトウェア	オペレーター PC
Adobe Photoshop、Adobe Illustrator	オペレーター PC

*1. オペレーター PC に Windows を使用している場合のみ。

カラーシミュレーションの流れ

1 カラーシミュレーションをするための準備をします。

モニターや校正用プリンタで、ミマキ製プリンタで出力したときの色をシミュレーションするための準備をします。



作業内容	使用するアプリケーション
高演色蛍光灯を設置し、環境光を整えます。（任意）☞P 9-6	
モニターのキャリブレーションを行い、経年変化を調整します。☞P 9-6	モニター
モニターの ICC プロファイルを作成します。☞P 9-7	MPM II
校正用プリンタでチャートを出力し、校正用プリンタ用の ICC プロファイルを作成します。☞P 9-13	Photoshop Illustrator MPM II
ミマキ製プリンタで CMYK 用チャートを出力し、CMYK シミュレーション用プロファイルを作成します。☞P 9-16	MPM II Raster Link シリーズ
ミマキ製プリンタで RGB 用チャートを出力し、RGB シミュレーション用プロファイルを作成します。☞P 9-19	
それぞれのシミュレーション用プロファイルをソフトウェアに設定します。☞P 9-22	Photoshop Illustrator

2 Photoshop ／ Illustrator で画像を編集します。

ミマキ製プリンタで出力したときの色をモニター上でシミュレーションすることができます。また、校正用プリンタで出力して、編集した結果をシミュレーションすることができます。

重 要！

- ♦ Raster Linkシリーズでは､ラスターデータとベクターデータで異なるレンダリングインテント (色変換処理) を行うことができますが、モニター上では 1 種類の色変換処理しかシミュレーションできません。
- ♦ ラスターデータの確認を　Photoshop、ベクターデータの確認を Illustrator で行うようにし、それぞれの設定を Raster Link シリーズと同じにしておくことをお勧めします。

作業内容	使用するアプリケーション
モニターの色をターゲットの色に近づけるように、色を調整します。☞P 9-24	Photoshop Illustrator
⬇	
校正用プリンタで出力し、ターゲット色との色の差を確認します。☞P 9-26	

3 校正用プリンタで出力します。

作業内容	使用するアプリケーション
校正用プリンタで出力した校正紙は色見本としてお使いになれます。☞P 9-29	Photoshop Illustrator

4 ミマキ製プリンタで画像を出力します。

作業内容	使用するアプリケーション
ミマキ製プリンタで出力し、クライアントへ最終確認をします。☞P 9-29	Raster Link シリーズ

高演色形蛍光灯を使用して、環境光を整える（任意）

色合わせを行う場所の環境光を変更します。

環境光のターゲット	
色温度	5000K
輝度	600lx

重要!	♦ 環境光の変更は、あくまで推奨です。常に一定の環境が準備できる場合や、印刷物の提示場所の環境光と大きく異なる場合は、変更する必要はありません。 ♦ 印刷物の色は、D50 光源を想定しています。ご利用の環境によっては、ミマキ製プリンタで出力した色とモニターや校正用プリンタでシミュレーションした色が合わない場合があります。

モニターのキャリブレーションを行う

モニターに付属のキャリブレーション用ソフトウェアを使用して、ハードウェア・キャリブレーションを行います。使用するソフトウェアの指示に従って操作してください。

重要!	♦ モニターが持つ性能を発揮するために、モニターの表示環境を整えるキャリブレーションが必要です。 ♦ モニターは長期間使用している間に、表示している色が変化してしまいます。色変化を放っておくと、モニターでのシミュレーションの精度が落ちてしまいます。この色の変化を補正するために、モニターのキャリブレーションは定期的に行うことをお勧めします。

モニターの ICC プロファイルを作成する

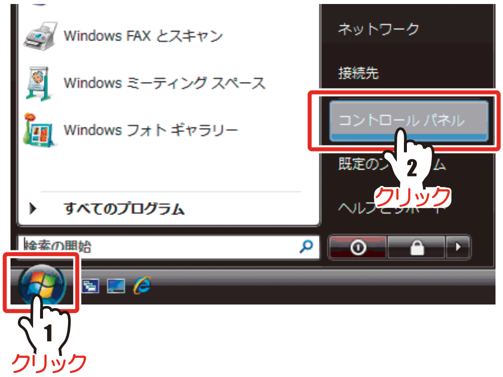
モニターメーカーから ICC プロファイルが既に用意されている場合、用意されている ICC プロファイルを使用してください。

重 要！	♦ MPMII を使用して、モニターの ICC プロファイルを作成する場合は、6-11 ページ「モニターの ICC プロファイルを作成する」をご覧ください。作成した ICC プロファイルは、使用しているモニターのプロファイルに設定してください。

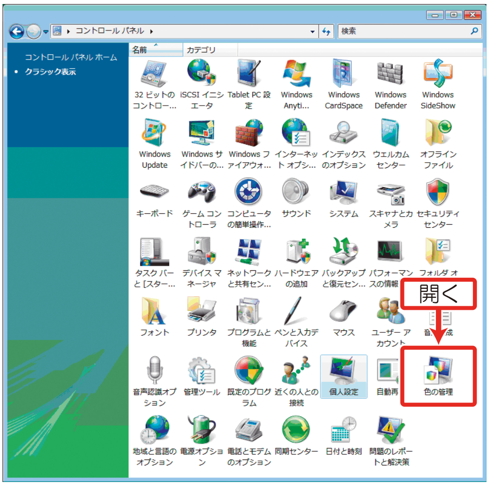
使用しているモニターのプロファイルに設定する (WindowsVista の場合)

1 作成した ICC プロファイルを PC にインストールします。

2 [スタート]→[コントロールパネル] をクリックします。

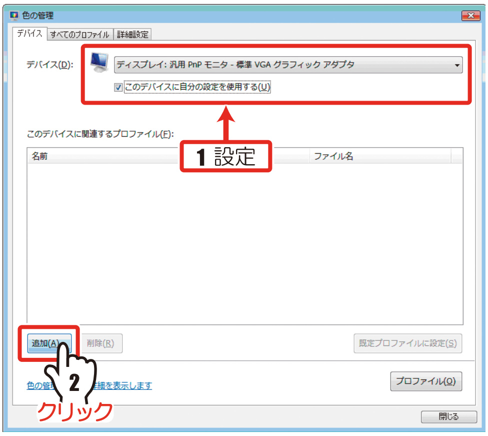

Windows FAX とスキャン
Windows ミーティング スペース
Windows フォト ギャラリー
すべてのプログラム
検索の開始
ネットワーク
接続先
コントロール パネル
既定のプログラム
ヘルプとサポート
2
クリック
1
クリック

3 “色の管理”を開きます。


コントロール パネル
検索
コントロール パネル ホーム
クラシック表示
名前
カテゴリ
開く
色の管理

4 以下の設定にして、追加 をクリックします。

デバイス：“ディスプレイ：……”
“このデバイスに自分の設定を使用する” をチェックする。


色の管理
デバイス
すべてのプロファイル
詳細設定

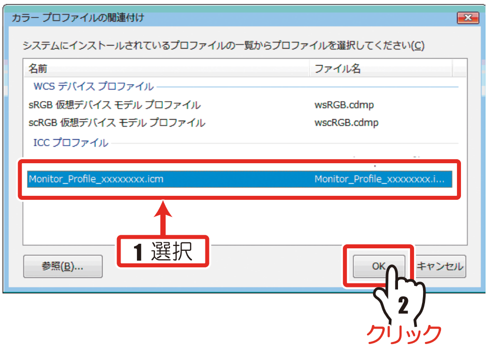
デバイス(D): ディスプレイ: 汎用 PnP モニタ - 標準 VGA グラフィック アダプタ

☑ このデバイスに自分の設定を使用する(U)

このデバイスに関連するプロファイル(F):

1 設定
名前
ファイル名
追加(A)
削除(R)
既定プロファイルに設定(S)
2
クリック
色の管理の詳細を表示します
プロファイル(O)
閉じる

5 作成した ICC プロファイルを選択し、OK をクリックします


カラー プロファイルの関連付け

システムにインストールされているプロファイルの一覧からプロファイルを選択してください(C)

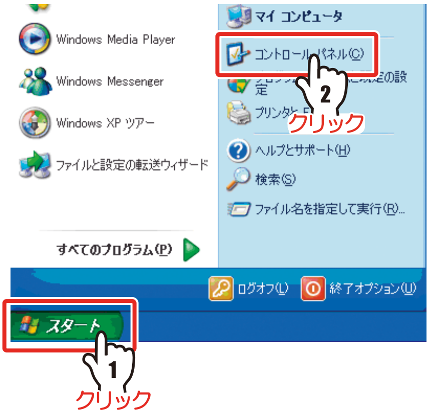
名前	ファイル名
WCS デバイス プロファイル	
sRGB 仮想デバイス モデル プロファイル	wsRGB.cdmp
scRGB 仮想デバイス モデル プロファイル	wscRGB.cdmp
ICC プロファイル	
Monitor_Profile_xxxxxxxx.icm	Monitor_Profile_xxxxxxxx.i...

1 選択
参照(B)...
OK
キャンセル
2
クリック

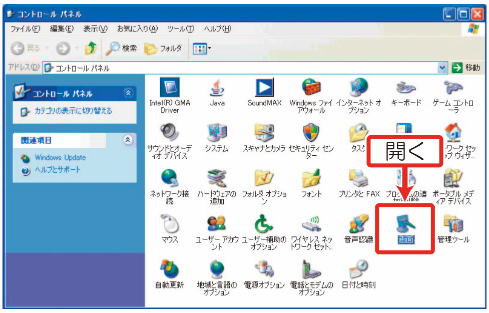
6 追加したプロファイルを既定プロファイルに設定します。

使用しているモニターのプロファイルに設定する (WindowsXP の場合)

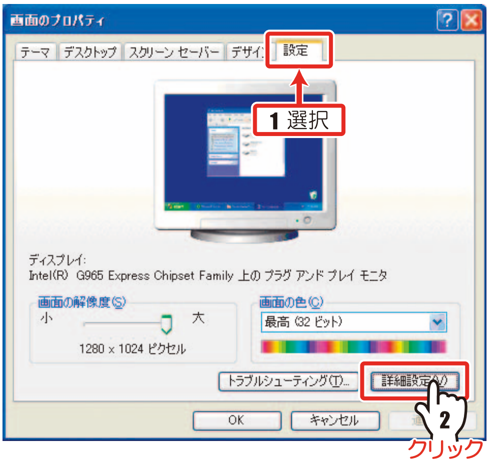
1 [スタート]→[コントロールパネル] をクリックします。


Windows Media Player
Windows Messenger
Windows XP ツアー
ファイルと設定の転送ウィザード
すべてのプログラム(P)
マイ コンピュータ
コントロール パネル(C)
プリンタと FAX
ヘルプとサポート(H)
検索(S)
ファイル名を指定して実行(R)...
ログオフ(L)
終了オプション(U)
スタート
1
クリック
2
クリック

2 “画面” を開きます。


コントロール パネル
ファイル(F)　編集(E)　表示(V)　お気に入り(A)　ツール(T)　ヘルプ(H)
戻る　検索　フォルダ
アドレス(D)　コントロール パネル
移動
コントロール パネル
カテゴリの表示に切り替える
関連項目
Windows Update
ヘルプとサポート
Intel(R) GMA Driver
Java
SoundMAX
Windows ファイアウォール
インターネット オプション
キーボード
ゲーム コントローラ
サウンドとオーディオ デバイス
システム
スキャナとカメラ
セキュリティ センター
タスク
ネットワーク セットアップ ウィザード
ネットワーク接続
ハードウェアの追加
フォルダ オプション
フォント
プリンタと FAX
プログラムの追加と削除
ポータブル メディア デバイス
マウス
ユーザー アカウント
ユーザー補助のオプション
ワイヤレス ネットワーク セットアップ
音声認識
画面
管理ツール
自動更新
地域と言語のオプション
電源オプション
電話とモデムのオプション
日付と時刻
開く

3 “設定” タブを選択し、[詳細設定] をクリックします。

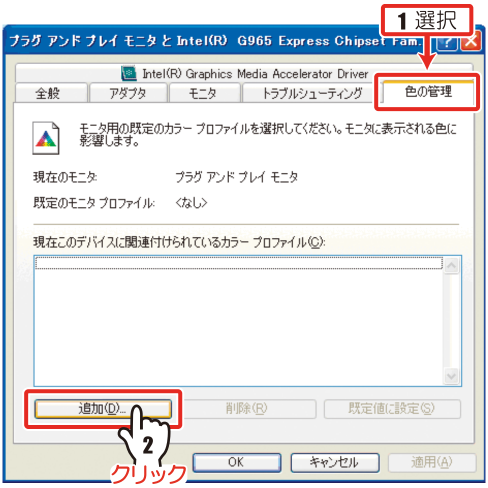

画面のプロパティ
テーマ
デスクトップ
スクリーン セーバー
デザイン
設定
1 選択
トラブルシューティング(T)...
詳細設定(V)
OK
キャンセル
適用
2
クリック

ディスプレイ:
Intel(R) G965 Express Chipset Family 上の プラグ アンド プレイ モニタ

画面の解像度(S)
小　大
1280 x 1024 ピクセル

画面の色(C)
最高 (32 ビット)

④ “色の管理”タブを選択し、**追加** をクリックします。


1 選択
2 クリック
プラグ アンド プレイ モニタ と Intel(R) G965 Express Chipset Fam...
Intel(R) Graphics Media Accelerator Driver
全般
アダプタ
モニタ
トラブルシューティング
色の管理
追加(D)...
削除(R)
既定値に設定(S)
OK
キャンセル
適用(A)

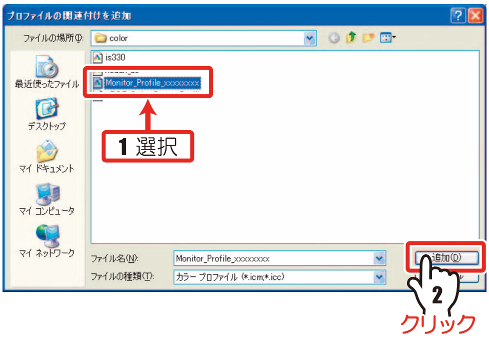
モニタ用の既定のカラー プロファイルを選択してください。モニタに表示される色に影響します。

現在のモニタ:　プラグ アンド プレイ モニタ

既定のモニタ プロファイル:　<なし>

現在このデバイスに関連付けられているカラー プロファイル(C):

⑤ 作成したプロファイルを選択し、**追加** をクリックします。

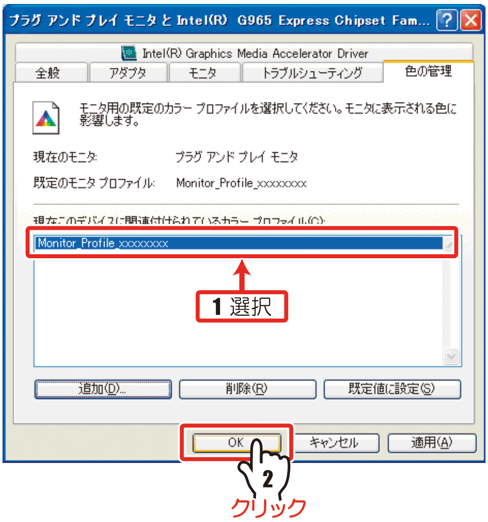

プロファイルの関連付けを追加
1 選択
2 クリック
最近使ったファイル
デスクトップ
マイ ドキュメント
マイ コンピュータ
マイ ネットワーク
is330
Monitor_Profile_xxxxxxxx
追加(D)

ファイルの場所(I):　color

ファイル名(N):　Monitor_Profile_xxxxxxxx

ファイルの種類(T):　カラー プロファイル (*.icm;*.icc)

⑥ 追加したプロファイルを選択し、**OK** をクリックします


1 選択
2 クリック
プラグ アンド プレイ モニタ と Intel(R) G965 Express Chipset Fam...
Intel(R) Graphics Media Accelerator Driver
全般
アダプタ
モニタ
トラブルシューティング
色の管理
追加(D)...
削除(R)
既定値に設定(S)
OK
キャンセル
適用(A)

モニタ用の既定のカラー プロファイルを選択してください。モニタに表示される色に影響します。

現在のモニタ:　プラグ アンド プレイ モニタ

既定のモニタ プロファイル:　Monitor_Profile_xxxxxxxx

現在このデバイスに関連付けられているカラー プロファイル(C):

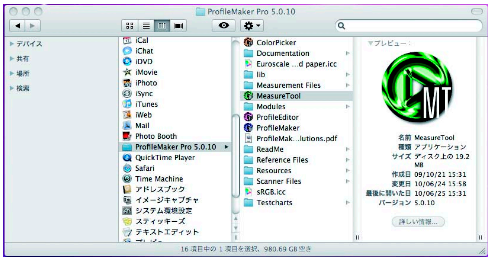
Monitor_Profile_xxxxxxxx

Macintosh のモニターの ICC プロファイルを作成する (Mac OS X　バージョン 10.6 の場合)

1　X-Rite 社の Web サイト (http://www.xrite.com/) から ProfileMaker をダウンロードして、インストールします。

すでに MeaureTool がインストールされている場合、この手順は不要です。

2　ProfileMaker の MesureTool を起動します。


ProfileMaker Pro 5.0.10
デバイス
共有
場所
検索
iCal
iChat
iDVD
iMovie
iPhoto
iSync
iTunes
iWeb
Mail
Photo Booth
ProfileMaker Pro 5.0.10
QuickTime Player
Safari
Time Machine
アドレスブック
イメージキャプチャ
システム環境設定
スティッキーズ
テキストエディット
ColorPicker
Documentation
Euroscale ...d paper.icc
lib
Measurement Files
MeasureTool
Modules
ProfileEditor
ProfileMaker
ProfileMak...lutions.pdf
ReadMe
Reference Files
Resources
Scanner Files
sRGB.icc
Testcharts
プレビュー：
詳しい情報...

名前 MeasureTool
種類 アプリケーション
サイズ ディスク上の 19.2 MB
作成日 09/10/21 15:31
変更日 10/06/24 15:58
最後に開いた日 10/06/25 15:31
バージョン 5.0.10

16 項目中の 1 項目を選択、980.69 GB 空き

3　ProfileMaker の MeasureTool でモニターを測色し、測色結果を保存します。

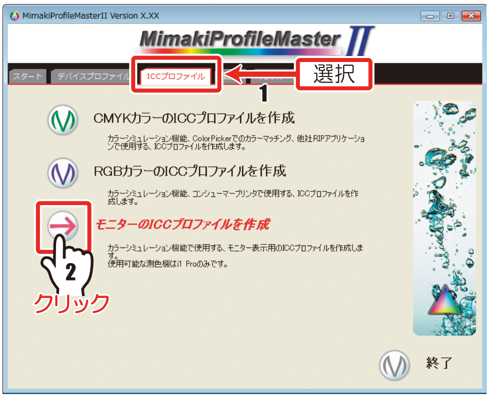
測色するときのテストチャートは “LCD Monitor Reference 2.0.txt” を選択してください。

4　MPMII がインストールされている PC に測色ファイルをコピーします。

5　MPMII を起動します。

6　モニターの ICC プロファイルを作成します。

6-11 ページ「モニターの ICC プロファイルを作成する」を参照して作成してください。


MimakiProfileMasterII Version X.XX
MimakiProfileMaster II
スタート
デバイスプロファイル
ICCプロファイル
選択
1
CMYKカラーのICCプロファイルを作成
RGBカラーのICCプロファイルを作成
モニターのICCプロファイルを作成
2
クリック
終了

カラーシミュレーション機能、ColorPickerでのカラーマッチング、他社RIPアプリケーションで使用する、ICCプロファイルを作成します。

カラーシミュレーション機能、コンシューマープリンタで使用する、ICCプロファイルを作成します。

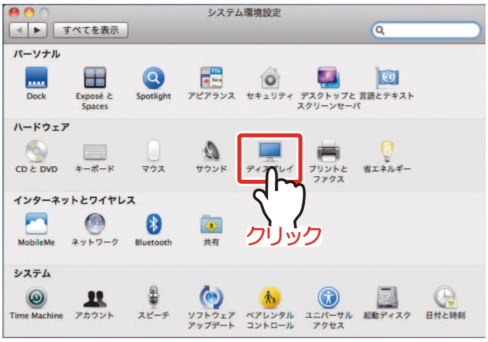
カラーシミュレーション機能で使用する、モニター表示用のICCプロファイルを作成します。
使用可能な測色機はi1 Proのみです。

7 以下の方法で、作成したモニターのICCプロファイルをお使いのMacintoshにインストールしてください。

(1) Mac OS 8.Xまたは9.Xの場合、システムフォルダにあるColorSync Profileフォルダに ICCプロファイルをコピーします。

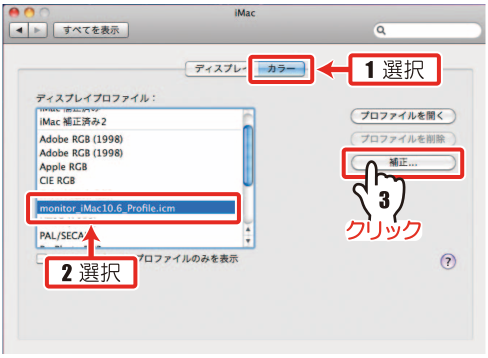
(2) Mac OS X の場合、~User/ あなたのログインユーザー名 /Library/ColorSync/Profilesまたは、~Library/ColorSync/Profiles/Display に ICCプロファイルをコピーします。
  ・だたし、ここに ICCプロファイルをインストールする場合、アドミニストレーター権限が必要です。

8 システム環境設定の[ディスプレイ]をクリックします。

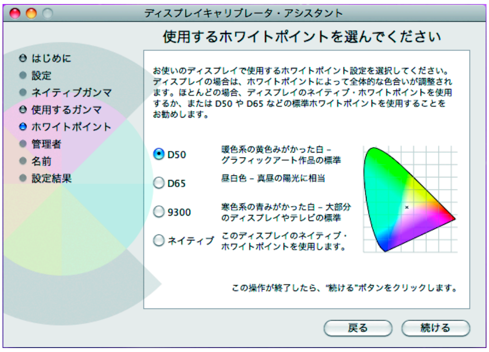

システム環境設定
すべてを表示
パーソナル
Dock
Exposé と Spaces
Spotlight
アピアランス
セキュリティ
デスクトップとスクリーンセーバ
言語とテキスト
ハードウェア
CD と DVD
キーボード
マウス
サウンド
ディスプレイ
プリントとファクス
省エネルギー
インターネットとワイヤレス
MobileMe
ネットワーク
Bluetooth
共有
クリック
システム
Time Machine
アカウント
スピーチ
ソフトウェアアップデート
ペアレンタルコントロール
ユニバーサルアクセス
起動ディスク
日付と時刻

9 [カラー]タグを選択し、ディスプレイプロファイルのリストから作成したモニターのICCプロファイルを選択します。

10 補正 をクリックします。


iMac
すべてを表示
ディスプレイ
カラー
1 選択
ディスプレイプロファイル：
iMac 補正済み2
Adobe RGB (1998)
Adobe RGB (1998)
Apple RGB
CIE RGB
monitor_iMac10.6_Profile.icm
PAL/SECAM
2 選択
プロファイルのみを表示
プロファイルを開く
プロファイルを削除
補正...
3
クリック
?

Apple ディスプレイキャリブレータ・アシスタントが起動します。印刷物の色は D50 光源を想定しているため、使用するホワイトポイントを D50 に設定します。
手順は、Macヘルプのシステム環境設定を参照してください。


ディスプレイキャリブレータ・アシスタント
はじめに
設定
ネイティブガンマ
使用するガンマ
ホワイトポイント
管理者
名前
設定結果
戻る
続ける

使用するホワイトポイントを選んでください

お使いのディスプレイで使用するホワイトポイント設定を選択してください。ディスプレイの場合は、ホワイトポイントによって全体的な色合いが調整されます。ほとんどの場合、ディスプレイのネイティブ・ホワイトポイントを使用するか、または D50 や D65 などの標準ホワイトポイントを使用することをお勧めします。

● D50 暖色系の黄色みがかった白 – グラフィックアート作品の標準
○ D65 昼白色 – 真昼の陽光に相当
○ 9300 寒色系の青みがかった白 – 大部分のディスプレイやテレビの標準
○ ネイティブ このディスプレイのネイティブ・ホワイトポイントを使用します。

この操作が終了したら、"続ける"ボタンをクリックします。

校正用プリンタの ICC プロファイルを作成する

校正用プリンタでチャートを出力し、校正用プリンタの ICC プロファイルを作成します。
(例として、Adobe Photoshop CS を使用した手順で説明します。)

重 要！	◆ ここで作成した ICC プロファイルは、Adobe Photoshop/Illustrator から校正用プリンタへ出力するために使用します。Adobe Photoshop/Illustrator がインストールされている PC に作成した ICC プロファイルをインストールします。

1 MPMII を起動します。

2 RGB プリンタプロファイルを作成するためのチャートを保存します。

6-7 ページ「RGB カラーの ICC プロファイルを作成する」手順１～５をご覧ください。

3 使用する校正用プリンタと PC を接続します。

4 Adobe Photoshop を起動します。

5 保存したチャートのファイルを、カラーマネジメントなしで開きます。

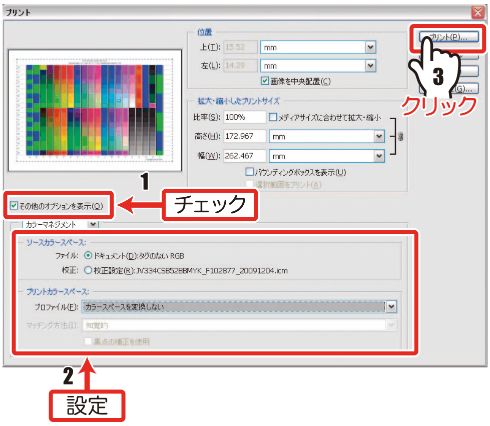
複数のチャートを保存した場合はすべてのチャートを開きます。

6 [ファイル] → [プリントプレビュー] をクリックします。

7 [その他のオプションを表示] をチェックします。

8 カラーマネジメントの設定を以下のようにします。

“ソースカラースペース” には、[ファイル：] を選択する。
“プリントカラースペース” のプロファイルを「カラースペースを変換しない」を選択する。

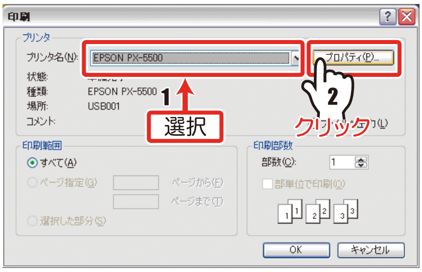

プリント
位置
上(T): 15.52 mm
左(L): 14.29 mm
☑ 画像を中央配置(C)
拡大・縮小したプリントサイズ
比率(S): 100%
☐ メディアサイズに合わせて拡大・縮小
高さ(H): 172.967 mm
幅(W): 262.467 mm
☐ バウンディングボックスを表示(U)
☐ 選択範囲をプリント(A)
プリント(P)...
3
クリック
1
☑ その他のオプションを表示(O)
チェック
カラーマネジメント
2
設定

ソースカラースペース:
ファイル: ● ドキュメント(D):タグのない RGB
校正: ○ 校正設定(R):JV334CSB52BBMYK_F102877_20091204.icm
プリントカラースペース:
プロファイル(F): カラースペースを変換しない
マッチング方法(I): 知覚的
☐ 黒点の補正を使用

9 **プリント** をクリックします。

10 “プリンタ名” で使用する校正用プリンタを選択し、プロパティ をクリックします。

選択したプリンタの設定画面が表示されます。


印刷
プリンタ
プロパティ(P)...
1
選択
2
クリック
印刷範囲
すべて(A)
ページ指定(G)
ページから(F)
ページまで(T)
選択した部分(S)
印刷部数
部数(C):
部単位で印刷(O)
OK
キャンセル

プリンタ名(N): EPSON PX-5500
種類: EPSON PX-5500
場所: USB001
コメント:

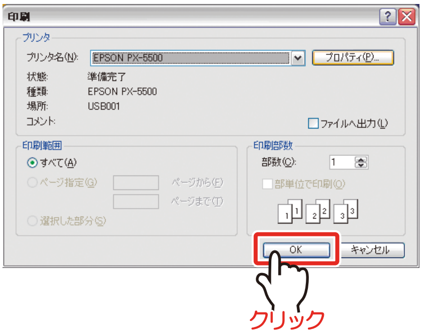
11 プリンタドライバのカラーマネジメントオプションをオフにします。

プリンタドライバの設定で、カラーマネジメントやカラー調整を設定する項目で、カラーマネジメントをオフ、またはカラー調整なしに設定してください。設定方法は、使用するプリンタの取扱説明書をご覧ください。

重要！	◆プリンタドライバのカラーマネジメントの設定をオフにしなかった場合、校正用プリンタでシミュレーションされる色が合わなくなってしまいます。

12 OK をクリックします。

チャートが印刷されます。
複数のファイルがある場合、すべて同じ設定で印刷してください。

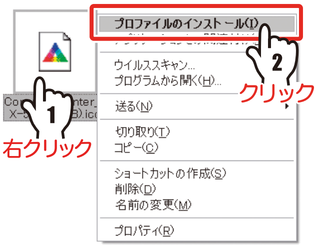

印刷
プリンタ
プロパティ(P)...
ファイルへ出力(L)
印刷範囲
すべて(A)
ページ指定(G)
ページから(F)
ページまで(T)
選択した部分(S)
印刷部数
部数(C):
部単位で印刷(O)
OK
キャンセル
クリック

プリンタ名(N): EPSON PX-5500
状態: 準備完了
種類: EPSON PX-5500
場所: USB001
コメント:
部数(C): 1

13 MPMII を起動し、印刷したチャートを測色して、RGB カラーの ICC プロファイルを作成します。

6-7ページ「RGBカラーのICCプロファイルを作成する」手順7～15をご覧ください。

14 作成した ICC プロファイル上で右クリックし､ショートカットメニューを表示します。


Co…nter_
X-5…B).icc
1
右クリック
プロファイルのインストール(I)
ウイルススキャン...
プログラムから開く(H)...
送る(N)
切り取り(T)
コピー(C)
ショートカットの作成(S)
削除(D)
名前の変更(M)
プロパティ(R)
2
クリック

15 [プロファイルのインストール] をクリックします。

重 要！

オペレーター PC に Macintosh を使用している場合、以下の方法で ICC プロファイルをインストールしてください。

- ♦ Mac OS 8.X または 9.X の場合、システムフォルダにある ColorSync Profiles フォルダに ICC プロファイルをコピーします。
- ♦ Mac OSX の場合、~Users/ あなたのログインユーザー名 /Library/ColorSync/Profiles または、~Library/ColorSync/Profiles に ICC プロファイルをコピーします。
  ただし、ここに ICC プロファイルをインストールする場合、アドミニストレーター権限が必要です。

CMYK カラーのシミュレーション用プロファイルを作成する

ミマキ製プリンタで CMYK 用のチャートを印刷し、モニターや校正用プリンタで CMYK 画像の色をシミュレーションするための ICC プロファイルを作成します。

重 要！	♦ Adobe Photoshop/Illustrator がインストールされている PC に作成した ICC プロファイルをインストールしてください。

1 MPMII を起動します。

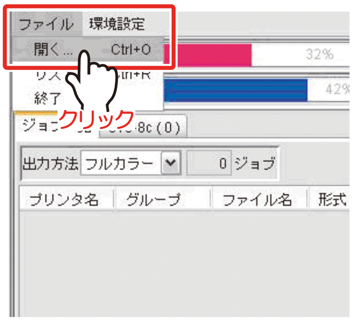
2 CMYK プリンタプロファイルを作成するためのチャートを保存します。

6-3ページ「CMYKカラーのICCプロファイルを作成する」手順1～5をご覧ください。

3 Raster Link シリーズを起動します。

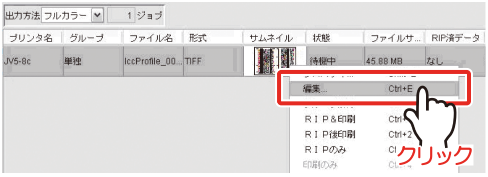
4 ［ファイル］→［開く］を選択します。

5 保存したチャートを選択します。


ファイル
環境設定
開く...
Ctrl+O
リス
trl+R
終了
32%
42%
クリック
ジョ
8c (0)
出力方法
フルカラー
0 ジョブ
プリンタ名
グループ
ファイル名
形式

6 チャートが選択されている状態で右クリックし、［ 編集 ］をクリックします。

“ジョブエディタ” の画面が開きます。


出力方法
フルカラー
1 ジョブ
編集...
Ctrl+E
ＲＩＰ＆印刷
Ctrl
ＲＩＰ後印刷
Ctrl+2
ＲＩＰのみ
Ct
印刷のみ
クリック

プリンタ名	グループ	ファイル名	形式	サムネイル	状態	ファイルサ...	RIP済データ
JV5-8c	単独	IccProfile_00...	TIFF		待機中	45.88 MB	なし

7 チャートを出力するための設定を行います。

ジョブエディタでは、“画像編集”・“印刷条件”・“カラー編集” の設定が行えます。

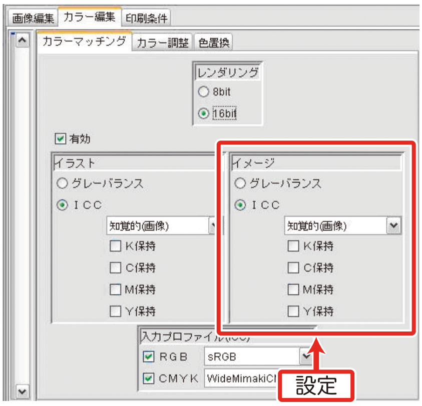
画像編集　：通常は、コピーなどの編集を行う必要はありません。ただし、転写を行う場合（ミラー設定）など、必要な場合は設定してください。
プレビュー画面で出力するチャートが有効作図範囲に入っているかを確認してください。

> **重要!**
>
> ♦ 画像編集タブの［スケール］で、“有効”にチェックが入っていないことを確認してください。“有効” をチェックして拡大 / 縮小をしたチャートを使用すると、手順９でプロファイルを作成するときに正しいプロファイルは作成できなくなります。

印刷条件　：通常、ミマキ製プリンタで印刷するときと同じ印刷条件に設定してください。

カラー編集：通常、ミマキ製プリンタで印刷するときと同じ設定にしてください。

> **重要!**
>
> ♦ 手順２で保存したチャートは、ラスターデータになります。カラー編集タブの［カラーマッチング］では、“イメージ” の設定を行ってください。


画像編集 | カラー編集 | 印刷条件
カラーマッチング | カラー調整 | 色置換
レンダリング
○ 8bit
● 16bit
☑ 有効
イラスト
○ グレーバランス
● ICC
知覚的(画像)
☐ K保持
☐ C保持
☐ M保持
☐ Y保持
イメージ
○ グレーバランス
● ICC
知覚的(画像)
☐ K保持
☐ C保持
☐ M保持
☐ Y保持
入力プロファイル(ICC)
☑ RGB　sRGB
☑ CMYK　WideMimakiC

通常ミマキ製プリンタで出力するときに、“イメージ” と “イラスト” で異なる設定にしている場合

♦ 例えば、“イメージ” は [ICC][知覚的]、“イラスト” は [グレーバランス] で出力している場合、両方の条件をシミュレーションするには、それぞれ別の ICC プロファイルが必要になります。
[ICC][知覚的] の設定で出力したチャートを使用して作成した ICC プロファイルは、“イメージ”（ラスターデータ）の出力をシミュレーションすることができます。
また、[グレーバランス] の設定で出力したチャートを使用して作成した ICC プロファイルは、“イラスト”（ベクターデータ）の出力をシミュレーションすることができます。

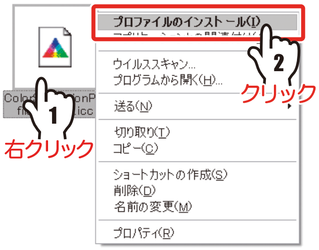
8 設定が完了したら、チャートを出力します。

チャートの印刷が終わったら、Raster Link シリーズを終了します。

9 印刷したチャートを使って、MPMII で CMYK カラーの ICC プロファイルを作成します。

6-3 ページ「CMYK カラーの ICC プロファイルを作成する」手順 7 ～ 16 をご覧ください。

10 作成した ICC プロファイル上で右クリックし、ショートカットメニューを表示します。


プロファイルのインストール(I)
ウイルススキャン...
プログラムから開く(H)...
送る(N)
切り取り(T)
コピー(C)
ショートカットの作成(S)
削除(D)
名前の変更(M)
プロパティ(R)
1
右クリック
2
クリック

11 [プロファイルをインストール] をクリックします。

重 要 !	オペレーター PC に Macintosh を使用している場合、以下の方法で ICC プロファイルをインストールしてください。 ♦ Mac OS 8.X または 9.X の場合、システムフォルダにある ColorSync Profiles フォルダに ICC プロファイルをコピーします。 ♦ Mac OSX の場合、-Users/ あなたのログインユーザー名 /Library/ColorSync/Profiles または、-Library/ColorSync/Profiles に ICC プロファイルをコピーします。 ただし、ここに ICC プロファイルをインストールする場合、アドミニストレーター権限が必要です。

RGB カラーのシミュレーション用プロファイルを作成する

ミマキ製プリンタで RGB 用のチャートを印刷し、RGB 画像の色をモニターや校正用プリンタでシミュレーションするための ICC プロファイルを作成します。

重 要！	♦ Adobe Photoshop/Illustrator がインストールされている PC に作成した ICC プロファイルをインストールしてください。

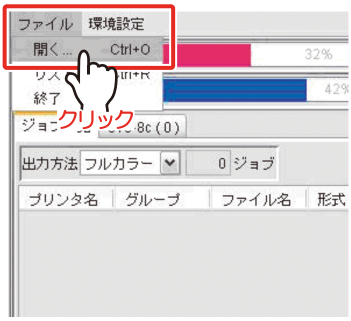
1 MPMII を起動します。

2 RGB カラーの ICC プロファイルを作成するためのチャートを保存します。

6-7 ページ「RGB カラーの ICC プロファイルを作成する」手順１～５をご覧ください。

3 Raster Link シリーズを起動します。

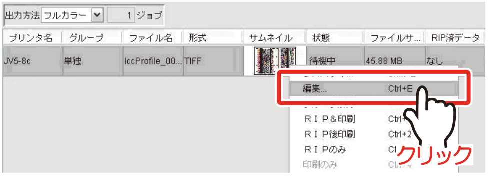
4 [ファイル] → [開く] を選択します。


ファイル
環境設定
開く...
Ctrl+O
終了
32%
42%
クリック
出力方法
フルカラー
0 ジョブ
プリンタ名
グループ
ファイル名
形式

5 保存したチャートを選択します。

複数のチャートを保存した場合、すべてのチャートを開きます。

6 チャートが選択されている状態で右クリックし、[編集] をクリックします。


出力方法
フルカラー
1 ジョブ
編集...
Ctrl+E
ＲＩＰ＆印刷
ＲＩＰ後印刷
Ctrl+2
ＲＩＰのみ
印刷のみ
クリック

プリンタ名	グループ	ファイル名	形式	サムネイル	状態	ファイルサ...	RIP済データ
JV5-8c	単独	IccProfile_00...	TIFF		待機中	45.88 MB	なし

“ジョブエディタ” の画面が開きます。

7 チャートを出力するための設定を行います。

ジョブエディタでは、“画像編集”・“印刷条件”・“カラー編集”の設定が行えます。

画像編集 ：通常は、コピーなどの編集を行う必要はありません。ただし、転写を行う場合（ミラー設定）など、必要な場合は設定してください。
プレビュー画面で出力するチャートが有効作図範囲に入っているかを確認してください。

重 要!

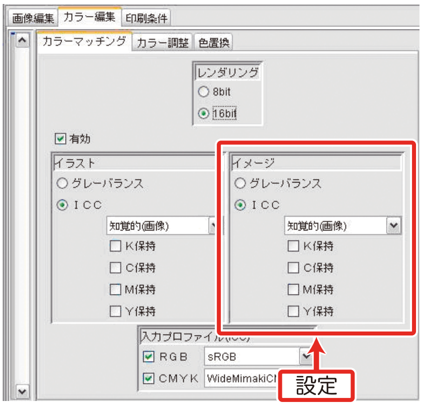
- ♦ 画像編集タブの［スケール］で、“有効”にチェックが入っていないことを確認してください。“有効”をチェックして拡大 / 縮小をしたチャートを使用すると、手順９でプロファイルを作成するときに正しいプロファイルは作成できなくなります。

印刷条件 ：通常、ミマキ製プリンタで印刷するときと同じ印刷条件に設定してください。

カラー編集 ：通常、ミマキ製プリンタで印刷するときと同じ設定にしてください。

重 要!

- ♦ 手順２で保存したチャートは、ラスターデータになります。カラー編集タブの［カラーマッチング］では、“イメージ”の設定を行ってください。



レンダリング
○ 8bit
● 16bit

☑ 有効

イラスト
○ グレーバランス
● ICC
知覚的(画像)
☐ K保持
☐ C保持
☐ M保持
☐ Y保持

イメージ
○ グレーバランス
● ICC
知覚的(画像)
☐ K保持
☐ C保持
☐ M保持
☐ Y保持

入力プロファイル(ICC)
☑ RGB sRGB
☑ CMYK WideMimakiC

通常ミマキ製プリンタで出力するときに、“イメージ”と“イラスト”で異なる設定にしている場合

- ♦ 例えば、“イメージ”は [ICC]［知覚的］、“イラスト”は［グレーバランス］で出力している場合、両方の条件をシミュレーションするには、それぞれ別の ICC プロファイルが必要になります。
[ICC]［知覚的］の設定で出力したチャートを使用して作成した ICC プロファイルは、“イメージ”（ラスターデータ）の出力をシミュレーションすることができます。
また、［グレーバランス］の設定で出力したチャートを使用して作成した ICC プロファイルは、“イラスト”（ベクターデータ）の出力をシミュレーションすることができます。

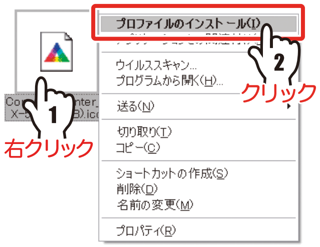
⑧ 設定が完了したら、チャートを出力します。

チャートの印刷が終わったら、Raster Link シリーズを終了します。

⑨ 印刷したチャートを使って、MPMII で RGB カラーの ICC プロファイルを作成します。

6-7ページ「RGBカラーのICCプロファイルを作成する」手順7～15をご覧ください。

⑩ 作成した ICC プロファイル上で右クリックし、ショートカットメニューを表示します。


Com...nter_
X-5...B).icc
1
右クリック
プロファイルのインストール(I)
ウイルススキャン...
プログラムから開く(H)...
送る(N)
切り取り(T)
コピー(C)
ショートカットの作成(S)
削除(D)
名前の変更(M)
プロパティ(R)
2
クリック

⑪ [プロファイルをインストール] をクリックします。

重 要！

オペレーター PC に Macintosh を使用している場合、以下の方法で ICC プロファイルをインストールしてください。

- ♦ Mac OS 8.X または 9.X の場合、システムフォルダにある ColorSync Profiles フォルダに ICC プロファイルをコピーします。
- ♦ Mac OSX の場合、-Users/ あなたのログインユーザー名 /Library/ColorSync/Profiles または、-Library/ColorSync/Profiles に ICC プロファイルをコピーします。
  だだし、ここに ICC プロファイルをインストールする場合、アドミニストレーター権限が必要です。

作成したプロファイルを Photoshop ／ Illustrator に設定する

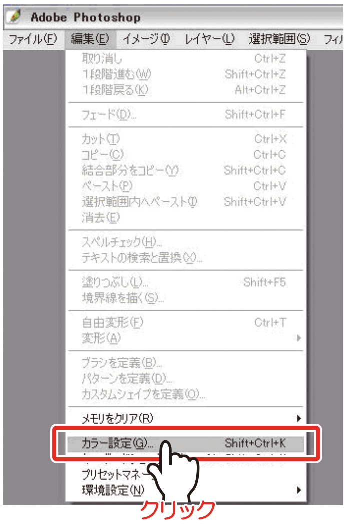
Photoshop に設定する場合

プロファイルを Photoshop に設定する場合の手順を説明します。（Photoshop CS の例 ）

重 要！	♦ 作成したプロファイルは画像を編集する前に Photoshop ／ Illustrator に設定してください。

1 Photoshop を起動します。

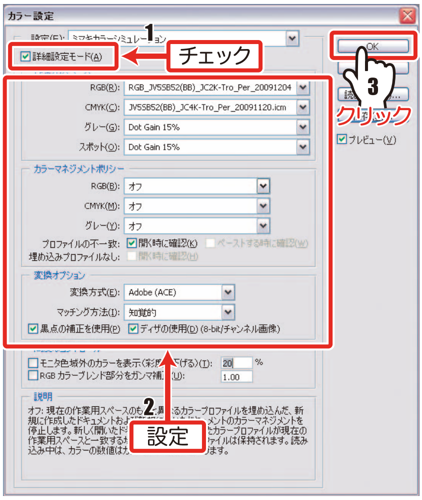
2 ［編集］→［カラー設定］をクリックします。


Adobe Photoshop
ファイル(F)
編集(E)
イメージ(I)
レイヤー(L)
選択範囲(S)
フィ
取り消し Ctrl+Z
1段階進む(W) Shift+Ctrl+Z
1段階戻る(K) Alt+Ctrl+Z
フェード(D)... Shift+Ctrl+F
カット(T) Ctrl+X
コピー(C) Ctrl+C
結合部分をコピー(Y) Shift+Ctrl+C
ペースト(P) Ctrl+V
選択範囲内へペースト(I) Shift+Ctrl+V
消去(E)
スペルチェック(H)...
テキストの検索と置換(X)...
塗りつぶし(L)... Shift+F5
境界線を描く(S)...
自由変形(F) Ctrl+T
変形(A)
ブラシを定義(B)...
パターンを定義(D)...
カスタムシェイプを定義(O)...
メモリをクリア(R)
カラー設定(G)... Shift+Ctrl+K
プリセットマネ
環境設定(N)
クリック

3 “詳細設定モード” をチェックします。

4 以下のように各項目を設定し、**OK** をクリックします。

作業用スペース	RGB	作成した RGB カラーの ICC プロファイルを選択
	CMYK	作成した CMYK カラーの ICC プロファイルを選択
カラーマネジメントポリシー	RGB	オフ
	CMYK	オフ
	プロファイルの不一致：[開く時に確認] をチェックする	
変換オプション	変換方式	Adobe（ACE）
	マッチング方法	知覚的
	・［ 黒点の補正を使用 ］ をチェックする ・［ ディザの使用 ］ をチェックする。	


カラー設定
設定(E): ミマキカラーシミュレーション
1
チェック
OK
3
クリック
プレビュー(V)
カラーマネジメントポリシー
変換オプション
説明
2
設定

☑ 詳細設定モード(A)

RGB(R): RGB_JV5SB52(BB)_JC2K-Tro_Per_20091204
CMYK(C): JV5SB52(BB)_JC4K-Tro_Per_20091120.icm
グレー(G): Dot Gain 15%
スポット(O): Dot Gain 15%

RGB(B): オフ
CMYK(M): オフ
グレー(Y): オフ
プロファイルの不一致: ☑ 開く時に確認(K) ☐ ペーストする時に確認(W)
埋め込みプロファイルなし: ☐ 開く時に確認(H)

変換方式(E): Adobe (ACE)
マッチング方法(I): 知覚的
☑ 黒点の補正を使用(P) ☑ ディザの使用(D) (8-bit/チャンネル画像)

☐ モニタ色域外のカラーを表示(彩度を下げる)(T): 20 %
☐ RGB カラーブレンド部分をガンマ補正(U): 1.00

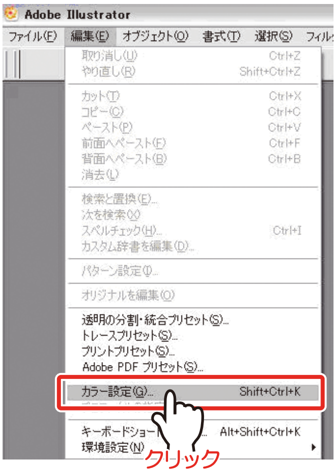
☑ プレビュー(V)

Illustrator に設定する場合

プロファイルを Illustrator に設定する場合の手順を説明します。（Illustrator CS2 の例）

1 Illustrator を起動します。

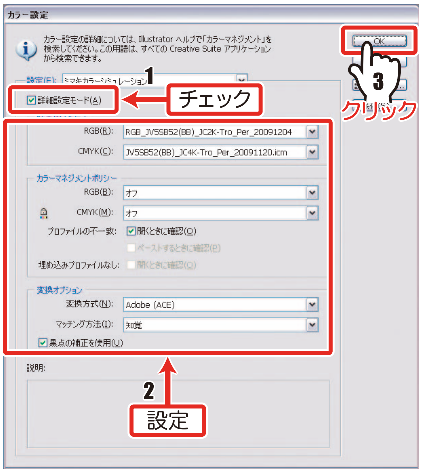
2 ［編集］→［カラー設定］をクリックします。


Adobe Illustrator
ファイル(F)
編集(E)
オブジェクト(O)
書式(T)
選択(S)
フィル
取り消し(U) Ctrl+Z
やり直し(R) Shift+Ctrl+Z
カット(T) Ctrl+X
コピー(C) Ctrl+C
ペースト(P) Ctrl+V
前面へペースト(F) Ctrl+F
背面へペースト(B) Ctrl+B
消去(L)
検索と置換(E)...
次を検索(X)
スペルチェック(H)... Ctrl+I
カスタム辞書を編集(D)...
パターン設定(I)...
オリジナルを編集(O)
透明の分割・統合プリセット(S)...
トレースプリセット(S)...
プリントプリセット(S)...
Adobe PDF プリセット(S)...
カラー設定(G)... Shift+Ctrl+K
キーボードショートカット... Alt+Shift+Ctrl+K
環境設定(N)
クリック

3 “詳細設定モード” をチェックします。

4 以下のように各項目を設定し、**OK** をクリックします。

作業用スペース	RGB	作成した RGB カラーの ICC プロファイルを選択
	CMYK	作成した CMYK カラーの ICC プロファイルを選択
カラーマネジメントポリシー	RGB	オフ
	CMYK	オフ
	プロファイルの不一致：［開く時に確認］をチェックする	
変換オプション	変換方式	Adobe(ACE)
	マッチング方法	知覚的
	・［黒点の補正を使用］をチェックする	


カラー設定
OK
1
チェック
2
設定
3
クリック

カラー設定の詳細については、Illustrator ヘルプで「カラーマネジメント」を検索してください。この用語は、すべての Creative Suite アプリケーションから検索できます。

設定(E): ミマキカラーシミュレーション

☑ 詳細設定モード(A)

RGB(R): RGB_JV5SB52(BB)_JC2K-Tro_Per_20091204

CMYK(C): JV5SB52(BB)_JC4K-Tro_Per_20091120.icm

カラーマネジメントポリシー

RGB(B): オフ

CMYK(M): オフ

プロファイルの不一致: ☑ 開くときに確認(O)

☐ ペーストするときに確認(P)

埋め込みプロファイルなし: ☐ 開くときに確認(O)

変換オプション

変換方式(N): Adobe (ACE)

マッチング方法(I): 知覚

☑ 黒点の補正を使用(U)

説明:

モニターの色をターゲットの色に近づけるように、色を調整する

ミマキ製プリンタで出力したときの色をモニター上にシミュレーションして表示します。

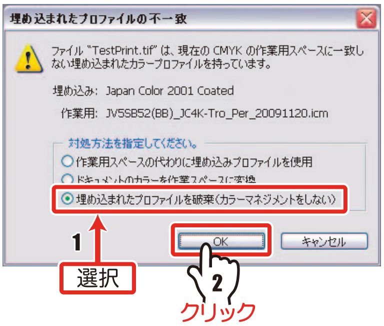
Photoshop で画像を開くときの調整手順

Photoshop で、編集する画像ファイルを開くときの手順を説明します。(Photoshop CS の例)

1. Photoshop を起動します。

2. [ファイル] → [開く] で編集する画像ファイルを選択します。

3. ファイルを開くと、メッセージウィンドウが表示されます。



埋め込まれたプロファイルの不一致

ファイル "TestPrint.tif" は、現在の CMYK の作業用スペースに一致しない埋め込まれたカラープロファイルを持っています。

埋め込み: Japan Color 2001 Coated

作業用: JV5SB52(BB)_JC4K-Tro_Per_20091120.icm

対処方法を指定してください。

○ 作業用スペースの代わりに埋め込みプロファイルを使用

○ ドキュメントのカラーを作業スペースに変換

● 埋め込まれたプロファイルを破棄(カラーマネジメントをしない)

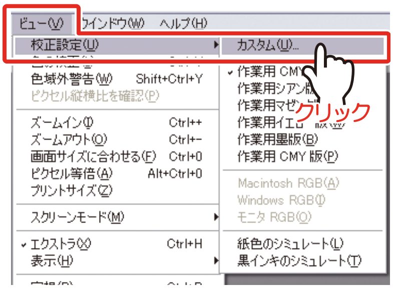
OK
キャンセル
1
選択
2
クリック

4. “埋め込まれたプロファイルを破棄 (カラーマネジメントしない)” を選択します。

5. **OK** をクリックします。

画像が表示されます。

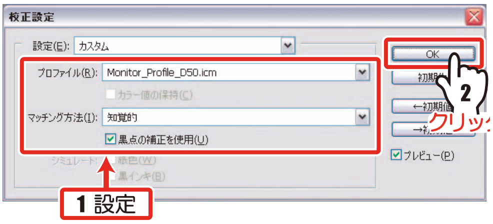
6. [ビュー]→[校正設定]→[カスタム] をクリックします。



ビュー(V)
ウィンドウ(W)
ヘルプ(H)
校正設定(U)
カスタム(U)...
色域外警告(W) Shift+Ctrl+Y
ピクセル縦横比を確認(P)
ズームイン(I) Ctrl++
ズームアウト(O) Ctrl+-
画面サイズに合わせる(F) Ctrl+0
ピクセル等倍(A) Alt+Ctrl+0
プリントサイズ(Z)
スクリーンモード(M)
エクストラ(X) Ctrl+H
表示(H)
作業用 CMY
作業用シアン版
作業用マゼ
作業用イエロ
作業用墨版(B)
作業用 CMY 版(P)
Macintosh RGB(A)
Windows RGB(I)
モニタ RGB(O)
紙色のシミュレート(L)
黒インキのシミュレート(T)
クリック

7. 校正条件を次のように設定し、**OK** をクリックします。

- プロファイル：
  モニタープロファイルに設定しているICC プロファイル
- カラー値の保持はチェックしない。
- マッチング方法：知覚的
- 黒点の補正はチェックする。



校正設定

設定(E): カスタム

プロファイル(R): Monitor_Profile_D50.icm

□ カラー値の保持(C)

マッチング方法(I): 知覚的

☑ 黒点の補正を使用(U)

シミュレート: □ 紙色(W) □ 黒インキ(B)

☑ プレビュー(P)

OK
初期
←初期値
→初
1 設定
2
クリッ

Illustrator で画像を開くときの調整手順

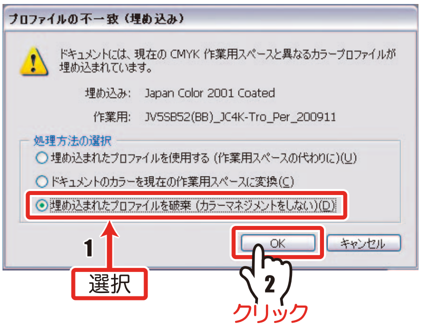
Illustrator で、編集する画像ファイルを開くときの手順を説明します。（Illustrator CS2 の例）

1. Illustrator を起動します。

2. ［ファイル］→［開く］で編集する画像ファイルを選択します。

3. ファイルを開くと、メッセージウィンドウが表示されます。

4. “埋め込まれたプロファイルを破棄（カラーマネジメントしない）”を選択します。



プロファイルの不一致（埋め込み）

ドキュメントには、現在の CMYK 作業用スペースと異なるカラープロファイルが埋め込まれています。

埋め込み:　Japan Color 2001 Coated

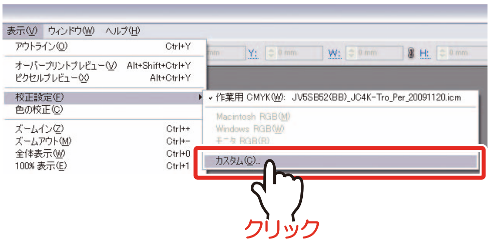
作業用:　JV5SB52(BB)_JC4K-Tro_Per_200911

処理方法の選択
○ 埋め込まれたプロファイルを使用する（作業用スペースの代わりに）(U)
○ ドキュメントのカラーを現在の作業用スペースに変換(C)
● 埋め込まれたプロファイルを破棄（カラーマネジメントをしない）(D)
OK
キャンセル
1
選択
2
クリック

5. OK をクリックします。

画像が表示されます。

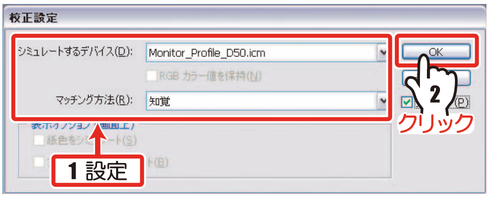
6. [表示]→[校正設定]→[カスタム] をクリックします。



表示(V)　ウィンドウ(W)　ヘルプ(H)
アウトライン(O)　Ctrl+Y
オーバープリントプレビュー(V)　Alt+Shift+Ctrl+Y
ピクセルプレビュー(X)　Alt+Ctrl+Y
校正設定(F)
色の校正(C)
ズームイン(Z)　Ctrl++
ズームアウト(M)　Ctrl+-
全体表示(W)　Ctrl+0
100% 表示(E)　Ctrl+1
Y:　0 mm　W:　0 mm　H:　0 mm
✓ 作業用 CMYK(W):　JV5SB52(BB)_JC4K-Tro_Per_20091120.icm
Macintosh RGB(M)
Windows RGB(W)
モニタ RGB(R)
カスタム(C)...
クリック

7. 校正設定を次のように設定し、OK をクリックします。

- ・シミュレートするデバイス：モニタープロファイルに設定しているICCプロファイル
- ・RGBカラー値を保持はチェックしない。
- ・マッチング方法：知覚



校正設定

シミュレートするデバイス(D):　Monitor_Profile_D50.icm

☐ RGB カラー値を保持(N)

マッチング方法(R):　知覚

OK
☑ (P)
☐ 紙色をシミュレート(S)
☐ ト(B)
1 設定
2
クリック

重 要！	♦ ミマキ製プリンタで出力した色がモニターの色と合いにくくなった場合、シミュレーション用プロファイルを再作成する必要があります。

校正用プリンタで出力し、ターゲットとの色の差を確認する

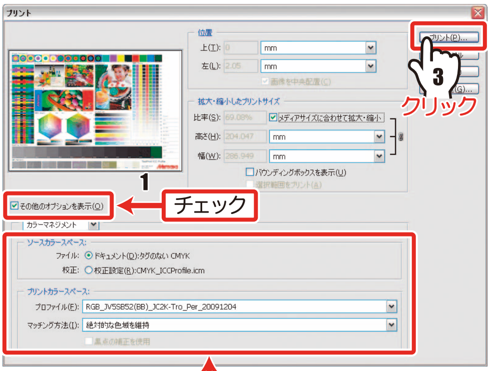
ミマキ製プリンタで出力したときの色をシミュレーションして、用紙に出力します。

Photoshop で出力するとき

Photoshop で、校正用プリンタに出力するときの手順を説明します。（Photoshop CS の例 ）

1. Photoshop を起動します。
2. [ファイル] → [開く] で印刷したい画像ファイルを選択します。
3. [ファイル] → [プリントプレビュー] をクリックします。
4. “その他のオプションを表示” をチェックします。
5. カラーマネジメントを以下のように設定し、**プリント** をクリックします。

ソースカラースペース	[ファイル :] をチェックします。	
プリントカラースペース	プロファイル	作成した校正用プリンタの ICC プロファイルを選択します。
	マッチング方法	絶対的な色域を維持



プリント

位置
上(T): 0 mm
左(L): 2.05 mm
☑ 画像を中央配置(C)

拡大・縮小したプリントサイズ
比率(S): 69.08% ☑ メディアサイズに合わせて拡大・縮小
高さ(H): 204.047 mm
幅(W): 286.949 mm
☐ バウンディングボックスを表示(U)
☐ 選択範囲をプリント(A)

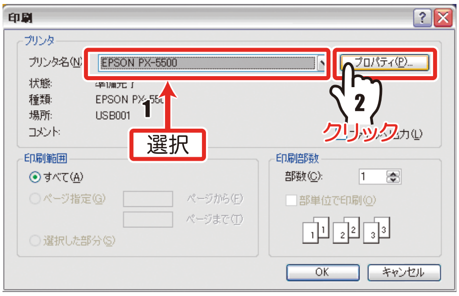
☑ その他のオプションを表示(O)
カラーマネジメント

ソースカラースペース:
ファイル: ● ドキュメント(D):タグのない CMYK
校正: ○ 校正設定(R):CMYK_ICCProfile.icm

プリントカラースペース:
プロファイル(F): RGB_JV5SB52(BB)_JC2K-Tro_Per_20091204
マッチング方法(I): 絶対的な色域を維持
☐ 黒点の補正を使用

6. “プリンタ名” に使用する校正用プリンタを選択し、**プロパティ** をクリックします。

選択したプリンタの設定画面が表示されます。



印刷

プリンタ
プリンタ名(N): EPSON PX-5500
状態: 準備完了
種類: EPSON PX-5500
場所: USB001
コメント:

印刷範囲
● すべて(A)
○ ページ指定(G) ページから(F) ページまで(T)
○ 選択した部分(S)

印刷部数
部数(C): 1
☐ 部単位で印刷(O)

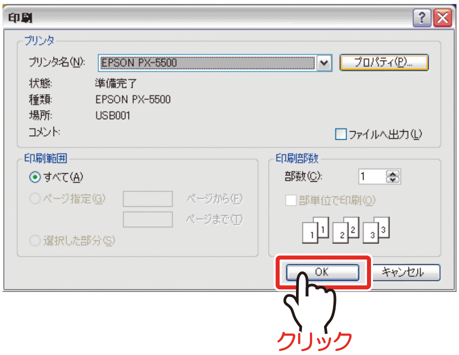
7 プリンタドライバのカラーマネジメントオプションをオフにします。

プリンタドライバの設定で、カラーマネジメントやカラー調整を設定する項目で、カラーマネジメントをオフ、またはカラー調整なしに設定してください。設定方法は、使用するプリンタの取扱説明書をご覧ください。

重 要!	♦ プリンタドライバのカラーマネジメントの設定をオフにしなかった場合、校正用プリンタでシミュレーションされる色が合わなくなってしまいます。

8 OK をクリックします。

画像が出力されます。



プリンタ名(N): EPSON PX-5500
状態: 準備完了
種類: EPSON PX-5500
場所: USB001
コメント:
□ファイルへ出力(L)
● すべて(A)
○ ページ指定(G)　ページから(F)　ページまで(T)
○ 選択した部分(S)
部数(C): 1
□部単位で印刷(O)

クリック

Illustrator で出力するとき

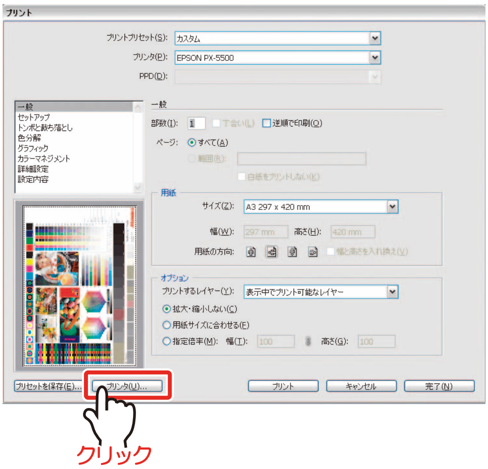
Illustrator で、校正用プリンタに出力するときの手順を説明します。（Illustrator CS2 の例 ）

1 Illustrator を起動します。

2 [ファイル] → [開く] で印刷したい画像ファイルを選択します。

3 [ファイル] → [プリント] をクリックします。

4 **プリンタ** をクリックします。

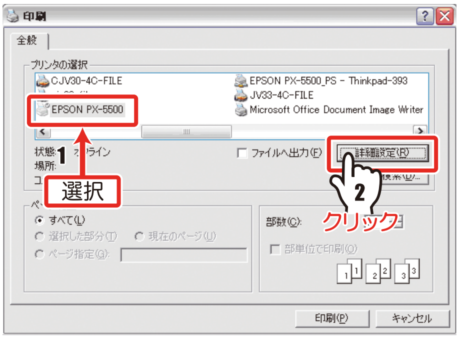


プリントプリセット(S): カスタム
プリンタ(P): EPSON PX-5500
PPD(D):
部数(I): 1
☐ 丁合い(L)　☐ 逆順で印刷(O)
ページ: ● すべて(A)　○ 範囲(R):
☐ 白紙をプリントしない(K)
サイズ(Z): A3 297 x 420 mm
幅(W): 297 mm　高さ(H): 420 mm
☐ 幅と高さを入れ換え(V)
プリントするレイヤー(Y): 表示中でプリント可能なレイヤー
● 拡大・縮小しない(C)
○ 用紙サイズに合わせる(F)
○ 指定倍率(M): 幅(T): 100　高さ(G): 100

プリント
一般
セットアップ
トンボと裁ち落とし
色分解
グラフィック
カラーマネジメント
詳細設定
設定内容
一般
用紙
用紙の方向:
オプション
プリセットを保存(E)...
プリンタ(U)...
プリント
キャンセル
完了(N)
クリック

5 “プリンタの選択” から使用する校正用プリンタを選択し、**詳細設定** をクリックします。

選択したプリンタの設定画面が表示されます。



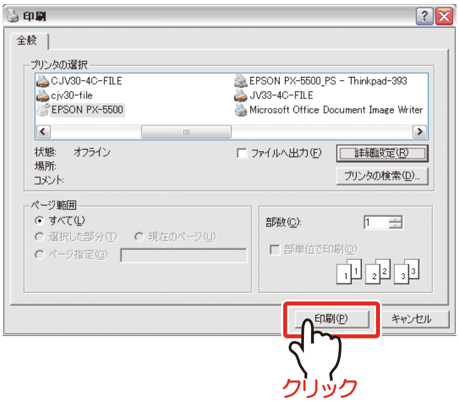
印刷
全般
プリンタの選択
CJV30-4C-FILE
EPSON PX-5500
EPSON PX-5500_PS - Thinkpad-393
JV33-4C-FILE
Microsoft Office Document Image Writer
状態:
場所:
☐ ファイルへ出力(F)
詳細設定(R)
1
選択
2
クリック
すべて(L)
選択した部分(T)
現在のページ(U)
ページ指定(G):
部数(C):
☐ 部単位で印刷(O)
印刷(P)
キャンセル

6 プリンタドライバのカラーマネジメントオプションをオフにします。

プリンタドライバの設定で、カラーマネジメントやカラー調整を設定する項目で、カラーマネジメントをオフ、またはカラー調整なしに設定してください。設定方法は、使用するプリンタの取扱説明書をご覧ください。

重 要 !	♦ プリンタドライバのカラーマネジメントの設定をオフにしなかった場合、校正用プリンタでシミュレーションされる色が合わなくなってしまいます。

7　**印刷** をクリックします。


印刷
全般
プリンタの選択
CJV30-4C-FILE
cjv30-file
EPSON PX-5500
EPSON PX-5500_PS - Thinkpad-393
JV33-4C-FILE
Microsoft Office Document Image Writer
□ ファイルへ出力(F)
詳細設定(R)
プリンタの検索(D)...
ページ範囲
選択した部分(T)
現在のページ(U)
ページ指定(G):
□ 部単位で印刷(O)
印刷(P)
キャンセル
クリック

状態:　オフライン
場所:
コメント:

● すべて(L)

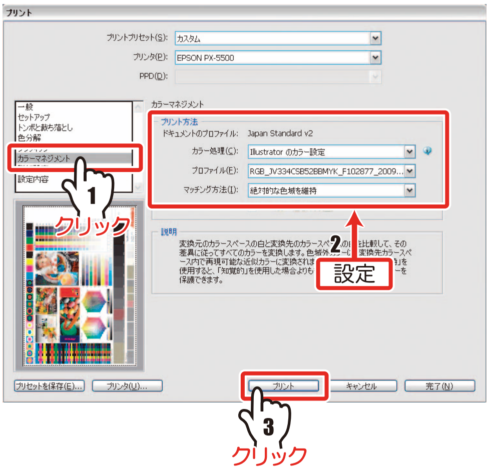
部数(C):　1

8　“カラーマネジメント”の“プリント方法”を以下のように設定します。

カラー処理	Illustrator のカラー設定
プロファイル	作成した校正用プリンタのICCプロファイルを選択
マッチング方法	絶対的な色域を維持

9　**プリント** をクリックします。

画像が出力されます。


プリント
一般
セットアップ
トンボと裁ち落とし
色分解
カラーマネジメント
設定内容
1
クリック
2
設定
説明
プリセットを保存(E)...
プリンタ(U)...
プリント
キャンセル
完了(N)
3
クリック

プリントプリセット(S):　カスタム
プリンタ(P):　EPSON PX-5500
PPD(D):

カラーマネジメント
プリント方法
ドキュメントのプロファイル:　Japan Standard v2
カラー処理(C):　Illustrator のカラー設定
プロファイル(F):　RGB_JV334CSB52BBMYK_F102877_2009...
マッチング方法(I):　絶対的な色域を維持

重 要！	♦ ミマキ製プリンタで出力した色が校正用プリンタで出力した色と合いにくくなった場合、シミュレーション用プロファイルを再作成する必要があります。

校正用プリンタで印刷する

色調整した画像ファイルを Photoshop ／ Illustrator で校正用プリンタに出力します。
出力した校正紙は色見本としてお使いになれます。

ミマキ製プリンタで印刷する

ミマキ製プリンタで出力し、クライアントに最終確認します。
色調整した画像ファイルを Raster Link シリーズでミマキ製プリンタに出力します。

10 章

その他の機能

MPM II を使用する際に役立つ機能について説明します。

MPM II の情報をバックアップする 10-2
バックアップ機能 10-2
バックアップファイルを MPM II に復元する 10-4
復元機能 10-4

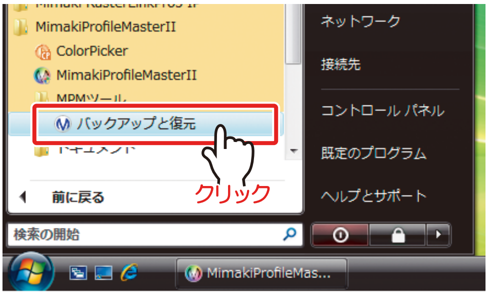
MPM II の情報をバックアップする

バックアップ機能

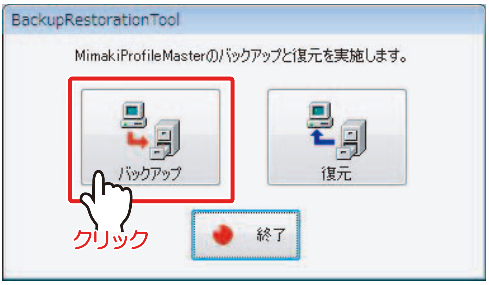
MPM II を再インストールする場合、登録したメディア名や中断ファイルなどの情報は消去されます。バックアップは、アンインストールする前に、メディア名や中断ファイルのデータを保存する機能です。
バックアップしたファイルは、復元機能 (☞ P.10-4) によって、再インストールした MPM II に読み込むことができます。

1 MPM II が終了していることを確認し、[バックアップと復元] を起動します。

(1) [スタート] メニューから [すべてのプログラム] を選ぶ
(2) [MimakiProfileMasterII]-[MPM ツール] を選ぶ
(3) [バックアップと復元] を選ぶ


MimakiProfileMasterII
ColorPicker
MimakiProfileMasterII
MPMツール
バックアップと復元
前に戻る
クリック
ネットワーク
接続先
コントロール パネル
既定のプログラム
ヘルプとサポート
検索の開始
MimakiProfileMas...

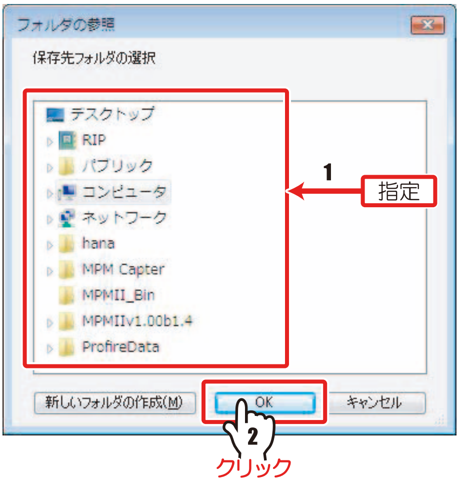
2 **バックアップ** をクリックします。


BackupRestorationTool
バックアップ
復元
終了
クリック

MimakiProfileMasterのバックアップと復元を実施します。

3 バックアップを保存する場所を指定します。

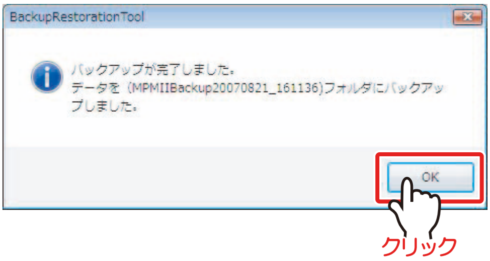
- ♦ フォルダを新規作成する場合は **新しいフォルダの作成** をクリックします。
- ♦ MPM II がインストールされているフォルダには、バックアップを保存しないでください。
同じフォルダに保存すると、MPM II を再インストールしたときにバックアップが削除されます。


フォルダの参照
保存先フォルダの選択
デスクトップ
RIP
パブリック
コンピュータ
ネットワーク
hana
MPM Capter
MPMII_Bin
MPMIIv1.00b1.4
ProfireData
1
指定
新しいフォルダの作成(M)
OK
キャンセル
2
クリック

4 OK をクリックします。

バックアップを開始します。

完了するとダイアログを表示します。


BackupRestorationTool
OK
クリック

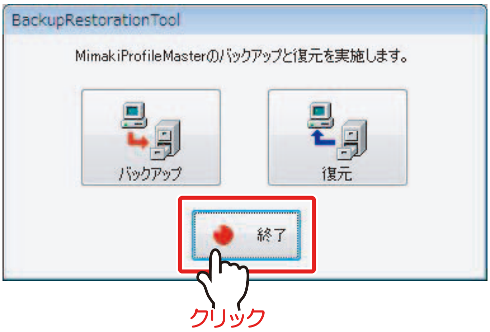
バックアップが完了しました。
データを（MPMIIBackup20070821_161136)フォルダにバックアップしました。

5 OK をクリックします。

指定した場所に、“MPM IIBackup YYYYMMDD_hhmmss” フォルダが作成されます。

6 終了 をクリックします。

BackupRestorationTool を閉じます。


BackupRestorationTool
バックアップ
復元
終了
クリック

MimakiProfileMasterのバックアップと復元を実施します。

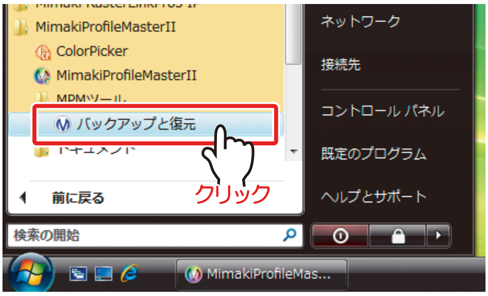
バックアップファイルを MPM Ⅱ に復元する

復元機能

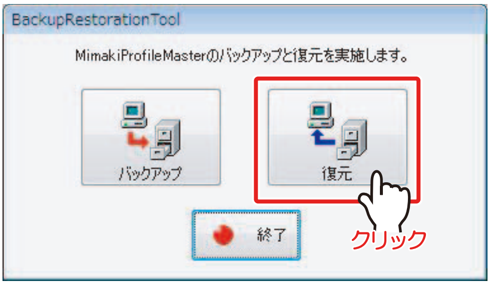
“復元” は、バックアップ機能（☞ P.10-2）でバックアップした情報を MPM Ⅱ へ復元する機能です。MPM Ⅱ を再インストールした際に使用します。

1 MPM Ⅱ が終了していることを確認し、[バックアップと復元] を起動します。

(1) [スタート] メニューから [すべてのプログラム] を選ぶ
(2) [MimakiProfileMasterII]-[MPM ツール] を選ぶ
(3) [バックアップと復元] を選ぶ

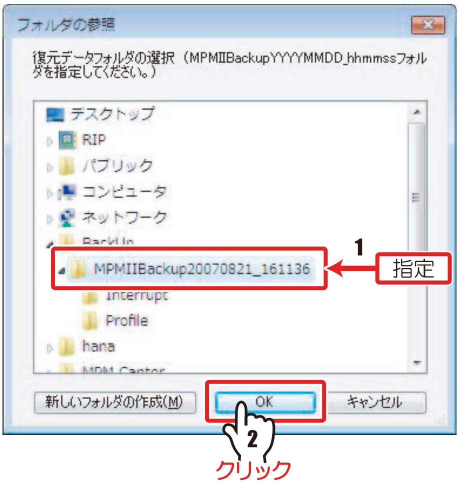

MimakiProfileMasterII
ColorPicker
MimakiProfileMasterII
MPMツール
バックアップと復元
ドキュメント
前に戻る
クリック
ネットワーク
接続先
コントロール パネル
既定のプログラム
ヘルプとサポート
検索の開始
MimakiProfileMas...

2 復元 をクリックします。


BackupRestorationTool

MimakiProfileMasterのバックアップと復元を実施します。
バックアップ
復元
終了
クリック

3 復元するバックアップフォルダ（“MPM IIBackupYYYYMMDD_hhmmss” フォルダ）を指定します。

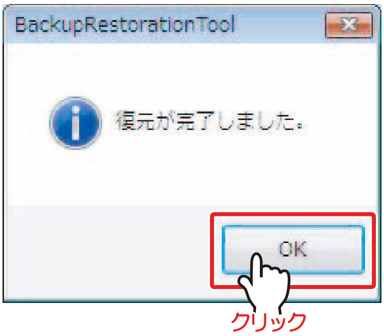

フォルダの参照

復元データフォルダの選択（MPMIIBackupYYYYMMDD_hhmmssフォルダを指定してください。）
デスクトップ
RIP
パブリック
コンピュータ
ネットワーク
BackUp
MPMIIBackup20070821_161136
Interrupt
Profile
hana
MPM Center
1
指定
新しいフォルダの作成(M)
OK
キャンセル
2
クリック

4 OK をクリックします。

復元を開始します。

復元が完了すると、右のダイアログを表示します。


BackupRestorationTool
OK

復元が完了しました。

クリック

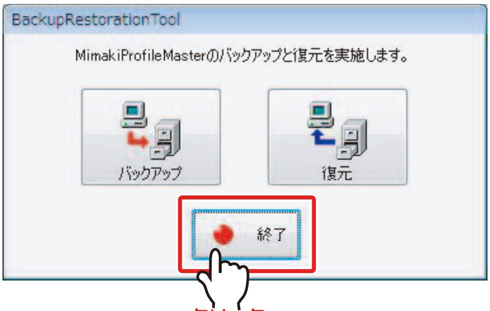
5 OK をクリックします。

復元が完了します。

重 要 !	◆ 指定したフォルダに必要な情報が入っていない場合、エラーメッセージを表示します。 この場合、再度手順 2 からやり直します。

6 終了 をクリックします。

BackupRestorationTool を閉じます。


BackupRestorationTool
バックアップ
復元
終了

MimakiProfileMasterのバックアップと復元を実施します。

クリック

付録

用語解説 ......付録 -2
測色時のご注意 ......付録 -5
　測色結果が異常な場合に起こりうる現象 ......付録 -5
　測色の途中で測色の異常を発見した場合 ......付録 -6
　測色結果ファイルの測色結果を確認する ......付録 -7
Windows7 で測色器をご利用の場合 ......付録 -9
　測色器のドライバを確認する ......付録 -9
　ドライバを更新する ......付録 -10
Eye-One iO のご使用について ......付録 -12
　Eye-One iO のドライバを確認する ......付録 -12
　ドライバを更新する ......付録 -14
出力時のキャリブレーションデータの扱いについて ......付録 -18
エラーメッセージについて ......付録 -19
　エラーメッセージと対処方法 ......付録 -19
　測色時のエラーと対処方法 ......付録 -21

用語解説

<table>
<tr><th>用　　語</th><th>説　　明</th></tr>
<tr><td>デバイスプロファイル</td><td>カラーマネジメントを行う際に使用するファイルです。プリンタなどのそれぞれのデバイスが持つ色空間の情報が書き込まれており、デバイスの色と、絶対的色空間との変換を行います。</td></tr>
<tr><td>入力プロファイル
ターゲットプロファイル</td><td>プリンタで出力した色を、本印刷を行う印刷機の色や、デザイナーの提示した色見本に合わせたいときに、印刷機やデザイナーの出力環境を ICC プロファイルにしたものです。</td></tr>
<tr><td>ICC</td><td>International Color Consotium の略称。カラーマネジメント技術の国際標準化を目的として設立された団体です。http://www.color.org/</td></tr>
<tr><td>ICC プロファイル</td><td>PhotoShop などのソフトで、カラーマネジメントをする際に使用するファイルです。ICC が定めたフォーマットに従って色変換情報がファイルに書き込まれています。ICC プロファイル作成アプリケーションを開発したメーカーによってデータの作成ポリシーが異なるため、出力結果に差異が生じることがあります。</td></tr>
<tr><td>カラースペース</td><td>本書では、ICC プロファイルが出力できる構成色を指します。MPM で取り扱うことのできるICCプロファイルは、カラースペースがCMYKのものです。</td></tr>
<tr><td>墨版</td><td>K インクを指します。</td></tr>
<tr><td>カラーマッチング</td><td>RIP やプリントドライバの内部処理で、出力装置で良好な仕上がりになるように、入力画像のデータを変換することです。</td></tr>
<tr><td>ガマット
ガモット
Gamut</td><td>色再現範囲を指します。
主に Lab や XYZ の座標系で表現します。
正式には、デバイスの再現できる最高 / 最低明度、最高 / 最低彩度、全色相について結んだ立体を指しますが、簡単に比較するため、明度情報をなくした投影平面で見ることが多いです。
平面上では、Gamut の内部にあるように見える色も、立体で見たときに Gamut の外部になることがあり、このような色は再現できません。</td></tr>
<tr><td>色差
(ΔE, ΔE94, ΔE2000)</td><td>色の違いを表します。ΔE(デルタ・イー) と書きます。
一般には、Lab 空間を用いて、その空間内の 2 色の距離のことを色差と言います。ΔE が大きいほど色差が大きくなります。
ΔE94、ΔE2000 は、人の目の色識別域との形状、大きさの違いにより生じる目視評価と ΔE の数値との違いの問題を考慮した色差を算出します。人の目の評価に近似するように計算式を定義しています。
<table>
<tr><th>色差</th><th>適用範囲</th></tr>
<tr><td>～ 0.2</td><td>測色誤差範囲。測色的にも同じ色とみなせるレベル</td></tr>
<tr><td>0.3</td><td>同一色として認識できるレベル</td></tr>
<tr><td>0.6</td><td>実用的な色差として許容できる限界のレベル</td></tr>
<tr><td>1.2</td><td>並べて観察時に同一色と認識できるレベル</td></tr>
<tr><td>2.5</td><td>離れて観察時に同一色と認識できるレベル</td></tr>
<tr><td>5.0</td><td>別々に観察時に同一色と認識できるレベル</td></tr>
</table></td></tr>
<tr><td>純色</td><td>ある色の構成に不要な色が混ざっていない色を指します。
たとえば、赤は RGB でいえば Red のみ、CMYK でいえば、M+Y のみで構成されている色を純色と言います。</td></tr>
<tr><td>色相</td><td>赤、青、緑…といった、色みを表します。
赤～橙～黄～緑～青～青紫～赤紫～赤というように、色相は 1 周するので、円として表現されます。(色相環と呼びます。)</td></tr>
</table>

用語	説明
明度	印刷物の明るさを指します。 明度を上げると明るくなり、最も高くすると白になります。逆に明度を下げると、暗くなり、最も低くすると黒になります。カラーを明度情報だけにすると、グレースケールの画像になります。
彩度	色の鮮やかさを指します。 彩度を上げるとカラフル (ビビッド) な色になり、彩度を下げるとカラーのない白黒になります。白、グレー、黒は彩度が 0(無彩色) です。
濃度	色の濃さを指します。濃さは、明度と彩度の変化によって引き起こされるため、色によって濃さの感じ方が異なります。たとえば、赤や緑は、やや暗めのほうが濃さを感じますが、黄色は、明るいほうが濃さを感じます。
レンダリングインテント	ICC プロファイルで規定されているカラーマッチングの手法です。 ICC プロファイルでは、以下の 4 つが規定されています。 ガマット外の色をどの色に置き換えるかは、それぞれ異なります。 ・知覚的、写真的 (Perceptual) ガマット外の色は、色相を変更せず、明度、彩度を変更して近似色に置き換えられます。ガマット内の色も、階調性良く再現するように、全体が調整されます。 ・彩度、イラスト (Saturation) ガマット外の色は、色相と彩度をできるだけ維持し、明度を変更して近似色に置き換えられます。置き換えられる色は暗くなる（濃くなる）傾向にあり、ガマット外の異なる色が同じ色に変換されることもあります。 ・相対的な色域 (Relative Colorimetric) ガマット外の色は、色相と明度を維持し、彩度を変更して、近似色に置き換えられます。ガマット外の異なる色が同じ色になることもありますが、比較的階調性が維持されます。 ガマット内の色は、忠実な色再現をするため、プルーフ用途向きです。 ・絶対的な色域 (Absolute Colorimetric) 相対的な色域と同じ処理をします。ただし、入力プロファイルの持つ白色点が有彩色の場合、（新聞や、白色度の低い紙など）、その色を忠実に再現します。画像の白色が保持されないため、紙色まで忠実に再現するプルーフ用途以外では使用しません。
グレーバランス	理論的なグレーは CMY 同量で構成されますが、実際のインク成分が理想の色相とは違うため、理想のグレーを再現するために、インク量を調整することです。
UCR	Under Color Removal(下色除去) のことです。印刷適正改善のために考え出された技術です。CMYK インクの総インク量を抑えるために、CMY のグレー部分を K インクで置き換えます。
GCR	Gray Component Replacement(グレー成分置換) のことです。製版適正改善のために考え出された技術です。CMY で構成される色のうち、グレー成分の全てを墨インクで置換し、全ての色を 3 色 (K インクと、CMY インクのうちの 2 色) で表します。
1 次色	4 色インクセット (CMYK) の場合　　：C/M/Y/K 6 色インクセット (CMYKLcLm) の場合 ：C+Lc/M+Lm/Y/K
2 次色	4 色インクセット (CMYK) の場合： Red(M+Y)/Green(C+Y)/Blue(C+M)/K+C/K+M/K+Y 6 色インクセット (CMYKLcLm) の場合： Red(M+Lm+Y)/Green(C+Lc+Y)/Blue(C+Lc+M+Lm)/K+C+Lc/K+M+Lm/K+Y

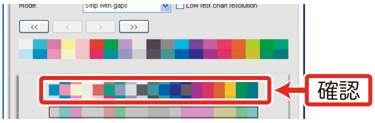
用　　語	説　　明
３次色	４色インクセット (CMYK) の場合 ：CMY/CMK/CYK/MYK ６色インクセット (CMYKLcLm) の場合： C+Lc+M+Lm+Y/C+Lc+M+Lm+K/C+Lc+Y+K/M+Lm+Y+K
４次色	４色インクセット (CMYK) の場合 ：CMYK ６色インクセット (CMYKLcLm) の場合 ：C+Lc+M+Lm+Y+K
スポットカラー	名前が付けられている色を差します。 主に、Illustrator のスウォッチライブラリを使用した色指定を差し、Raster Link シリーズの色置換で色置換をする色 (場所) を示す目印などに使用されます。

測色時のご注意

測色の操作によって、測色結果が異常値になってしまうことがあります。MPMII は、測色値をもとに自動調整を行います（リニアライゼーションの自動調整、グレーバランスの自動調整、色差の確認、色相の調整など）。測色結果に異常があると正しい結果が得られません。特に手動で測色する i1 Pro で異常が発生しやすくなります。

重要！

- ♦ MeasureTool5.0 の画面上では、測色の進捗に合わせて測色済みパッチの色が濃い色で表示されます。
- ♦ 測色の途中で、濃い色で表示されているパッチの色と実際に測色しているチャートを見比べて、間違っていないか確認するようにお願いします。（右の図の場合、2 行目の測色が 1 つずつずれてしまっています。）


Mode: Strip with gaps
☐ Low test chart resolution

測色結果が異常な場合に起こりうる現象

要素	異常な測色地での調整結果
リニアライゼーションの自動調整	［カーブ調整］をクリックしカーブを表示すると、大きくうねっている色があります。
グレーバランスの自動調整	
基準設定	キャリブレーションの調整の際、最初に行う「現在の状態の測色」で、色差の値が色によって大きくばらつきます。 また、キャリブレーションの各要素が、下に挙げるような状態になりキャリブレーションが正しく行われません。
色相の調整	インクリミットの値が色によって大きく異なります。 特に 90% を下回る値が表示されたときは、測色結果をご確認ください。
色差の確認	色差の値が、色によって大きくばらつきます。

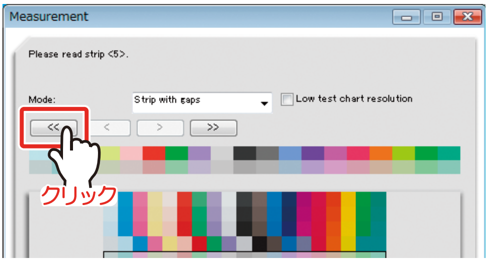
重要！

- ♦ 基準設定では、必ず測色結果に異常がないことを確認してから、測色を終了してください。基準設定の測色結果に異常があると、キャリブレーションの調整が正しく行われません。

測色の途中で測色の異常を発見した場合

測色の途中であれば、測色し直すことが可能です。
i1 Pro の手順を例として説明します。

1 測色画面の << をクリックし､測色異常があるラインまで戻ります。


Measurement
<<
<
>
>>
クリック

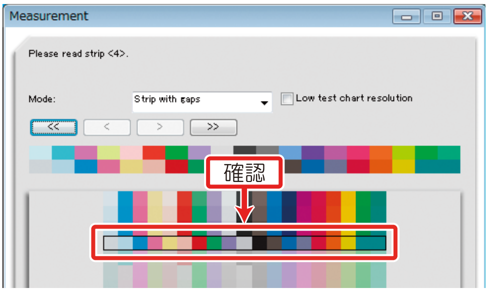
Please read strip <5>.

Mode: Strip with gaps

☐ Low test chart resolution

2 異常のあるラインを再び測色します。

ライン全体がずれている場合
左端の何も印刷されていない部分で i1 Pro のボタンを押しながら静止する時間を長めにとってからスライドさせてください。

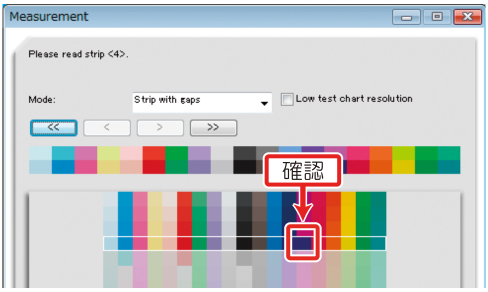

Measurement
<<
<
>
>>
確認

Please read strip <4>.

Mode: Strip with gaps

☐ Low test chart resolution

途中のパッチの色が異常な場合
i1 Pro をスライドさせる速度を遅くしてください。


Measurement
<<
<
>
>>
確認

Please read strip <4>.

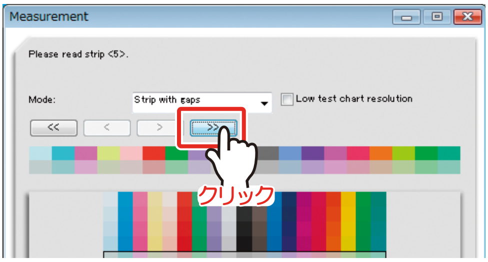
Mode: Strip with gaps

☐ Low test chart resolution

3 正しく測色できるまで、手順１～２を繰り返します。

4 >> をクリックして、測色の続きのラインまで進めます。

その後、測色を続けてください。


Measurement
<<
<
>
>>
クリック

Please read strip <5>.

Mode: Strip with gaps

☐ Low test chart resolution

測色結果ファイルの測色結果を確認する

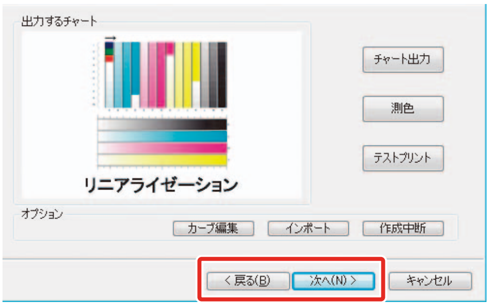
調整結果に異常が発生し、異常な測色結果の可能性がある場合に測色結果ファイルの測色結果を確認する手順を説明します。

1 測色 をクリックできる状態へ画面を移行させます。

現在行っている操作によって、測色 を表示させる手順が異なります。

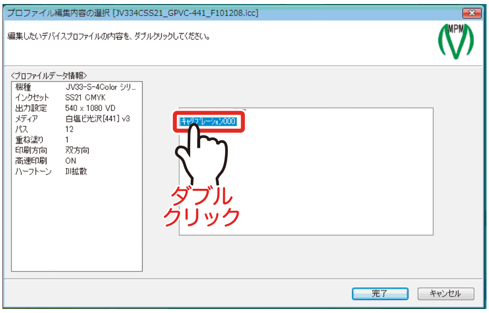
デバイスプロファイル作成ウィザード、キャリブレーションウィザード、イコライゼーションウィザードのいずれかを行っている場合

戻る または 次へ をクリックして、測色 がある画面を表示します。


出力するチャート
リニアライゼーション
チャート出力
測色
テストプリント
オプション
カーブ編集
インポート
作成中断
< 戻る(B)
次へ(N) >
キャンセル

デバイスプロファイルを編集している場合

キャリブレーションデータの項目をダブルクリックします。


プロファイル編集内容の選択 [JV334CSS21_GPVC-441_F101208.icc]

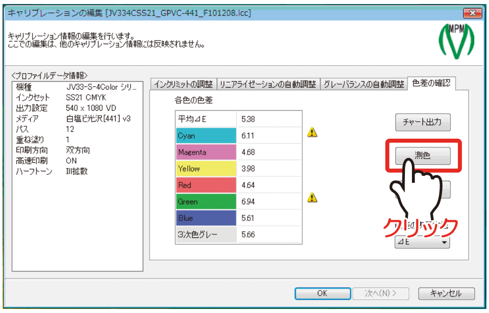
編集したいデバイスプロファイルの内容を、ダブルクリックしてください。

<プロファイルデータ情報>

機種	JV33-S-4Color シリ...
インクセット	SS21 CMYK
出力設定	540 x 1080 VD
メディア	白塩ビ光沢[441] v3
パス	12
重ね塗り	1
印刷方向	双方向
高速印刷	ON
ハーフトーン	III拡散

MPM
キャリブレーション000
ダブル
クリック
完了
キャンセル

2 測色 をクリックします。


キャリブレーションの編集 [JV334CSS21_GPVC-441_F101208.icc]

キャリブレーション情報の編集を行います。
ここでの編集は、他のキャリブレーション情報には反映されません。

<プロファイルデータ情報>

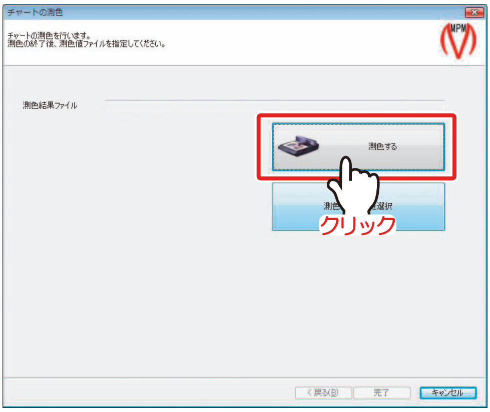
機種	JV33-S-4Color シリ...
インクセット	SS21 CMYK
出力設定	540 x 1080 VD
メディア	白塩ビ光沢[441] v3
パス	12
重ね塗り	1
印刷方向	双方向
高速印刷	ON
ハーフトーン	III拡散

各色の色差

平均⊿E	5.38
Cyan	6.11
Magenta	4.68
Yellow	3.98
Red	4.64
Green	6.94
Blue	5.61
3次色グレー	5.66

MPM
インクリミットの調整
リニアライゼーションの自動調整
グレーバランスの自動調整
色差の確認
チャート出力
測色
クリック
⊿E
OK
次へ(N) >
キャンセル

③ 測色する をクリックします。

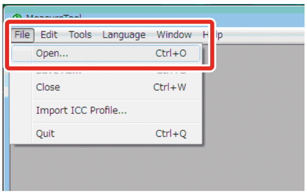

チャートの測色
MPM
測色結果ファイル
測色する
測色　　選択
クリック
< 戻る(B)
完了
キャンセル

チャートの測色を行います。
測色の終了後、測色値ファイルを指定してください。

④ MeasureTool5.0 が起動します。

Measure Tool is a Part of the Solution Package
PANTONE Digital Color
CxF
Lab
RGB
CMYK
n-Color
MeasureTool 5.0
ProfileMaker 5.0
PROFESSIONAL

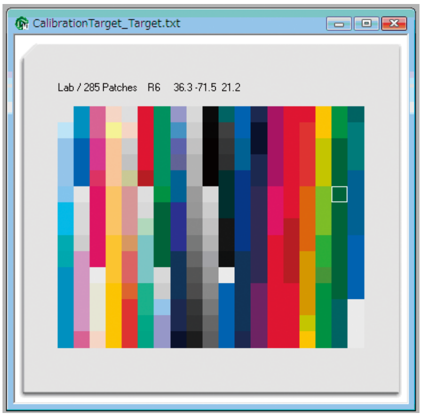
⑤ [File] → [Open] で、測色結果ファイルを選択します。


File
Edit
Tools
Language
Window
Open...
Ctrl+O
Close
Ctrl+W
Import ICC Profile...
Quit
Ctrl+Q

⑥ 測色結果のプレビューが表示されます。

測色したチャートとプレビューを見比べて、測色に異常がないか確認します。

異常な測色結果がある場合は、測色をやり直してください。


CalibrationTarget_Target.txt

Lab / 285 Patches　R6　36.3 -71.5 21.2

Windows7 で測色器をご利用の場合

Windows7 では、PC に測色器を接続したときにドライバのインストールに失敗する場合があります。この場合、ドライバの更新が必要になります。

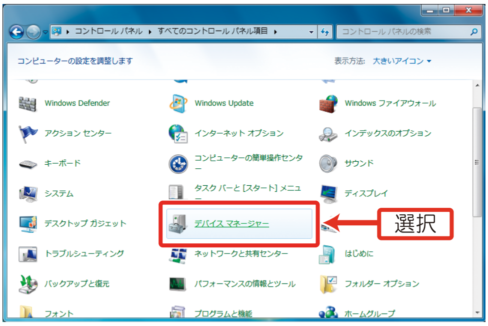
(1) 最初に、“測色器のドライバを確認する”を参照してドライバが正常にインストールされているかを確認します。
(2) ドライバの更新が必要な場合、“ドライバを更新する”を参照してドライバを更新してください。

測色器のドライバを確認する

1 測色器を PC に接続します。

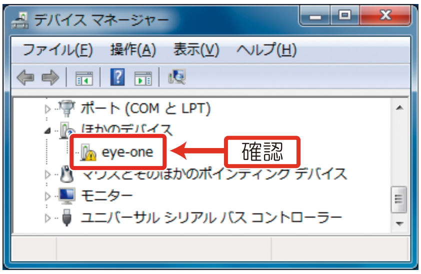
2 [スタート] → [コントロールパネル] をクリックします。

3 デバイスマネージャーを開きます。


コントロール パネル ▸ すべてのコントロール パネル項目 ▸
コントロール パネルの検索
コンピューターの設定を調整します
表示方法: 大きいアイコン ▾
Windows Defender
Windows Update
Windows ファイアウォール
アクション センター
インターネット オプション
インデックスのオプション
キーボード
コンピューターの簡単操作センター
サウンド
システム
タスク バーと [スタート] メニュー
ディスプレイ
デスクトップ ガジェット
デバイス マネージャー
選択
トラブルシューティング
ネットワークと共有センター
はじめに
バックアップと復元
パフォーマンスの情報とツール
フォルダー オプション
フォント
プログラムと機能
ホームグループ

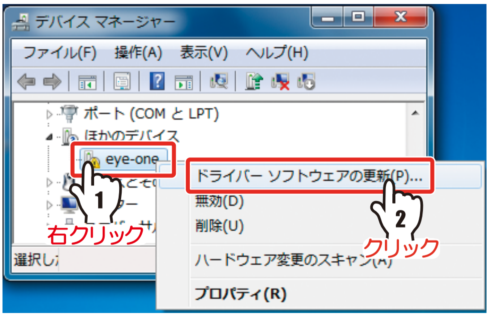
4 更新の必要があるかを確認します。

右のような接続している測色器の名前の隣に“⚠マーク”がある場合、更新が必要です。

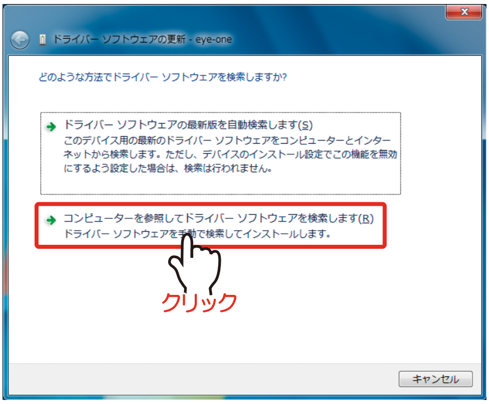

デバイス マネージャー
ファイル(F)
操作(A)
表示(V)
ヘルプ(H)
ポート (COM と LPT)
ほかのデバイス
eye-one
確認
マウスとそのほかのポインティング デバイス
モニター
ユニバーサル シリアル バス コントローラー

ドライバを更新する

1. 更新する測色器を選択し、右クリックでショートカットメニューを表示させ、“ドライバーソフトウエアの更新” をクリックします。


デバイス マネージャー
ファイル(F)
操作(A)
表示(V)
ヘルプ(H)
ポート (COM と LPT)
ほかのデバイス
eye-one
選択し
1
右クリック
ドライバー ソフトウェアの更新(P)...
無効(D)
削除(U)
ハードウェア変更のスキャン(A)
プロパティ(R)
2
クリック

2. “コンピューターを参照してドライバーソフトウエアを更新します” をクリックする。


ドライバー ソフトウェアの更新 - eye-one

どのような方法でドライバー ソフトウェアを検索しますか?

ドライバー ソフトウェアの最新版を自動検索します(S)
このデバイス用の最新のドライバー ソフトウェアをコンピューターとインターネットから検索します。ただし、デバイスのインストール設定でこの機能を無効にするよう設定した場合は、検索は行われません。

コンピューターを参照してドライバー ソフトウェアを検索します(R)
ドライバー ソフトウェアを手動で検索してインストールします。

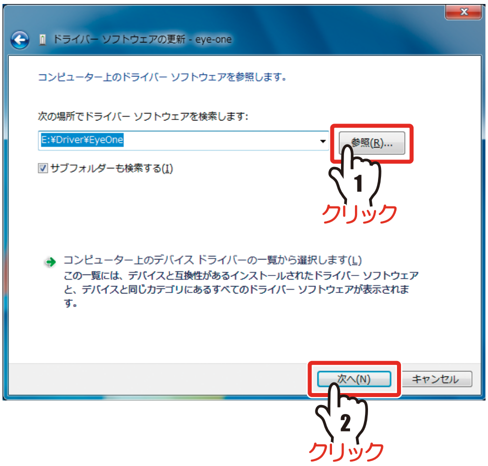
3. MimakiProfileMasterIIのインストールCDをCDドライブにセットします。

4 **参照** をクリックし、次の場所を指定します。

[CD ドライブ]:¥Driver¥EyeOne

5 **次へ** をクリックします。

ドライバーソフトウエアをインストールします。



ドライバー ソフトウェアの更新 - eye-one

コンピューター上のドライバー ソフトウェアを参照します。

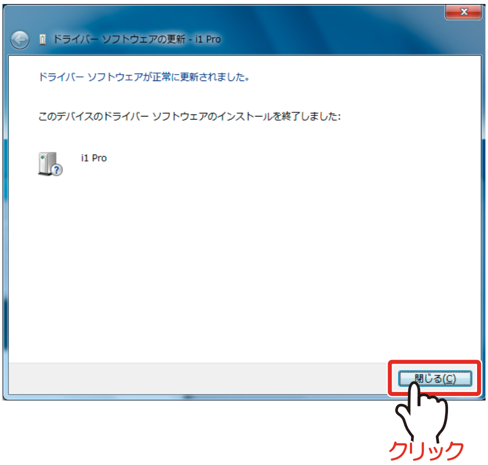
次の場所でドライバー ソフトウェアを検索します:

E:¥Driver¥EyeOne

☑ サブフォルダーも検索する(I)

コンピューター上のデバイス ドライバーの一覧から選択します(L)
この一覧には、デバイスと互換性があるインストールされたドライバー ソフトウェアと、デバイスと同じカテゴリにあるすべてのドライバー ソフトウェアが表示されます。

6 **閉じる** をクリックします。



ドライバー ソフトウェアの更新 - i1 Pro

ドライバー ソフトウェアが正常に更新されました。

このデバイスのドライバー ソフトウェアのインストールを終了しました:

i1 Pro

Eye-One iO のご使用について

使用する測色器が Eye-One iO の場合、ドライバの更新が必要な場合があります。

(1) 最初に、付録 -12 ページの「Eye-One iO のドライバを確認する」を参照してドライバの確認をします。
・ドライバの更新が不要な場合は、そのままの状態でお使いになれます。

(2) ドライバの更新が必要な場合、既存のEye-One iOのドライバをアンインストールします。

(3) 新しいドライバをインストールします。

重 要 !	♦ ドライバを更新した場合、MimakiProfileMaster 以外のソフトウェアで Eye-One iO が使用できなくなることがあります。その場合、そのソフトウェアの販売元へ、お使いのソフトウェアが Eye-One iO の新しいドライバに対応しているかをご確認ください。

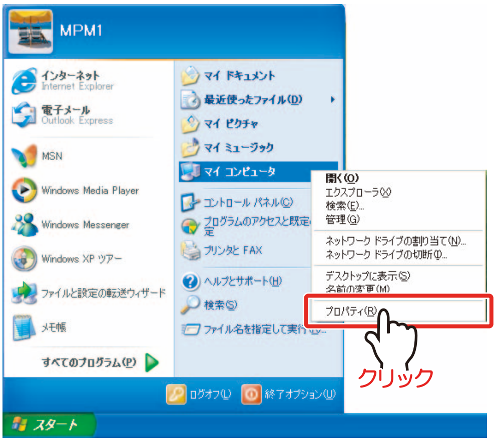
Eye-One iO のドライバを確認する

1 Eye-One iO の電源を入れて、パソコンに接続します。

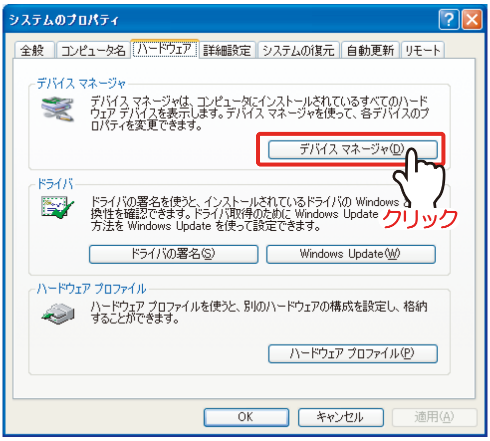
2 デバイスマネージャを開きます。

WindowsXP の場合、以下のようにして開きます。

1 [スタート] ボタンを押し、[マイコンピュータ] アイコンを右クリックします。表示されたメニューから [プロパティ] をクリックします。


MPM1
インターネット
Internet Explorer
電子メール
Outlook Express
MSN
Windows Media Player
Windows Messenger
Windows XP ツアー
ファイルと設定の転送ウィザード
メモ帳
すべてのプログラム(P)
マイ ドキュメント
最近使ったファイル(D)
マイ ピクチャ
マイ ミュージック
マイ コンピュータ
コントロール パネル(C)
プログラムのアクセスと既定
プリンタと FAX
ヘルプとサポート(H)
検索(S)
ファイル名を指定して実行
開く(O)
エクスプローラ(X)
検索(E)...
管理(G)
ネットワーク ドライブの割り当て(N)...
ネットワーク ドライブの切断(I)...
デスクトップに表示(S)
名前の変更(M)
プロパティ(R)
クリック
ログオフ(L)
終了オプション(U)
スタート

2 「システムのプロパティ」画面が表示されるので、[ハードウェア]タブをクリックします。**デバイスマネージャ** をクリックします。


システムのプロパティ
全般
コンピュータ名
ハードウェア
詳細設定
システムの復元
自動更新
リモート
デバイス マネージャ
デバイス マネージャ(D)
ドライバ
ドライバの署名(S)
Windows Update(W)
ハードウェア プロファイル
ハードウェア プロファイル(P)
OK
キャンセル
適用(A)
クリック

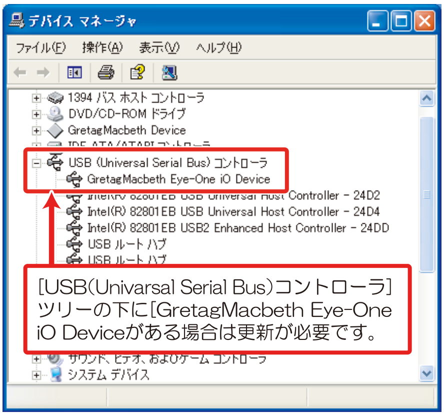
デバイス マネージャは、コンピュータにインストールされているすべてのハードウェア デバイスを表示します。デバイス マネージャを使って、各デバイスのプロパティを変更できます。

ドライバの署名を使うと、インストールされているドライバの Windows
換性を確認できます。ドライバ取得のために Windows Update
方法を Windows Update を使って設定できます。

ハードウェア プロファイルを使うと、別のハードウェアの構成を設定し、格納することができます。

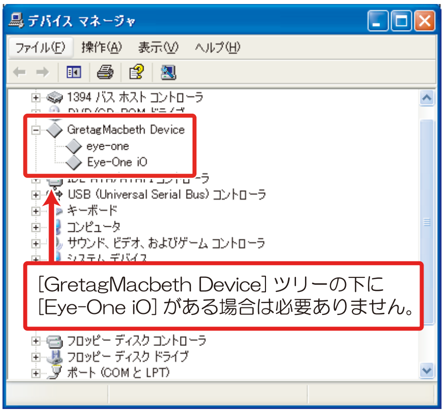
3 更新の必要があるか確認します。

下のような表示なら、更新が必要です。


デバイス マネージャ
ファイル(F)
操作(A)
表示(V)
ヘルプ(H)
1394 バス ホスト コントローラ
DVD/CD-ROM ドライブ
GretagMacbeth Device
USB (Universal Serial Bus) コントローラ
GretagMacbeth Eye-One iO Device
Intel(R) 82801EB USB Universal Host Controller - 24D4
Intel(R) 82801EB USB2 Enhanced Host Controller - 24DD
USB ルート ハブ
サウンド、ビデオ、およびゲーム コントローラ
システム デバイス

[USB(Univarsal Serial Bus)コントローラ]ツリーの下に[GretagMacbeth Eye-One iO Deviceがある場合は更新が必要です。

下のような表示なら、更新は不要です。


デバイス マネージャ
ファイル(F)
操作(A)
表示(V)
ヘルプ(H)
1394 バス ホスト コントローラ
GretagMacbeth Device
eye-one
Eye-One iO
USB (Universal Serial Bus) コントローラ
キーボード
コンピュータ
サウンド、ビデオ、およびゲーム コントローラ
フロッピー ディスク コントローラ
フロッピー ディスク ドライブ
ポート (COM と LPT)

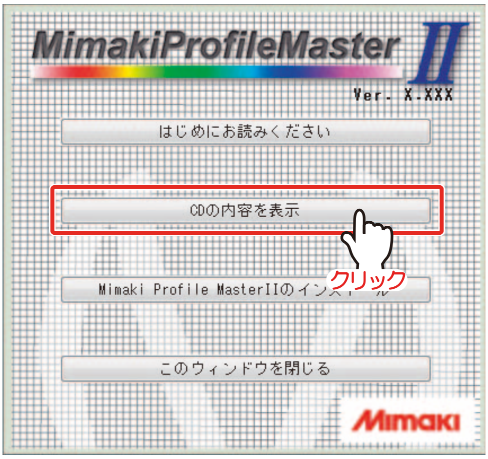
[GretagMacbeth Device] ツリーの下に[Eye-One iO] がある場合は必要ありません。

ドライバを更新する

既存の Eye-One iO のドライバをアンインストールする

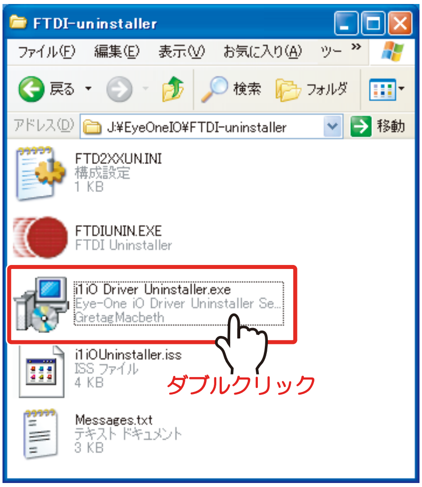
1. パソコンから Eye-One iO を外します。

2. MimakiProfileMaster II のインストール CD を挿入し、「CD の内容を表示」 をクリックします。


MimakiProfileMaster II
Ver. X.XXX
はじめにお読みください
CDの内容を表示
クリック
Mimaki Profile MasterIIのインストール
このウィンドウを閉じる
Mimaki

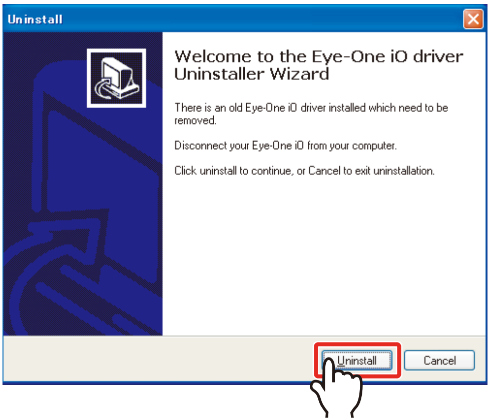
3. [EyeOneIO]- [FTDI-uninstaller] フォルダを開きます。

“i1iO Driver Uninstaller.exe” をダブルクリックします。


FTDI-uninstaller
ファイル(F)
編集(E)
表示(V)
お気に入り(A)
ツー
戻る
検索
フォルダ
アドレス(D)
J:¥EyeOneIO¥FTDI-uninstaller
移動
FTD2XXUN.INI
構成設定
1 KB
FTDIUNIN.EXE
FTDI Uninstaller
i1iO Driver Uninstaller.exe
Eye-One iO Driver Uninstaller Se...
GretagMacbeth
i1iOUninstaller.iss
ISS ファイル
4 KB
Messages.txt
テキスト ドキュメント
3 KB
ダブルクリック

4 Eye-One iO のドライバのアンインストーラが起動します。

Uninstall をクリックします。



Uninstall

Welcome to the Eye-One iO driver Uninstaller Wizard

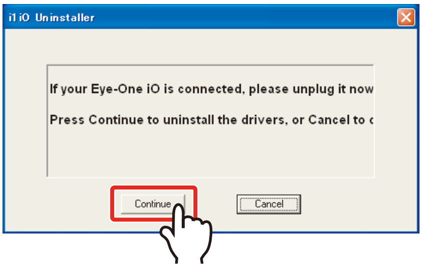
There is an old Eye-One iO driver installed which need to be removed.

Disconnect your Eye-One iO from your computer.

Click uninstall to continue, or Cancel to exit uninstallation.

クリック

5 右のダイアログが表示されたら、Continue をクリックします。



i1 iO Uninstaller

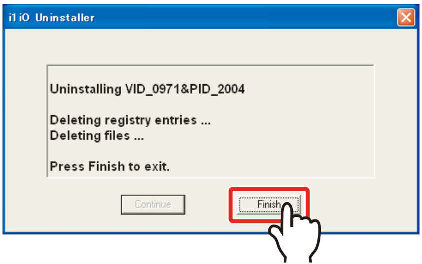
If your Eye-One iO is connected, please unplug it now

Press Continue to uninstall the drivers, or Cancel to c

クリック

6 Finish が表示されたら、ボタンをクリックします。

アンインストールが終了しました。



i1 iO Uninstaller

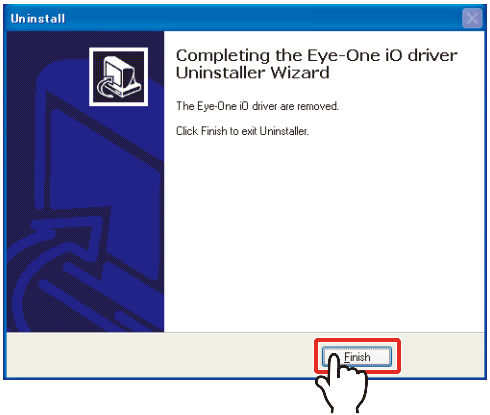
Uninstalling VID_0971&PID_2004

Deleting registry entries ...
Deleting files ...

Press Finish to exit.

クリック

7 Finish をクリックして、画面を閉じます。



Uninstall

Completing the Eye-One iO driver Uninstaller Wizard

The Eye-One iO driver are removed.

Click Finish to exit Uninstaller.

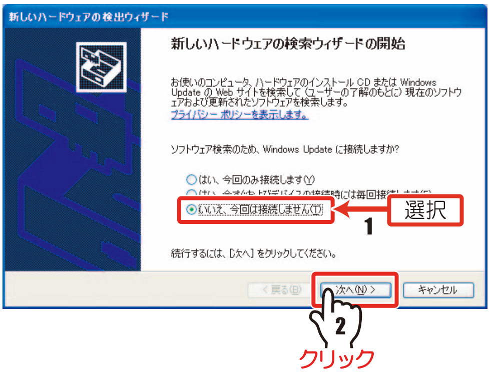
クリック

新しいドライバをインストールする

1 Eye-One iO の電源を入れ、パソコンに接続します。

「新しいハードウェアの検出ウィザード」画面が表示されます。 次へ をクリックします。

WindowsXP SP2 の場合、[いいえ、今回は接続しません] を選択してから 次へ をクリックします。



新しいハードウェアの検出ウィザード

新しいハードウェアの検索ウィザードの開始

お使いのコンピュータ、ハードウェアのインストール CD または Windows Update の Web サイトを検索して (ユーザーの了解のもとに) 現在のソフトウェアおよび更新されたソフトウェアを検索します。

プライバシー ポリシーを表示します。

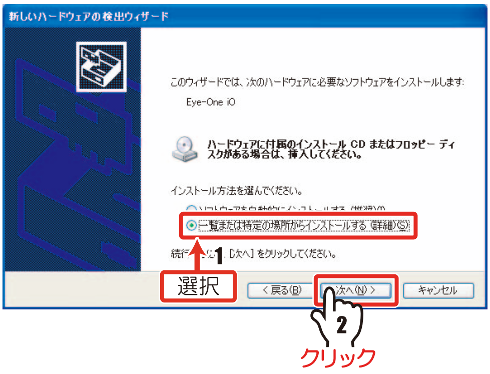
ソフトウェア検索のため、Windows Update に接続しますか?

○ はい、今回のみ接続します(Y)

● いいえ、今回は接続しません(T)

続行するには、[次へ] をクリックしてください。

2 [一覧または特定の場所からインストールする] を選択して、次へ をクリックします。



新しいハードウェアの検出ウィザード

このウィザードでは、次のハードウェアに必要なソフトウェアをインストールします:

Eye-One iO

ハードウェアに付属のインストール CD またはフロッピー ディスクがある場合は、挿入してください。

インストール方法を選んでください。

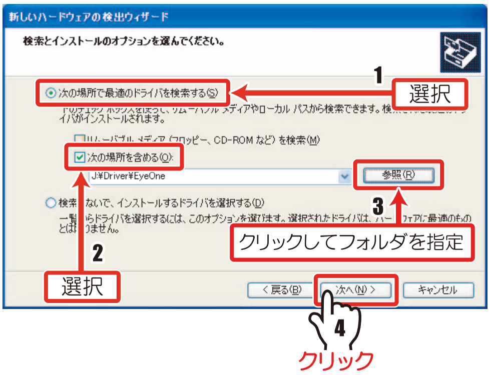
● 一覧または特定の場所からインストールする (詳細)(S)

3 [次の場所で最適のドライバを検索する] を選択します。

4 [次の場所を含める] を選択します。

5 参照 をクリックし、次のフォルダを指定します。

[CD ドライブ]Driver¥EyeOne



新しいハードウェアの検出ウィザード

検索とインストールのオプションを選んでください。

● 次の場所で最適のドライバを検索する(S)

☑ 次の場所を含める(O):

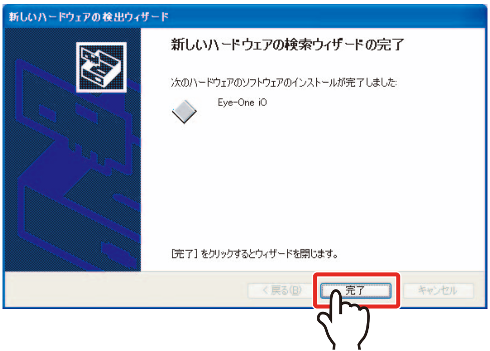
J:¥Driver¥EyeOne

○ 検索しないで、インストールするドライバを選択する(D)

6 次へ をクリックします。

7 ドライバのインストールが終了します。

完了 をクリックして、画面を閉じます。



新しいハードウェアの検出ウィザード

新しいハードウェアの検索ウィザードの完了

次のハードウェアのソフトウェアのインストールが完了しました:

Eye-One iO

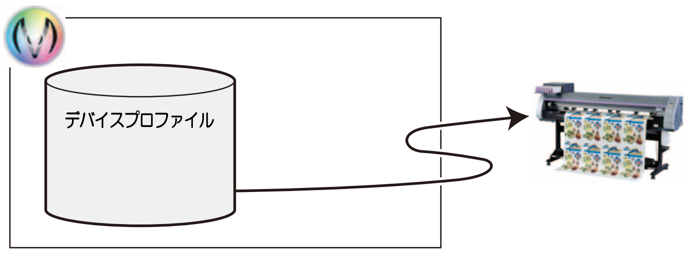
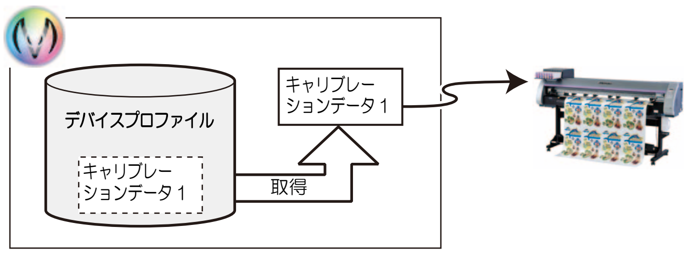
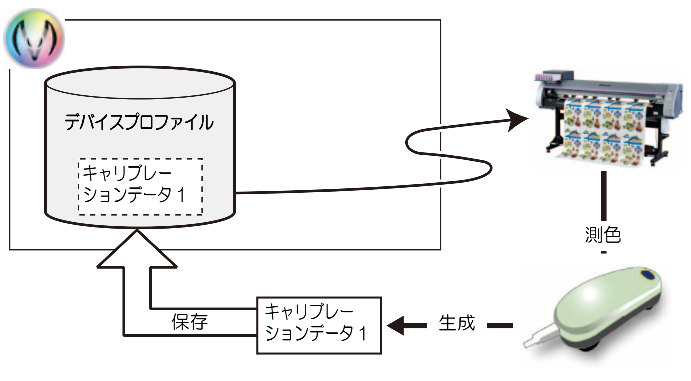
[完了] をクリックするとウィザードを閉じます。

クリック

出力時のキャリブレーションデータの扱いについて

- キャリブレーションデータを生成する場合、デバイスプロファイルだけで色変換した状態のチャートを測色します。
- MPMII で出力した場合、デバイスプロファイルやキャリブレーションデータを以下のように使用します。

重 要！	♦ 既存のキャリブレーションデータを使用して、新しいキャリブレーションデータを生成することはできません。

出力方法	出力の概念図
通常の出力 デバイスプロファイルだけで色変換を行います。	 デバイスプロファイル
キャリブレーションデータを使用した出力 デバイスプロファイルからキャリブレーションデータを取得します。キャリブレーションデータでデバイスプロファイルを補正して色変換します。	 デバイスプロファイル キャリブレーションデータ１ 取得 キャリブレーションデータ１
キャリブレーションデータ生成時の出力 キャリブレーション機能・イコライゼーション機能では、デバイスプロファイルだけで色変換します。測色し、キャリブレーションデータを生成します。 キャリブレーションデータは、デバイスプロファイル内部に保存されます。	 デバイスプロファイル キャリブレーションデータ１ 測色 生成 キャリブレーションデータ１ 保存

エラーメッセージについて

エラーメッセージと対処方法

エラーメッセージを表示したときの対処方法を紹介します。

エラーメッセージ	表示条件	対処方法
ライセンスがありません。	起動	• 試用期間が終了しました。MPMII ドングル(SafeNet)を使用して起動ください。
ドングルが見つかりませんでした。ドングルを接続してから、起動し直してください。	起動	• 一度、ドングルを使用して MPMII を起動した場合は、次回以降もドングルを使用して起動してください。
アプリケーションの初期化に失敗しました。	起動	• MPMII のシステムに致命的なエラーが発生しました。MPMII を再インストールしてください。
他のドングル接続時に登録されたメディアがあります。現在接続されているドングルのメディアのみ表示します。	起動	• 以前と異なるドングルを使用しています。MPMII の動作に問題はありませんが、他のドングルを使用して登録したメディア名を選択することができなくなります。
起動時とは異なるドングルが接続されているため、処理を続行できません。	各種操作時	• MPMII の起動中は黒いドングルは外さないでください。
ドングルが接続されていないため、処理を中止しました。正しくドングルを接続してから、もう一度実行してください。	各種操作時	
指定されたファイルはサポートされていません。	ファイル読み込み	• デバイスプロファイル以外のファイルを指定していないか、確認してください。 • 新しいプリンタや新しいインクセットのプロファイルを編集しようとしています。MPMII を最新版にバージョンアップしてください。
出力するチャートを表示できません。	デバイスプロファイル作成ウィザード	• 測色器を選択してから、各種作業を行ってください。
カーブの生成に失敗しました。チャートを確認して、再測色してください。	測色ファイル読み込み	• 読み込んだ測色値から、正常なカーブが計算できません。異なる要素の測色値のファイルでないか、確認してください。 • ファイルが正しいのにエラーメッセージが出てしまう場合は、測色ミスの可能性があります。印刷されたチャートに濃度ムラなどがないか確認し、もう一度測色してください。
有効なパッチ数を取得できませんでした。	測色ファイル読み込み	• 異なる要素の測色値のファイルでないか、確認してください。

エラーメッセージ	表示条件	対処方法
対応していない形式の測色値ファイルを読み込みました。 正しい形式で保存した測色値ファイルを選択してください。	測色ファイル読み込み	• 測色結果が分光反射率で保存されています。Lab 値で保存したファイルをご使用ください。(特に i1iSis をお使いの場合に発生します。☞ P.2-41)
プロファイル作成中はCMYKのTIFFファイルしか出力できません。CMYK モードの TIFF ファイルを選択してください。	テストプリント	• デバイスプロファイルが完成するまでは、RGB の画像を出力することはできません。
イメージのサイズが小さすぎて入力できません。 イメージのサイズが大きすぎて入力できません。	テストプリント	• 出力可能な画像サイズは、25.4mm(1 inch) 以上 2500mm 以下です。範囲に収まるように、大きさを変更してください。
読み込んだファイルにインポート可能な特性データが見つかりません。	インポート	• デバイスプロファイル以外のファイルを指定していないか、確認してください。 • 拡張子が「.icc」のファイルで、V3 プロファイルではなく、標準の ICC プロファイルを指定していないか、確認してください。 • 現在編集中のプロファイルのインクセットと、選択したプロファイルのインクセットが同じであるか、確認してください。 • バリアブルの設定のあるプロファイルを作成している場合は、バリアブルのプロファイルを選択してください。
読み込んだ ICC プロファイルのカラースペースはCMYKではありません。	インポート	• ICC　プロファイルのインポートで、CMYK プロファイル以外を選択しました。ICC プロファイルを取り込む場合は、カラースペースが CMYK のものを選択してください。
MPMII で作成したプロファイルではない為、調整できません。	ICC プロファイルの編集	• MPM1 や他社の ICC プロファイル作成アプリケーションで作成した ICC プロファイルを使用しています。MPMII では調整できませんので、その ICC プロファイルを作成した時に使用したアプリケーションで調整してください。
メディアサイズが取得できませんでした。プリンタとの接続を確認してください。	画像編集	• プリンタとの接続がされているか、ケーブルを確認してください。 • プリンタが認識されているか、Windows 上で確認してください。
色差が大きすぎるため、キャリブレーション機能で調整できない場合があります。	キャリブレーション	• MPMII で調整できる大きさの色差ではありません。MPMII でキャリブレーションを行う前に、プリンタの調整を行ってください。 • キャリブレーションやイコライゼーションのターゲットと、同じプリンタ・同じインクセット・同じメディア・同じプロファイルを使用しているか、確認してください。

測色時のエラーと対処方法

測色器の種類	現　　象	対処方法
SpectroScan	初期化動作が完了しない。	• 白色基準板が、測色面左上の部分にはめ込まれているか確認してください。 • 白色基準板に書かれているシリアル ID と、SpectroLino（測色を行うヘッド部分）の背面に書かれているシリアル ID が一致しているか、確認してください。 • 電源コードを抜き、5 分ほど経ってから電源を入れなおしてください。
	3 つのマーカーの位置決めを行う途中で、ヘッドが戻ってしまう。	• “Online” と “Enter” を同時に押し続け、SpectroScan を Reset してやり直してください。
	接続エラーが発生する。	• USB- シリアル変換アダプターを使用している場合、アダプタに付属のソフトウェアで、割り当てる COM ポート番号を指定してください。MeasureTool5.0 で、その COM ポート番号を選択してください。
i1 Pro	初期化動作が完了しない。	• ベースプレートに書かれているシリアル ID と、i1 Pro の裏面に書かれているシリアル ID が一致しているか、確認してください。 • i1 Proがベースプレートの上にしっかりと置かれているか、確認してください。
	測色エラーが発生する。	• 測色は 1 列ごとに行います。列を測色している間は、i1 Pro のボタンを押し続けてください。 • 測色する列の始め (左側の白地) と終わり (右端の白地) で、1 秒ほどボタンを押したまま待つようにしてください。 • i1 Proを一定の速度でゆっくり動かしてください。 • ルーラー上を滑らせているときに、チャートから i1 が浮かないようにしてください。(力を込めて押し付ける必要はありません)
	接続エラーが発生する。	• ドライバが正しくインストールされているか、確認してください。 • 差し込む USB のポートを変更してください。(USB ハブは使用しないでください) • 他の USB 機器を外してください。
	ライトがついたままになってしまう。	• 測色を中止し、USB ケーブルを抜いてください。少し時間をおいてから、ケーブルを挿しなおしてください。

測色器の種類	現　　象	対処方法
i1 iO	測色エラーが発生する。	• i1 Pro が、i1 iO の台座にしっかりとはめ込まれているか、確認してください。パチンと手ごたえがあるまで、i1 Pro を台座に押し込んでください。(力を込めてはめ込む必要はありません) • 3 つのマーカーの位置決めを行う際、枠のついたパッチの中心よりやや外側で位置決めを行ってください。
	接続エラーが発生する。	• i1 Pro/i1 iO の 2 つのドライバが正しくインストールされているか、確認してください。 • i1 iO がしっかりと組み上げられているか、確認してください。 • 差し込む USB のポートを変更してください。(USB ハブは使用しないでください) • 他の USB 機器を外してください。
DTP-41	初期化動作が完了しない。	• ボタンを長押しし、LED が赤く点灯したらもう一度ボタンを押します。(工場出荷状態に初期化) その後、ボタンを長押しし、LED がオレンジに点灯したらもう一度ボタンを押します。キャリブレーションプレートを読み込ませ、測色器のキャリブレーションを行います。
	測色エラーが発生する。	• チャートの前後にある空白部分が汚れていないか、確認してください。その部分は白でなければならないため、文字を書き込んだりしないようにしてください。 • チャートがまっすぐに送られるよう、位置を調整しながら測色してください。
	チャートが途中で止まってしまう。	• 現在測色している行の測色が止まってしまう付近のパッチ間のセパレータの色を変更してください。 セパレータが白の場合　マジックなどで黒くしてください。 セパレータが黒の場合　修正ペンやシールなどで白くしてください。 • チャートは無理に引き抜くと汚れてしまいます。測色器の上を持ち上げるようにすると簡単に引き抜くことができます。
	接続エラーが発生する。	• USB- シリアル変換アダプターを使用している場合、アダプタに付属のソフトウェアで、割り当てる COM ポート番号を指定してください。MeasureTool5.0 で、その COM ポート番号を選択してください。
i1 iSis	初期化に失敗する。	• 白色版が汚れている恐れがあります。 i1 iSis の取扱説明書に従って、白色版を清掃してください。

測色器の種類	現　　　象	対処方法
i1 iSis	メディア詰まりが発生する。	• i1 iSis の取扱説明書に従って、詰まったメディアを取り除いてください。 • 特有のメディアで頻発する場合は、i1 iSis での測色に適していません。他の測色器をお使いください。
	測色に失敗する。	• 枠線の外を広く空けて切り取っていませんか？ 枠線の外で切る場合は、1cm 以上空けないようにしてください。

索引

記号

- *.chocot 2-67

数字

- 1 次色 付録 -3
- 2 次色 付録 -3
- 3 次色 付録 -4
- 3 次色のインクリミットに振り分けるときは 2-44
- 4 次色 付録 -4

C

- CMYK 入力プロファイル 2-60
- ColorPicker
  - ICC プロファイルの作成 8-4
  - Raster Link シリーズで色置換して出力する 8-11
  - スポットカラーのカラーマッチング 8-7
  - スポットカラーのカラーマッチングの流れ 8-2
  - Illustrator で画像を修正する 8-9
- ColorPicker とは 8-2
- ColorPickerを使用したスポットカラーマッチング 8-2

E

- Eye-One iO
  - 新しいドライバをインストールする 付録 -16
  - ドライバをアンインストールする 付録 -14
  - ドライバを確認する 付録 -12
  - ライバを更新する 付録 -14
- Eye-One iO のご使用について 付録 -12

G

- Gamut 付録 -2
- GCR 付録 -3

I

- ICC 付録 -2
- ICC プロファイル 付録 -2
- ICC プロファイル画面 1-10
- ICC プロファイルの作成 6-3
- ICC プロファイルの編集 3-10
- ICC プロファイルの保存 6-15

J

- JF-1631/1610、UJV-160、UJF-706、UJF-3042、Tx400 を使用している場合 2-10
- JV3-SP/SL で ES3 インクを使用している場合 2-9
- JV3-SP/SL で SS2 インクを使用している場合 2-8

M

- Max Black 2-65
- MeasureTool5.0 2-26
- Media Name 1-3
- Mimaki Profile Master Ⅱについて IX
- MPM Ⅱ トライアル版の制限事項 XI
- ＭＰＭⅡを起動する 1-2

P

- ProfileManager 7-5
- ProfileManager を起動する 7-4

R

- Raster Link Pro 以外の Raster Link シリーズからプロファイルをアンインストールする 7-9
- Raster Link Pro 以外の Raster Link シリーズにインストールする 7-6
- Raster Link Pro 以外の Raster Link シリーズへの プロファイルのインストール・アンインストール 7-4
- Raster Link Pro にデバイスプロファイルをインストールする 7-2

- RGB 入力プロファイル 2-60

S

- Start Black 2-65

U

- UCR 付録 -3

V

- V3 プロファイル編集画面 3-9

W

- Windows7 で測色器をご利用の場合 付録 -9

あ

- アイコンの説明 7-5

い

- イエローの濁り軽減 2-64
- イコライゼーション機能 4-13
  - イコライゼーションを行う 4-14
  - イコライゼーションを行うプリンタへ出力する 4-16
  - ターゲットプリンタへ出力する 4-14
- 移動 (幅)/(送り) 2-58
- 色差 付録 -2
- 色差の確認 3-13
- 色差を確認する 4-21
- 色置換情報 3-14
- 色置換情報を追加する 3-14
- インク消費量予測計算 3-16
- インク色表記 Ⅷ
- インクリミットの決定の仕方 2-17
- インクリミットの決定方法 2-16, 2-20
- ンクリミットの決定方法 2-43
- インクリミットの調整 3-12
- インクリミットの編集 3-10
- 印刷条件 2-58
- 印刷方向 2-58
- 印刷方法 2-59
- インストール画面 1-11
- インポート互換表 2-61
- インポートボタン 2-61

え

- エラーメッセージ 付録 -19
  - エラーメッセージと対処方法 付録 -19
  - 測色時のエラーと対処方法 付録 -21

お

- オプション設定 1-9
  - 動作 1-9
  - 表示 1-9
  - ラベル 1-9

か

- カーブ編集方法 2-63
  - キーボードでの操作 2-63
  - マウスでの操作 2-63
- カーブ編集ボタン 2-62
- 回転 2-58
- 各種設定 1-3
- 重ね塗り 2-58
- 画像ファイル名 1-9
- ガマット 付録 -2
- ガモット 付録 -2
- カラーシミュレーション 9-2
  - CMYK カラーのシミュレーション用プロファイル 9-16
  - RGB カラーのシミュレーション用プロファイル 9-19
  - 色を調整する 9-24
  - カラーシミュレーションの流れ 9-4
  - 環境光を整える 9-6
  - コンシューマープリンタの ICC プロファイルを作成する 9-13
  - 作成したプロファイルを Photoshop ／ Illustrator に設定する 9-22
  - システム環境 9-3
  - 準備 9-3
  - 注意事 9-2
  - モニターの ICC プロファイルを作成する 9-7
  - モニターのキャリブレーション 9-6
- カラースペース 付録 -2
- カラーマッチング 2-60, 付録 -2

き

機能ボタン ……2-57
キャリブレーション / イコライゼーション
編集画面 ……3-9
キャリブレーション機能
- 基準設定 ……4-3
- キャリブレーションを行う ……4-5
- 作業内容（詳細）……4-9
- 作業内容（標準）……4-7

キャリブレーションデータの扱い ……付録 -18

く

グレーの色み ……2-51， 6-5， 6-9
グレーバランス ……付録 -3
グレーバランスの自動調整 ……3-13
グレーバランスの編集 ……3-12
グレーバランスルート編集画面 ……3-8

こ

高演色形蛍光灯 ……9-6
校正用プリンタ ……9-13
高速印刷 ……2-58
ご注意 ……Ⅷ

さ

最暗部のインク量 ……2-65
再作成 ……2-68
彩度 ……付録 -3
作成中断ボタン ……2-67

し

色相 ……付録 -2
入力値 ……2-62
出力応答タイムアウト値 ……1-8
出力先 ……2-60
出力値 ……2-62
出力バッファ長 ……1-7， 1-8
出力ポートの設定 ……1-7
- ファイル出力 ……1-7
- プリンタに直接出力 ……1-8

純色 ……付録 -2
情報をバックアップする ……10-2
初期設定の印刷条件 ……1-9
白インクの印刷 ……2-59

す

スケール (%)/(幅)/(送り) ……2-58
スポットカラー ……付録 -4
墨版 ……2-51， 付録 -2
墨版設定 ……2-65
スロットの設定 ……2-59

せ

製品の特徴 ……Ⅸ
設定画面 ……1-11

そ

測色器を選択 ……1-6
測色結果が異常な場合に起こりうる
現象 ……付録 -5
測色結果ファイルの測色結果を確認
する ……付録 -7
測色時のご注意 ……付録 -5
測色する
- DTP-41 ……2-37
- Eye-One iO ……2-34
- Eye-One Pro ……2-31
- i1 iSis ……2-39
- Spectro Scan ……2-28

測色値ファイルの読み込み ……2-70
測色の途中で測色の異常を発見した
場合 ……付録 -6
測色部 ……2-24， 2-46

た

ターゲットプロファイル ……付録 -2

ち

チャート出力ボタン ……2-57
中間調の表現 ……2-65
調整ボタン ……2-64

て

テストプリント時の印刷条件 ……1-9

- テストプリントボタン 2-57
- デバイスプロファイル ......付録 -2
- デバイスプロファイル画面 1-10
- デバイスプロファイル作成の流れ 2-2
- デバイスプロファイルのコピー 5-2
- デバイスプロファイルの作成
  - ICC プロファイルの作成 2-49
  - インクリミットの設定（プロファイル (V2) を選んだ場合） 2-19
  - インクリミットの設定（プロファイル (V3) を選んだ場合） 2-15
  - グレーバランスの自動調整 2-46
  - 作成する 2-4
  - デバイスプロファイルの保存 2-56
  - バリアブルドットの設定 2-12
  - フォーマットの選択 2-4
  - プロファイル条件 2-5
  - メディア固有情報 2-7
  - ライトインク使用比率 2-23
  - リニアライゼーションの自動調整 2-24
  - 3 次色のインクリミットの設定（プロファイル (V3) を選んだ場合） 2-42
- デバイスプロファイル編集の流れ 3-2
- デバイスプロファイル名 1-9
- デバイスプロファイルを編集 3-6

と

- ドットサイズの編集 3-11
- 取扱説明書について VIII

に

- 入力プロファイル ......付録 -2

の

- 濃度 ......2-59， 付録 -3

は

- ハーフトーン 2-58
- パス 2-58
- バックアップ機能 10-2
- バックアップファイルを MPM II に復元する 10-4
- バランスを自動調整 2-65

ひ

- ヒーター温度の編集 3-11
- 品質 2-59

ふ

- 復元機能 10-4
- プロファイル (V2) 2-4
- プロファイル (V3) 2-4
- プロファイルコピーウィザード 5-2
- プロファイルサイズ ......2-51， 6-5， 6-9， 6-14
- プロファイル条件
  - インクセット 2-5
  - 印刷方向 2-5
  - 解像度 2-5
  - 重ね塗り回数 2-5
  - 高速印刷 2-5
  - ハーフトーン 2-5
  - パス数 2-5
  - メディア名 2-5
- プロファイルデータ情報 1-9
- プロファイルについて X

へ

- 編集するプロファイルをリストに追加 3-4
- 編集リスト 3-5

ほ

- 本文中の表記 VIII

ま

- マークについて VIII

み

- ミラー 2-58

め

- 明度 ......付録 -3
- メインメニュー 1-10
- メディア送り速度の編集 3-11

メディア固有情報
  ドットサイズ 2-8
  ヒーター温度 2-7
  メディア送り設定 2-11
  メディア補正値 2-7
メディア固有情報の編集 3-11
メディア名 1-3
メディア名の削除 1-5
メディア名の登録 1-3

も

目視確認部 .... 2-24， 2-46

よ

用語解説 .... 付録 -2

ら

ラベルプリント 2-58

り

リニアライゼーションの自動調整 3-13
リニアライゼーションの編集 3-12

れ

レイアウト 2-58
レンダリング 2-60
レンダリングインテント .... 2-60， 付録 -3

無断複写・転載を禁じます。
All Rights Reserved. Copyright
D201774-12-16072010

© MIMAKI ENGINEERING CO.,LTD.2010

NH
SW : 2.0